

Open-Xedge

(旧名称:SIP4D-Xedge, SIP4D 利活用システム)

セットアップマニュアル

Ver. 3.1

令和 8 年 3 月

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

改訂履歴

Ver	変更内容	改訂日
1.0	初版	H26.3.31
1.1	公共情報コモンズに関する注意事項の追記	H26.6.10
1.2	訓練モード、気象情報XMLに関する追記	H26.9.9
1.3	気象情報 XSLT 情報の設定について追記	H27.10.8
1.4	法人格名称の変更 問い合わせメールアドレスの変更	H28.8.8
2.0	セットアップマニュアル、県版セットアップマニュアルを統合し、時系列版を作成	H29.3.24
2.0	・体裁を見直し ・記載漏れ等を加筆	H29.06.29
2.0	人口インポートについて加筆	H29.07.21
2.0	1) 人口メッシュのインポートで、e-stat からデータをDLする手順追加 2) 集計リストの設定を追加 3) テーブルリセット対象属性情報を追加 4) エクセル帳票機能の設定方法を追加 エクセルファイルの作成方法 地物属性の紐づけのやりかた 集計マクロの記述方法など	H29.12.12
2.0	・自治体セットアップの章番号を変更 ・エクセル帳票の設定方法を追加 ・メニュータイプのエクセル帳票に関する説明を修正	H30.03.06
2.2	メニューテーブル情報に”ページング”項目を追加 6.1.3. に CKAN 対応を追加	H30.03.23
2.2	エクセル帳票メニューの出力レイヤ設定を追加	H30.04.03
2.2	・地図参照レイヤ情報に透過度設定を追加 ・ツールボックス情報設定を追加	H30.06.14
2.2	・投稿アプリ認証 QR 設定を追加	H30.07.17
2.2	・ページボタン ID16 のボタン名称を 再読み込み から 集計 に変更。	H30.07.20
2.3a	・ページボタン ID18 変更反映を追加 ・表「追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要」に⑩コピー先被害種別属性 ID を追加	H31.02.26
2.3b	投稿写真画面の設定を追加	R1.08.02
2.4	6.1.2.2 (3) メニューテーブル情報に”アコーディオン階層設定”等と”マルチ表示”項目を追加 A) ページボタン ID について、CSV 出力の概要を変更、旧 CSV 出力の行を追加	R2.06.30

	6.1.3.11 CKAN データ登録 にレイヤ公開設定を追記	
2.5	6.1.4.5 SIP4D アップロード設定を追記 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定を追記	R3.7.16
2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班にロゴ画像ファイル、ロゴ画像ファイルアップロードを追加 ・ 課にロゴ画像ファイル、ロゴ画像ファイルアップロードを追加 ・ テーブルマスタ情報に管理番号項目名、管理番号項目名を追加 ・ メニュータスク種別に tips を追加 	R3.9.24
2.6	6.1.2.3 地図マスター情報 MRGS 桁数に UTM 自動入力について追記	R3.11.9
2.7	6.1.3.13 GeoTIFF レイヤ情報を追加 8.7 公開ビューの作成を追記	R4.2.24
2.7	6.1.1.3 地方自治体情報を追記	R4.4.5
2.7	6.1.4.5 SIP4D アップロード設定 追記 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定 (ベクター版) 追記 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定 (ラスター版) 追記	R4.5.27
2.7	6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定 (ベクター版) 追記 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定 (ラスター版) 追記 6.1.3.4 クリアリングハウスデータ登録 追記	R4.6.9
2.7	誤字脱字修正 2.推奨環境 を調整	R4.8.5
2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班情報にメタデータ更新通知の設定追加 ・ ページボタン情報 追記 	R4.12.20
2.8	8.8.縮小地図の設定 追加	R5.03.23
2.8	6.1.4.1. geoJSON 取込設定更新	R5.06.07
2.8	6.1.4.1. geoJSON 取込設定更新	R5.08.03
2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5.8 訓練マップ設定追加 ・ 6.1.2.3. 地図マスター情報追記 	R6.02.26
2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6.1.1.3 地方自治体情報 図 6-10,表 6-4 に㊸追記 ・ 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定 (ベクター版) v1 and v1.1 属性内容記載済み v1 および v1.1 ㊹ ここに地物属性更新時刻付加チェック記載あり ・ 8.4.1.2 管理画面から項目を編集 新規追加 表 8-7 ㊺㊻ UUID と属性更新日時 ・ 6.1.2.3 地図マスター情報 表 6-34 ㊼地図追加専用マップ ID 追記 	R6.04.03
2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム名称を SIP4D-Xedge に変更 ・ 6.1.3.5 集計リスト情報 に図形集計の説明追加 	R6.06.04
2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6.1.2.3 地図マスター情報 (2) テーブルマスター情報 1) テーブルマスター情報を新規で作成する更新 B) アラート範囲について追加 C) 奇跡レイヤについて追加 ・ 6.1.4.8 X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報種別設定 (ベクター版) 追加 	R6.12.17
2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開ビューの公開フラグ表示名の設定に関して追記 ・ 8.7 公開ビューの作成 	R7.1.15
2.10	・ システム名称を Open-Xedge に変更	R7.6.11

2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6.1.2.2 メニュータスク種別 (8) 地図レイヤ属性情報に属性グループの設定について追記 ・ 6.1.2.2 メニュータスク種別 (7) 地図レイヤ情報にスタイル ID を追加 	R7.08.07
3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6.1.5. SOBO 接続 追加 	R7.12.26
3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6.1.3.6 集計リスト項目情報の演算にパーセントを追加 ・ 8.4.1.地図一覧画面から項目を作成に親子地物を追加 	R8.3.12

目次

1.	はじめに	1
1.1.	Open-Xedge のセットアップ	1
2.	推奨環境	2
3.	管理画面へのログイン方法	3
3.1.	管理画面のアクセス権限について	5
4.	管理画面の基本構成	6
4.1.	トップ画面	6
4.2.	設定画面	7
4.2.1.	削除ダイアログ	8
4.2.2.	検索ダイアログ	9
5.	自治体セットアップ	10
5.1.	設定のインポート	10
5.2.	自治体グループ	10
5.2.1.	自治体グループを追加する	11
5.2.2.	自治体グループを編集する	12
5.2.3.	自治体グループの削除する	14
5.3.	ユーザ・メニュー階層の設定	14
5.4.	時系列化	15
5.5.	災害類型統合化	16
5.6.	ウィザード	17
5.6.1.	メニューの追加	17
5.7.	人口インポート	17
5.7.1.	ダウンロードページからデータをダウンロードする	19
5.7.1.1.	統計データダウンロード	19
5.7.1.2.	境界データダウンロード	21
5.7.2.	人口メッシュレイヤを作成する	24
5.8.	訓練マップ設定	24
5.8.1.	本番用マスターマップから訓練用マスターマップの作成	24
5.8.2.	任意のレイヤをマスターマップに上書き更新	26
5.8.3.	訓練用マスターマップの上書き	27
6.	設定画面説明	29
6.1.	設定・管理メニュー(自治体)	29
6.1.1.	ログイン	29
6.1.1.1.	班	29
(1)	班情報の編集	30
(2)	ユーザ情報	36
6.1.1.2.	課	39
(1)	ユニット情報の編集	39
6.1.1.3.	地方自治体情報	44
6.1.2.	システム全般	47
6.1.2.1.	メニュー階層	47
(1)	メニュー設定情報の編集	48
(2)	メニュープロセス情報の編集	51

(3)	メニュータスク情報の編集.....	58
(4)	タスクメニュー情報.....	64
6.1.2.2	メニュータスク種別.....	69
(1)	タスク種別情報の編集.....	69
(2)	メニュー情報の編集.....	72
(3)	メニューテーブル情報の編集.....	89
(4)	テーブルリスト項目情報.....	93
(5)	属性行スタイル情報.....	99
(6)	ページボタン表示情報.....	102
(7)	地図レイヤ情報.....	107
(8)	地図レイヤ属性情報.....	114
(9)	地図KMLレイヤ情報.....	120
(10)	地図参照レイヤ情報.....	124
(11)	地図ベースレイヤ情報.....	129
(12)	メニュー地図情報.....	133
(13)	通知デフォルト情報.....	137
6.1.2.3	地図マスター情報.....	141
(1)	地図マスター情報の編集.....	141
(2)	テーブルマスター情報.....	145
(3)	テーブル演算項目情報の編集.....	150
(4)	テーブル演算情報.....	153
(5)	テーブルリセット対象属性情報.....	156
(6)	テーブル CSV 項目情報.....	158
6.1.2.4	テンプレートメニュー.....	159
(1)	タスク種別情報(テンプレート)の編集.....	160
(2)	災害別タスク種別情報.....	163
(3)	タスク種別情報(テンプレートから生成).....	163
6.1.3.	外部地図データ	164
6.1.3.1	クリアリングハウス事前データ情報.....	164
6.1.3.2	クリアリングハウス検索情報.....	164
6.1.3.3	メタデータデフォルト設定情報.....	166
6.1.3.4	クリアリングハウスデータ登録.....	168
6.1.3.5	集計リスト情報.....	171
(1)	外部リスト集計の設定の流れ.....	171
(2)	図形集計の設定の流れ.....	173
(3)	集計リスト情報の設定方法.....	175
6.1.3.6	集計リスト項目情報.....	176
6.1.3.7	認証情報.....	176
6.1.3.8	CKAN 事前データ情報.....	178
6.1.3.9	CKAN 検索情報.....	178
6.1.3.10	CKAN メタデータデフォルト設定情報.....	180
6.1.3.11	CKAN データ登録.....	181
6.1.3.12	CKAN 認証情報.....	184
6.1.3.13	GeoTIFF レイヤ情報.....	185
6.1.4.	JSON 連携	186
6.1.4.1	GeoJSON 取込設定.....	186
6.1.4.2	GeoJSON 出力設定.....	190

6.1.4.3	JSON 連携 API 設定.....	191
6.1.4.4	JSON 連携更新対象レイヤ.....	192
6.1.4.5	SIP4D アップロード設定.....	194
6.1.4.6	SIP4D 情報種別設定 (ベクター版)	198
6.1.4.7	SIP4D 情報種別設定 (ラスター版)	202
6.1.4.8	X-ICS 同期用 μSIP4D-ZIP 情報設定 (ベクター版)	204
6.1.5.	SOBO 接続	209
6.1.5.1	SOBO 認証情報.....	209
6.1.5.2	SOBO Atom フィールド情報	210
6.1.5.3	SOBO 出力設定.....	212
6.1.5.4	SOBO 出力レイヤ設定.....	215
6.1.6.	通知	217
6.1.6.1	通知グループ情報.....	217
(1)	通知グループ情報の編集.....	218
(2)	通知グループ連絡先情報の編集.....	222
(3)	通知グループユーザ情報の編集.....	225
6.1.6.2	通知連絡先情報	228
6.1.6.3	通知テンプレート.....	230
(1)	通知テンプレートの編集.....	230
6.1.6.4	安否応答状況情報.....	234
6.1.6.5	アラーム	235
(1)	アラームメッセージ設定.....	235
(2)	アラームメッセージ設定の編集.....	235
6.1.7.	監視観測	239
6.1.7.1	気象情報	239
(1)	気象情報取得情報の登録.....	239
(2)	気象情報 XSLT 情報.....	241
6.1.7.2	河川情報	242
(1)	テレメータ	242
(2)	メニュー設定	244
(3)	観測地点	247
(4)	判定	257
6.1.7.3	JAlert	264
(1)	Jalert サーバ情報.....	264
(2)	JAlert 情報取得情報	264
6.1.8.	避難勧告・指示	266
6.1.8.1	避難勧告レイヤ	266
6.1.9.	本部設置	267
6.1.9.1	職員参集情報.....	267
(1)	職員参集情報の編集.....	267
6.1.9.2	体制区分	272
(1)	体制区分の編集	272
6.1.9.3	体制レイヤ	276
6.1.10.	広報	278
6.1.10.1	Twitter 設定	278
6.1.10.2	Facebook 設定	279
6.1.10.3	Facebook 投稿先情報.....	280

6.1.10.4	e コミ GW 投稿先情報	282
6.1.11.	意思決定支援	284
6.1.11.1	避難者推定	284
(1)	意思決定支援レイヤ情報の編集	284
6.1.12.	公共情報コモンズ	287
6.1.12.1	公共情報コモンズ避難勧告情報	287
6.1.12.2	公共情報コモンズ避難所情報	288
6.1.12.3	公共情報コモンズ発信先データ	290
6.1.13.	その他	291
6.1.13.1	被災項目情報	291
(1)	被災項目情報の編集	291
6.1.13.2	ランドマーク	294
(1)	目標物情報の編集	294
6.1.13.3	一括削除	296
6.1.13.4	投稿写真レイヤ	296
(1)	投稿写真レイヤの編集	296
(2)	投稿写真画面の設定	300
6.1.13.5	ツールボックス情報	301
(1)	ツールボックス情報の編集	301
6.1.13.6	投稿アプリ認証 QR 設定	303
(1)	投稿アプリ認証 QR 設定の編集	304
6.2.	設定・管理メニュー(システム)	307
6.2.1.	ログイン	307
6.2.1.1	地方自治体種別	307
6.2.1.2	地方自治体情報	307
6.2.2.	システム全般	310
6.2.2.1	メニュータイプマスタ	310
6.2.2.2	テーブル項目マスタ	310
6.2.2.3	ページボタンマスタ	310
6.2.3.	通知	310
6.2.3.1	通知種別マスタ	310
(1)	通知種別マスタの編集	310
6.2.3.2	通知テンプレート種別マスタ	312
6.2.3.3	アラーム	312
(1)	アラームタイプマスタ	312
6.2.3.4	テロップ種別マスタ	312
6.2.4.	監視観測	312
6.2.4.1	気象情報	312
(1)	気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタ	312
(2)	気象情報等取得種別マスタ	313
(3)	地震速報エリア情報	313
(4)	火山名マスタ	313
(5)	河川マスタ	313
(6)	河川区域マスタ	313
(7)	雨量エリアマスタ	313
6.2.4.2	河川情報	314
(1)	監視観測マスタ	314

(2)	データ判定式マスタ	314
6.2.4.3	JAlert	315
(1)	JAlert 種別マスタ	315
6.2.5.	本部設置	316
6.2.5.1	安否確認状況マスタ	316
6.2.5.2	体制マスタ	316
6.2.6.	広報	317
6.2.6.1	Twitter マスタ	317
6.2.6.2	Facebook マスタ	317
6.2.7.	意思決定支援	317
6.2.7.1	意思決定支援レイヤタイプマスタ	317
6.2.8.	多言語対応	318
6.2.8.1	言語管理	318
(1)	言語情報の編集	318
6.2.8.2	言語インポート	320
6.2.8.3	言語エクスポート	320
7.	その他の設定	321
7.1.	エクセル帳票	321
7.1.1.	エクセル帳票機能とは	321
7.1.2.	エクセル帳票の管理画面の設定方法	322
7.1.3.	エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法	323
8.	e コミマップのセットアップ	327
8.1.	用語の説明	327
(1)	地物	327
(2)	項目 (レイヤ)	327
(3)	属性	327
(4)	背景地図	327
(5)	主題図	327
(6)	基本地図	327
8.2.	画面構成	328
8.2.1.	地図一覧画面 (e コミマップの地図一覧画面)	328
8.2.2.	管理画面 (e コミマップの管理画面)	329
8.2.3.	地図画面 (e コミマップの地図画面)	330
8.3.	マスタマップの作成	332
8.3.1.	マップの作成	332
8.3.1.1	地図一覧画面から地図を作成	332
(1)	マップが新規作成される。	333
8.3.1.2	管理画面から地図を作成	334
8.3.2.	マップに主題図と基本地図を追加	336
8.3.2.1	管理画面から主題図と基本地図を追加	336
8.3.2.2	地図画面から地図を追加	340
8.4.	項目 (レイヤ) の作成	341
8.4.1.	地図一覧画面から項目を作成	341
8.4.1.1	管理画面から項目を作成	343
8.4.1.2	管理画面から項目を編集	345
8.4.2.	地図画面から項目を作成	350
8.4.2.1	「項目の新規作成」から作成する方法	350

8.4.2.2	Shape データから項目を作成する方法	352
8.5.	属性の設定	355
8.6.	地物の登録	355
8.6.1.	一つずつ地物を登録	355
8.6.2.	一括して地物を登録	357
8.6.2.1	データの一括登録.....	357
8.6.2.2	位置情報の取得	359
8.7.	公開ビューの作成	360
8.8.	縮小地図の設定	361
9.	問い合わせ先	362

1. はじめに

本マニュアルは、Open-Xedge (SIP4D 利活用システム) のセットアップ方法について説明をまとめたものであり、自治体の技術担当者様向けに作成されている。

本システム Open-Xedge は『e コミマップ』をGISエンジンとして、ユーザインターフェースを構築するシステムとなっている。このためGIS情報を管理する『マスタマップ』の設定等の操作はe コミマップ管理画面から行う。

1.1. Open-Xedge のセットアップ

Open-Xedge は、「設定画面説明」にて説明した様々な設定情報を登録することで、平常時・災害時や利用者（自治体等）ごとの固有の特性（体制や部署構成、災害時の動き方等）に合致した利用者画面を構成できるようになる。

また、「e コミマップのセットアップ」にて説明したマップや地物を事前登録情報（被災想定結果（ハザードマップ）、避難所の配置及び諸元、緊急輸送道路など）として予め入力しておくことで、災害対応業務に必要な情報を一元管理することが可能であり、官民の各機関からリアルタイムで災害情報の取得を行い、状況把握と事態の推移の見通しを立てることが出来るため、発災時に迅速かつ円滑に災害対応業務を行えるようになる。

上記のように、Open-Xedge のセットアップは、柔軟に利用者画面を構成し、発災時の迅速かつ円滑な災害対応業務のために重要な作業である一方、設定する項目も多岐に渡っている。

一から設定するのではなく、ダウンロードページにある推奨設定テンプレートファイルを使って自治体をインポートし、それをベースにこの資料をもとに柔軟な設定を行うことを推奨する。自治体の作成方法については、インストールマニュアルの「5.自治体の作成」を参照のこと。

2. 推奨環境

Open-Xedge は下記のクライアント環境での使用を推奨する。

- ハードウェア
 - 下記の OS を搭載した PC の使用を推奨する
 - Microsoft Windows 10 以降

- ソフトウェア
 - 下記の Web ブラウザの使用を推奨する
 - MicrosoftEdge
 - Firefox
 - Google Chrome

3. 管理画面へのログイン方法

管理画面にアクセスするには「<http://サーバー名/SaigaiTask/admin/>」の URL をブラウザで開くと、下図の様なログイン画面が表示される。

ログインユーザは2種類用意されており、災害時では班でログインし、平常時では課でログインする。※システム管理者（admin）は災害時の班の方でログインする。

また、班と課には複数の個人（構成員）を登録し管理することができる。

図 3-1 ログイン画面

表 3-1 ログイン画面の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班名	班名を入力する。	システム管理
②	パスワード入力エリア	班名に紐づくパスワードを入力する。	admin
③	言語コード	ログイン後に表示する言語を指定する。	

3.1. 管理画面のアクセス権限について

管理画面は「システム管理者」と呼ばれる Open-Xedge 全体の設定管理を行うユーザのほかに、管理権限が与えられているユーザがアクセスすることができる。

システム管理者は登録されている全自治体の設定の確認および変更を行うことができる。また、Open-Xedge の基幹となるシステム設定(各種マスタ情報)を行うことができる。

管理権限が与えられたユーザは、そのユーザが属している自治体に関する情報の設定および確認を行うことはできるが、システム設定は行うことができない。また、管理画面にログイン時、システム設定に関する項目が表示されないようになっている。

管理権限が与えられてないユーザは、管理画面にログインを行う際、権限がない旨が表示され、管理画面にアクセスすることができない。

以下に権限毎の操作概要を示す。

表 3-2 権限毎の操作概要

操作	概要	権限		
		システム管理者	管理権限を持つユーザ	その他
自治体設定	自治体ごとのユーザ管理や各種設定、表示項目等の設定を行う	○	○ ※1	×
システム設定	各種マスタ設定を行う	○	×	×

※1 ただし、ユーザが属している自治体のみ設定の確認、変更が可能

4. 管理画面の基本構成

4.1. トップ画面

管理画面の基本構成を下図に示す。

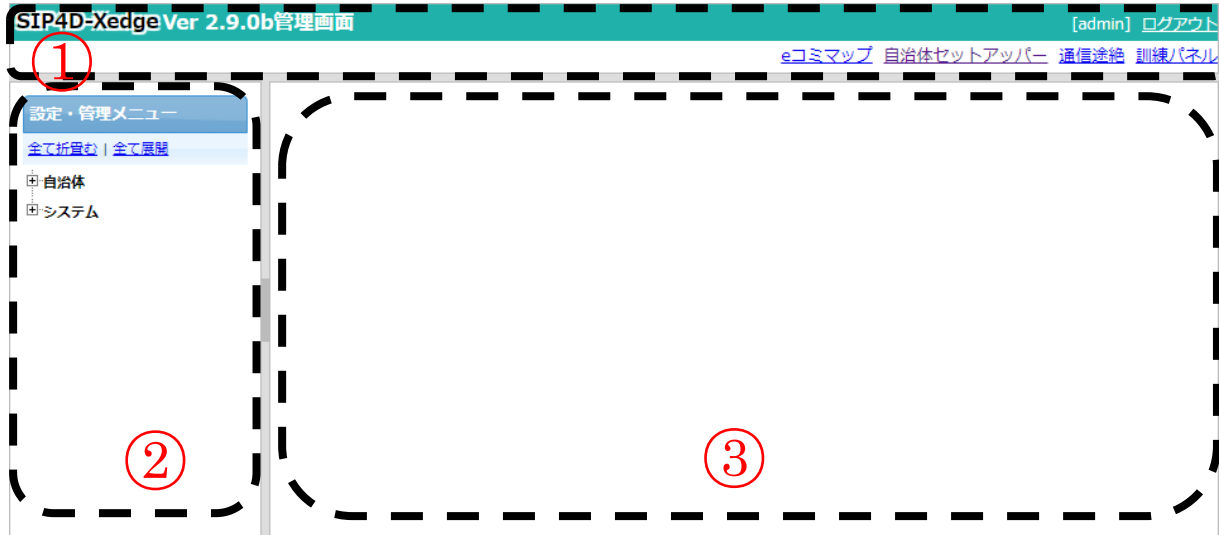


図 4-1 トップ画面

表 4-1 トップ画面の各名称及び概要

番号	名称	概要
①	ヘッダーエリア	「ログインユーザ名」「e コミマップへのリンク」が表示される。「ログインユーザ名」にカーソルを当てるとログアウトボタンが表示され、ログアウトボタンを押下するとログイン画面に遷移する。「eコミマップへのリンク」を選択するとe コミマップサイトへ画面が遷移する。
②	メニューエリア	選択したメニューに対する情報を一覧で表示する。
③	情報グリッド表示 エリア	選択したメニューの設定画面を表示する。

4.2. 設定画面

設定・管理メニューの一覧よりメニュー項目を選択した時に表示される設定画面を下図に示す。



図 4-2 設定画面

表 4-2 設定画面の各名称と概要

番号	名称	概要
①	登録	詳細項目を登録するための詳細入力ダイアログが表示される。
②	編集	登録済み詳細項目を編集するための詳細入力ダイアログが表示される。
③	削除	登録済み詳細項目を削除するための確認ダイアログが表示される。
④	検索	検索ダイアログが表示される。
⑤	更新	データの再読み込みを行う。
⑥	コピー	登録済み詳細項目の情報をコピーし、それをもとに新たにデータを作成する。
⑦	表示順再附番	表示順を 10、20、30 と再附番します。

編集ボタン押下時に表示されるダイアログについて、複数情報が登録されているとき、右矢印または、左矢印にて選択状態を移動させることができる。

4.2.1. 削除ダイアログ

設定画面より削除を行いたい対象の情報を指定し、削除ボタン押下時に下図のダイアログが表示される。但し、対象とする情報によってダイアログの名称は異なる。表示されたダイアログの削除ボタン押下時に指定された情報の削除を行う。

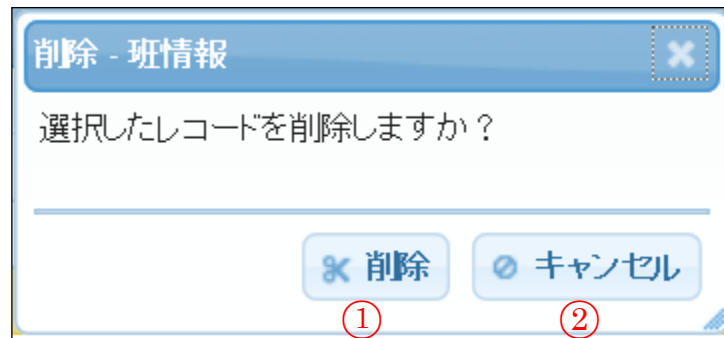


図 4-3 削除ダイアログ

表 4-3 削除ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要
①	削除	開かれているダイアログが閉じ、対象の情報が削除される。
②	キャンセル	開かれているダイアログが閉じ、削除処理が取り消される。

4.2.2. 検索ダイアログ

設定画面の検索ボタン押下時に下図のダイアログが表示される。指定された列名を対象にキーワード検索を行い、検索条件に一致する情報を表示させる。

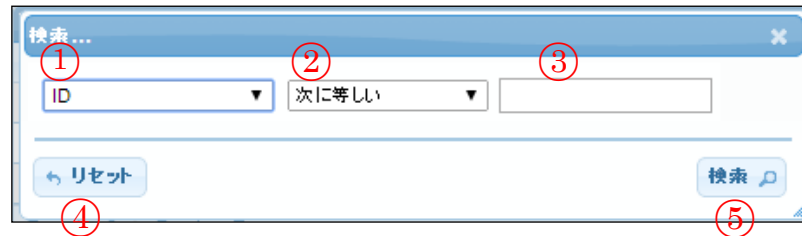


図 4-4 検索ダイアログ

表 4-4 検索ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索対象の列名	検索対象とする列をドロップダウンリストから指定する。	自治体 ID
②	検索条件	検索条件をドロップダウンリストから指定する。	次に等しい
③	キーワード入力エリア	検索を行うキーワードを入力する。	〇〇県〇〇市
④	リセット	入力項目、選択項目を初期状態に戻す。また、検索が行われている場合、表示されているリストを初期状態に戻す。	
⑤	検索	検索を実行する。検索結果が設定画面の検索ボタンが押下された階層の一覧に反映される。	

5. 自治体セットアップ

自治体セットアップとは時系列化・災害類型統合など自治体全体に関する機能や、管理画面の設定を補助するためのツールなどを総称して自治体セットアップと呼ぶ。

メニューエリアにある自治体セットアップのリンクを開くと、自治体セットアップにアクセスできる。



5.1. 設定のインポート

自治体を作成する。自治体の作成方法については、インストールマニュアルの「5.自治体の作成」を参照。

自治体作成画面の、「設定のインポート」で、防災科学技術研究所より配布の推奨設定ファイルを設定テンプレートで選択する。

設定のインポート	
インポート方法	<input checked="" type="radio"/> インポートしない <input type="radio"/> 自治体設定とマスタマップのインポート <input type="radio"/> 自治体設定とマスタマップのインポートと、システムマスタの入れ替え ※システムマスタの入れ替えは、すでに存在する自治体のデータも消去されます。
パスワード	<input type="text"/> インポートで作成される『班』と『課』に対してパスワードを初期設定します。
eコママップユーザアカウント	<input type="text"/> インポートで作成される『班』と『課』に対してeコママップユーザアカウントを初期設定します。
設定テンプレート	<input type="button" value="アップロード"/> アップロード済みの設定テンプレート システムバージョン:2.0 <input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません
マスタマップの復元先	<input checked="" type="radio"/> 新規作成 <input type="radio"/> 選択 サイト名称: <input type="text"/>

5.2. 自治体グループ

自治体グループを作成する。自治体グループを作成すると、グループ内で災害情報の管理、訓練の実施、メッセージ機能による情報のやり取りを実施することができる。

親の自治体が削除された場合、グループは削除される。子の自治体が削除された場合、その自治体グループの所属が解除される。

自治体グループ一覧	
自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効
自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ 1 6
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効
編集	削除

グループの追加

図 5-1 自治体グループ一覧

5.2.1. 自治体グループを追加する

「グループの追加」ボタンをクリックすると自治体グループ登録画面に遷移する。こちらの画面では、自分を親組織とした自治体グループを追加する。自治体グループ情報を入力後、「保存」ボタンをクリックして登録する。

自治体グループ登録画面					
自治体グループ名	<input type="text"/>				
親組織	8: test市 ▼				
子組織	<table border="1"><thead><tr><th>子組織</th><th>表示順</th></tr></thead><tbody><tr><td>0: 未指定 ▼</td><td>10</td></tr></tbody></table>	子組織	表示順	0: 未指定 ▼	10
	子組織	表示順			
0: 未指定 ▼	10				
	<input type="button" value="子組織を追加"/>				
※子組織から削除する場合は未指定を選択してください。					
表示順	30				
有効・無効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効				

図 5-2 自治体グループ登録画面

5.2.2. 自治体グループを編集する

自分が親のグループが存在する場合、自治体グループ一覧に「編集」ボタンが表示される。

自治体グループ一覧	
自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効
自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ 1 6
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効
<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="button" value="グループの追加"/>	

「編集」ボタンをクリックすると、自治体グループ編集画面に遷移する。
自治体グループ情報を入力後、「保存」ボタンをクリックして登録する。

自治体グループ編集画面							
自治体グループID	12						
自治体グループ名	テストグループ 1 6						
親組織	16: 開発用 ▼						
子組織	<table border="1"><thead><tr><th>子組織</th><th>表示順</th></tr></thead><tbody><tr><td>15: 開発用 ▼</td><td>10</td></tr><tr><td>13: 00 ▼</td><td>20</td></tr></tbody></table>	子組織	表示順	15: 開発用 ▼	10	13: 00 ▼	20
	子組織	表示順					
	15: 開発用 ▼	10					
13: 00 ▼	20						
<input type="button" value="子組織を追加"/>							
※子組織から削除する場合は未指定を選択してください。							
表示順	80						
有効・無効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効						
<input type="button" value="保存"/>							

5.2.3. 自治体グループの削除する

自分が親のグループが存在する場合、自治体グループ一覧に「削除」ボタンが表示される。「削除」ボタンをクリックすると、自治体グループが削除される。

自治体グループ一覧	
自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効
自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ16
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効
<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>	

5.3. ユーザ・メニュー階層の設定

自治体をインストールすると、ユーザ・メニュー階層を利用することが出来る。

ユーザごとに、メニューの階層、メニューの順番、表示秘法を指定することが出来る。表示するメニューにはチェックボックスを入力し、表示順を入力する。削除する場合は、チェックボックスを外し、「保存」ボタンをクリックして登録する。

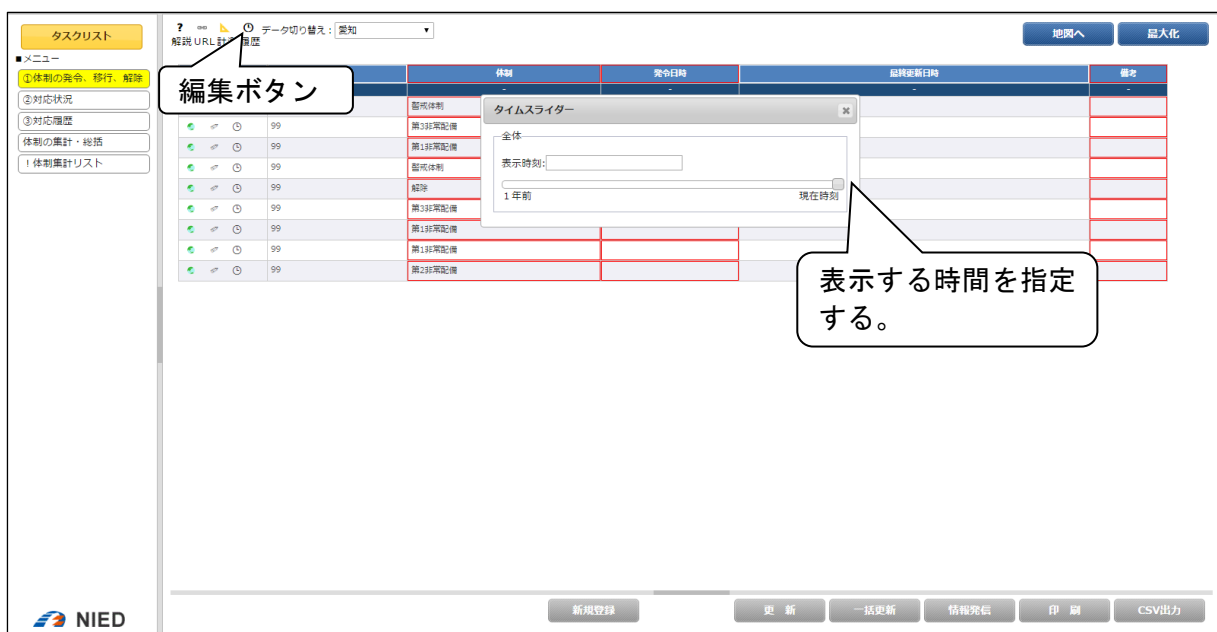
ログインユーザの管理とメニュー階層の設定										
利用するメニューにチェックと表示順をいれてください。										
タスク	サブタスク	メニュー	本部	総務担当	広報担当	消防本部	避難所担当	保健担当	道路担当	港
1.監視・観測	A.監視・観測情報	①監視・観測情報（一元表示）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		②監視カメラ情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		③テレメータ潮位情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		④テレメータ水位情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		⑤テレメータ雨量情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		⑥ダム放流情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5.4. 時系列化

マップ・レイヤーを時系列変換する。マップ一覧の時系列レイヤ変換にはマスターマップレイヤに未変換のレイヤがあれば未変換と表示される。

時系列化			
すべてのマップ・レイヤーを時系列変換します。 時系列レイヤに変換していないレイヤがあります。時系列化を行ってください。			
マップ一覧			
種別	地図タイトル	時系列レイヤ変換	
マスターマップ	愛知マスターマップ	未変換	
訓練マップ	【訓練】訓練	未変換	
マスターマップレイヤー一覧			
種別	レイヤID	レイヤ名称	時系列レイヤ変換
レイヤ情報	c1	駅	変換済み
レイヤ情報	c2	入山規制ポイント	変換済み
レイヤ情報	c3	土砂災害警戒情報	変換済み
レイヤ情報	c4	みなし避難所	変換済み
レイヤ情報	c5	協定業者	変換済み
レイヤ情報	c6	乗火山災害（火口）状況	変換済み
レイヤ情報	c7	火山災害（火口）想定結果	変換済み
レイヤ情報	c8	テレメータ（水位計）	変換済み
レイヤ情報	c9	ダム放流情報	変換済み
レイヤ情報	c10	警察	変換済み
レイヤ情報	c11	体制	変換済み
レイヤ情報	c12	消防	変換済み
レイヤ情報	c13	病院	変換済み
レイヤ情報	c14	避難者名簿	変換済み
レイヤ情報	c15	福祉避難所避難者名簿	変換済み
レイヤ情報	c16	職員	変換済み
レイヤ情報	c17	防災ヘリポート	変換済み
レイヤ情報	c18	土石流センサー	変換済み
レイヤ情報	c19	空港	変換済み
レイヤ情報	c20	港湾	変換済み
レイヤ情報	c21	公園	変換済み
レイヤ情報	c22	ポイントランド	変換済み
レイヤ情報	c23		変換済み
レイヤ情報	c24		変換済み
レイヤ情報	c25		変換済み

時系列変換することで、利用者画面に履歴ボタンが表示され、タイムスライダーによってレイヤの履歴を確認することができる。なお、履歴表示時には、情報の更新が制御される。



5.5. 災害類型統合化

システム Ver.2.0 前では地震・津波災害、地震災害、水土砂災害、火山災害の災害類型によってシステムが分かれていたが、システム Ver.2.0 で災害類型が統合化され、一つのシステムで複数の災害を扱うことができる。

保存ボタンを押すと災害類型が統合化される。

自治体情報		ログインユーザの管理とメニュー階層の設定														
ユーザ・メニュー階層		すでに災害類型統合化済です。														
タスク	サブタスク	メニュー	本部	総務担当	広報担当	消防本部	避難所担当	保健担当	港務担当	河川担当	商工担当	施設担当	民政担当	上位機関	管理者	
1. 監視・観測	A. 監視・観測情報	①監視・観測情報 (一元表示)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		②監視カメラ情報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		③テレメータ潮位情報	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		④テレメータ水位情報	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
		⑤テレメータ雨量情報	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		⑥ダム放流情報	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
2. 本部設置	A. 体制発令	①体制の発令、移行、解除	1												1	
		②対応状況	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		③対応履歴	3													3
		体制の集計・総括	4													
		!体制集計リスト	5													
	B. 庁舎の被災状況確認	①建物の被災	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	
		②ライフラインの被災と復旧見込	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	
		③代替地点への移行	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		3	

保存

5.6. ウィザード

テンプレートなタスク、サブタスク、メニューを設置することができる。(テンプレートについては 6.1.2.4 を参照すること。)

5.6.1. メニューの追加

本機能から追加したメニューは「追加情報」タブの下に作成される。ウィザード機能を使用するごとに、サブタスクが追加される。なお、ウィザード機能から設置されたタスク、サブタスク、メニューは災害に紐づいているため、災害を終了すると削除される。

メニューウィザード

メニューを追加する災害を選択して下さい

73: 大雪警報(2019/02/18発表)

追加情報タブに追加するメニューの名称を設定して下さい。

名称:

追加

中止

5.7. 人口インポート

地図画面の距離、面積の計測で人口と世帯数を表示するためのデータをインポートする。計測機能については「ユーザマニュアル 2.4.3.4 距離、面積の計測」を参照する。

統計テキストデータ、境界 Shape データをアップロードすると、人口メッシュレイヤが自動で作られる。

人口インポートツール

[ダウンロードページ](#)

レイヤID: ※空欄の場合は新規にレイヤを作成

統計テキストデータ
ファイルを選択 選択されていません

境界Shapeデータ (ZIP形式)
ファイルを選択 選択されていません

送信

統計テキストデータ、境界 Shape データをダウンロードするページへ移動する。

人口メッシュレイヤを作成する。

図 5-3 人口インポート

5.7.1. ダウンロードページからデータをダウンロードする

ダウンロードページからデータをダウンロードする方法を説明する。

人口と世帯数の計算には 500m メッシュを用いること。(250mメッシュ、1km メッシュは対象外)

また、2010 年の国勢調査のみ動作確認しており、2015 年の国勢調査ではデータ項目が変更されているためアップロードできないことに注意すること。

5.7.1.1 統計データダウンロード

ダウンロードページを開き、「統計データダウンロード」を選択する。



The screenshot shows the e-Stat website interface. At the top, there is a navigation bar with the e-Stat logo and the text '統計で見る日本' and 'e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです'. There is also a search bar and links for 'お問い合わせ | ヘルプ | English'. Below the navigation bar, there are several menu items: '統計データを探す', '地図で見る', '統計分類・調査項目', and 'その他'. The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS)' and contains a description of the GIS system. There are two main sections: '> 地図で見る統計 (JSTAT MAP)' and '> 統計データダウンロード'. The '統計データダウンロード' section includes a description of how to download data and a note about adding KEY_CODE. There is also a section for '> 境界データダウンロード'.

政府統計名のリストから「国勢調査」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface. At the top, there is a header with the e-Stat logo and the text "統計で見る日本" (Japan seen through statistics). Below the header, there are navigation tabs: "統計データを探す" (Search for statistics data), "地図で見る" (View on map), "統計分類・調査項目" (Statistics classification and survey items), and "その他" (Others). A search bar is located on the right side of the header.

The main content area is divided into several sections:

- 5件のデータ** (5 pieces of data): A summary box showing the number of selected data items.
- 統計データ** (Statistics data): A dropdown menu with options for "統計データ" (Statistics data) and "境界データ" (Boundary data).
- 政府統計名で絞り込み** (Filter by government statistics name): A dropdown menu for filtering data by government statistics name.
- 地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード** (Download statistics (GIS) data): A section for downloading data, listing various government statistics such as "国勢調査" (Census), "事業所・企業統計調査" (Business and company statistics survey), "経済センサス-基礎調査" (Economic census - basic survey), "経済センサス-活動調査" (Economic census - activity survey), and "農林業センサス" (Agriculture, forestry and fishery census).
- お知らせ・公表予定・新着** (News, upcoming releases, new arrivals): A section for news and updates.
- 統計データを探す** (Search for statistics data): A section for searching data, with options like "データベースから探す" (Search from database), "ファイルから探す" (Search from files), "分野から探す" (Search by field), "組織から探す" (Search by organization), and "地域から探す" (Search by region).
- 地図で見る** (View on map): A section for viewing data on a map, with options like "地図で見る統計(統計GIS)" (View statistics (GIS) on map), "統計データダウンロード" (Download statistics data), and "境界データダウンロード" (Download boundary data).

2010年の4次メッシュのみ対応しているため国勢調査のリストから「2010年」->「4次メッシュ(500mメッシュ)」->「男女別人口総数及び世帯総数」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface with the selection process for the 2010 4th mesh (500m) data. The header and navigation tabs are the same as in the previous screenshot.

The main content area is divided into several sections:

- 57件のデータ** (57 pieces of data): A summary box showing the number of selected data items.
- 統計データ** (Statistics data): A dropdown menu with options for "統計データ" (Statistics data) and "境界データ" (Boundary data).
- 政府統計名で絞り込み** (Filter by government statistics name): A dropdown menu for filtering data by government statistics name.
- 国勢調査** (Census): A dropdown menu for filtering data by census.
- 政府統計名で絞り込み** (Filter by government statistics name): A dropdown menu for filtering data by government statistics name.
- 調査年で絞り込み** (Filter by survey year): A dropdown menu for filtering data by survey year.
- 統計表で絞り込み** (Filter by statistics table): A dropdown menu for filtering data by statistics table.
- 都道府県で絞り込み** (Filter by prefecture): A dropdown menu for filtering data by prefecture.
- メッシュコードで絞り込み** (Filter by mesh code): A dropdown menu for filtering data by mesh code.
- 地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード** (Download statistics (GIS) data): A section for downloading data, listing various government statistics such as "国勢調査" (Census), "2015年" (2015), "2010年" (2010), "小地域(町丁・字等別)" (Small area (municipality, village, etc.)), "3次メッシュ(1kmメッシュ)" (3rd mesh (1km mesh)), "4次メッシュ(500mメッシュ)" (4th mesh (500m mesh)), "男女別人口総数及び世帯総数" (Total population and total households by sex), "5次メッシュ(250mメッシュ)" (5th mesh (250m mesh)), "2005年" (2005), "2000年" (2000), and "1995年" (1995).

The "4次メッシュ(500mメッシュ)" option is selected, and the "男女別人口総数及び世帯総数" option is also selected. The "定義書" (Definition) button is visible next to the selected option.

対象地域の「CSV」をクリックし、統計データをダウンロードする。

151 件のデータ

地図で見る統計(統計GIS)
データダウンロード

統計表*	地域*	公開(更新)日*	形式
男女別人口総数及び世帯総数	M3622	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3623	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3624	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3653	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3724	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3725	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3741	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3831	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3926	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3927	2013-06-11	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M3928	2013-06-11	CSV

5.7.1.2 境界データダウンロード

ダウンロードページを開き、「境界データダウンロード」を選択する。

統計で見る日本
e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです

お問い合せ | ヘルプ | English

統計データを探す 地図で見る 統計分類・調査項目 その他

トップページ / 地図で見る統計(統計GIS)

地図で見る統計(統計GIS)

各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計を把握できる地理情報システム(GIS)を提供します。

「お知らせ」
1月18日 平成29年学校基本調査 高等教育機関編 を公開いたしました。

> 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

地図で見る統計 (jSTAT MAP) は、誰でも使える地理情報システムです。
統計地図を作成する他に、利用者のニーズに沿った地域分析が可能となるようなさまざまな機能を提供しています。
防災、施設整備、市場分析等、各種の詳細な計画立案に資する基本的な分析が簡単にできます。
※地図で見る統計 (jSTAT MAP) 起動時にエラーとなる場合は、ブラウザの閲覧履歴の削除を行い再度お試しください。

> 統計データダウンロード

地図で見る統計 (jSTAT MAP) に登録されている統計データをダウンロードすることができます。
境界データと結合できるコード (KEY_CODE) を追加しています。

> 境界データダウンロード

地図で見る統計 (jSTAT MAP) に登録されている境界データをダウンロードすることができます。

「4次メッシュ(500mメッシュ)」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface. At the top, there is a search bar and navigation links. The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード'. On the left, there is a sidebar with '4件のデータ' and a list of categories: '境界データ', '統計データ', and '境界データ'. The main content area shows a list of data types under '境界一覧': '小地域', '3次メッシュ (1kmメッシュ)', '4次メッシュ (500mメッシュ)', and '5次メッシュ (250mメッシュ)'. At the bottom, there are three columns of navigation links: 'お知らせ・公表予定・新着', '統計データを探す', and 'その他'.

データ形式一覧から「世界測地系緯度経度・Shape形式」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface with the 'Data Format List' page selected. The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード データ形式一覧'. The list of data formats includes: '世界測地系緯度経度・Shape形式', '世界測地系緯度経度・KML形式', '世界測地系緯度経度・GML形式', '世界測地系平面直角座標系・Shape形式', and '世界測地系平面直角座標系・GML形式'. The left sidebar now shows '5件のデータ' and the selected '境界データ' category. The bottom navigation links remain the same as in the previous screenshot.

対象地域の「世界測地系緯度経度・Shape形式」をクリックし、統計データをダウンロードする。

e-Stat 統計で見る日本
政府統計の総合窓口

お問い合せ | ヘルプ | English

統計データを探す 地図で見る 統計分類・調査項目 その他

トップページ / 地図で見る統計(統計GIS) / 境界データダウンロード

選択条件: 境界データ / 4次メッシュ (500mメッシュ) / 世界測地系緯度経度・Shape形式

175 件のデータ

地図で見る統計(統計GIS)
データダウンロード

1次メッシュ情報 定義書

<< < 1 2 3 4 5 > >> 1/9ページ

地域*	公開(更新)日*	形式
M3036	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3622	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3623	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3624	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3631	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3641	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3653	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3724	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3725	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3741	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3823	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式

5.7.2. 人口メッシュレイヤを作成する

レイヤを自動で新規作成する場合は、人口インポートツールのレイヤ ID は空欄にしておくこと。レイヤ ID を入力した場合はそのレイヤに地物の追加を行う。

「ダウンロードページからデータをダウンロードする」でダウンロードした統計データを解凍したものをアップロードし、境界データは ZIP 形式のままアップロードし、「送信」をクリックする。

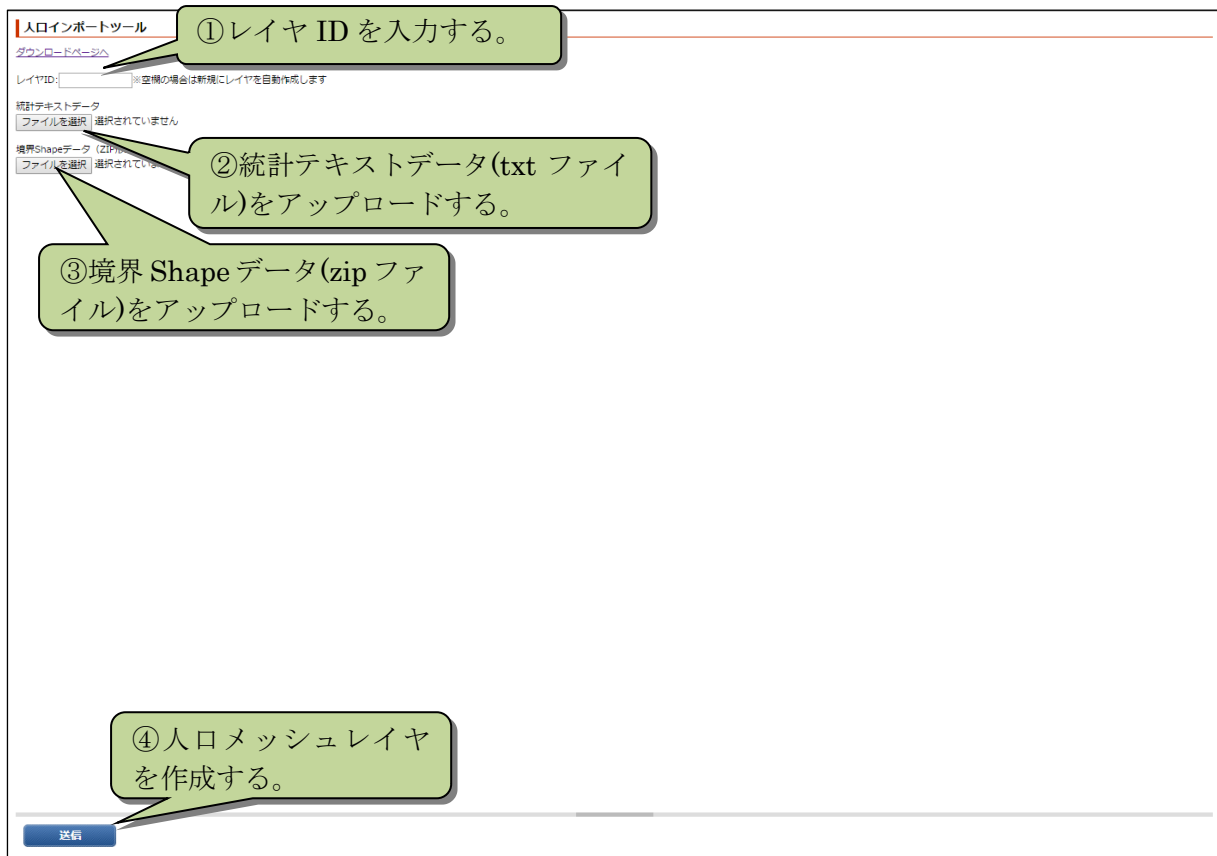


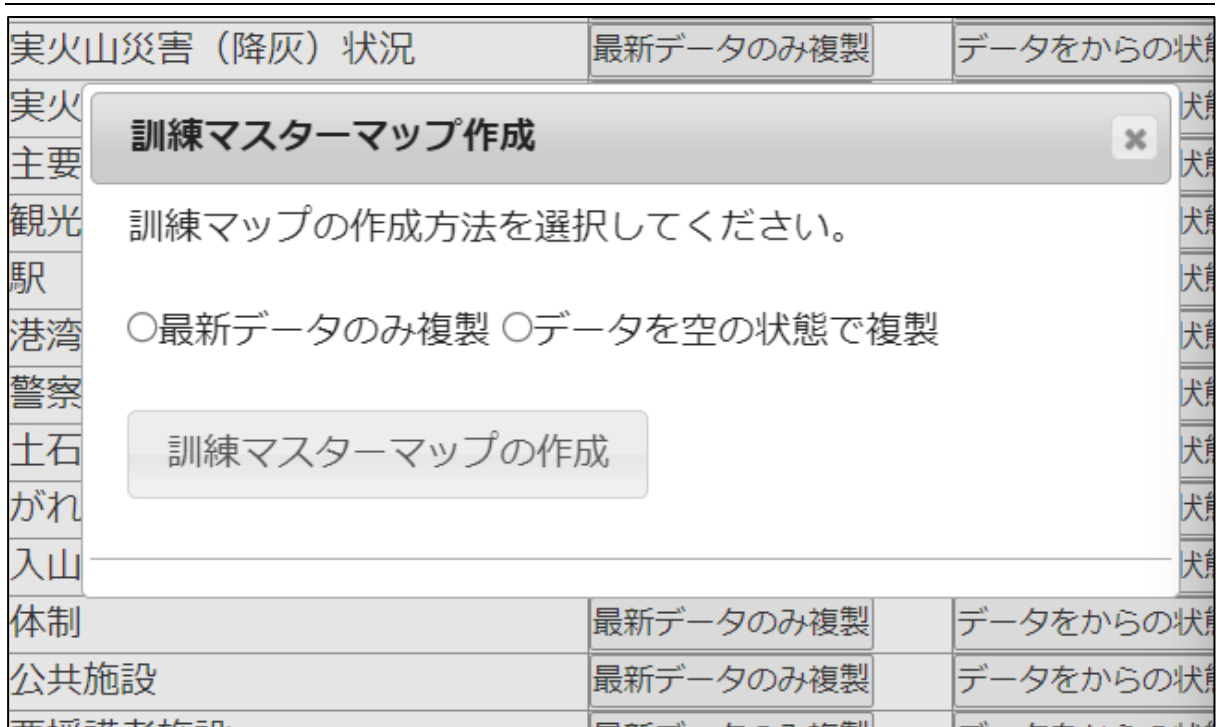
図 5-4 人口メッシュレイヤの作成

5.8. 訓練マップ設定

災害用マスターマップから訓練用マスターマップを作成する。災害用マスターマップから全レイヤを複製して作成または、一部のレイヤのみを本番用マスターマップから訓練用マスターマップに複製することができる。

5.8.1. 本番用マスターマップから訓練用マスターマップの作成

訓練マップ設定画面にて「訓練マップ作成」をクリックすると、訓練マップの作成方法の確認ダイアログを表示する。



訓練マップの作成については下記の動作となる

- 最新データのみ複製・・・本番用マスターマップに登録されているデータを含めて訓練用マスターマップを作成する
- データを空の状態複製・・・本番用マスターマップに登録されているデータは含めず、レイヤ情報のみコピーして訓練用マスターマップを作成する

「訓練マップの作成」をクリックすると、上記の通りの訓練用マスターマップを作成する。

訓練用マスターマップが作成されると、画面上に訓練マスターマップレイヤー一覧が表示される。

訓練マップ設定		訓練用マスターマップにコピー		訓練マスターマップレイヤー一覧	
レイヤID	レイヤ名称	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	レイヤID	レイヤ名称
c1	JSON連携更新対象レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c1	JSON連携更新対象レイヤ
c3	GeoJSON取込点レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c3	GeoJSON取込点レイヤ
c4	GeoJSON取込線レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c4	GeoJSON取込線レイヤ
c5	GeoJSON取込面レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c5	GeoJSON取込面レイヤ
c6	GeoJSON取込マルチ点レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c6	GeoJSON取込マルチ点レイヤ
c7	GeoJSON取込マルチ線レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c7	GeoJSON取込マルチ線レイヤ
c8	GeoJSON取込マルチ面レイヤ	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c8	GeoJSON取込マルチ面レイヤ
c9	ダム	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c9	ダム
c10	被災状況非住家被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c10	被災状況非住家被害
c11	被災状況文教被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c11	被災状況文教被害
c12	被災状況火災発生	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c12	被災状況火災発生
c13	被災状況住家被害（棟）	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c13	被災状況住家被害（棟）
c14	被災状況住家被害（世帯）	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c14	被災状況住家被害（世帯）
c15	被災状況人的被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c15	被災状況人的被害
c16	被災状況住家被害（人）	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c16	被災状況住家被害（人）
c17	被災状況土木被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c17	被災状況土木被害
c18	被災状況ライフライン被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c18	被災状況ライフライン被害
c19	避難所	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c19	避難所
c20	被災状況民生被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c20	被災状況民生被害
c21	被災状況農林被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c21	被災状況農林被害
c22	被災状況保健被害	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c22	被災状況保健被害
c23	水位観測所	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c23	水位観測所
c24	雨量観測所	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c24	雨量観測所
c25	ダム放流情報	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c25	ダム放流情報
c26	緊急避難場所	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c26	緊急避難場所
c27	避難勧告・避難指示の発令単位	最新データのみ複製	データをからの状態で複製	c27	避難勧告・避難指示の発令単位

5.8.2. 任意のレイヤをマスターマップに上書き更新

マスターマップレイヤー一覧の「最新データのみ複製」、「データをからの状態で複製」をクリックすると、任意のレイヤを訓練用マスターマップに上書き更新することができる。

訓練マップ設定																																																																																																																																								
自治体情報	訓練マップ設定 マスターマップレイヤー一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>レイヤーID</th> <th>レイヤー名称</th> <th>訓練用マスターマップにコピー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>c1</td><td>JSON連携更新対象レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c3</td><td>GeoJSON取込点レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c4</td><td>GeoJSON取込線レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c5</td><td>GeoJSON取込面レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c6</td><td>GeoJSON取込マルチ点レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c7</td><td>GeoJSON取込マルチ線レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c8</td><td>GeoJSON取込マルチ面レイヤ</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c9</td><td>ダム</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c10</td><td>被災状況非住家被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c11</td><td>被災状況文教被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c12</td><td>被災状況火災発生</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c13</td><td>被災状況住家被害（棟）</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c14</td><td>被災状況住家被害（世帯）</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c15</td><td>被災状況人的被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c16</td><td>被災状況住家被害（人）</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c17</td><td>被災状況土木被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c18</td><td>被災状況ライフライン被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c19</td><td>避難所</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c20</td><td>被災状況民生被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c21</td><td>被災状況農林被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c22</td><td>被災状況保健被害</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c23</td><td>水位観測所</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c24</td><td>雨量観測所</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c25</td><td>ダム放流情報</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c26</td><td>緊急避難場所</td><td>最新データのみ複製</td></tr> <tr><td>c27</td><td>避難勧告・避難指示の発令単位</td><td>最新データのみ複製</td></tr> </tbody> </table> 訓練マスターマップレイヤー一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>レイヤーID</th> <th>レイヤー名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>c1</td><td>JSON連携更新対象レイヤ</td></tr> <tr><td>c3</td><td>GeoJSON取込点レイヤ</td></tr> <tr><td>c4</td><td>GeoJSON取込線レイヤ</td></tr> <tr><td>c5</td><td>GeoJSON取込面レイヤ</td></tr> <tr><td>c6</td><td>GeoJSON取込マルチ点レイヤ</td></tr> <tr><td>c7</td><td>GeoJSON取込マルチ線レイヤ</td></tr> <tr><td>c8</td><td>GeoJSON取込マルチ面レイヤ</td></tr> <tr><td>c9</td><td>ダム</td></tr> <tr><td>c10</td><td>被災状況非住家被害</td></tr> <tr><td>c11</td><td>被災状況文教被害</td></tr> <tr><td>c12</td><td>被災状況火災発生</td></tr> <tr><td>c13</td><td>被災状況住家被害（棟）</td></tr> <tr><td>c14</td><td>被災状況住家被害（世帯）</td></tr> <tr><td>c15</td><td>被災状況人的被害</td></tr> <tr><td>c16</td><td>被災状況住家被害（人）</td></tr> <tr><td>c17</td><td>被災状況土木被害</td></tr> <tr><td>c18</td><td>被災状況ライフライン被害</td></tr> <tr><td>c19</td><td>避難所</td></tr> <tr><td>c20</td><td>被災状況民生被害</td></tr> <tr><td>c21</td><td>被災状況農林被害</td></tr> <tr><td>c22</td><td>被災状況保健被害</td></tr> <tr><td>c23</td><td>水位観測所</td></tr> <tr><td>c24</td><td>雨量観測所</td></tr> <tr><td>c25</td><td>ダム放流情報</td></tr> <tr><td>c26</td><td>緊急避難場所</td></tr> <tr><td>c27</td><td>避難勧告・避難指示の発令単位</td></tr> </tbody> </table>	レイヤーID	レイヤー名称	訓練用マスターマップにコピー	c1	JSON連携更新対象レイヤ	最新データのみ複製	c3	GeoJSON取込点レイヤ	最新データのみ複製	c4	GeoJSON取込線レイヤ	最新データのみ複製	c5	GeoJSON取込面レイヤ	最新データのみ複製	c6	GeoJSON取込マルチ点レイヤ	最新データのみ複製	c7	GeoJSON取込マルチ線レイヤ	最新データのみ複製	c8	GeoJSON取込マルチ面レイヤ	最新データのみ複製	c9	ダム	最新データのみ複製	c10	被災状況非住家被害	最新データのみ複製	c11	被災状況文教被害	最新データのみ複製	c12	被災状況火災発生	最新データのみ複製	c13	被災状況住家被害（棟）	最新データのみ複製	c14	被災状況住家被害（世帯）	最新データのみ複製	c15	被災状況人的被害	最新データのみ複製	c16	被災状況住家被害（人）	最新データのみ複製	c17	被災状況土木被害	最新データのみ複製	c18	被災状況ライフライン被害	最新データのみ複製	c19	避難所	最新データのみ複製	c20	被災状況民生被害	最新データのみ複製	c21	被災状況農林被害	最新データのみ複製	c22	被災状況保健被害	最新データのみ複製	c23	水位観測所	最新データのみ複製	c24	雨量観測所	最新データのみ複製	c25	ダム放流情報	最新データのみ複製	c26	緊急避難場所	最新データのみ複製	c27	避難勧告・避難指示の発令単位	最新データのみ複製	レイヤーID	レイヤー名称	c1	JSON連携更新対象レイヤ	c3	GeoJSON取込点レイヤ	c4	GeoJSON取込線レイヤ	c5	GeoJSON取込面レイヤ	c6	GeoJSON取込マルチ点レイヤ	c7	GeoJSON取込マルチ線レイヤ	c8	GeoJSON取込マルチ面レイヤ	c9	ダム	c10	被災状況非住家被害	c11	被災状況文教被害	c12	被災状況火災発生	c13	被災状況住家被害（棟）	c14	被災状況住家被害（世帯）	c15	被災状況人的被害	c16	被災状況住家被害（人）	c17	被災状況土木被害	c18	被災状況ライフライン被害	c19	避難所	c20	被災状況民生被害	c21	被災状況農林被害	c22	被災状況保健被害	c23	水位観測所	c24	雨量観測所	c25	ダム放流情報	c26	緊急避難場所	c27	避難勧告・避難指示の発令単位
レイヤーID		レイヤー名称	訓練用マスターマップにコピー																																																																																																																																					
c1		JSON連携更新対象レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c3		GeoJSON取込点レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c4		GeoJSON取込線レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c5		GeoJSON取込面レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c6		GeoJSON取込マルチ点レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c7		GeoJSON取込マルチ線レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c8		GeoJSON取込マルチ面レイヤ	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c9		ダム	最新データのみ複製																																																																																																																																					
c10	被災状況非住家被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c11	被災状況文教被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c12	被災状況火災発生	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c13	被災状況住家被害（棟）	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c14	被災状況住家被害（世帯）	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c15	被災状況人的被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c16	被災状況住家被害（人）	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c17	被災状況土木被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c18	被災状況ライフライン被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c19	避難所	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c20	被災状況民生被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c21	被災状況農林被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c22	被災状況保健被害	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c23	水位観測所	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c24	雨量観測所	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c25	ダム放流情報	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c26	緊急避難場所	最新データのみ複製																																																																																																																																						
c27	避難勧告・避難指示の発令単位	最新データのみ複製																																																																																																																																						
レイヤーID	レイヤー名称																																																																																																																																							
c1	JSON連携更新対象レイヤ																																																																																																																																							
c3	GeoJSON取込点レイヤ																																																																																																																																							
c4	GeoJSON取込線レイヤ																																																																																																																																							
c5	GeoJSON取込面レイヤ																																																																																																																																							
c6	GeoJSON取込マルチ点レイヤ																																																																																																																																							
c7	GeoJSON取込マルチ線レイヤ																																																																																																																																							
c8	GeoJSON取込マルチ面レイヤ																																																																																																																																							
c9	ダム																																																																																																																																							
c10	被災状況非住家被害																																																																																																																																							
c11	被災状況文教被害																																																																																																																																							
c12	被災状況火災発生																																																																																																																																							
c13	被災状況住家被害（棟）																																																																																																																																							
c14	被災状況住家被害（世帯）																																																																																																																																							
c15	被災状況人的被害																																																																																																																																							
c16	被災状況住家被害（人）																																																																																																																																							
c17	被災状況土木被害																																																																																																																																							
c18	被災状況ライフライン被害																																																																																																																																							
c19	避難所																																																																																																																																							
c20	被災状況民生被害																																																																																																																																							
c21	被災状況農林被害																																																																																																																																							
c22	被災状況保健被害																																																																																																																																							
c23	水位観測所																																																																																																																																							
c24	雨量観測所																																																																																																																																							
c25	ダム放流情報																																																																																																																																							
c26	緊急避難場所																																																																																																																																							
c27	避難勧告・避難指示の発令単位																																																																																																																																							
自治体グループ																																																																																																																																								
ユーザ・メニュー階層																																																																																																																																								
時系列化																																																																																																																																								
災害類型統合化																																																																																																																																								
ウィザード																																																																																																																																								
人口インポート																																																																																																																																								
訓練マップ設定																																																																																																																																								

5. 8. 3. 訓練用マスターマップの上書き

既に訓練用マスターマップが作成済みの状態で、訓練用マスターマップを作成しようとすると、ダイアログに注意書きが表示される。

CSV出力テストレイヤ（点）	最新データのみ複製	データをからの状態で複製
実火山災害（降灰）状況	最新データのみ複製	データをからの状態で複製
実火山主要		データをからの状態で複製
観光		データをからの状態で複製
沢		データをからの状態で複製
港湾		データをからの状態で複製
警察		データをからの状態で複製
土石		データをからの状態で複製
がれ		データをからの状態で複製
入山		データをからの状態で複製
本制	最新データのみ複製	データをからの状態で複製
公共施設	最新データのみ複製	データをからの状態で複製

訓練マスターマップ作成

訓練マップの作成方法を選択してください。

※訓練マスタマップが作成済みです。

既存のマップとは別のマップを作成します。

最新データのみ複製 データを空の状態で複製

訓練マスターマップの作成

新たに作成したマップが訓練用マスターマップとなり、古い訓練用マスターマップはマスターマップの権利を失う（マップ自体は残す）

6. 設定画面説明

6.1. 設定・管理メニュー(自治体)

設定・管理メニュー(自治体)は、システム管理者及び、管理権限が与えられたユーザが設定を行うことができる。以下に、各メニューでの基本操作について説明する。

6.1.1. ログイン

本項では、ユーザの追加、編集、削除、権限変更を行う「ユーザ」画面について説明する。

6.1.1.1 班

自治体>ログイン>班を選択すると下図のような画面が表示される。班情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、Open-Xedge にアクセスするユーザの追加、編集、削除、権限変更等の設定を行うことができる。

設定・管理メニュー		班																		
全て折返す 全て展開		班情報																		
自治体		ID	自治体ID	班名	eコミマツ	管理権限	本部権限	ホーム (Wi)	解像度 (デ)	班名カナ(コ)	電話番号(コ)	FAX番号(コ)	EメールA(コ)	住所(コ)	モ>	ドメイン(コ)	備考	表示順	有効・無効	
ログイン	班	0	0:0	admin		true	false		指定なし										1	有効
	班	1	1:愛知	本部	admin	true	true		指定なし									推薦設定用	1	有効
	班	2	1:愛知	総務担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	4	有効
	班	3	1:愛知	広報担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	5	有効
	班	4	1:愛知	消防本部	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	10	有効
	班	5	1:愛知	遊藝所担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	11	有効
	班	6	1:愛知	保健担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	12	有効
	班	7	1:愛知	道路担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	20	有効
	班	8	1:愛知	河川担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	21	有効
	班	9	1:愛知	商工担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	32	有効
	班	10	1:愛知	施設担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	40	有効
	班	11	1:愛知	民生担当	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	45	有効
	班	12	1:愛知	上位機関	admin	false	false		指定なし									推薦設定用	101	有効
	班	13	1:愛知	管理者	admin	true	true		指定なし									推薦設定用	999	有効

図 6-1 班画面

(1) 班情報の編集

Open-Xedge では、ユーザは「本部」「総務担当」等の部署名で登録され、このユーザのことを「班」として管理している。以下ではこの班情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 班情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・班情報ダイアログが表示される。

班

ID	自治体ID	班名	eコママップ	管理権限	本部権限	ホーム	WKT	解像度 (デ)	班名カナ	電話番号	FAX番号	Eメール	住所	コモン	ドメイン	備考	表示順	有効・無効
0	0	admin		true	false			指定なし									1	有効
1	1	愛知 本部	admin	true	true			指定なし								推奨設定用	1	有効
2	1	愛知 総務担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	4	有効
3	1	愛知 広報担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	5	有効
4	1	愛知 消防本部	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	10	有効
5	1	愛知 遊覧所担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	11	有効
6	1	愛知 保健担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	12	有効
7	1	愛知 道路担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	20	有効
8	1	愛知 河川担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	21	有効
9	1	愛知 商工担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	32	有効
10	1	愛知 施設担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	40	有効
11	1	愛知 民生担当	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	45	有効
12	1	愛知 上位機関	admin	false	false			指定なし								推奨設定用	101	有効
13	1	愛知 管理者	admin	true	true			指定なし								推奨設定用		

追加・班情報ダイアログが表示される

登録ボタン

「*」は必須入力項目

図 6-2 登録ボタン>追加・班情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-1 追加・班情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	班が所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	班名	班名を入力する。災害時のログイン ID になる。	総括班（防災 危機管理課）
③	ログインパスワード	利用者画面及び、管理画面に入るためのパスワードを設定する。	password
④	e コミマップのアカウント	e コミマップで設定したアカウントを設定する。	user
⑤	管理権限	管理権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は下記 A) を参照。	true
⑥	本部権限	本部権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は下記 B) を参照。	true
⑦	ホーム (WKT)	地図の初期表示位置を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
⑧	地図へ	地図の初期表示位置を WKT で設定する地図画面を開く。	
⑨	解像度 (デフォルト 0) (目安)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
⑩	班名カナ (コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報としてカタカナで班名を入力する。	ソウカツハン
⑪	電話番号 (コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として電話番号を入力する。	01-2222-3333
⑫	FAX 番号 (コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として FAX 番号を入力する。	01-2222-4444
⑬	E メールアドレス	コモンズの発信作成組織情報として	commons@comm

	(コモンズ発信作成組織情報)	E メールアドレスを入力する。	ons. co. jp
⑭	住所(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として住所を入力する。	〇〇県〇〇市
⑮	ドメイン(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報としてドメインを入力する。	domain. co. jp
⑯	検索文字列		
⑰	ロゴ画像ファイル	システムの左下に表示するロゴ画像のファイルパスが表示される	/images/logo/16/ban_nied.png
⑱	ロゴ画像ファイルアップロード	システムの左下に表示するロゴ画像をアップロードする。	ban_nied.png
⑲	メタデータ更新通知	True の場合、地図画面でメタデータ更新通知を表示する。False の場合は通知しない。	
⑳	備考	備考欄。	(なし)
21	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で班一覧が表示される時、上位に表示される。	1
㉑	有効・無効	班情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
㉒	保存	各項目に設定された値が登録される。	
㉓	キャンセル	追加・班情報ダイアログが閉じる。	

A) 管理権限について

管理権限は、Open-Xedge の管理画面にアクセスして、閲覧・編集できるかの制限を行う。true/false で管理を行っており、true の場合は、管理画面にアクセスし、閲覧・編集を行うことができる。false の場合は、管理画面にアクセスすることが出来ず、管理画面のログイン時に権限が無い旨のメッセージが表示される。

B) 本部権限について

本部権限は本部固有の機能である、本部の設置/廃止、体制発令/移行/解除、避難発令、本部会議録、被災状況、集計の機能を使用できるかの制限を行う。true/false で管理を行っており、true の場合は、本部固有の機能を利用することが出来る。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、班情報一覧にデータが新規追加される。

2) 班情報を編集する

編集を行いたい班情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・班情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された班情報のデータが設定されている。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) API キーについて

班情報の編集から危機管理アシスト(Open-Xedge スマートフォンアプリケーション)を利用するためのAPIキーを発行することができる。

「再発行」をクリックするとAPIキーが新たに生成され、以前のAPIキーが使用できなくなる。「削除」をクリックすると、APIキーが削除される。

ID	68
自治体ID(*)	8 : test test市
班名(*)	管理者
ログインパスワード(*)	
eコママップのアカウント(*)	admin
管理権限(*)	true
本部権限(*)	true
ホーム (WKT)	
解像度 (デフォルト0) (目安)	指定なし
班名カナ(コモンズ発信作成組織情報)	
電話番号(コモンズ発信作成組織情報)	
FAX番号(コモンズ発信作成組織情報)	
Eメールアドレス(コモンズ発信作成組織情報)	
住所(コモンズ発信作成組織情報)	
ドメイン(コモンズ発信作成組織情報)	
APIキー	67e1d662-fa1a-4040-a31b-8ae2b6b091a8 <input checked="" type="radio"/> 再発行 <input type="radio"/> 削除
備考	
表示順(*)	999
有効・無効(*)	有効

図 6-3 API キーについて

3) 班情報を削除する

データの削除を行いたい班情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・班情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の班情報を削除することができる。削除・班情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 班情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに班の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 班情報をコピーする

登録済み班の情報をコピーし、それをもとに新たに班を作成することができる。

コピー元となる班情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・班情報ダイアログが表示される。

全コピーのチェックを入れると、「班」に紐づく「ユーザ情報」を含めてコピーを行う。

The screenshot shows the 'Class' management interface. On the left is a navigation menu with '班' (Class) selected. The main area displays a table of class information. Below the table, a 'レコードコピー・班情報' (Record Copy - Class Information) dialog box is open, showing a form to copy class details. An orange arrow points from the 'コピー' (Copy) button in the table to the dialog box. A callout box points to the dialog box with the text 'レコードコピー・班情報ダイアログが表示される' (Record Copy - Class Information dialog is displayed).

ID	自治体ID	班名	eコママップ	管理権限	本部権限	ホーム (W)	解像度 (デ)	班名カナ	電話番号	FAX番号	Eメール	住所(コモン)	ドメイン	備考	表示順	有効・無効
0	0:0	admin		true	false		指定なし									1 有効
1	1:愛知	本部	admin	true	true		指定なし									1 有効
2	1:愛知	総務担当	admin	false	false		指定なし									4 有効
3	1:愛知	広報担当	admin	false	false		指定なし									5 有効
4	1:愛知	消防本部	admin	false	false		指定なし									10 有効
5	1:愛知	遊覧所担当	admin	false	false		指定なし									11 有効
6	1:愛知	保健担当	admin	false	false		指定なし									12 有効
7	1:愛知	道路担当	admin	false	false		指定なし									20 有効
8	1:愛知	河川担当	admin	false	false		指定なし									21 有効
9	1:愛知	商工担当	admin	false	false		指定なし									32 有効
10	1:愛知	施設担当	admin	false	false		指定なし									40 有効
11	1:愛知	民生担当	admin	false	false		指定なし									45 有効
12	1:愛知	上位機関	admin	false	false		指定なし									101 有効
13	1:愛知	管理者	admin	true	true		指定なし									999 有効

レコードコピー・班情報ダイアログのフィールド:

- 自治体ID(*): 1:愛知
- 班名(*): 本部
- ログインパスワード(*):
- eコママップのアカウント(*): admin
- 管理権限(*): true
- 本部権限(*): true
- ホーム (WKT):
- 解像度 (デフォルト0) (目安): 指定なし
- 班名カナ(コモンズ発信作成組織情報):
- 電話番号(コモンズ発信作成組織情報):
- FAX番号(コモンズ発信作成組織情報):
- Eメールアドレス(コモンズ発信作成組織情報):
- 住所(コモンズ発信作成組織情報):
- ドメイン(コモンズ発信作成組織情報):
- 備考:
- 表示順(*): 1
- 有効・無効(*): 有効

全コピー 保存 キャンセル

図 6-4 コピーボタン>レコードコピー・班情報ダイアログ

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに班が作成される。全コピーにチェックを入れて保存ボタンを押下した場合、選択されている班情報の下位の階層に登録されているデータをコピーして、班の作成が行われる。

(2) ユーザ情報

登録されているユニット情報の下位の階層には、ユーザ情報が存在する。ユーザ情報では、班に属している構成員の個人情報を管理することができる。以下にユーザ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	自治体ID	ユニット名	eコママップの:	管理権限	ホーム (WKT)	解像度 (デフォ)	代表電話番号	FAX番号	メールアドレス	備考	表示順	有効・無効	
1	1: 愛知	本部Aユニット	admin	false		指定なし					1	有効	
ユーザ情報													
ID	班ID	ユニットID	職員番号など	名前	役割	電話番号	携帯電話番号	メールアドレス	携帯電話のメ	PUSH通知	備考	表示順	有効・無効
1	1: 本部	1: 本部Aユニ:		本部Aユニット								1	有効
2	1: 本部	1: 本部Aユニ:		本部Aユニット								2	有効

図 6-5 ユーザ情報

1) ユーザ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ユーザ情報ダイアログが表示される。

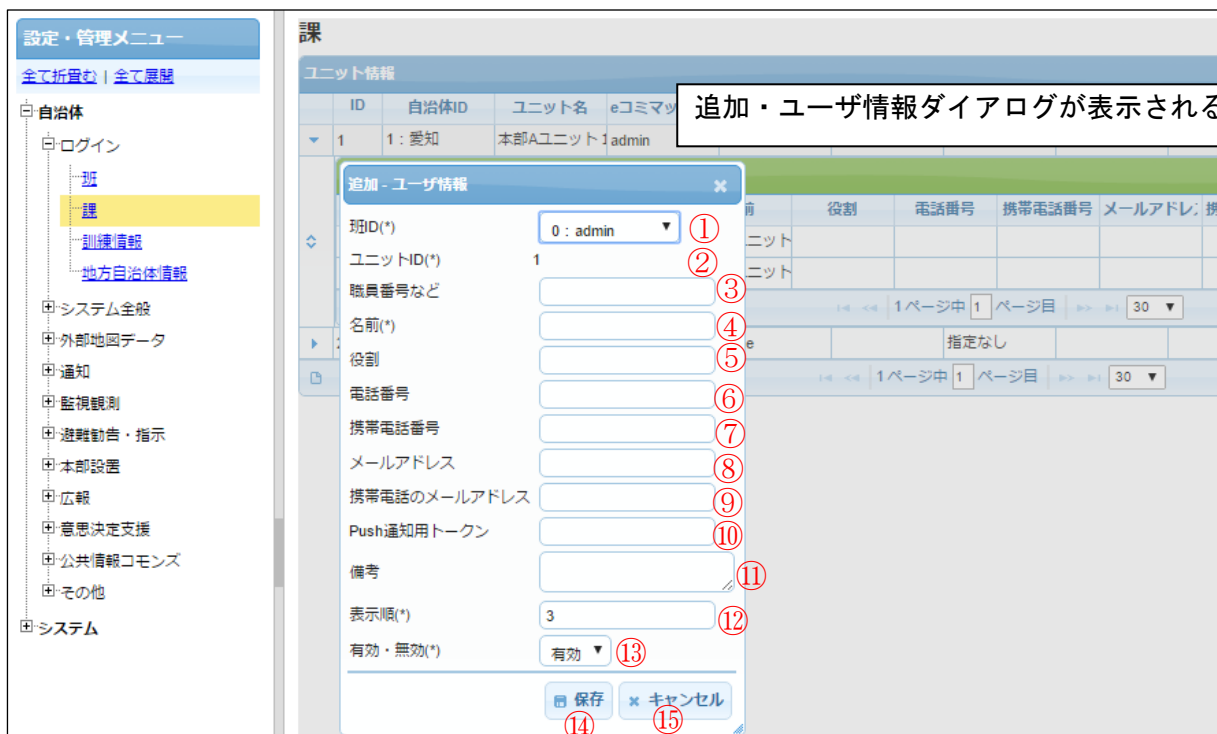


図 6-6 登録ボタン>追加・ユーザ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-2 追加・ユーザ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班 ID	ユーザ情報の班を選択する。	1 : 総括班 (防災危機管理課)
②	ユニット ID	所属しているユニット (課) の ID が自動で割り当てられる。	
③	職員番号など	職員番号などを記載する。	111
④	名前	ユーザの名前を記載する。	防災 太郎
⑤	役割	所属や役職などの役割を記載する。	課長
⑥	電話番号	ユーザの(固定)電話番号を記載する。	000-000-0000
⑦	携帯電話番号	ユーザの(携帯)電話番号を記載する。	090-090-0909
⑧	メールアドレス	(PC)メールアドレスを記載する。	tarou@aa.city.jp
⑨	携帯電話のメールアドレス	(携帯)メールアドレスを記載する。	090090@xx.net.jp
⑩	Push 通知用トークン	Push 通知用トークンを入力する。Android の場合は、「android:」、iPhone の場合は「iphone:」とトークンの前につける。	android:aaa00
⑪	備考	備考欄。	(なし)
⑫	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でユーザ情報が表示される時、上位に表示される。	5
⑬	有効・無効	ユーザ情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑭	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはユーザ情報一覧に表示される。	
⑮	キャンセル	追加・ユーザ情報ダイアログを閉じる。	

必須情報及び、任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、ユーザ情報一覧にデータが新規追加される。

2) ユーザ情報を編集する

編集を行いたいユーザ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ユーザ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたユーザ情報のデータが設定される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-2 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) ユーザ情報を削除する

データの削除を行いたいユーザ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ユーザ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のユーザ情報を削除することができる。削除・ユーザ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) ユーザ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにユーザ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) ユーザ情報をコピーする

登録済みユーザ情報をコピーし、それをもとに新たにユーザ情報を作成することができる。コピーボタンを押下するとレコードコピー・ユーザ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-2 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにユーザ情報が作成される。

6.1.1.2 課

(1) ユニット情報の編集

登録されている班情報の下位の階層には、ユニット情報が存在する。班に所属している構成員をグループ単位で管理することができる。そのグループを管理するのがユニット情報である。以下にユニット情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	自治体ID	ユニット名	eコママップの	管理権限	ホーム (WKT)	解像度 (デフォ)	代表電話番号	FAX番号	メールアドレス	備考	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	本部Aユニット1	admin	false		指定なし					1	有効
2	1: 愛知	本部Aユニット2	admin	false		指定なし					2	有効

図 6-7 ユニット情報一覧

1) ユニット情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ユニット情報ダイアログが表示される。

追加・ユニット情報ダイアログが表示される

登録ボタン

「*」は必須入力項

ID	自治体ID	ユニット名	eコミマップの	管理権限	ホーム (WKT)	解像度 (デフォ)	代表電話番号	FAX番号	メールアドレス	備考	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	本部Aユニット1 admin		false		指定なし					1	有効
2	1: 愛知	本部Aユニット2 admin										

追加・ユニット情報

自治体ID(*) 190: 陸上自衛隊・西部方面隊 ①

ユニット名(*) ②

ログインパスワード(*) ③

eコミマップのアカウント(*) ④

管理権限(*) false ⑤

ホーム (WKT) ⑥ 地図へ ⑦

解像度 (デフォルト0) (目安) 指定なし ⑧

代表電話番号 ⑨

FAX番号 ⑩

メールアドレス ⑪

検索文字列 ⑫

ロゴ画像ファイル ⑬

ロゴ画像ファイルアップロード ファイルを選択 ⑭ 選択されていません

備考 ⑮

表示順(*) 12 ⑯

有効・無効(*) 有効 ⑰

保存 ⑱ キャンセル ⑲

図 6-8 登録ボタン>追加・ユニット情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-3 追加・ユニット情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属している班の ID が自動で割り当てられる。	
②	ユニット名	ユニット（課）名称を設定する。平常時のログイン ID になる。	総務課
③	ログインパスワード	利用者画面及び、管理画面に入るためのパスワードを設定する。	password
④	e コミマップのアカウント	e コミマップで設定したアカウントを設定する。	user
⑤	管理権限	管理権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は 6.1.1.1 A) を参照。	true
⑥	ホーム (WKT)	地図の初期表示位置を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
⑦	地図へ	地図の初期表示位置を WKT で設定する地図画面を開く。	
⑧	解像度 (デフォルト 0) (目安)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
⑨	代表電話番号	ユニット代表者の連絡先を記載する。	000-000-0000
⑩	FAX 番号	ユニット代表者の FAX 番号を記載する。	000-000-0000
⑪	メールアドレス	ユニット代表者のメールアドレスを記載する。	uni@aa.city.jp
⑫	備考	備考欄。	(なし)
⑬	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でユニット情報が表示されるとき、上位に表示される。	1
⑭	有効・無効	ユニット情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑮	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはユニット情報一覧に表示される。	
⑯	キャンセル	追加・ユニット情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、ユニット情報一覧にデータが新規追加される。

2) ユニット情報を編集する

編集を行いたいユニット情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ユニット情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたユニット情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-3 を参照すること。(API キーについては A)API キーについてを参照すること。)

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) API キーについて

ユニット情報の編集から危機管理アシスト(Open-Xedge スマートフォンアプリケーション)を利用するための API キーを発行することができる。

「再発行」をクリックすると API キーが新たに生成され、以前の API キーが使用できなくなる。「削除」をクリックすると、API キーが削除される。

ID	4
自治体ID(*)	8 : test test市
ユニット名(*)	ユニット2
ログインパスワード(*)	
eコミマップのアカウント(*)	admin
管理権限(*)	false
ホーム (WKT)	
解像度 (デフォルト0) (目安)	指定なし
代表電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
APIキー	
備考	
表示順(*)	3
有効・無効(*)	有効

図 6-9 API キーについて

3) ユニット情報を削除する

データの削除を行いたいユニット情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ユニット情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のユニット情報を削除することができる。削除・ユニット情報ダイアログの詳細は4.2.1を参照。

4) ユニット情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにユニット情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は4.2.2を参照。

5) ユニット情報をコピーする

登録済みユニット情報をコピーし、それをもとに新たにユニット情報を作成することができる。コピーボタンを押下するとレコードコピー・ユニット情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-3 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにユニット情報が作成される。

6.1.1.3 地方自治体情報

自治体>ログイン>地方自治体情報を選択する。

連携したい市町村の「地方自治体情報」の都道府県（自治体 ID）に、都道府県の ID を指定する。

図 6-10 地方自治体情報について

表 6-4 地方自治体情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体毎のドメイ	システムのドメイン	XXX.XX.XX

	ン		
②	システム名	システムの名称	災害対応システム
③	地方自治体種別	自治体の区分を選択する。	2:市区町村
④	都道府県（自治体ID）	③が「市区町村」のとき、県との連携を設定する場合に登録されている自治体のIDを指定する。 なお県コードを入力しないとリストに項目が表示されないので注意。	1:〇〇県
⑤	県名	自治体の所属する県の名称	〇〇県
⑥	県コード	自治体の所属する県のコード	15
⑦	市区町村	自治体の所属する市区町村	△△市
⑧	市町村コード	自治体の所属する市区町村のコード	204
⑨	予備	未使用	
⑩	自動発報フラグ	自動的にアラームを発報するかを指定する。 true にすると利用者画面のヘッダ部の自動発報ボタンが「自動発報有効」となり、false にすると「自動発報無効」となる。 利用者画面から設定することも可能。	True
⑪	自動発報時の班名（コモンズ発信作成組織情報）	班情報に登録された情報のIDを選択する。 Lアラートに情報発信する際の発信元情報になる。	1:災害対策本部
⑫	アラーム取得間隔	テロップとアラームの循環チェックの間隔（秒） この設定でサーバへの定期的な通信が発生する。	120
⑬	SMTP サーバ	SMTP サーバアドレスを設定する。ここで設定されるサーバでメール送信処理を行う。	xx.xx.xx
⑭	送信用メールアドレス	システムから送信されるメールのFromアドレスの設定をする。	xxxx@xx.xx.xx
⑮	座標 10 進法表記	座標の 10 進法表記を設定する。 無効:60 進法（度分秒） 有効:10 進法	無効
⑯	言語コード	システムの言語を設定する。 1:en 英語 2:ja 日本語	2:ja

⑰	ロゴ画像ファイル	システムの左下に表示するロゴ画像のファイルパスが表示される	/images/logo /16/ban_nied .png
⑱	ロゴ画像ファイル アップロード	システムの左下に表示するロゴ画像をアップロードする。	ban_nied.png
⑲	会議録保存種別	会議録の保存種別を設定する。	一覧
⑳	SIP4D 試験フラグ モード	SIP4D-ZIP(ベクター・ラスター)のテストフラグを自動判定・強制訓練・強制試験から選択し設定する。	自動判定
㉑	SIP4D-ZIPversion	SIP4D-ZIP version を設定する。 ・ 1.1 ・ 1	1.1
㉒	備考	備考欄	(なし)
㉓	有効・無効	自治体の有効・無効を切り替える。	有効

6.1.2. システム全般

本項では、Open-Xedge で表示されるメニューや画面表示項目の設定、外部機能との連携、及び、e コミマップで作成された地図を表示するための設定を行う機能について説明する。

6.1.2.1 メニュー階層

自治体>システム全般>メニュー階層 を選択すると下図のような画面が表示される。メニュー設定情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ユーザと災害種別に紐づいてメニュー階層が構成されており、その最上位階層である、ユーザと災害種別の組み合わせが、メニュー設定情報として一覧で表示される。

メニュー階層は、プロセス>タスク>メニュー のような構造をしている。プロセスは災害対応業務の基本項目、タスクはプロセスの詳細業務項目、メニューはタスクの処理区分を示しており、それぞれ個別に設定を行うことができる。

メニュー階層は利用者画面を構成している。メニュー階層の最下位の階層（タスクメニュー情報）まで設定を行うことで、利用者画面が表示されるようになる。

ID	メニュー名	プロセス	タスク	災害種別	ユーザ	有効/無効
31	125: 総務課 (防災危機管理課)	2: 総務	2: 総務	2: 総務	匿名	有効
40	132: 危機管理課 (危機管理課)	2: 危機管理	2: 危機管理	2: 危機管理	匿名	有効
61	133: 総務課 (総務課)	2: 総務	2: 総務	2: 総務	匿名	有効
63	156: 消防団 (消防団)	2: 消防	2: 消防	2: 消防	匿名	有効
64	159: 消防団 (消防団)	2: 消防	2: 消防	2: 消防	匿名	有効
71	157: 社会福祉対策課 (社会福祉課)	2: 社会福祉	2: 社会福祉	2: 社会福祉	匿名	有効
72	160: 消防本部	2: 消防	2: 消防	2: 消防	匿名	有効
73	155: 消防団 (消防団)	2: 消防	2: 消防	2: 消防	匿名	有効
74	158: 産業対策課 (産業対策課)	2: 産業	2: 産業	2: 産業	匿名	有効
76	161: 衛生課	2: 衛生	2: 衛生	2: 衛生	匿名	有効
77	154: 消防団 (消防団)	2: 消防	2: 消防	2: 消防	匿名	有効
78	162: GUEST	2: 総務	2: 総務	2: 総務	匿名	有効

図 6-11 メニュー階層画面

(1) メニュー設定情報の編集

Open-Xedge では、ユーザと災害種別に紐づいてメニューが構成されており、その最上位階層である、ユーザと災害種別の組み合わせが、メニュー設定情報として取り扱われている。以下ではこのメニュー設定情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) メニュー設定情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー設定情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 登録ボタン

メニュー階層

ID	班ID	災害種別
▶ 31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波
▶ 60	152:広報班(広聴広報課)	2:地震・津波
▶ 61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波
▶ 63	156:避難対策班(地域づくり推進課)	2:地震・津波
▶ 64	159:建設班(建設課)	2:地震・津波
▶ 71	157:社会福祉対策班(地域福祉課)	2:地震・津波
▶ 72	160:消防本部	2:地震・津波
▶ 73	155:財政輸送担当班(財政課)	2:地震・津波
▶ 74	158:産業対策班(商工労働課)	2:地震・津波
▶ 75	161:岩手県	2:地震・津波
▶ 77	154:情報対策班(総合政策課)	2:地震・津波
▶ 78	162:GUEST	2:地震・津波

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム

追加・メニュー設定情報ダイアログが表示される

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測

メニュー階層

追加 - メニュー設定情報

班ID(*) 125:総括班(防災危機管理課) ①

災害種別(*) 1:水土砂 ②

備考 ③

有効・無効(*) 有効 ④

保存 ⑤ × キャンセル ⑥

「*」は必須入力項

図 6-12 登録ボタン>追加・メニュー設定情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-5 追加・メニュー設定情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班 ID	メニュー設定情報と紐づく班 ID をドロップダウンリストにより選択する。	125 : 総括班 (防災危機管理課)
②	課 ID	メニュー設定情報と紐づく課 ID をドロップダウンリストにより選択する	本部 A ユニット1
③	災害種別	1:災害時、0:平常時を選択する。	1:災害時
④	備考	備考欄。	〇〇市用
⑤	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	保存	設定された情報を保存します。保存されたデータはメニュー設定情報一覧に表示する。	
⑦	キャンセル	追加・メニュー設定情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュー設定情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー設定情報を編集する

編集を行いたいメニュー設定情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー設定情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー設定情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-5 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニュー設定情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー設定情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー設定情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー設定情報を削除することができる。削除・メニュー設定情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー設定情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー設定情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー設定情報をコピーする

登録済みメニュー設定情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー設定情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-5 を参照。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 広報
- 公共情報 commons
- その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別
▶ 31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波
▶ 60	152:広報班(広聴広報課)	2:地震・津波
▶ 61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波
▶ 63	156:避難対策班(地域づくり推進課)	2:地震・津波
▶ 64	159:建設班(建設課)	2:地震・津波
▶ 71	157:社会福祉対策班(地域福祉課)	2:地震・津波
▶ 72	160:消防本部	2:地震・津波
▶ 73	155:財政輸送担当班(財政課)	2:地震・津波
▶ 74	158:産業対策班(商工労働課)	2:地震・津波
▶ 76	161:岩手県	2:地震・津波
▶ 77	154:情報対策班(総合政策課)	2:地震・津波
▶ 78	162: GUEST	2:地震・津波

1 ページ中 1 ページ目 30

コピーボタン

レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測

メニュー階層

種ID	災害種別
管理課)	2:地震・津波
課)	2:地震・津波
づくり推進課)	2:地震・津波
地域福祉課)	2:地震・津波
財政課)	2:地震・津波

レコードコピー - メニュー設定情報

種ID(*) 125:総括班(防災危機管理課)

災害種別(*) 2:地震・津波

備考 釜石市用

有効・無効(*) 有効

全コピー 送信 キャンセル

図 6-13 コピーボタン>レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログ

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー設定情報が作成される。全コピーにチェックを入れて送信ボタンを押下した場合、選択されているメニュー設定情報の下位の階層に登録されているデータをコピーして、メニュー設定情報の作成が行われる。

(2) メニュープロセス情報の編集

登録されているメニュー設定情報の下位の階層には、メニュープロセス情報が存在する。メニュープロセス情報では災害対応業務の基本項目であるプロセスを管理することができる。以下にメニュープロセス情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) [eコマンド](#)

設定・管理メニュー
全て所蔵を | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー情報
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ノート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報 commons
その他

メニュー階層

メニュー設定情報

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセス情報

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効
60	31	4.人命救助	true	4		有効
61	31	5.本部設置	true	5		有効
62	31	6.避難所	true	6		有効
63	31	7.道路規制・閉鎖	true	7		有効
988	31	8.倉庫管理	true	8		有効
989	31	9.発電機管理	true	9		有効

1 ページ中 1 ページ目 30 9件中 1-9を表示

60	152:広報班(広報広聴課)	2:地震・津波	釜石市用	有効
61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

図 6-14 メニュープロセス情報一覧

1) メニュープロセス情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管
eコマンド

設定・管理メニュー
全て所属先 | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュープロセス情報
メニュープロセス種類
地図マスター情報
属性ノート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置

メニュー階層

メニュー設定情報

ID	班ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセス情報

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効
60	31	4.人命救助	true	4		有効
61	31	5.本部設置	true	5		有効
62	31	6.避難所	true	6		有効
63	31	7.道路規制・閉鎖	true	7		有効
64	31	8.倉庫管理	true	8		有効
65	31	9.発電機管理	true	9		有効

登録ボタン

追加・メニュープロセス情報ダイアログが表示される

図 6-15 登録ボタン>追加・メニュープロセス情報ダイアログ

「*」は必須入力項

編集 - メニュープロセス情報

ID 574

メニュー設定情報(*) 75 ①

名称(*) 1.監視・観測 ②

重要フラグ(*) false ③

表示・非表示(*) true ④

表示順(*) 1 ⑤

備考 ⑥

有効・無効(*) 有効 ⑦

保存 ⑧ × キャンセル ⑨

ID	班ID	名称	備考
75	65 : 本部	3 : ユニット	
79	72 : 総務担当		
80	73 : 広報担当		

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-6 追加・メニュープロセス情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニュー設定情報	選択されているメニュー設定情報の ID が自動入力される。	
②	名称	メニュープロセス名称を記載する。第 1 階層のタブ名称になる。	1. 避難勧告・指示
③	重要フラグ	メニュープロセスタブに重要度を表す☆マークを付ける。	true
④	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。詳細は下記 A) を参照。	true
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑥	備考	備考欄。	(なし)
⑦	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効
⑧	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニュープロセス情報一覧に表示される。	
⑨	キャンセル	追加・メニュープロセス情報ダイアログを閉じる。	

A) 表示・非表示項目について

表示・非表示設定は、該当項目の利用者画面上への表示可否を設定する。

true/false で管理を行っており、true の場合は、該当項目が利用者画面上に表示される。false の場合は、利用者画面に項目の表示が行われない。



図 6-16 該当項目の表示



図 6-17 該当項目の非表示

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュープロセス情報一覧にデータが新規追加される。

但し、メニュープロセス情報に関して、メニュープロセス情報の最下位の階層にあるタスクメニュー情報の設定を行うまで利用者画面上に追加情報が反映されない。

追加工所
(表示順が最後の場合)

	管理番号	地区名	発令状況	発令時刻	対象世帯数	最終更新日
合計	-	-	-	-	14110	
地域	98	その他			6500	17205
地域	38-2	大字平田第9地割	避難勧告		198	535
地域	65-2	唐丹町字桜峠	避難指示			2014/03/07 16:19:37
地域	66	東町町	避難指示		166	374
地域	96	両石町第5地割	なし		49	127
地域	95	両石町第4地割	なし		49	127
地域	94	両石町第3地割	なし		49	127
地域	93	両石町第2地割	避難準備情報		49	127
地域	91	片岸町第10地割	なし		36	95
地域	90	片岸町第9地割	なし		36	95
地域	89	片岸町第8地割	なし		36	95
地域	88	片岸町第6地割	なし		36	95
地域	87	片岸町第5地割	なし		36	95
地域	86	片岸町第4地割	なし		36	95
地域	85	片岸町第3地割	なし		36	95
地域	84	片岸町第2地割	なし		36	95

図 6-18 利用者画面への反映（メニュープロセス情報）

メニュープロセス情報を編集する

編集を行いたいメニュープロセス情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュープロセス情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-6 を参照。

The screenshot shows the 'Menu Hierarchy' table in the management interface. The table has columns for ID, Menu Setting Information, Name, Display/Non-display, Display Order, Remarks, and Effective/Ineffective. The selected row is ID 57, '1. 避難勧告・指示'.

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
31	125:総括種(防災危機管理課)	2:地震・津波	磐石市用		有効	
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効
60	31	4.人命救助	true	4		有効
61	31	5.本部設置	true	5		有効
62	31	6.避難所	true	6		有効
63	31	7.道路規制・啓開	true	7		有効
988	31	8.倉庫管理	true	8		有効
989	31	9.資機材管理	true	9		有効

The 'Edit Menu Process Information' dialog box is open, showing the details for ID 57. The fields are: ID (57), Menu Setting Information (31), Name (1. 避難勧告・指示), Display/Non-display (true), Display Order (1), Remarks (empty), and Effective/Ineffective (有効). Buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) are visible.

Annotations in the image: '編集ボタン' (Edit button) points to the edit icon in the table. '編集・メニュープロセス情報ダイアログが表示される' (Edit menu process information dialog is displayed) points to the dialog box.

図 6-19 編集ボタン>メニュープロセス情報ダイアログ

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面への該当項目も更新される。

変更箇所
(表示順が先頭のメニュープロセスを変更した場合)

対象人数	備考	最終更新日時
36244	-	-
98	その他	6500
38-2	大字平田第9地割	198
65-2	唐戸町字桜峠	198
66	東野町	166
96	両石町第5地割	49
95	両石町第4地割	49
94	両石町第3地割	49
93	両石町第2地割	49
91	片岸町第10地割	36
90	片岸町第9地割	36
89	片岸町第8地割	36
88	片岸町第6地割	36
87	片岸町第5地割	36
86	片岸町第4地割	36
85	片岸町第3地割	36
84	片岸町第2地割	36

図 6-20 利用者画面への反映

2) メニュープロセス情報を削除する

データの削除を行いたいメニュープロセス情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュープロセス情報を削除することができる。削除・メニュープロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

3) メニュープロセス情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュープロセス情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

4) メニュープロセス情報をコピーする

登録済みメニュープロセス情報をコピーし、それをもとに新たにメニュープロセス情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-6 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュープロセス情報が作成される。

(3) メニュータスク情報の編集

登録されているメニュープロセス情報の下位の階層には、メニュータスク情報が存在する。メニュータスク情報ではプロセスの詳細業務項目であるタスクを管理することができる。以下にメニュータスク情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面 総括班(防災危機管)

eコマース

設定・管理メニュー

全て折返す | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- メニュー階層**
- メニュータスク種別
- 地図マスター情報
- 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 広範
- 公共情報コモンズ
- その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31 1.避難勧告・指示		true	1		有効
58	31 2.津波到達前の住民避難		true	2		有効
59	31 3.被災状況の集約		true	3		有効

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
52	59:3.被災状況の集約	52:A.位置情報付き写真のA.位置情報付き写真の登録		true	1		有効
53	59:3.被災状況の集約	53:B.被害情報の登録	B.被害情報の登録	true	2		有効
54	59:3.被災状況の集約	54:C.被災エリアの登録	C.被災エリアの登録	true	3		有効
55	59:3.被災状況の集約	55:D.監視・観測情報	D.監視・観測情報	true	4		有効
56	59:3.被災状況の集約	56:E.上位機関への報告	E.上位機関への報告	true	5		有効

5件中 1 - 5 を表示

図 6-21 メニュータスク情報一覧

1) メニュータスク情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュータスク情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

メニュー階層

ID	メニューID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュータスク情報

ID	メニューID	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
52	59:3.被災状況の集約	52:A.位置情報付き写真のA.位置情報付き写真の登録	A.位置情報付き写真の登録	true	1		有効
	59:3.被災状況の集約	53:B.被害情報の登録	B.被害情報の登録	true	2		有効
	59:3.被災状況の集約	54:C.被災エリアの登録	C.被災エリアの登録	true	3		有効
	59:3.被災状況の集約	55:D.監視・観測情報	D.監視・観測情報	true	4		有効
56	59:3.被災状況の集約	56:E.上位機関への報告	E.上位機関への報告	true	5		有効

登録ボタン

追加・メニュータスク情報ダイアログが表示される

編集 - メニュータスク情報

ID: 1027 (1)

プロセスID(*): 574 (2)

タスク種別(*): 103 : 1-A.監視・観測情報 (地震・津波:2-B/地震 : 2-B) (3)

名称(*): A.監視・観測情報 (4)

重要フラグ(*): false (5)

表示・非表示(*): true (6)

表示順(*): 1 (7)

備考: (8)

有効・無効(*): 有効 (9)

登録 (10) キャンセル

「*」は必須入力項

ID	担当者	備考
9	72:総務担当	1:水土砂
0	73:広報担当	1:水土砂
1	74:消防本部	1:水土砂

図 6-22 登録ボタン>メニュータスク情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-7 追加・メニュータスク情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	プロセス ID	選択されているメニュープロセス情報の ID が自動入力される。	
②	タスク種別	タスク種別を選択する。「自治体>システム全般>メニュータスク情報」のタスク種別に登録されているタスク名をドロップダウンリストから選択する。	47 : A. 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令
③	名称	タスク名称を入力する。第2階層タブの名称になる。	A. 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令
④	重要フラグ	メニュータスクタブに重要度を表す☆マークを付ける。	false
⑤	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。詳細は 6.1.2.1(2)1A) を参照。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でメニュータスク情報が表示されるとき、上位に表示される。	1
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	有効・無効	メニュータスク情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑨	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑩	キャンセル	追加・メニュー情報ダイアログが閉じる。	

※タスク種別について「自治体>システム全般>メニュータスク情報」のタスク種別情報にデータが登録されていない場合は何も表示・選択されない。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュータスク情報一覧にデータが新規追加される。

但し、メニュータスク情報に関して、メニュータスク情報の最下位の階層にあるタスクメニュー情報の設定を行うまで利用者画面上に追加情報が反映されない。



図 6-23 利用者画面への反映

2) メニュータスク情報を編集する

編集を行いたいメニュータスク情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュータスク情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュータスク情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-7 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面上の該当項目も更新される。



図 6-24 利用者画面への反映

3) メニュータスク情報を削除する

データの削除を行いたいメニュータスク情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュータスク情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュータスク情報を削除することが出来る。削除・メニュータスク情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュータスク情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュータスク情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュータスク情報をコピーする

登録済みメニュータスク情報をコピーし、それをもとに新たにメニュータスク情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュータスク情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-7 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュープロセス情報が作成される。

(4) タスクメニュー情報

登録されているメニュータスク情報の下位の階層には、タスクメニュー情報が存在する。タスクメニュー情報とは、利用者画面に表示されるメニューの一覧であり、1つのタスクに対して複数のメニューを設定することができる。

メニューの設定を行う際、必ず初期画面となるページの作成を行う必要がある。初期画面とは、タスクを選択時に最初に表示される画面のことである。タスク選択時は、初期画面が表示され、各メニューを選択して画面遷移を行うという画面構成になっているため、メニューの設定時は初期画面となる項目を設定する。

以下に、タスクメニュー情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot shows the 'Menu Hierarchy' (メニュー階層) management interface. It features a left sidebar with navigation options like 'Menu Hierarchy' (メニュー階層) and 'Menu Task Information' (メニュータスク情報). The main area contains three hierarchical tables:

- メニュー設定情報 (Menu Setting Information):** A table with columns for ID, Menu ID, Disaster Type, Remarks, and Status. It shows a single entry with ID 31.
- メニュープロセス情報 (Menu Process Information):** A table with columns for ID, Menu Setting Information, Name, Display/Hide, Display Order, Remarks, and Status. It shows an entry with ID 57.
- メニュータスク情報 (Menu Task Information):** A table with columns for ID, Process ID, Task Type, Name, Display/Hide, Display Order, Remarks, and Status. It shows an entry with ID 47.

Below the 'Menu Task Information' table is a detailed view of the 'Task Menu Information' (タスクメニュー情報) table, which lists specific menu items with their IDs, task IDs, menu IDs, and display orders. The table contains 8 rows of data, including menu items for initial screens, confirmation, and various notification channels like email and social media.

図 6-25 タスクメニュー情報

1) タスクメニュー情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報 commons
その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括種(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセスタイプ

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31	1:避難勧告・指示	true	1		有効

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
47	57:1:避難勧告・指示	47:A:避難勧告・指示の発	A:避難勧告・指示の発令状況 true		1		有効

タスクメニュー情報

ID	タスクID	メニューID	表示順
788	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	218:初期画面	1
791	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	219:の発令状況の確認と訂正	2
797	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	220:の公共情報 commons(メディア)発信	3
798	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	221:の公共情報 commons(緊急連絡メール)発信	4
	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	222:のFacebookによる周知	5
	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	223:のtwitterによる周知	6
	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	224:の対応状況	7
858	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	225:の対応履歴	8

登録ボタン

追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報 commons

メニュー階層

追加・タスクメニュー情報

タスクID(*) 47 ①

メニューID(*) 218:初期画面 ②

表示順(*) 9 ③

保存 ④ キャンセル ⑤

「*」は必須入力項目

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示
47	57:1:避難勧告・指示	47:A:避難勧告・指示の発	A:避難勧告・指示の発令状況 true	

タスクメニュー情報

ID	タスクID	メニューID	表示順
788	47:A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	218:初期画面	

図 6-26 登録ボタン>追加・タスクメニュー情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-8 追加・タスクメニュー情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	タスク ID	自動採番。	
②	メニューID	利用者画面で表示するメニュー画面を設定する。 「自治体>システム全般>メニュータスク種別>タスク種別情報>メニュー情報」に登録されているメニューID をドロップダウンリストで表示する。	219 : ①発令状況の確認と訂正
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でタスクメニュー情報が表示されるとき、上位に表示される。	2
④	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑤	キャンセル	追加・タスクメニュー情報ダイアログが閉じる。	

※メニューID について、「自治体>システム全般>メニュータスク種別>タスク種別情報>メニュー情報」にデータが登録されていない場合は何も表示・選択されない。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存されタスクメニュー情報一覧にデータが新規追加される。また、今回作成したタスクメニュー情報が利用者画面に反映される。

タスクリスト

■メニュー

- ①発令状況の確認と訂正
- ②公共情報コモンズ(メディア)発信
- ③公共情報コモンズ(緊急連絡メール)発信
- ④Facebookによる周知
- ⑤twitterによる周知
- ⑥対応状況
- ⑦対応履歴

	管理番号	地区名	発令状況	発令時刻	対象世帯数	対象人数	備考	最終更新日時
合計	-	-	-	-	14110	36244	-	-
地域	98	その他			6500	17205		
地域	38-2	大字平田第9地割	避難勧告		198	535		2014/03/06 20:45:51
地域	65-2	唐丹町字桜峠	避難指示					2014/03/07 16:19:37
地域	66	東前町	避難指示		166	374		2014/03/06 20:45:51
地域	96	両石町第5地割	なし		49	127		
地域	95	両石町第4地割	なし		49	127		
地域	94	両石町第3地割	なし		49	127		
地域	93	両石町第2地割	避難準備情報		49	127		2014/03/06 20:45:51
地域	91	片岸町第10地割	なし		36	95		
地域	90	片岸町第9地割	なし		36	95		
地域		片岸町第8地割	なし		36	95		

追加箇所
(表示順が最後の場合)

図 6-27 利用者画面への反映

2) タスクメニュー情報を編集する

編集を行いたいタスクメニュー情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたタスクメニュー情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-8 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面上の該当項目も更新される。

3) タスクメニュー情報を削除する

データの削除を行いたいタスクメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスクメニュー情報を削除することができる。削除・タスクメニュー情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスクメニュー情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスクメニュー情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスクメニュー情報をコピーする

登録済みタスクメニュー情報をコピーし、それをもとに新たにタスクメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-8 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスクメニュー情報が作成される。

6.1.2.2 メニュータスク種別

自治体>システム全般>メニュータスク種別 を選択すると下図のような画面が表示される。タスク種別情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

メニュータスク種別はタスクに紐づくメニューを管理する。1つのタスクに対して複数のメニューを設定することが可能であり、その最上位階層であるタスクの名称が、タスク種別情報として一覧で表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班 (防災危機管理) [お申し込み](#)

設定・管理メニュー
 全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 広報
- 公共情報コンソ
- その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示期	備考
47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部門
49	14:岩手県釜石市	B.避難誘導(観光施設)	49	本部門
50	14:岩手県釜石市	C.避難誘導(要援護者施設)	50	本部門
51	14:岩手県釜石市	D.避難誘導(在宅要援護者)	51	本部門
52	14:岩手県釜石市	A.位置情報付き写真の登録	52	本部門
53	14:岩手県釜石市	B.被害情報の登録	53	本部門
54	14:岩手県釜石市	C.被災エリアの登録	54	本部門
55	14:岩手県釜石市	D.監視・観測情報	55	本部門
56	14:岩手県釜石市	E.上位機関への報告	56	本部門
57	14:岩手県釜石市	A.突発水(津波)状況への対応	57	本部門

29 ページ中 1 ページ目 10 288 件中 1 - 10 を表示

図 6-28 メニュータスク種別

(1) タスク種別情報の編集

Open-Xedge では、1つのタスクに対して複数のメニューを設定することが可能である。以下にこのタスクの管理を行うタスク種別情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) タスク種別情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・タスク種別情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) [eコマース](#)

設定・管理メニュー
全て折畳む 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー編集
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
広報
公共情報コンパス
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部門
49	14:岩手県釜石市	B.避難誘導(観光施設)	49	本部門
50	14:岩手県釜石市	C.避難誘導(要援護者施設)	50	本部門
51	14:岩手県釜石市	D.避難誘導(在宅要援護者)	51	本部門
52	14:岩手県釜石市	A.位置情報付き写真の登録	52	本部門
53	14:岩手県釜石市	B.被害情報の登録	53	本部門
	14:岩手県釜石市	C.被災エリアの登録	54	本部門
	14:岩手県釜石市	D.監視・観測情報	55	本部門
	14:岩手県釜石市	E.上位機関への報告	56	本部門
57	14:岩手県釜石市	A.寒浸水(津波)状況への対応	57	本部門

登録ボタン

追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される

追加 - タスク種別情報

自治体ID(*) 1: 開発用県 ①

名称(*) ②

テンプレートフラグ 0: 非テンプレート ③

Tips ④

表示順(*) 2448 ⑤

備考 ⑥

保存 ⑦ × キャンセル

「*」は必須入力項

図 6-29 登録ボタン>追加・タスク種別情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-9 追加・タスク種別情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称	タスク種別情報の名称を記載する。※メニューの内容を表現する名称等を設定するとよい。	A. 実浸水(津波)状況への対応
③	Tips	第二階層の説明	
④	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、管理画面において上位に表示される。	57
⑤	備考	備考欄。	(なし)
⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはタスク種別情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	追加・タスク種別情報ダイアログを閉じる。	

必須情報及び、任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、タスク種別情報一覧にデータが新規追加される。

2) タスク種別情報を編集する

編集を行いたいタスク種別情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・タスク種別情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたタスク種別情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-9 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) タスク種別情報を削除する

データの削除を行いたいタスク種別情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスク種別情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスク種別情報を削除することができる。削除・タスク種別情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスク種別情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスク種別情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスク種別情報をコピーする

登録済みタスク種別情報をコピーし、それをもとに新たにタスク種別情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・タスク種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-9 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスク種別情報が作成される。

(2) メニュー情報の編集

登録されているタスク種別情報の下位の階層には、メニュー情報が存在する。メニュー情報ではタスクに紐づくメニューの登録を行う。

メニューの登録を行う際、必ず初期画面となるページの作成を行う必要がある。初期画面とは、タスクを選択時に最初に表示される画面のことである。タスク選択時は、初期画面が表示され、各メニューを選択して画面遷移を行うという画面構成になっているため、メニュー情報には1つ初期画面となる項目を作成する。

以下にメニュー情報の新規登録、編集、削除、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
 全て折畳む 全て展開
 自治体
 ログイン
 システム全般
 メニュー種別
 メニュータスク種別
 地図マスター情報
 属性ノート情報
 外部地図データ
 通知
 監視観測
 本部設置
 応報
 公共情報 commons
 その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14: 岩手県釜石市	A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		初期画面			false		有効
219	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		①発令状況の確認と訂			true		有効
220	47: A: 避難勧告・指示の8: 公共情報 commons (※公共情報 commons)					true		有効
221	47: A: 避難勧告・指示の7: 公共情報 commons (※公共情報 commons)					true		有効
222	47: A: 避難勧告・指示の9: SNS通知		@Facebookによる周知			true		有効
223	47: A: 避難勧告・指示の10: Twitter		@twitterによる周知			true		有効
224	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		②対応状況			true		有効
225	47: A: 避難勧告・指示の13: 対応履歴		③対応履歴			true		有効

1 ページ中 1 ページ目 30 8件中 1 - 8 を表示

図 6-30 メニュー情報の編集

1) メニュー情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考				
47	14:岩手県釜石市	A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用				
メニュー階層								
ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47:A:避難勧告・指示の1:リスト(地図有)		初期画面			false		有効
219	47:A:避難勧告・指示の1:リスト(地図有)		④発令状況の確認と訂			true		有効
220	47:A:避難勧告・指示の8:公共情報コモンズ(※)		④公共情報コモンズ(※)			true		有効
221	47:A:避難勧告・指示の7:公共情報コモンズ(※)		④公共情報コモンズ(※)			true		有効
224	47:A:避難勧告・指示の9:SNS通知		④Facebookによる通知			true		有効
225	47:A:避難勧告・指示の10:Twitter		④twitterによる通知			true		有効
226	47:A:避難勧告・指示の11:リスト(地図有)		④対応状況			true		有効
227	47:A:避難勧告・指示の13:対応履歴		④対応履歴			true		有効

登録ボタン

追加・メニュー情報ダイアログが表示される

官民協働危機管理クラウドシステム Ver 2.4b 管理画面

開発用具

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
班
課
地方自治体情報
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
テンプレートメニュー
外部地図データ
クリアリングハウス事前データ情報
クリアリングハウス検

タスク種別情報

編集 - メニュー情報

ID 27

タスク種別(*) 12 ①

メニュータイプ(*) 1:リスト(地図有) ②

名称(*) ④開設状況の管理 ③

オンラインヘルプ http://ecom-plat.jp/k-clou ④

マルチ表示 false ⑤

表示・非表示(*) true ⑥

備考 ⑦

有効・無効(*) 有効 ⑧

「*」は必須入力項

内部地図表示レイヤ設定 外部地図表示レイヤ設定

保存 キャンセル

図 6-31 登録ボタン>追加・メニュー情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-10 追加・メニュー情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	タスク種別	選択されているタスク種別の ID が自動入力される。	
②	メニュータイプ	メニュータイプ名をドロップダウンリストから選択する。	1: リスト (地図有)
③	名称	メニュー名称を記載する。メニューボタンの名称になる。	②救助要請先割振
④	オンラインヘルプ	解説ボタン押下時に表示されるページの URL を設定する。	(URL)
⑤	マルチ表示	表の複数表示の可否を設定する。	false
⑥	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。	true
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	有効・無効	メニュー情報の有効・無効を設定する。	有効

設定シートから内容を設定する場合は下図のメニューのそれぞれに対してデータを追加する。

A) メニュータイプについて

メニュータイプとは、メニューをクリックした際に表示される画面の種類を表す。設定可能なメニュータイプとその概要は以下の通り。

表 6-11 メニュータイプとその概要

メニュータイプ	概要
1：リスト（地図有）	リストを表示する画面と地図を表示する画面が生成される。 メニューを開くと、最初にリストの画面が表示される。
2：リスト（地図無）	リストを表示する画面が生成される。
3：地図（リスト有）	リストを表示する画面と地図を表示する画面が生成される。 メニューを開くと、最初に地図の画面が表示される。
4：地図（リスト無）	地図を表示する画面が生成される。
5：要請	要請の画面が生成される。
6：4号様式	4号様式の画面が生成される。 ※Ver2.0からはエクセル帳票に置き換わったため設定しなおすこと
7：公共情報コモンズ（緊急速報メール）	公共情報コモンズの緊急速報メールを発信する画面が生成される。 緊急速報メールを利用する場合は、公共情報コモンズが提供する「マスタ管理システム」および、各キャリアが提供する「管理システム」からの初期設定が必要になる。
8：公共情報コモンズ（メディア）：避難勧告	公共情報コモンズのメディア向け避難勧告を発信する画面が生成される。
9：SNS通知	SNS通知を発信する画面が生成される。
10：Twitter	Twitter発信の画面が生成される。
11：職員参集	職員参集の画面が生成される。
12：公共情報コモンズ（メディア）：避難所	公共情報コモンズのメディア向け避難所情報を発信する画面が生成される。
13：使用不可（対応履歴）	対応履歴を表示する画面はこのメニューではなくリスト画面を使うこと。
14：監視観測	雨量・水位・ダムの監視観測画面が生成される。

15：被災集計	被災状況の集計表を表示する画面が生成される。
16：e コミグループウェア周知	e コミグループウェアに周知をする画面が生成される。
17：通知履歴	SNS の通知やメールの履歴を確認する画面が生成される。
18：4 号様式の集計・総括	都道府県用のメニュー。 登録した 4 号様式の総括表を表示する画面が生成される。 ※Ver2.0 からは「6：4 号様式」がエクセル帳票に置き換わったことにより廃止
19：体制の集計・総括	都道府県用のメニュー。 体制の集計表、総括表を表示する画面が生成される。
20：公共情報コモンズ（メディア）：お知らせ	公共情報コモンズのメディア向けお知らせ情報を発信する画面が生成される。
21：公共情報コモンズ（メディア）：イベント情報	公共情報コモンズのメディア向けお知らせ情報を発信する画面が生成される。
22：公共情報コモンズ（メディア）：被害情報	公共情報コモンズのメディア向け被害情報を発信する画面が生成される。
23：公共情報コモンズ（メディア）：本部設置	公共情報コモンズのメディア向け本部設置情報を発信する画面が生成される。
24：被災集計の総括表	都道府県用のメニュー。 同じ災害グループに属する自治体の「15：被災集計」の集計表を 1 つの総括表に集約する画面が生成される。
25：投稿写真振り分け	投稿写真アプリ用のメニュー。 投稿写真アプリでアップロードした画像を確認し、被災状況レイヤに振り分けるための画面を生成する。
26：エクセル帳票	エクセル形式のファイルをアップロードすることで、エクセルの帳票を画面に表示することが可能なメニューである。

	エクセル帳票メニューの設定方法は「その他の設定」の「エクセル帳票」を確認すること。
--	---

B) 初期画面の登録について

初期画面の登録を行う際は、「表示・非表示」項目を false で設定する。false で設定を行うことで、利用者画面のメニュー一覧には項目が表示されず、設定した画面のみが表示される設定になる。

C) フィルタの検索について

登録されているメニュー情報の下位の階層には、フィルター設定をするフィルター情報テーブルが存在する。

フィルター情報を編集するダイアログの検索ボタンを押下することで、フィルター設定ダイアログが表示される。

各メニューが持つ項目に対し、属性検索または空間検索で設定した条件に沿ってフィルターを検索する。フィルター設定を保存すると自動的にIDが割り当てられ、次回同じ項目の同じ内容の検索を行う際に、検索履歴読み込みダイアログから設定を読み込むことができる。また、今回設定したフィルターは、利用者画面の地図の該当項目に反映される。

また、各ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

The image consists of two main screenshots illustrating the filter search process.

Top Screenshot: Filter Information and Search Dialog

- Filter Information Table:**

ID	メニューID	名称	フィルターID	備考
101	926	②開設要請避難所の選択 (複数選択) 移行データ	1438	
- Search Dialog (追加 - フィルター情報):**
 - ①: Menu ID input field (926)
 - ②: Name input field
 - ③: Filter input field
 - ④: Search button (検索)
 - ⑤: Save button (保存)
- Filter Setting Dialog (追加 - フィルター設定):**
 - ⑧: Task type dropdown (避難勧告・避難指示の発令単位)
 - ⑨: Filter condition dropdown (ヒットした方をグレーアウトにする)
 - ⑩: Menu ID input field
 - ⑪: Filter condition dropdown
 - ⑫: Search button (検索)
 - ⑬: Save button (保存)
 - ⑭: Decision button (決定し閉じる)
 - ⑮: Close button (閉じる)

Bottom Screenshot: Filter Setting Dialog in Context

- Shows the "タスク種別情報" (Task Type Information) dialog box.
- ⑩: Menu ID input field
- ⑪: Filter condition dropdown
- ⑫: Search button (検索)
- ⑬: Save button (保存)
- ⑭: Decision button (決定し閉じる)
- ⑮: Close button (閉じる)

図 6-32 フィルター設定ダイアログ

表 6-12 フィルター情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	フィルター情報の名称を設定する。	移行データ
②	フィルター	フィルター設定ダイアログからフィルターIDを設定する。	12
③	備考	備考欄	
④	有効・無効	フィルター情報の有効・無効を設定する。	有効
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面のフィルター条件の変更ダイアログで上側に表示される。	1
⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはフィルター情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	フィルター情報ダイアログを閉じる。	

表 6-13 フィルター設定ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
⑧	検索対象	検索対象となる項目をドロップダウンリストから選択する。	公共施設
⑨	グレースアウト対象	検索対象に対し、ヒットする方・ヒットしない方をドロップダウンリストから設定する。設定された方がグレースアウトになる。	ヒットした方
⑩	属性検索タブ	属性検索のフィルター条件を設定する。	(別表参照)
⑪	空間検索タブ	空間検索のフィルター条件を設定する。	(別表参照)
⑫	読み込み	検索履歴読み込みダイアログが表示される。	
⑬	保存	設定された情報を検索履歴に保存する。	
⑭	決定し閉じる	設定されたフィルター条件の ID がメニュー情報ダイアログに自動入力される。設定された情報が事前に検索履歴に保存されていない場合は無効となる。	
⑮	閉じる	フィルター設定ダイアログを閉じる。	

設定シートから内容を設定する場合は下図のフィルターのそれぞれに対してデータを追加する。

(a) 属性検索タブ

検索対象の項目が持つ属性の値に対し、条件を設定する。

The screenshot shows the 'Filter Settings' dialog box with the 'Attribute Search' tab selected. The search target is 'Evacuation Instruction/Order Issuance Unit' and the filter condition is 'Hit'. The search attribute is 'District Name'. There are two rows for setting conditions, with the first row having a value field and a filter condition dropdown. The dialog includes buttons for 'Add Search Condition', 'Delete', 'Delete All', 'Read', 'Save', 'Decide and Close', and 'Close'.

図 6-33 フィルター設定ダイアログの属性検索タブ

表 6-14 フィルター設定ダイアログの属性検索タブの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性選択	検索対象になる属性をドロップダウンリストから選択する。	地区名
②	検索条件追加	選択された属性に関する検索条件の行を追加する。	
③	値	属性の値を記入もしくはドロップダウンリストから選択する。	〇〇地区
④	フィルター条件	属性の値に対する条件をドロップダウンリストから選択する。	含む
⑤	AND/OR	複数の検索条件に関して、AND・OR をドロップダウンリストから選択する。	AND
⑥	削除	該当の行に設定された条件を削除する。	
⑦	全て削除	設定された条件をすべて削除する。	

(b) 空間検索タブ

他の項目に設定されている値に対し、条件を設定する。

The screenshot shows the 'フィルター設定' (Filter Setting) dialog box with the '空間検索' (Space Search) tab selected. At the top, the search target is '避難勧告・避難指示の発令単位' and the filter condition is 'ヒットした方' (Hit). Below, there are two filter conditions added. The first condition (1) is for '避難勧告・避難指示の発令単位' with a value of 0 (2) and condition '範囲と重なる' (4). A '削除' (6) button is next to it. The second condition (5) is for the same target with a value of 0 and condition '範囲と重なる', with a '削除' (7) button. A '+ 追加' (1) button is at the top left, and a '全て削除' (7) button is at the bottom right. At the very bottom are '読み込み' (Load), '保存' (Save), '決定し閉じる' (Decide and Close), and '閉じる' (Close) buttons.

図 6-34 フィルター設定ダイアログの空間検索タブ

表 6-15 フィルター設定ダイアログの空間検索タブの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	追加	検索条件の行を追加する。	
②	対象レイヤ	対象となる項目をドロップダウンリストから選択する。	要援護者施設
③	フィルター値	選択された項目に関して、値をドロップダウンリストから選択する。	100
④	フィルター条件	フィルター値に対する条件をドロップダウンリストから選択する。	範囲と重なる
⑤	削除	該当の行に設定された条件を削除する。	
⑥	すべて削除	設定された条件をすべて削除する。	

(c) 検索履歴読み込みダイアログ



図 6-35 検索履歴読み込みダイアログ

表 6-16 検索履歴読み込みダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索履歴読み込み	チェックを入れた設定内容を読み込み、属性検索タブと空間検索タブに反映する。	
②	削除	チェックを入れた設定を検索履歴から削除する。	
③	閉じる	検索履歴読み込みダイアログを閉じる。	

(d) 検索条件を保存ダイアログ



図 6-36 検索条件を保存ダイアログ

表 6-17 検索条件を保存ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索条件名称	設定した検索条件が設定される。	(自動設定される)
②	保存	設定が保存される。	
③	閉じる	検索条件の保存ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュー情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー情報を編集する

編集を行いたいメニュー情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-10 及び表 6-18 を参照。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本都用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47:A.避難勧告・指示の1:リスト(地図有)		初期画面			false		有効
219	47:A.避難勧告・指示の8:公共情報コモンズ(※)		の発令状況の確認と訂			true		有効
220	47:A.避難勧告・指示の7:公共情報コモンズ(※)		の発令状況の確認と訂			true		有効
221	47:A.避難勧告・指示の9:SNS通知		の対応状況			true		有効
222	47:A.避難勧告・指示の10:Twitter		の対応状況			true		有効
223	47:A.避難勧告・指示の13:対応履歴		の対応履歴			true		有効

編集ボタン

編集・メニュー情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項

ID 218
タスク種別(*) 47
メニュータイプ(*) 1:リスト(地図有)
名称(*) 初期画面
オンラインヘルプ
フィルター
表示・非表示(*) false
備考
有効・無効(*) 有効

内部地図表示レイヤ設定 外部地図表示レイヤ設定

保存 キャンセル

図 6-37 編集ボタン>編集・メニュー情報ダイアログ

表 6-18 編集ボタン>メニュー情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	内部地図表示レイヤ設定	内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。	
②	外部地図表示レイヤ設定	外部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。	
③	前へ	前のメニュー情報を表示する。	
④	次へ	次のメニュー情報を表示する。	

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) 内部地図表示レイヤ設定について

編集・メニュー情報ダイアログの内部地図表示レイヤ設定ボタンを押下すると、内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。e コミマップに登録されているレイヤを利用することができる

内部地図表示レイヤ設定ボタン

内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される

ID	レイヤ名称	編集	リスト	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	スナップフラグ	追加フラグ(他)	追加フラグ(自)	削除フラグ	有効・無効	表示順
214	148:主要施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	true	true	false	false			有効	1
215	149:避難所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	true	true	false	false			有効	2
216	157:道路線状	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	false	true	false	false			有効	3
217	154:道路状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	false	true	false	false			有効	4
218	153:重要路線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	true	true	false	false			有効	5
220	123:実況水(津)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	false	true	false	false			有効	6
221	117:避難勧告	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	true	false	false	false	false	false	有効	8

図 6-38 内部地図表示レイヤ設定ダイアログ

B) 外部地図表示レイヤ設定について

編集・メニュー情報ダイアログの外部地図表示レイヤ設定ボタンを押下すると、外部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。クリアリングハウスに登録されているレイヤを利用することができる。

The screenshot shows the management interface for the Iwate Prefecture Iwate City. The 'Task Type Information' dialog is open, showing details for a task type with ID 218 and name '初期画面'. The 'External Map Layer Setting' dialog is also visible, showing a table of available external map layers.

外部地図表示レイヤ設定ボタン

外部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される

名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示
初期画面			false
発令状況の確認と訂正			true
公共情報 commons (外部)			true
Facebookによる周知			true
Twitterによる周知			true
対応状況			true
対応履歴			true

ID	レイヤ名称	メタデータID	WMS url	認証情報	APIキー	リス	初期表示フ	凡例折りた	透過度	表示
表示するレコードがありません										

図 6-39 外部地図表示レイヤ設定ダイアログ

3) メニュー情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー情報をコピーする

登録済みメニュー情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-10 及び表 6-18 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー情報が作成される。

(3) メニューテーブル情報の編集

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つであるメニューテーブル情報について説明する。

メニューテーブル情報では、メニューに紐づくリストページの設定を行う。上位の階層であるメニュー情報において、メニュータイプが「リスト(地図有)」「リスト(地図無)」「地図(リスト有)」の場合に、メニューテーブル情報を設定する必要がある。

なお、利用者ページには1つのメニューにつき1つのテーブルのみ表示される。したがって、複数のメニューテーブル情報を登録した場合でも、IDの値が一番小さいメニューテーブル情報のみ反映される。

以下に、メニューテーブル情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218:初期画面	117:避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

図 6-40 メニューテーブル情報の編集

1) メニューテーブル情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・メニューテーブル情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項

第1階層～第3階層の acordeion 設定は、6) acordeion 機能参照のこと

図 6-41 登録ボタン>追加・メニューテーブル情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-19 追加・メニューテーブル情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	テーブル ID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	4:体制発令
③	追加フラグ	true の場合、利用者画面から項目を追加することができる。	true
④	削除フラグ	true の場合、利用者画面から項目を削除することができる。	true
⑤	合計フラグ	true の場合、数値の合計を示す行を追加する。 テーブルマスタ情報(6.1.2.3 (2))の” ページング” が true の場合は、表示されているページの合計値を表示する。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが利用者画面に表示される。 集計時には、一番若いものが集計対象となり、次に若いものが集計リストのメニューテーブル情報として集計される。	1
⑦	アコーディオン対象項目	リスト画面に表示する際にグループ化する対象項目の属性 ID を設定する。	attr2
⑧	名称	リスト画面に表示する際にグループ化する対象項目の属性名称を設定する。	住所
⑨	アコーディオン初期開放	true の場合、アコーディオンが開いた状態で表示される。	false
⑩	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニューテーブル情報一覧に表示される。	
⑪	キャンセル	追加・メニューテーブル情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が

保存され、メニューテーブル情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニューテーブル情報を編集する

編集を行いたいメニューテーブル情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニューテーブル情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-19 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニューテーブル情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー情報を削除することができる。削除・メニューテーブル情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニューテーブル情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニューテーブル情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は4.2.2を参照。

5) メニューテーブル情報をコピーする

登録済みメニューテーブル情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表6-19を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニューテーブル情報が作成される。

6) メニューテーブル情報のアコーディオン機能

表画面の初期表示における3階層のグルーピング表示機能である。

各階層で指定された対象項目の属性がグルーピングされ、初期開放設定に応じて

true : 表示

false : 非表示

となる。

また、班課情報の「検索文字列」において班課に紐づく文字列を設定した場合、利用者画面ログイン時にそのページに遷移する。

	管理番号	遊覧所名称	拠点遊覧所	県名	市	町
合計	1275	-	-	-	-	-
▲ 若手県 (30)	465	-	-	-	-	-
▲ 福岡市 (15)	345	-	-	-	-	-
▶ 中津町 (5)	140	-	-	-	-	-
▶ 大牟田町 (10)	205	-	-	-	-	-
▲ 釜石市 (15)	120	-	-	-	-	-
▲ 大町 (7)	84	-	-	-	-	-
☞ ○	9	青葉ビル (1階)		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	10	釜石小学校体育館	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
☞ ○	11	釜石市保健福祉センター (9階)	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
☞ ○	12	釜石市教育センター (5階会議室)		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	13	松原地区コミュニティ消防センター		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	14	釜石市民交流センター		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	15	白山小学校体育館	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
▲ 新潟県 (8)	36	-	-	-	-	-

(4) テーブルリスト項目情報

メニューテーブル情報の下位の階層にはテーブルリスト項目情報が存在する。テーブルリスト項目情報では、上位階層のメニューテーブル情報で設定した項目の属性に関する詳細設定を行う。設定は利用者画面のリスト画面における、リストの列の名称

に反映される。

以下に、テーブルリスト項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot displays the management interface for the disaster management system. It features a sidebar menu on the left and a main content area with several data tables.

タスク種別情報 (Task Category Information)

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
11	6:〇〇県〇〇市	testタスク	1	
12	6:〇〇県〇〇市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報	2	
13	6:〇〇県〇〇市	A.人命救助	3	
14	6:〇〇県〇〇市	A.体制発令	4	

メニュー情報 (Menu Information)

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
33	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	初期画面			false		有効
34	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	〇体制の発令、移行、			true		有効

メニューテーブル情報 (Menu Table Information)

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
46	34:〇体制の発令、移行、解除	4:体制発令	true	true

テーブルリスト項目情報 (Table List Item Information)

ID	メニューテーブル	テーブル項目	名称	編集可	強調表示	グループ化	ソート可	デフォルトソ	ファイルアップ	ログ出力可	表示順
19	46	stationclassir	体制区分ID	false	false	false	true	-1	false	false	1
20	46	shifttime	移行時間(手入)	false	false	false	true	-1	false	false	2
21	46	note	備考	true	true	false	true	-1	false	false	3

図 6-42 テーブルリスト項目情報の編集

1) テーブルリスト項目情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。

The screenshot shows the 'Task Type Information' screen in the management interface. The main table displays the following data:

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
11	6:00県00市	testタスク	1	
12	6:00県00市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報	2	
13	6:00県00市	A.人命救助	3	
14	6:00県00市	A.体制発令	4	

The detailed view for ID 46 shows the following information:

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
33	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	初期画面			false		有効
34	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	①体制の発令、移行、			true		有効

The 'Add Table List Item Information' dialog box is shown with the following fields:

- メニューテーブルID(*) 46
- テーブル項目名(*)
- 名称(*)
- 編集可(*) false
- 強調表示(*) false
- グループ化(*) false
- ソート可(*) true
- デフォルトソート項目(*) -1
- ファイルアップロード可(*) false
- ログ出力可(*) false
- 表示順(*) 4

Buttons: 保存 (Save), キャンセル (Cancel)

Callout boxes indicate: 「*」は必須入力項 (Required input items) and 編集ボタン (Edit button).

図 6-43 登録ボタン>追加・テーブルリスト項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-20 追加・テーブルリスト項目情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューテーブル ID	選択されているメニューテーブル情報の ID が自動入力される。	
②	テーブル項目名	選択されているメニューテーブル情報に対応する属性のテーブル項目名を設定する。 「属性情報選択画面」からテーブル項目名を選択する。	attr0
③	名称	選択されているメニューテーブル情報に対応する属性の名称を設定する。 「属性情報選択画面」からテーブル項目名を選択する。	管理番号
④	編集可	true の場合、利用者画面から属性を編集することができる。	false
⑤	強調表示	true の場合、利用者画面の属性が強調表示される。	false
⑥	グループ化	一括変更ボタン押下時の、グループ属性として指定を可能にする設定。true の場合、グループ化による一括変更が可能となる。	false
⑦	ソート可	リスト表示時のソート設定。true の場合ソートが可能となる。	true
⑧	デフォルトソート項目	項目のソートの設定を行う。ソートできる項目は1つだけのため、複数設定した場合は、表示順で一番最後の項目でソートされる。 設定値は以下の通り。 -1:ソートしない(デフォルト) 0:昇順 1:降順	-1
⑨	ファイルアップロード可	true の場合、項目に対して写真等の電子データをアップロードすることができる。	false
⑩	ログ出力可	対応履歴に履歴を残すかの設定。true の場合、属性が変化するタイミングでログが対応履歴に表示される。	false
⑪	初期チェック	true の場合、一括変更の際に対象項目として	false

		チェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	
⑫	グループ初期チェック	true の場合、一括変更の際に一括変更グループのチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	false
⑬	一括追記	true の場合、一括追記のチェックボックスが表示される。	false
⑭	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で属性が左側に表示される。	2
⑮	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは テーブルリスト項目情報一覧 に表示される。	
⑯	キャンセル	追加・ テーブルリスト項目情報 ダイアログを閉じる。	

A) テーブル項目名および名称の検索について

テーブル項目名または名称の検索ボタンを押下することで、属性情報選択画面ダイアログが表示される。ダイアログ内には、選択されたメニューテーブル情報に対応する属性の一覧が表示される。行を選択し選択ボタンを押すと、テーブルリスト項目情報ダイアログにテーブル項目名と名称が入力される。なお、このときテーブル項目名と名称の検索ボタンのどちらを押下した場合でも、選択した行が同じであればテーブルリスト項目情報ダイアログに入力される値は同様である。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-21 属性情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のテーブル項目名および名称が テーブルリスト項目情報 ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	属性情報選択画面 ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が

保存され、テーブルリスト項目情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブルリスト項目情報を編集する

編集を行いたいテーブルリスト項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルリスト項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-20 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルリスト項目情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルリスト項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルリスト項目情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルリスト項目情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルリスト項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルリスト項目情報をコピーする

登録済みテーブルリスト項目情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルリスト項目情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-20 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルリスト項目情報が作成される。

(5) 属性行スタイル情報

テーブルリスト項目情報の下位の階層には属性行スタイル情報が存在する。

属性行スタイル情報では、上位階層のテーブルリスト項目情報で設定した属性のスタイルに関する設定を行う。

指定した属性値に対してスタイルを設定すると、利用者画面において対応する属性値のみスタイルが設定される。テーブルリスト項目情報の 1 つの行に対して、複数の属性行スタイル情報を設定することが可能である。

以下に、属性行スタイル情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot displays the management interface for the '岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム' (Iwate Prefecture Kamaishi City Official-Citizen Collaborative Disaster Management Cloud System). The main content area shows a configuration table for menu items. The selected item is '4058: 659: A.広域搬送ルート3:地図(リスト有)' with the name '④被災が予想される区画'. Below this, the 'メニューテーブル情報' (Menu Table Information) section is expanded, showing a table for 'メニューテーブル項目' (Menu Table Item) with columns for ID, Menu ID, Table ID, Name, Editable, Highlighted, Grouped, Sortable, Default Sort, File Upload, Log Output, and Display Order. The selected item is '2281(3550) attr18' with the name '調査の必要性'. The '属性行スタイル情報' (Attribute Row Style Information) section is also expanded, showing a table with columns for ID, Table List Item ID, Value, and Style Text. The selected item is '576' with the value '22810:調査の必要性' and the style text 'color: red;'. The interface includes a left sidebar with navigation options like '設定・管理メニュー' and '自治体', and a top header with the system name and user information.

図 6-44 属性行スタイル情報の編集

1) 属性行スタイル情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。

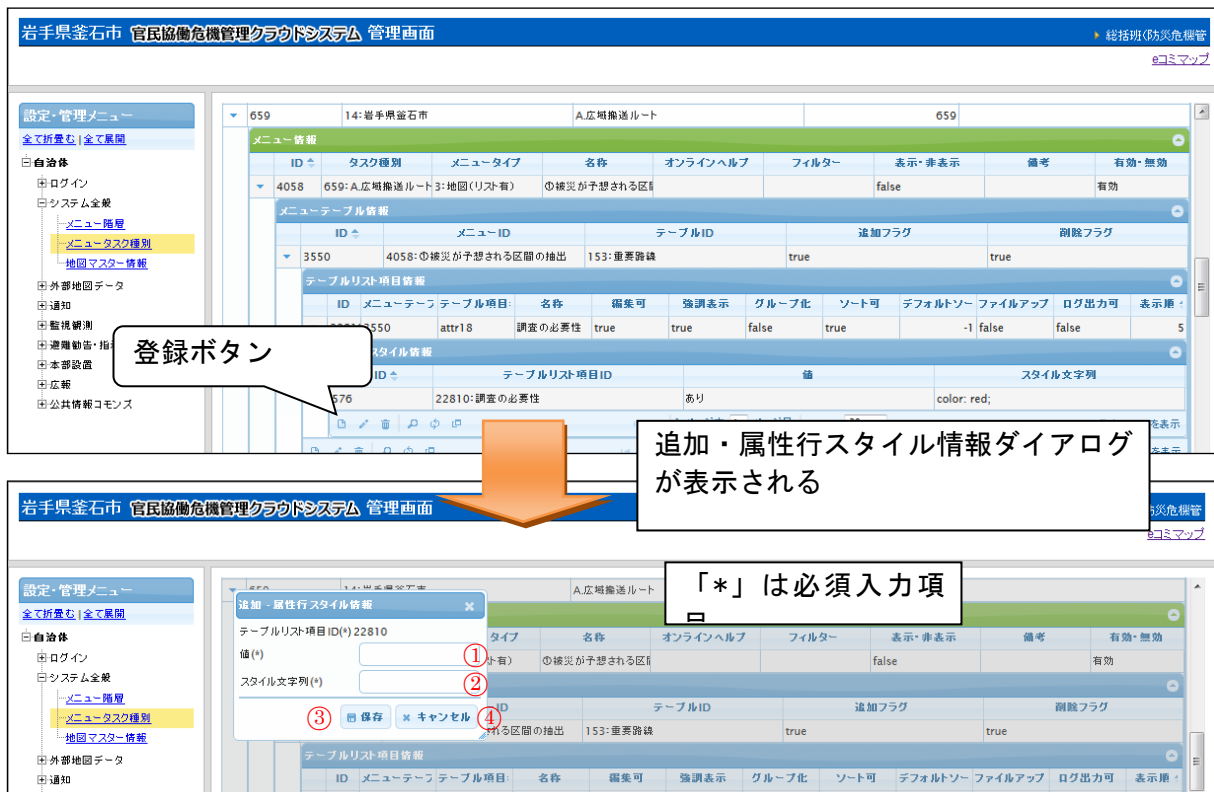


図 6-45 登録ボタン>追加・属性行スタイル情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-22 追加・属性行スタイル情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブルリスト項目 ID	選択されているテーブルリスト情報の ID が自動入力される。	
②	値	スタイルを設定したい属性値を記載する。	避難指示
③	スタイル文字列	指定した値に対するスタイルを「プロパティ: 値;」の形で入力する。	background-color: red; font-weight: bold;
④	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは属性行スタイル情報一覧に表示される。	
⑤	キャンセル	追加・属性行スタイル情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、属性行スタイル情報一覧にデータが新規追加される。

設定シートから内容を設定する場合は下図のメニューテーブルの小項目のうちの属性行スタイル情報それぞれに対してデータを追加する。

2) 属性行スタイル情報を編集する

編集を行いたい属性行スタイル情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された属性行スタイル情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-22 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 属性行スタイル情報を削除する

データの削除を行いたい属性行スタイル情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の属性行スタイル情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 属性行スタイル情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに属性行スタイル情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 属性行スタイル情報をコピーする

登録済み属性行スタイル情報をコピーし、それをもとに新たに属性行スタイル情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-22 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに属性行スタイル情報が作成される。

(6) ページボタン表示情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つであるページボタン表示情報について説明する。

ページボタン表示情報ではメニューに紐づくボタンの登録を行う。登録されたボタンは利用者画面の各ページ下部に配置され、押下時にはページボタンIDに応じた動作が行われる。

以下に、ページボタン表示情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot displays the management interface for 'Iwate Prefecture Iwate City' (岩手県釜石市) for 'Official Citizen Emergency Management Cloud System' (官民協働危機管理クラウドシステム). The main content area is titled 'Task Type Information' (タスク種別情報) and contains several tables:

- タスク種別情報 (Task Type Information):** A table with columns for ID, Autonomous Body ID, Name, Display Period, and Remarks. It shows a single entry with ID 47, Name 'A: Disaster Alert, Alert Status and Addition Information Alert', and Display Period '47: All departments'.
- メニュー情報 (Menu Information):** A table with columns for ID, Task Type, Menu Type, Name, Online Help, Filter, Display/Hide, Remarks, and Valid/Invalid. It shows an entry with ID 218, Task Type '47: A: Disaster Alert, Alert Status (Map)', Name 'Initial Screen', and Valid status '有効'.
- メニューテーブル情報 (Menu Table Information):** A table with columns for ID, Menu ID, Table ID, Add Flag, and Delete Flag. It shows an entry with ID 164, Menu ID '218: Initial Screen', and Table ID '117: Disaster Alert, Alert Status Alert Unit'.
- ページボタン表示情報 (Page Button Display Information):** A table with columns for ID, Menu ID, Page Button ID, Link, Target Name, Utilization Flag, and Display Period. It lists six entries:

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示期
14057	218:初期画面	11:CSV出力			false	1
14058	218:初期画面	2:印刷			false	2
14059	218:初期画面	3:情報発信			false	3
14061	218:初期画面	10:一括更新			false	4
14062	218:初期画面	4:更新			false	5
14064	218:初期画面	5:新規登録			false	6

図 6-46 ページボタン表示情報の編集

1) ページボタン表示情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳み | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47:A.避難勧告・指示の1:リスト(地図有)	初期画面				false		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218:初期画面	117:避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
14057	218:初期画面	11:CSV出力			false	1
14058	218:初期画面	2:印刷			false	2
	218:初期画面	3:情報発信			false	3
	218:初期画面	10:一括更新			false	4
	218:初期画面	4:更新			false	5
14064	218:初期画面	5:新規登録			false	6

登録ボタン

追加・ページボタン表示情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項

追加・ページボタン表示情報

メニューID(*) 218 ①

ページボタンID(*) 1: ②

リンク ③

ターゲット名 ④

利用可フラグ(*) false ⑤

表示順(*) 7 ⑥

⑦ 保存 ⑧ キャンセル

図 6-47 登録ボタン>追加・ページボタン表示情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-23 追加・ページボタン表示情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	ページボタン ID	「システム>システム全般>ページボタンマスタ」に登録されているページボタンをドロップダウンリストから選択する。	2:印刷
③	リンク	URL を設定する。URL が設定されている場合、そのアドレスを表示するメニューとして機能する。	(URL)
④	ターゲット名	Target 属性の指定を設定する。	(target 属性)
⑤	利用可フラグ	true の場合、利用者画面において、ボタン押下時にページボタン ID に応じた動作が行われる。false の場合、ボタンはグレーアウトされ、押下が不可能な状態に設定される。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で右側に表示される。	2
⑦	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはページボタン表示情報一覧に表示される。	
⑧	キャンセル	追加・ページボタン表示情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、ページボタン表示情報一覧にデータが新規追加される。

A) ページボタン ID

ID	概要
2:印刷	表示中の地図やリストを PDF に出力する。
3:情報発信	情報発信ページを表示し、メールを送信する。
4:変更登録(旧)	リスト画面で、データの変更を保存する。
5:データの追加	新たにデータを登録する。
6:送信	メールや SNS に送信する。
7:道路被災状況	未使用
8:空港被災状況	未使用

9:航路被災状況	未使用
10:一括変更	データを一括で変更または追記する。
11:CSV	リストに表示されているテーブルの全件、全属性を CSV ファイルとして出力する。 ※ツールボックスの CSV ボタンからも利用可能
13:過去集計	被災集計メニューで、過去の集計を参照するダイアログを表示する。
14:被災者推計	被災者推計ウィンドウを開き、演算を行う。
15:履歴	履歴を確認するためのタイムスライダーを表示する。
16:集計	外部リストの集計結果の更新を行う。
17:検索	属性検索ウィンドウを開き、リストページで属性検索を行う。
18:変更登録	リスト画面上で属性を変更している場合は「変更登録」として機能し、それ以外は「一括変更」として機能する
19:旧 CSV 出力	リストに表示されているデータを CSV ファイルとして出力する。
20:地図追加	地図画面に CKAN から地図追加（ダウンロード）や、GeoTIFF ファイルをアップロードして地図を追加する。
21:余白	ボタンのレイアウト調整用。スペースを追加できる。

2) ページボタン表示情報を編集する

編集を行いたいページボタン表示情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたページボタン表示情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-23 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) ページボタン表示情報を削除する

データの削除を行いたいページボタン表示情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のページボタン表示情報を削除することができる。削除・ページボタン表示情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) ページボタン表示情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにページボタン表示情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) ページボタン表示情報をコピーする

登録済みページボタン表示情報をコピーし、それをもとに新たにページボタン表示情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-23 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにページボタン表示情報が作成される。

(7) 地図レイヤ情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである地図レイヤ情報について説明する。

地図レイヤ情報では、メニューに紐づく地図ページの項目(レイヤ)および地物の表示について設定を行う。

上位の階層であるメニュー情報において、メニュータイプが「リスト(地図有)」「地図(リスト有)」「地図(リスト無)」の場合に、地図レイヤ情報を設定する必要がある。

以下に、地図レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。



ID	メニューID	テーブルマスタID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	検索フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	スタイルID	有効・無効	表示順
928	250: ①新規ポイント133: 主要施設	序	true	true	false	false	true	false			有効	1
927	250: ①新規ポイント138: 被災箇所		true	false	true	true	true	false			有効	2
929	250: ①新規ポイント139: 道路被災箇所		false	true	false	false	true	false			有効	3
931	250: ①新規ポイント143: 実浸水	②津波	false	true	false	false	true	false			有効	4
932	250: ①新規ポイント141: 堤防・御園区		false	true	false	false	true	false			有効	5
930	250: ①新規ポイント140: 重要路線		true	false	false	false	true	false			有効	6
933	250: ①新規ポイント162: 行政界	③国道	true	true	false	false	false	false			有効	7
11102	250: ①新規ポイント867: マルチSLDテ		true	true	false	false	true	false		red_camera	有効	17

図 6-48 地図レイヤ情報の編集

地図レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・地図レイヤ情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

ID	メニューID	テーブルマスタID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	検索フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	スタイルID	有効・無効	表示順
928	250: ①新規ボイン133: 主要施設 (序		true	false	false	false	true	false			有効	1
927	250: ①新規ボイン138: 被災箇所		true	false	true	true	true	false			有効	2
929	250: ①新規ボイン139: 道路被災箇所		false	true	false	false	true	false			有効	3
31	250: ①新規ボイン143: 実浸水 (津道		false	true	false	false	true	false			有効	4
32	250: ①新規ボイン141: 規制・啓蒙区		false	true	false	false	true	false			有効	5
30	250: ①新規ボイン140: 重要路線		true	false	false	true	true	false			有効	6
33	250: ①新規ボイン162: 行政区 (郵道		true	true	false	false	false	false			有効	7
11102	250: ①新規ボイン867: マルチSLDテ		true	true	false	true	true	false		red_camera	有効	17

追加・地図レイヤ情報

① メニューID(*) 250

② テーブルマスタID(*) 116: 土砂災害の発生状況

③ 初期表示フラグ(*) true

④ 凡例折りたたみ(*) true

⑤ 編集フラグ(*) false

⑥ 追加フラグ(*) false

⑦ 検索フラグ(*) true

⑧ スナップフラグ(*) false

⑨ 切り出しレイヤID

⑩ スタイルID

⑪ 有効・無効(*) 有効

⑫ 表示順(*) 27

⑬ 保存 ⑭ キャンセル

図 6-49 登録ボタン>追加・地図レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-24 追加・地図レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	テーブルマスターID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	199: 監視カメラ
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	凡例折りたたみフラグ	利用者画面における凡例の折りたたみの状態をドロップダウンリストから選択する。	true
⑤	編集フラグ	true の場合、利用者画面から項目を編集することができる。	false
⑥	追加フラグ	true の場合、利用者画面から項目を追加することができる。	false
⑦	検索フラグ	true にすると、地図画面で地物をクリックしたときにポップアップを表示する。	true
⑧	スナップフラグ	true の場合、地物(点、線、面)の登録時に、マウスカーソルがスナップするようになれる。	false
⑨	切り出しレイヤID	点、線、面、を登録した時に、切り出しレイヤIDの地物と空間演算でトリミング処理を行うことができる。	ref21
⑩	スタイルID	e コミマップのスタイルIDを指定することで描画設定を切り替えることができる。	
⑪	有効・無効	地図レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑫	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で凡例が上位に表示される。	2
⑬	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 地図レイヤ情報一覧 に表示される。	
⑭	キャンセル	追加・ 地図レイヤ情報 ダイアログを閉じる。	

A) 地図マスター情報との関連について

あらかじめ「地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録された項目の ID

をテーブルマスターIDとして設定することで、利用者画面の地図ページの凡例一覧と地図上に項目および地物が表示される。

B) 初期表示フラグについて

初期表示フラグでは、該当の項目の初期状態を設定する。true の場合、利用者画面の初期状態において地図ページの凡例一覧の左側にチェックが記入され、地図上に地物が表示される。false の場合、地図ページの凡例一覧の左側のチェックは外され、地図上の地物も表示されない。

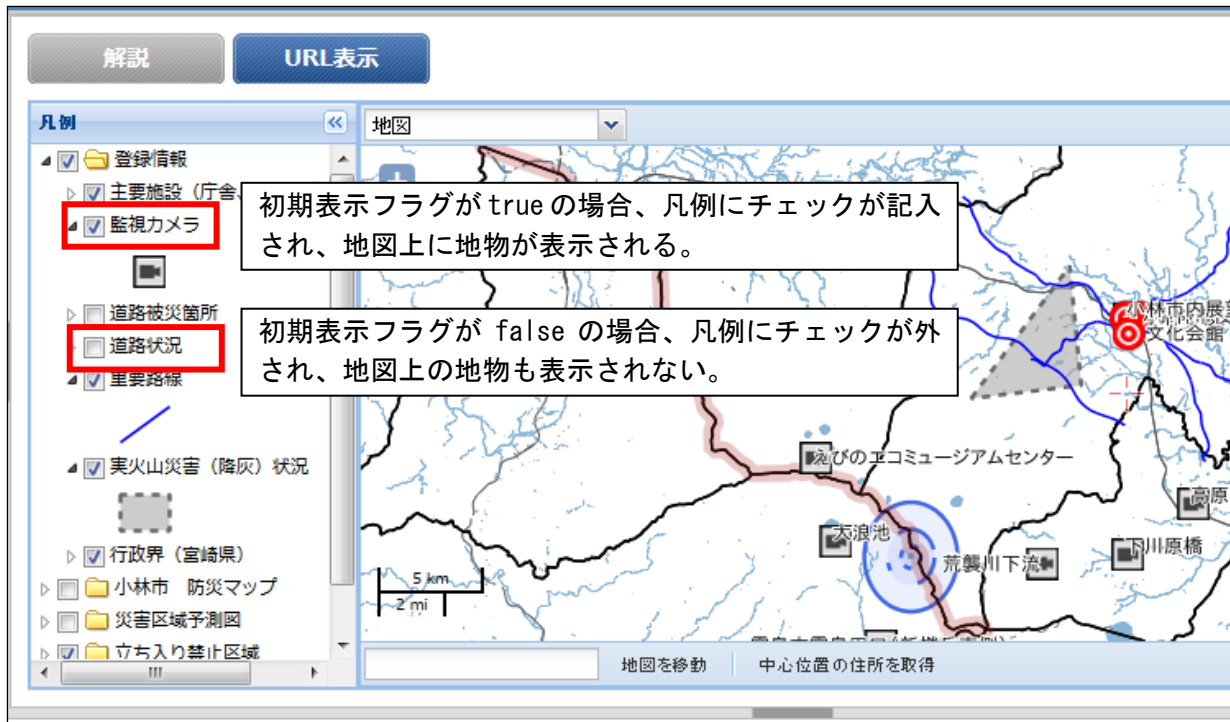


図 6-50 初期表示フラグ

C) 凡例の折りたたみについて

利用者画面の凡例一覧において、true の場合は凡例が折りたたまれた状態で表示され、false の場合は凡例が開かれた場合で表示される。



図 6-51 凡例の折りたたみ

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-24 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図レイヤ情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図レイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図レイヤ情報をコピーする

登録済み地図レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図レイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-24 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図レイヤ情報が作成される。

(8) 地図レイヤ属性情報

登録された地図レイヤ情報の下位の階層には地図レイヤ属性情報が存在する。

地図レイヤ属性情報では、上位階層の地図レイヤ情報で設定した項目の属性に関する詳細設定を行う。

以下に、地図レイヤ属性情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	メニューID	テーブルマスターID	初期表示フラグ	凡例所りたため	編集フラグ	追加フラグ	検索フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	スタイルID	有効・無効	表示順
928	250: ①新規ポイン133: 主要施設 (序		true	true	false	false	true	false			有効	1
927	250: ①新規ポイン138: 被災箇所		true	false	true	true	true	false			有効	2
地図レイヤ属性情報												
ID	地図レイヤID	属性項目名	名称	編集フラグ	ハイライト	グループ化	初期チェック	グループ初期チエ	一括追加	グループ折り畳み	Tips	表示順
893	927	attr0	管理番号	true	true	false	false	false	false	false		1
891	927	attr10	写真提供者	true	true	false	false	false	false	false		2
894	927	attr3	座標	true	true	false	false	false	false	false		3
895	927	attr2	住所	true	true	false	false	false	false	false		4
1310	927	group	テストグループ1	false	false	false	false	false	false	false	テストグループ1の	20
896	927	attr6	被災の種類	true	true	false	false	false	false	false		25
892	927	attr11	備考	true	true	false	false	false	false	false		26
2629	927	group	テストグループ2	false	false	false	false	false	false	true	テストグループ2の	30
1311	927	attr12	最終更新日時	false	false	false	false	false	false	false		36

図 6-52 地図レイヤ属性項目情報の編集

1) 地図レイヤ属性情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。

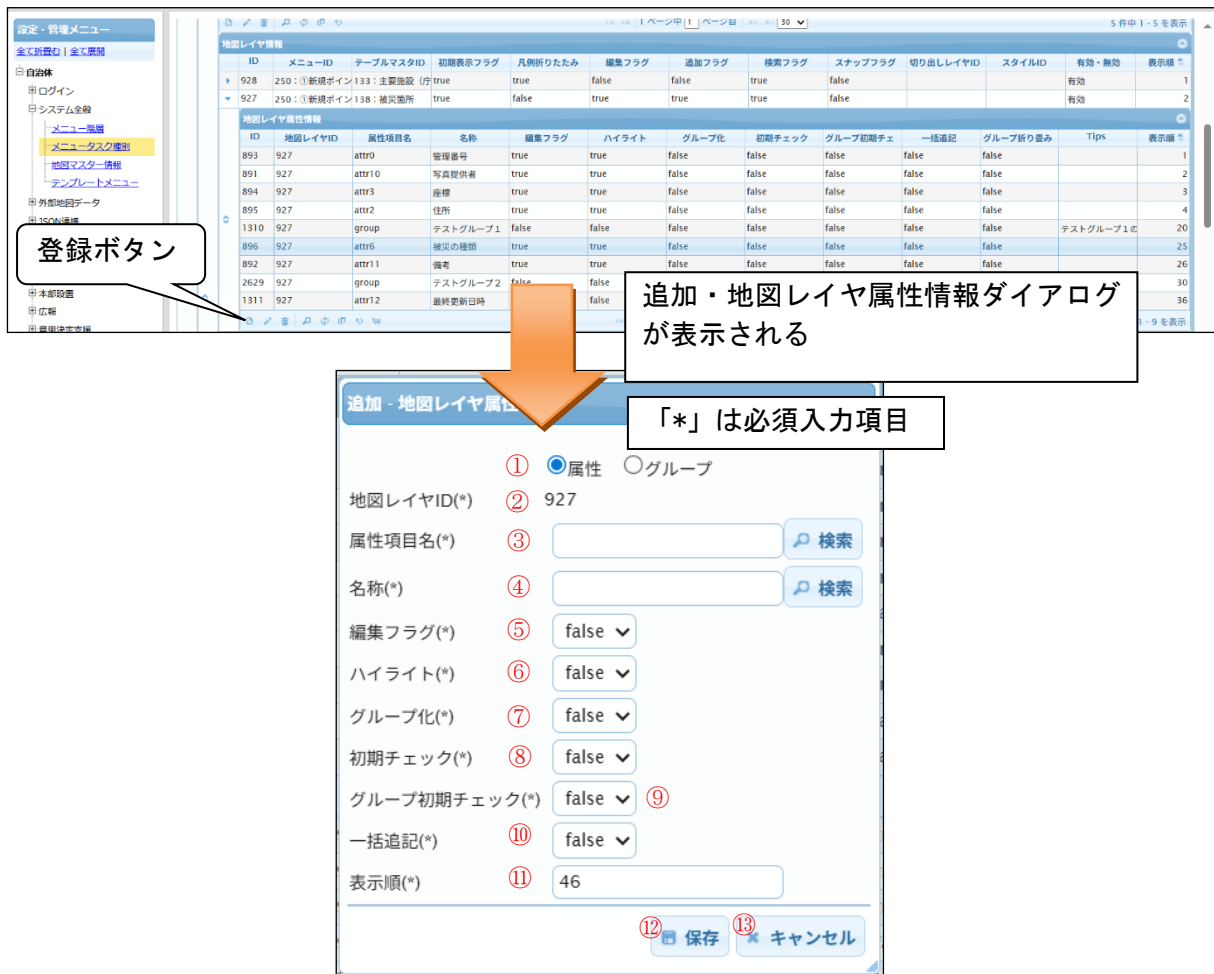


図 6-53 登録ボタン>追加・地図レイヤ属性情報ダイアログ



図 6-54 属性情報ダイアログで属性グループを登録

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-25 追加・地図レイヤ属性情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性／グループ	「属性」にチェックすると属性として登録される。「グループ」にチェックすると属性グループとして登録される。	
②	地図レイヤ ID	選択されている地図レイヤ情報の ID が自動入力される。	
③	属性項目名	選択されている地図レイヤ情報に対応する属性の属性項目名を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」から属性項目名を選択する。	attr0
④	名称	選択されている地図レイヤ情報に対応する属性または属性グループの名称を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」から属性項目名を選択する。	管理番号
⑤	編集フラグ	true の場合、利用者画面から属性を編集することができる。	false
⑥	ハイライト	true の場合、利用者画面の属性が強調表示される。	false
⑦	グループ化	一括変更ボタン押下時の、グループ属性として指定を可能にする設定。true の場合、グループ化による一括変更が可能となる。	false
⑧	初期チェック	true の場合、一括変更の際に対象項目としてチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	true
⑨	グループ初期チェック	true の場合、一括変更の際に一括変更グループのチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	true
⑩	一括追記	true の場合、一括追記のチェックボックスが表示される。	
⑪	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で属性または属性グループが上位に表示される。	2
⑫	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図レイヤ情報一覧に表示される。	

⑬	キャンセル	追加・地図レイヤ情報ダイアログを閉じる。	
⑭	グループ折り畳み	true の場合、属性グループがデフォルトで折り畳まれた状態で表示される。	false
⑮	Tips	属性グループのツールチップに表示する文言を設定する。	

A) 属性項目名および名称の検索について

属性項目名または名称の検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。ダイアログ内には、選択された地図レイヤ情報に対応する属性の一覧が表示される。行を選択し選択ボタンを押すと、地図レイヤ属性情報ダイアログに属性項目名と名称が入力される。なお、このとき属性項目名と名称の検索ボタンのどちらを押下した場合でも、選択した行が同じであれば地図レイヤ属性情報ダイアログに入力される値は同様である。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-26 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
④	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
⑤	選択	選択した行のテーブル項目名および名称がテーブルリスト項目情報ダイアログに自動入力される。	
⑥	キャンセル	属性情報選択画面ダイアログを閉じる。	

B) 編集フラグについて

編集フラグが true の場合でも、上位階層の地図レイヤ情報の編集フラグが false の場合、利用者画面から属性を編集することが不可能である。したがって、属性を編集可能にしたい場合は、地図レイヤ情報と地図レイヤ属性情報の編集フラグを両方 true にする必要がある。

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図レイヤ属性情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図レイヤ属性情報を編集する

編集を行いたい地図レイヤ属性情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図レイヤ属性情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-25 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図レイヤ属性情報を削除する

データの削除を行いたい地図レイヤ属性情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図レイヤ属性情報を削除することができる。削除・地図レイヤ属性情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図レイヤ属性情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図レイヤ属性情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図レイヤ属性情報をコピーする

登録済み地図レイヤ属性情報をコピーし、それをもとに新たに地図レイヤ属性情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-25 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図レイヤ属性情報が作成される。

(9) 地図KMLレイヤ情報

登録されているメニュー情報の階の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではそのうちの1つである地図 KML レイヤ情報について説明する。

地図 KML レイヤ情報ではハザードマップ等の KML 形式のレイヤの設定を行う。

以下に、地図 KML レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 釜石市官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管理) eコマース

設定・管理メニュー
全て折畳む 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
外部地図データ
通知
監視観測
避難勧告・指示
本部設置
広域
公社情報コンソ

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本郡用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47:A:避難勧告・指示の1:リスト(地図有)	初期画面				false		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ	合計フラグ
164	218:初期画面	117:避難勧告・避難指示の発令差	false	false	true

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
14057		11:CSV出力				1
1		12:印刷				2

地図KMLレイヤ情報

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	検索フラグ	有効・無効	表示順
13	821:①発令状況の確認と訂正	kml5248	true	true	有効	1
14	821:①発令状況の確認と訂正	kml5249	true	true	有効	2

地図参照レイヤ情報

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	参照折りたたみ	検索フラグ	有効・無効	表示順
----	--------	-------	---------	---------	-------	-------	-----

1) 地図 KML レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-54 登録ボタン>追加・地図参照レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-27 追加・地図参照レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	ref21
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	検索フラグ	true にすると、地図画面で地物をクリックしたときにポップアップを表示する。	true
⑤	有効・無効	地図参照レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で凡例が上位に表示される。	2
⑦	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図参照レイヤ情報一覧に表示される。	

⑧	キャンセル	追加・地図参照レイヤ情報ダイアログを閉じる。	
---	-------	------------------------	--

2) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図 KML レイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-28 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のレイヤ ID が地図参照レイヤ情報ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	e コミマップ情報選択画面ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図 KML レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

3) 地図 KML レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図 KML レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図 KML レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-29 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存される。

4) 地図 KML レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図 KML レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図 KML レイヤ情報を削除することができる。削除・メニュープロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

5) 地図 KML レイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図参照レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

6) 地図 KML レイヤ情報をコピーする

登録済み地図 KML レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図 KML レイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-29 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図 KML レイヤ情報が作成される。

(10) 地図参照レイヤ情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである地図参照レイヤ情報について説明する。

地図参照レイヤ情報ではハザードマップ等の主題図の設定を行う。

以下に、地図参照レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot displays the management interface for the Iwate Prefecture Iwate City Hazard Management Cloud System. The main content area is titled 'タスク種別情報' (Task Category Information) and contains several tables. The '地図参照レイヤ情報' (Map Reference Layer Information) table is highlighted with a blue border and contains the following data:

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	有効-無効	表示順
46	218:初期画面	ref21_0	false	false	有効	1

Other visible tables include 'タスク種別情報' (Task Category Information) with ID 47, 'メニュー情報' (Menu Information) with ID 218, and 'メニューテーブル情報' (Menu Table Information) with ID 164. The interface also features a sidebar menu with options like 'メニュー階層' (Menu Hierarchy) and 'メニュータスク種別' (Menu Task Category).

図 6-55 地図参照レイヤ情報の編集

1) 地図参照レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-56 登録ボタン>追加・地図参照レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-29 追加・地図参照レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	ref21
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	凡例折りたたみ	利用者画面における凡例の折りたたみの状態をドロップダウンリストから選択する。	false
⑤	検索フラグ	true にすると、地図画面で地物をクリックしたときにポップアップを表示する。	true
⑥	透過度	地図参照レイヤの透過度を設定する。	0%(非透過)
⑦	有効・無効	地図参照レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効

		る。	
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で凡例が上位に表示される。	2
⑨	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 地図参照レイヤ情報一覧 に表示される。	
⑩	キャンセル	追加・ 地図参照レイヤ情報 ダイアログを閉じる。	

2) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図参照レイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-30 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のレイヤ ID が地図参照レイヤ情報ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	e コミマップ情報選択画面ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図参照レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

3) 地図参照レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図参照レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図参照レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-29 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存される。

4) 地図参照レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図参照レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図参照レイヤ情報を削除することができる。削除・メニュー

ロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

5) 地図参照レイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図参照レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は4.2.2を参照。

6) 地図参照レイヤ情報をコピーする

登録済み地図参照レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図参照レイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表6-29を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図参照レイヤ情報が作成される。

(11) 地図ベースレイヤ情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである地図ベースレイヤ情報について説明する。

地図ベースレイヤ情報では、メニューに紐づく地図ページの、ベースとなる地図の表示について設定を行う。上位の階層であるメニュー情報において、メニュータイプが「リスト(地図有)」「地図(リスト有)」「地図(リスト無)」の場合に、地図ベースレイヤ情報を設定する必要がある。

以下に、地図ベースレイヤ情報の新規登録、編集、削除、コピーについて説明する。

The screenshot shows the management interface for the Iwate Prefecture Iwate City. The main content area is titled 'タスク種別情報' (Task Type Information) and contains several tables. The '地図ベースレイヤ情報' (Map Base Layer Information) table is highlighted, showing the following data:

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	有効・無効	表示順
186	218:初期画面	wms1	true	有効	1
191	218:初期画面	WEBTIS	false	有効	3
194	218:初期画面	WEBTIS_ORTHO	false	有効	4
35420	218:初期画面	wms265	false	有効	5

図 6-57 地図ベースレイヤ情報の編集

1) 地図ベースレイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-58 登録ボタン>追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-31 追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	利用者画面の地図ページに表示するベース地図を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	wms1
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	false
④	有効・無効	地図ベースレイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で地図ベースレイヤ情報が表示されるとき、上位に表示される。	2

⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図ベースレイヤ情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログを閉じる。	

A) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図ベースレイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

e コミマップ情報選択画面については 6.1.2.1(6)1) (A) 参照。

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図ベースレイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図ベースレイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図ベースレイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図ベースレイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-31 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図ベースレイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図ベースレイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図ベースレイヤ情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図ベースレイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図ベースレイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図ベースレイヤ情報をコピーする

登録済み地図ベースレイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図ベースレイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-31 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図ベースレイヤ情報が作成される。

(12) メニュー地図情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つであるメニュー地図情報について説明する。

メニュー地図情報では、地図画面に表示される地図の表示範囲と地図初期表示縮尺の設定を行う。

以下にメニュー地図情報の新規登録、編集、削除、編集、コピーについて説明する。

The screenshot shows the management interface for the system. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- 設定・管理メニュー
 - 全て折畳む | 全て展開
 - 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ノート情報
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 避難勧告・指示
 - 本部設置
 - 広報
 - 公共情報コンパス
 - その他

The main content area is divided into several sections:

- タスク種別情報** (Task Category Information): A table listing task categories.

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
11	6:00県00市	testタスク	1	
12	6:00県00市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報	2	
13	6:00県00市	A.人命救助	3	
14	6:00県00市	A.体制発令	4	
- メニュー情報** (Menu Information): A table listing menu items.

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
33	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	初期画面			false		有効
34	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	①体制の発令、移行、解			true		有効
- メニューテーブル情報** (Menu Table Information): A table listing menu table items.

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
46	34:①体制の発令、移行、解除	4:体制発令	true	true
- ページボタン表示情報** (Page Button Display Information): A table listing page button display information.

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
20		解除	11:CSV出力			1
- ベースレイヤ情報** (Base Layer Information): A table listing base layer information.

ID	メニューID	レイヤID	有効・無効
			表示するレコードがありません
- 外部地図データ情報** (External Map Data Information): A table listing external map data information.

ID	メニューID	メタデータの識別子	データに付けられた名前	フィルター	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	表示順
							表示するレコードがありません
- 外部リストデータ情報** (External List Data Information): A table listing external list data information.

ID	メニューID	メタデータの識別子	フィルター
- メニュー地図情報** (Menu Map Information): A table listing menu map information.

ID	メニューID	地図範囲(WKT)	解像度(デフォルト)	備考
2	34:①体制の発令、移行、解除	POLYGON((136.71 35.33,137.09 30		

図 6-59 メニュー地図情報の編集

1) メニュー地図情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー地図情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・メニュー地図情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項

図 6-60 登録ボタン>追加・メニュー地図情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-32 追加・メニュー地図情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	地図範囲 (WKT)	地図の表示範囲を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
③	解像度 (デフォルト 0)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
④	備考	備考欄。	
⑤	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニュー地図情報一覧に表示される。	
⑥	キャンセル	追加・メニュー地図情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュー地図情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー地図情報を編集する

編集を行いたいメニュー地図情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー地図情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー地図情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-32 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニュー地図情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー地図情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー地図情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー地図情報を削除することができる。削除・メニュー地図情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー地図情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー地図情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー地図情報をコピーする

登録済みメニュー地図情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー地図情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー地図情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-32 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー地図情報が作成される。

(13) 通知デフォルト情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである通知デフォルト情報について説明する。

通知デフォルト情報では、発令が行われた時、画面にその情報をアラートで表示をする。また、eメールにて情報の通知を行うための設定を行う。

以下に、通知デフォルト情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot displays the 'タスク種別情報' (Task Type Information) management screen. It features a sidebar menu on the left and a main content area with several tables. The 'タスク種別情報' table lists tasks with columns for ID, 自治体ID (Municipality ID), 名称 (Name), 表示順 (Display Order), and 備考 (Remarks). Below it, the 'メニュー情報' (Menu Information) table shows menu details. The 'メニューテーブル情報' (Menu Table Information) table lists menu tables. The 'メニュー地図情報' (Menu Map Information) table shows map-related settings. The '通知デフォルト情報' (Notification Default Information) table is highlighted, showing settings for menu ID 34, including a notification template type ID of 4 and a custom message '定型文3'.

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
11	6:00県00市	testタスク	1	
12	6:00県00市	A.避難勧告+指示の発令状況と追加情報	2	
13	6:00県00市	A.人命救助	3	
14	6:00県00市	A.体制発令	4	

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
33	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	初期画面			false		有効
34	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	①体制の発令、移行、解			true		有効

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
46	34:①体制の発令、移行、解除	4:体制発令	true	true

ID	メニューID	地図範囲(WKT)	新年度(デフォルト)	備考
				表示するレコードがありません

ID	メニューID	通知テンプレート種別ID	区分
15	34:①体制の発令、移行、解除	4:本部設置	定型文3

ID	メニューID	①対応状況	表示順	備考
35	14:A.体制発令	1:リスト(地図有)		true

図 6-61 通知デフォルト情報の編集

1) 通知デフォルト情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。

The screenshot displays the management interface for the system. The top part shows the main menu and a list of notification default information. The bottom part shows the 'Add Notification Default Information' dialog box with fields for Menu ID, Notification Template ID, and Classification, and buttons for Save and Cancel.

登録ボタン (Registration Button)

追加・通知デフォルト情報ダイアログが表示される (Add Notification Default Information dialog is displayed)

「*」は必須入力項 (* is a required input item)

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	有効・無効	表示順
15	34: ①体制の発令、移行、解除	4: 本部設置		定型文3		1件中1-1を表示
35	14: A.体制発令	1: リスト(地図有)	②対応状況	true	有効	3件中1-3を表示
						4件中1-4を表示

図 6-62 登録ボタン>追加・通知デフォルト情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-33 追加・通知デフォルト情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	通知テンプレート種別 ID	通知機能の使用を想定しているプロセス（災害対応業務の基本項目）をドロップダウンリストから選択する。	1: 避難勧告・指示
③	区分	定型文のタイトルを設定する。	体制移行
④	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 通知デフォルト情報一覧 に表示される。	
⑤	キャンセル	追加・ 通知デフォルト情報 ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、通知デフォルト情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知デフォルト情報を編集する

編集を行いたい通知デフォルト情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された通知デフォルト情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-33 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知デフォルト情報を削除する

データの削除を行いたい通知デフォルト情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知デフォルト情報を削除することができる。削除・通知デフォルト情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知デフォルト情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知デフォルト情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知デフォルト情報をコピーする

登録済み通知デフォルト情報をコピーし、それをもとに新たに通知デフォルト情

報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-33 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知デフォルト情報が作成される。

6.1.2.3 地図マスター情報

自治体>システム全般>地図マスター情報 を選択すると下図のような画面が表示される。地図マスター情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。地図マスター情報は Open-Xedge で取り扱う e コミマップで作成された地図を管理し、その一覧が地図マスター情報一覧に表示される。

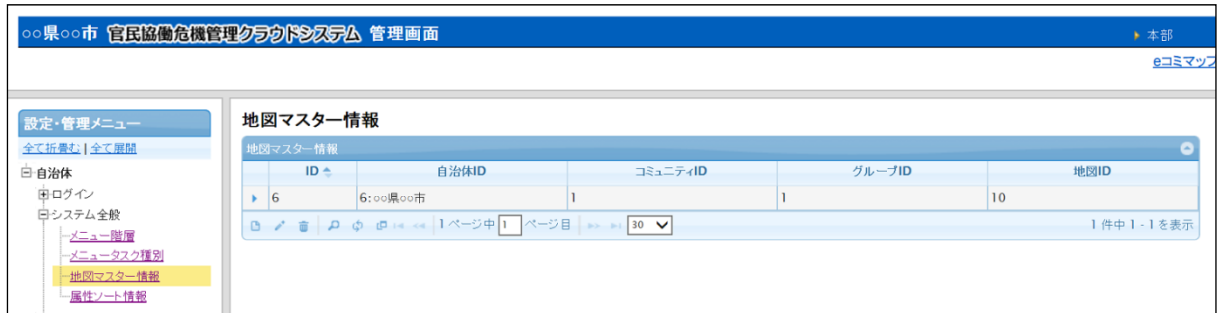


図 6-63 地図マスター情報

(1) 地図マスター情報の編集

地図マスター情報では Open-Xedge で取り扱う e コミマップで作成された地図を管理する。以下に地図マスター情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 地図マスター情報を新規で登録

登録ボタンを押下することで、追加・地図マスター情報ダイアログが表示される。

図 6-64 登録ボタン>追加・地図マスター情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-34 追加・地図マスターダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○○市
②	コミュニティ ID	利用する e コミマップが作成された e コミマップのサイトの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	3
③	グループ ID	利用する e コミマップが作成された e コミマップのグループの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	4
④	地図 ID	利用する e コミマップの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	5
⑤	訓練地図 ID	利用する e コミマップの訓練用の地図 ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	6
⑥	地図追加専用マップ ID	利用する e コミマップの地図追加専用の地図 ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。 「地図追加」ボタンおよび更新通知ポップアップによって動的に追加されるレイヤを管理する。	
⑦	表示制限範囲 BBOX 値	地図画面に表示範囲の制限をかける。設定した BBOX 値を越えてのスクロールが不可となる。	125.913672, 48.008110, 151.753516, 29.405858
⑧	コピー方法	災害時にマップをコピーするか選択する。 時系列化では「災害時はコピーせず、訓練時のみマップコピー」で運用することを推奨する。	災害時はコピーせず、訓練時のみマップコピー

		※自治体セットアップの時系列化を行うと自動的に切り替わる。	
⑨	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑩	キャンセル	追加・地図マスターダイアログが閉じる。	

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されている地図が一覧で表示される。一覧に表示された地図情報から、コミュニティ ID、グループ ID、地図 ID を設定することができる。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、地図マスター情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図マスター情報を編集する

編集を行いたい地図マスター情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・地図マスター情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された地図マスター情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図マスター情報を削除する

データの削除を行いたい地図マスター情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図マスター情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図マスター情報を削除することができる。削除・地図マスター情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図マスター情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図マスター情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図マスター情報をコピーする

登録済み地図マスター情報をコピーし、それをもとに新たに地図マスター情報を作成することが出来る。コピー元となる地図マスター情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・地図マスター情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

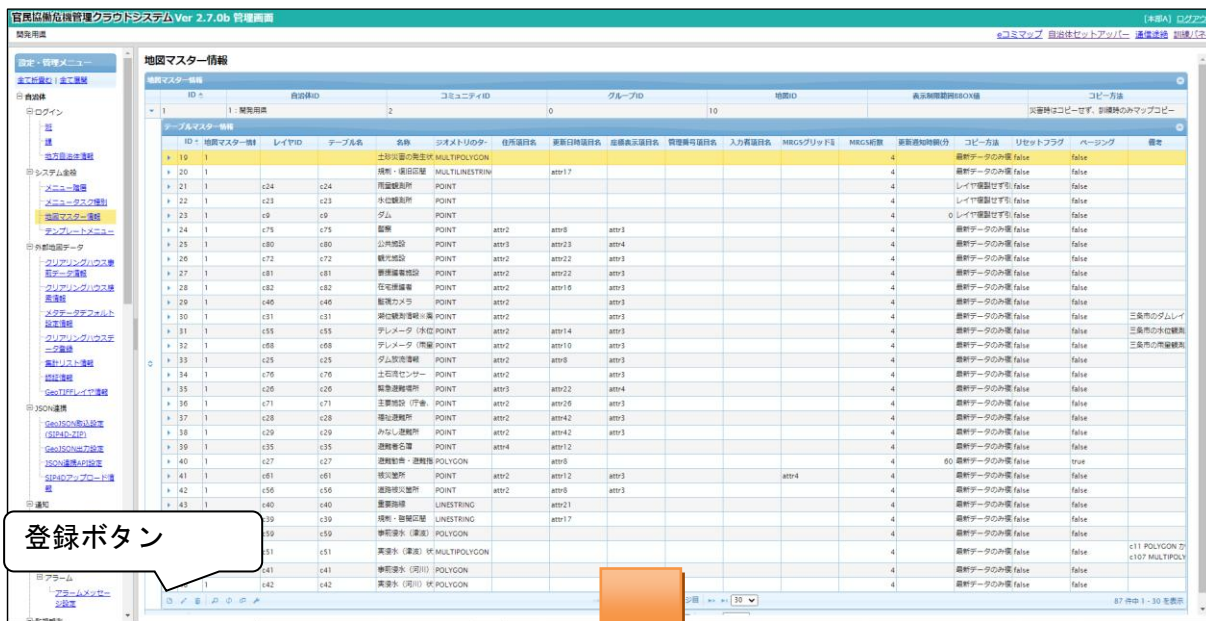
送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図マスター情報が作成される。

(2) テーブルマスター情報

登録されている地図マスター情報の下位の階層には、テーブルマスター情報が存在する。地図に表示するレイヤを設定することができる。以下に、テーブルマスター情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) テーブルマスター情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。



追加・テーブルマスター情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

図 6-65 登録ボタン>追加・テーブルマスター情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-35 テーブルマスター情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	地図マスター情報 ID	選択されている地図マスター情報の ID が自動で入力される。	
②	レイヤ ID	(災害用) e コミマップで作成されたレイヤのレイヤ ID を手入力または、レイヤ ID の検索ボタンより設定する。	C19
③	テーブル名 ID	(災害用) e コミマップで作成されたレイヤのテーブル名 ID を手入力または、テーブル名 ID の検索ボタンより設定する。	C19
④	訓練レイヤ ID	(訓練用) e コミマップで作成されたレイヤのレイヤ ID を手入力または、レイヤ ID の検索ボタンより設定する。	C38
⑤	訓練テーブル名	(訓練) e コミマップで作成されたレイヤのテーブル名 ID を手入力または、テーブル名 ID の検索ボタンより設定する。	C38
⑥	名称	e コミマップで作成されたレイヤの名称を手入力または、名称の検索ボタンより設定する。	name
⑦	ジオメトリのタイプ	e コミマップで作成されたレイヤのジオメトリタイプを手入力または、ジオメトリタイプの検索ボタンにより設定する。	POINT
⑧	住所項目名	レイヤに登録されている住所を格納する属性の attr 番号を手入力または、住所項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑨	更新日時項目名	レイヤに登録されている更新日時を格納する属性の attr 番号を手入力または、更新日時項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑩	座標表示項目名	レイヤに登録されている座標表示を格納する属性の attr 番号を手入力または、座標表示項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑪	管理番号項目名	レイヤに登録されている管理番号を格納する属性の attr 番号を手入力または、管理番号項目名の検索ボタンにより設定する。	
⑫	入力者項目名	レイヤに登録されている入力者を格納する属性の attr 番号を手入力または、入力者項目名	attr1

		の検索ボタンにより設定する。	
⑬	MRGS グリッド 項目名	MRGS グリッド情報を格納する属性の attr 番号 を手入力により設定する。	attr1
⑭	MRGS 桁数	MRGS グリッド情報の最大桁数を手入力にて設 定する。 ※POLYGON/MULTIPOLYGON レイヤで設定した場 合、UTM 自動入力が true となる。	1
⑮	更新通知時間 (分)	リスト画面および地図画面において、設定し た時間(分)以内に変更のあった項目に赤矢印 を表示できる。	60
⑯	コピー方法	災害時または訓練時のテーブルのコピー方法 を選択する。	最新データの み複製 (履歴 なし)
⑰	リセットフラグ	災害対応完了後、災害対応前の状態に戻すか どうか選択する。災害対応完了時にデータを リセットしたいレイヤは true に設定すること。	false
⑱	ページング	ページング機能の ON/OFF を設定する。	True
⑲	アラート範囲	True でアラート範囲レイヤと認識して、端末 位置がその範囲内にあると決められたアラ ートメッセージを出力する。 詳細は 6.1.2.3 (2) 1) B) アラート範囲につ いて	True
⑳	端末位置	True で端末位置のデータを記録する。	True
㉑	軌跡レイヤ	True で C〇〇_trail レイヤが作成される。 (〇〇は登録中、編集中のレイヤ ID) False で C〇〇_trail レイヤが削除される。 ※同時に訓練レイヤも生成、削除となる。 詳細は C) 軌跡レイヤについて	True
㉒	備考	備考欄。	
㉓	CKAN 検索	CKAN 検索ボタンで CKAN 検索画面が開き、そこ で CKAN のデータセットと紐づけ可能。	
㉔	訓練 CKAN 検索	訓練 CKAN 検索ボタンで訓練 CKAN 検索画面が 開き、そこで訓練 CKAN のデータセットと紐づ け可能。	
㉕	保存	設定された情報が保存される。保存されたデ ータはテーブルマスター情報一覧に表示され る。	

②6	キャンセル	追加・テーブルマスター情報ダイアログを閉じる。	
----	-------	-------------------------	--

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されているレイヤ情報が一覧で表示される。一覧に表示されたレイヤ情報から、レイヤ ID、テーブル名 ID、名称、ジオメトリのタイプ、住所項目名、更新日時項目名、座標表示項目名を設定することができる。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブルマスター情報一覧にデータが新規追加される。

B) アラート範囲について

True に設定するとアラート範囲レイヤと認識、端末位置がその範囲内にあると設定したアラートメッセージを出力する。



図 6-66 アラート範囲 True : スマホ画面にアラート表示した例

C) 軌跡レイヤについて

True で COO_trail レイヤが作成される。(COOは登録中、編集中レイヤ ID)
 False で COO_trail レイヤが削除される。
 ※同時に訓練レイヤも生成、削除となる。

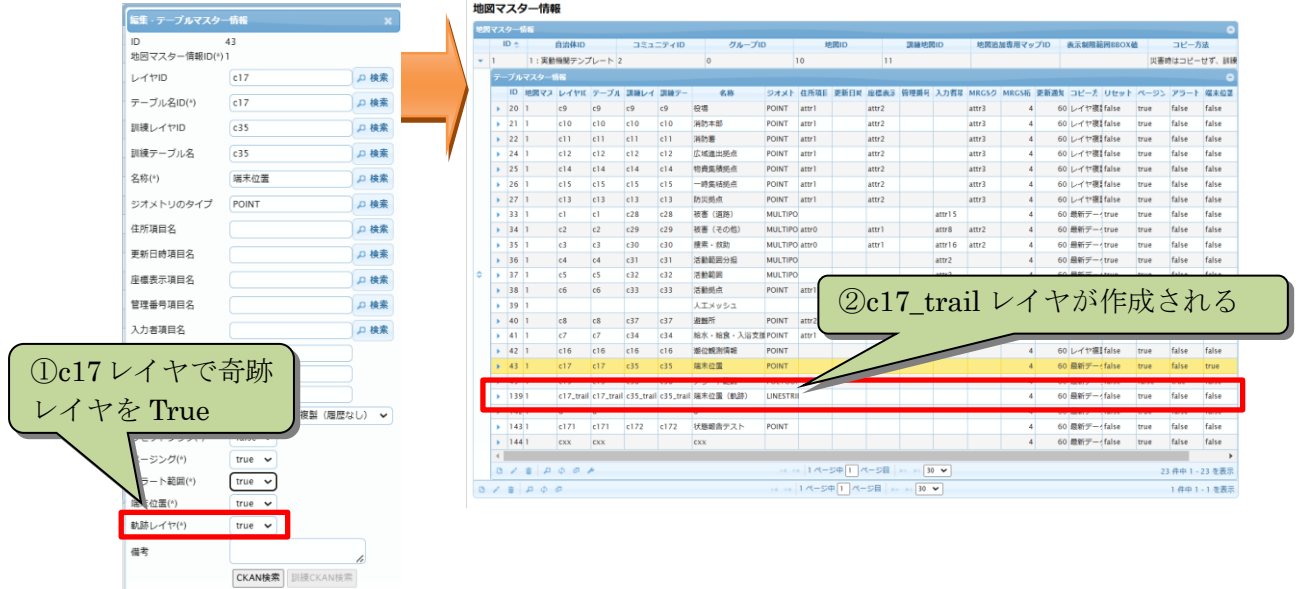


図 6-67 奇跡レイヤ True : COO_trail レイヤの作成

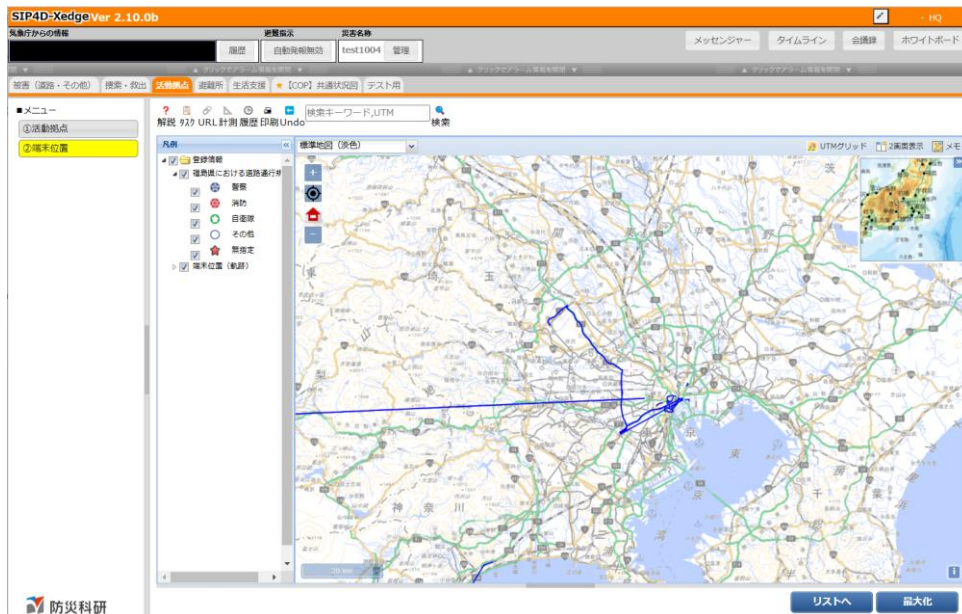


図 6-68 奇跡レイヤ True : 利用者画面に軌跡が表示される

2) テーブルマスター情報を編集する

編集を行いたいテーブルマスター情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルマスター情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-35 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルマスター情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルマスター情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルマスター情報を削除することができる。削除・テーブルマスター情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルマスター情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルマスター情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルマスター情報をコピーする

登録済みテーブルマスター情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルマスター情報を作成することができる。コピー元となるテーブルマスター情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力・表示内容は表 6-35 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルマスター情報が作成される。

(3) テーブル演算項目情報の編集

登録されているテーブルマスター情報の下位の階層には、テーブル演算項目情報が存在する。テーブル演算項目情報は、属性間演算を行うための設定項目である。以下にテーブル演算項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	地図マスター	レイヤID	テーブル名	名称	ジオメトリのタ	住所項目名	更新日時項目	座標表示項目	MRGSグリッド	MRGS縮尺	コピーフラグ	備考
291	6	c45	c45	てすと1	POINT						4 true	

図 6-69 テーブル演算項目情報

1) テーブル演算項目情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項

図 6-70 登録ボタン>追加・テーブル演算項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-36 追加・テーブル演算項目情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブル ID	選択されているテーブルマスター情報の ID が自動で割り当てられる。	200
②	項目名	演算の対象となる属性を設定する。	attr1
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはテーブル演算項目情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・テーブル演算項目情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブル演算項目情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブル演算項目情報を編集する

編集を行いたいテーブル演算項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブル演算項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-36 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブル演算項目情報を削除する

データの削除を行いたいテーブル演算項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブル演算項目情報を削除することができる。削除・テーブル演算項目情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブル演算項目情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブル演算項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブル演算項目情報をコピーする

登録済みテーブル演算項目情報をコピーし、それをもとに新たにテーブル演算項目情報を作成することができる。コピー元となるテーブル演算項目情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-61 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブル演算項目情報が作成される。

(4) テーブル演算情報

登録されているテーブル演算項目情報の下位の階層には、テーブル演算情報が存在する。テーブル演算情報は、属性間演算を行うための計算式を設定する項目である。以下にテーブル演算情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。



図 6-71 テーブル演算情報

1) テーブル演算情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブル演算情報ダイアログが表示される。

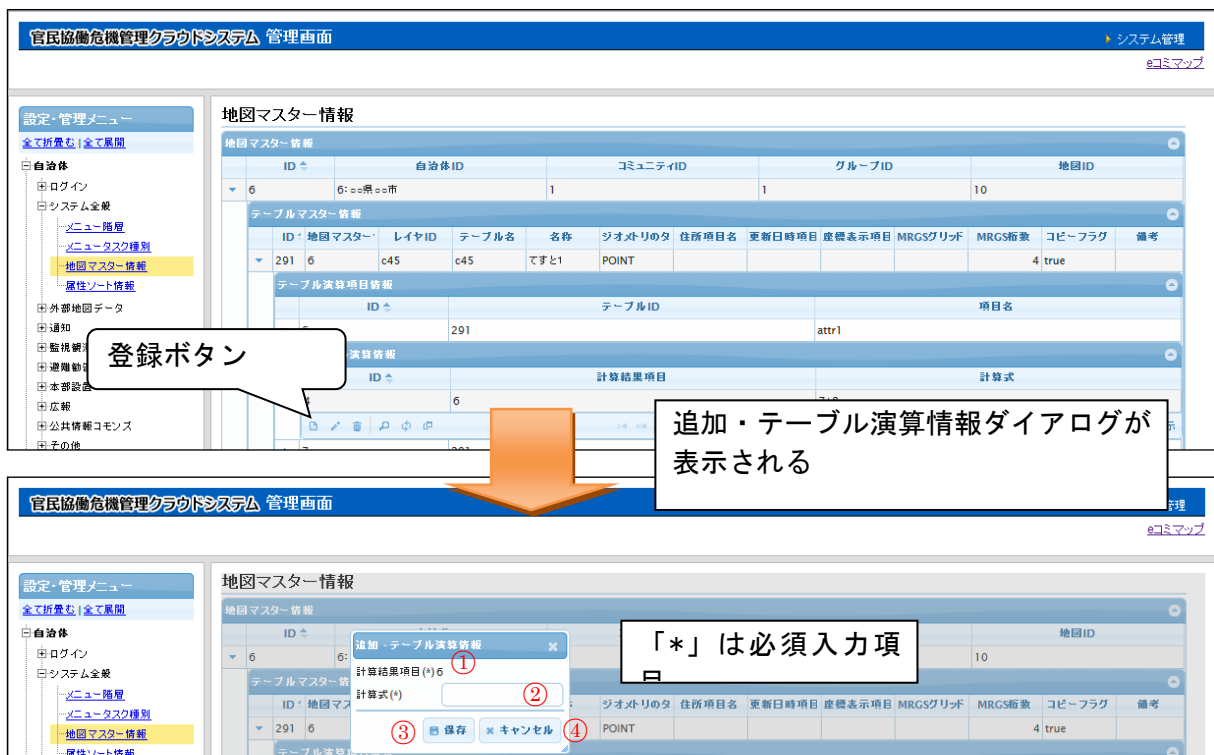


図 6-72 登録ボタン>追加・テーブル演算情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-37 追加・テーブル演算情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	計算結果項目	選択されているテーブル演算項目情報の ID が自動入力される。	1
②	計算式	属性間計算を行うための計算式を設定する。	{テーブル演算項目情報の ID}+{テーブル演算項目情報の ID} 主な計算式は下記 A) 参照
③	保存	設定された情報を保持する。保存されたデータはテーブル演算情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・テーブル演算情報ダイアログを閉じる。	

A) 主な計算式について

属性間計算で使用できる主な計算式は以下の通り。

四則演算	{id} + {id}、{id} * {id} など
大小比較演算	< <= > >= 結果は、true : 1 false : 0
等価比較演算	== != 結果は、true : 1 false : 0
年齢	year({id})
多い方	max({id}, {id})
少ない方	min({id}, {id})

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブル演算情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブル演算情報を編集する

編集を行いたいテーブル演算情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブル演算情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブル演算情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-37 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブル演算情報を削除する

データの削除を行いたいテーブル演算情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブル演算情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブル演算情報を削除することができる。削除・テーブル演算情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブル演算情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブル演算情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブル演算情報をコピーする

登録済みテーブル演算情報をコピーし、それをもとに新たにテーブル演算情報を作成することができる。コピー元となるテーブル演算情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブル演算情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-37 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブル演算情報が作成される。

(5) テーブルリセット対象属性情報

1) テーブルリセット対象属性情報を新規で作成する

登録されているテーブルマスター情報の下位の階層には、テーブルリセット対象属性情報が存在する。テーブルリセット対象属性情報は、災害完了時に、デフォルトでリセット対象となる属性の設定項目である。(災害完了時にリセット対象を対象外、またはリセット対象外を対象に変更することも可能)

以下にテーブル演算項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

テーブルリセット対象属性情報									
ID	テーブルID	属性項目名							
3	50 : 避難所	attr2							
1 ページ中 1 ページ目 30 1 件中 1 - 1 を表示									
	協定業者	POINT	attr2	attr11	attr3			4	最新データのみ選択 true
	病院	POINT	attr2	attr12	attr3			4	最新データのみ選択 false

登録ボタン



追加・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される



図 6-73 登録ボタン>追加・テーブルリセット対象属性情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-38 追加・テーブルリセット対象属性情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性項目名	リセット対象の項目名を設定する。	attr4

保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブルリセット対象属性情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブルリセット対象属性情報を編集する

編集を行いたいテーブルリセット対象属性情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルリセット対象属性情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-36 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルリセット対象属性情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルリセット対象属性情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルリセット対象属性情報を削除することができる。削除・テーブルリセット対象属性情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルリセット対象属性情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルリセット対象属性情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルリセット対象属性情報をコピーする

登録済みテーブルリセット対象属性情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルリセット対象属性情報を作成することができる。コピー元となるテーブルリセット対象属性情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-61 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルリセット対象属性情報が作成される。

(6) テーブル CSV 項目情報

1) テーブル CSV 項目情報を新規で作成する

登録されているテーブルマスター情報の下位の階層には、テーブル CSV 項目情報が存在する。テーブル CSV 項目情報は、CSV 出力時に、属性項目に対して、項目説明を付けるための設定である。

以下にテーブル CSV 項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

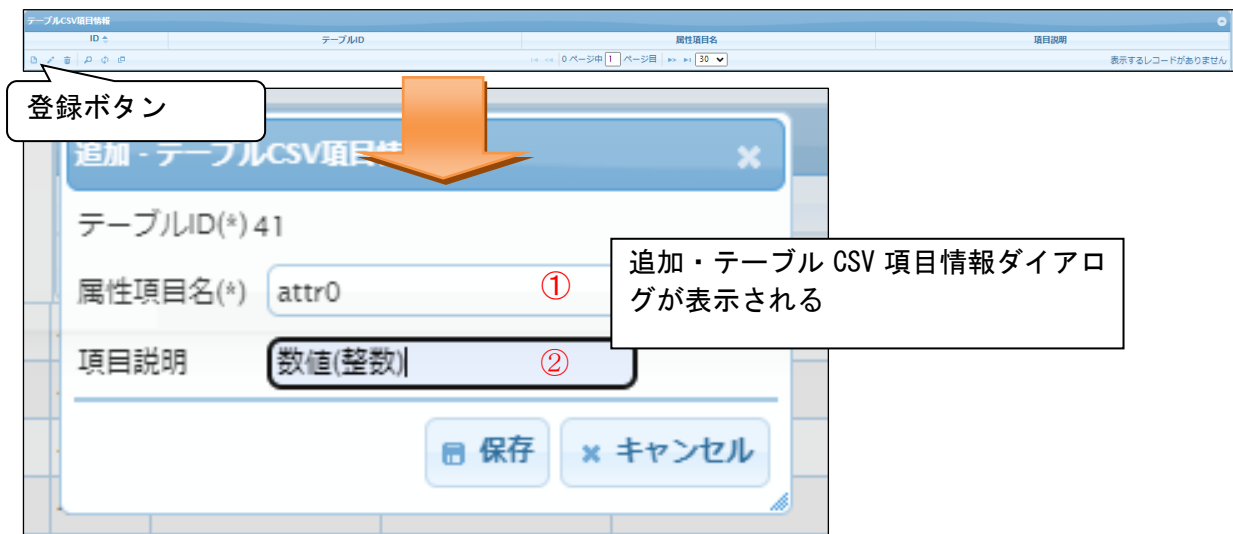


図 6-74 登録ボタン>追加・テーブル CSV 項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-39 追加・テーブル CSV 項目情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性項目名	項目説明を付けたい項目名を設定する。	attr0
②	項目説明	①で選択した項目の説明を入力する。	数値(整数)

保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブル CSV 項目情報一

覧にデータが新規追加される。

2) テーブル CSV 項目情報を編集する

編集を行いたいテーブル CSV 項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブル CSV 項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブル CSV 項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-39 追加・テーブル CSV 項目情報ダイアログの各名称と概要を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブル CSV 項目情報を削除する

データの削除を行いたいテーブル CSV 項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブル CSV 項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブル CSV 項目情報を削除することができる。削除・テーブル CSV 項目情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブル CSV 項目情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブル CSV 項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブル CSV 項目情報をコピーする

登録済みテーブル CSV 項目情報をコピーし、それをもとに新たにテーブル CSV 項目情報を作成することができる。コピー元となるテーブル CSV 項目情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブル CSV 項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-39 追加・テーブル CSV 項目情報ダイアログの各名称と概要を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブル CSV 項目情報が作成される。

6.1.2.4 テンプレートメニュー

自治体>システム全般>テンプレートメニュー を選択すると下図のような画面が表示される。テンプレートメニューが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。テンプレートメニューを設定することで、ウィザード機能で作成されるメニューの構成を変更することができる。なお、テンプレートメニューを設定する前に、e コミマップで名称を「テンプレートベースレイヤ」としたレイヤを作成すること。



図 6-75 テンプレートメニュー

(1) タスク種別情報(テンプレート)の編集

タスク種別情報(テンプレート)ではウィザード機能で作成されるメニューのテンプレートを設定する。以下にタスク種別情報(テンプレート)の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-40 追加・タスク種別情報の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○○市
②	名称	タスク種別の名称を設定する	緊急対応
③	テンプレートフラグ	ウィザード機能からメニューを作成した際に、タスク種別情報のテンプレートフラグに同じ値が入る。テンプレートから作られたことを示すためのフラグ。1:テンプレート(親)固定。	1:テンプレート(親)
④	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示される時、上位に表示される。	1
⑤	備考	備考欄。	(なし)

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、タスク種別情報一覧にデータが新規追加される。

タスク種別情報一覧の下の階層にメニュー情報を設定する。メニュー情報以下の設定方法については 6.1.2.2 (2) メニュー情報の編集を参照すること。

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されている地図が一覧で表示される。一覧に表示された地図情報から、コミュニティ ID、グループ ID、地図 ID を設定することができる。

2) タスク種別情報(テンプレート)を編集する

編集を行いたいタスク種別情報(テンプレート)を選択後、編集ボタンを押下することで編集・タスク種別情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択されたタスク種別情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) タスク種別情報(テンプレート)を削除する

データの削除を行いたいタスク種別情報(テンプレート)を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスク種別情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスク種別情報(テンプレート)を削除することがで

きる。削除・タスク種別情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスク種別情報(テンプレート)を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスク種別情報(テンプレート)の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスク種別情報(テンプレート)をコピーする

登録済みタスク種別情報(テンプレート)をコピーし、それをもとに新たにタスク種別情報(テンプレート)を作成することが出来る。コピー元となるタスク種別情報(テンプレート)を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・タスク種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスク種別情報(テンプレート)が作成される。

(2) 災害別タスク種別情報

災害別タスク種別情報では、災害別でウィザード機能で作成されたタスクの一覧を表示する。このテーブルでは確認のみ可能なテーブルのため、編集や削除することはできない。

ID	名称
17	テスト災害

図 6-77 災害別タスク種別情報

(3) タスク種別情報(テンプレートから生成)

災害別タスク種別情報では、ウィザード機能で作成されたタスクの一覧を表示する。

タスク種別情報一覧の下の階層にメニュー情報を設定する。メニュー情報以下の設定方法については 6.1.2.2 (2) メニュー情報の編集を参照すること。

ID	自治体ID	名称	テンプレートフラグ	表示順	備考
322	8: testtest市	指定避難所2	2: テンプレート(子)	2270	
325	8: testtest市	追加	2: テンプレート(子)	2273	

図 6-78 タスク種別情報(テンプレートから生成)

6.1.3. 外部地図データ

6.1.3.1 クリアリングハウス事前データ情報

本システムの地図データのうち、クリアリングハウスに登録したレイヤに関する情報を管理する。

ID	自治体ID	名称
23	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151512 危機管理クラウド/道路被災箇所/小 309:道路被災箇所
24	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151514 危機管理クラウド/入山規制ポイント 321:入山規制ポイント
25	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151516 危機管理クラウド/火災エリア/小 327:火災エリア
26	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151516 危機管理クラウド/その他エリア/小 328:その他エリア
27	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151517 危機管理クラウド/火山災害(火口) 330:火山災害(火口)状況
29	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151518 危機管理クラウド/火山災害(火砕) 334:火山災害(火砕流)状況
30	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151518 危機管理クラウド/火山災害(溶岩) 336:火山災害(溶岩流)状況
31	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151519 危機管理クラウド/火山災害(溶岩) 336:火山災害(溶岩流)状況
32	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151519 危機管理クラウド/火山災害(降灰) 338:火山災害(降灰)状況
33	3:宮崎県小崎市	SAIGAITASK_3_201401151520 危機管理クラウド/火山災害(火山) 340:火山災害(火山泥流)状況
34	4:宮崎県高岡町	SAIGAITASK_4_201401151522 危機管理クラウド/避難勧告・避難指 402:避難勧告・避難指示の発令地区
35	4:宮崎県高岡町	SAIGAITASK_4_201401151523 危機管理クラウド/避難所/高岡町 404:避難所
36	4:宮崎県高岡町	SAIGAITASK_4_201401151523 危機管理クラウド/福祉避難所/高岡 405:福祉避難所
37	4:宮崎県高岡町	SAIGAITASK_4_201401151524 危機管理クラウド/重要路線/高岡町 407:重要路線

1) 新規で登録する

ここからクリアリングハウスデータ情報の新規登録は行わない。

※使用しない

2) 編集する

※使用しない

3) 削除する

※使用しない

6.1.3.2 クリアリングハウス検索情報

クリアリングハウスを検索するための情報を管理する。

本システムは、定期的にクリアリングハウスの情報を監視し、指定された条件に合致する地図を発見した場合、ユーザにポップアップメッセージで案内する機能があり、その検索条件を指定する。

ID	自治体ID	定期的検索する回	検索条件、クリアリングハウスのGetRe	BBOX値
1	7:神奈川県藤沢市	120	a	139.451,35.305,139.526,35.367

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-41 クリアリングハウス検索情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	定期的には検索する間隔	クリアリングハウスを定期的には検索する間隔を指定する。単位：秒	3
③	検索条件	クリアリングハウスのAPIのGetRecordsリクエストのGetパラメータを指定する。 ※表 6-42 GetRecords のパラメータを参照	4
④	範囲の WKT	クリアリングハウスの情報検索の範囲を指定する。	5

表 6-42 GetRecords のパラメータ

パラメータ名	値	説明
DISASTERTYPE	以下のいずれかの番号 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他	災害区分、カンマ区切りで複数指定可能
KEYWORD	文字列	AND キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDOR	文字列	OR キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDNOT	文字列	NOT キーワード、スペース区切りで複数指定可能
FUZZYSEARCH	true (する) / false (しない)	あいまい検索制御

CONTACTNAME	文字列	問い合わせ先の名称に対する検索条件
BBOX	西側経度,南側緯度,東側経度,北側緯度	地理範囲条件、度単位
TERMTYPE	以下のいずれかの番号 1:作成日 2:刊行日 3:改訂日	期間条件の対象、カンマ区切りで複数指定可能
TERM	開始日付,終了日付 日付の形式は YYYY-MM-DD	識別情報の日付に対する期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
DATATERM	開始日付,終了日付 日付の形式は YYYY-MM-DD	範囲情報・時間要素に対する期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
RATING	最低値,最高値	評価条件、最低値と最高値のカンマ区切り、値は 0~5、一方を省略可能、省略すると片側無制限
APPLICATION PROFILE	WMS,WFS,WCS のいずれかを指定	データ提供サービスの種類を条件として検索、カンマ区切りで複数指定可能
UPDATETERM	開始日時,終了日時 日時の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ss (日付と時刻を T で区切る)	メタデータの更新日時（システムが管理するメタデータの登録・更新日時）に対する期間条件 開始日時と終了日時のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
INCLUDEPLANED	true/false	予定メタデータを含む（true）含まない（false）を指定する。 省略した場合は true

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.3 メタデータデフォルト設定情報

クリアリングハウスにデータを登録する際の、諸設定の初期値を管理する。

「6.1.3.4 クリアリングハウスデータ登録」から入力される情報の、初期値を登録する。

1) 新規で登録する

新規ボタンを押し、登録・編集ダイアログを開く。

表 6-43 メタデータデフォルト設定情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	接頭語	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接頭語の初期値を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	△△
③	接尾語	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接尾語の初期値を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	◇◇
④	問合せ先	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『組織名』の初期値を指定する。	○○市
⑤	電話番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『電話番号』の初期値を	0000-22-8888

		指定する。	
⑥	郵便番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『郵便番号』の初期値を指定する。	000-9999
⑦	都道府県名	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『都道府県』の初期値を指定する。	〇〇県
⑧	市区町村名	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『市区町村』の初期値を指定する。	〇〇市
⑨	都道府県コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『都道府県コード』の初期値を指定する。	99000
⑩	市区町村コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『市区町村コード』の初期値を指定する。	99999
⑪	町名、番地、ビル名等	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『町名、番地、ビル名等』の初期値を指定する。	〇〇12-9
⑫	電子メールアドレス	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『電子メールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx
⑬	問い合わせ先のHP等のURL	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『問い合わせ先のHP等のURL』の初期値を指定する。	http://xxxxx

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.4 クリアリングハウスデータ登録

本システムが持つ地図データを、クリアリングハウスに登録し、その情報を「クリアリングハウスデータ情報」に格納する。

クリアリングハウスに登録される情報は、地図単位で登録されるが、本システムは

レイヤ単位で情報を制御する必要があるため、地図をレイヤ単位に分割して登録する。

V2.7 以降で新規登録する場合は、公開ビューの作成が必須となる。

WMS/WFS/GeoJSON URL のレイヤ ID が _pub 付きのものを表示する。

CKAN に登録済みの場合は、CKAN 登録画面で表示される WMS 等の URL は _pub が付かない従来のレイヤ ID が表示される。

公開ビューの URL 変更したい場合は、クリアリングハウス事前データ情報で該当データの削除を行う。

クリアリングハウスへの登録画面

対象レイヤ※	選択してください ①
メタデータに関する情報	
メタデータを公開する対象	防災関係機関内共有 ②
地図データに関する情報	
地図データのタイトル(*1)	// ③
地図データの内容の要約	④
地図データが作成された目的	⑤
地図データの作成状況	平常時は「予定」で登録されます。 災害時・訓練時は「完成」で登録されます。 ⑥
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報(*1)	
問い合わせ先の名称	⑦
郵便番号	⑧
都道府県	⑨コード: 99 ⑩
市区町村	⑪コード: ⑫
町名、番地、ビル名等	⑬
電話番号	⑭
電子メールアドレス	⑮
問い合わせ先のHP等のURL	⑯
地図データの時間範囲に関する情報	
時間範囲に関する情報	⑰
地図データのアクセスに関する情報	
WMS URL	⑱
WFS URL	⑲
<input type="checkbox"/> メタデータデフォルト設定情報を更新する(*1)	

登録

表 6-44 クリアリングハウスへの登録

番号	名称	概要	設定例
①	対象レイヤ	クリアリングハウスに登録するレイヤを選択する。	避難所
メタデータに関する情報			
②	メタデータを公開する対象	メタデータの公開設定を指定する。	一般公開
地図データに関する情報			
③	地図データのタイトル	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接頭語を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	危機管理/避難所/〇〇市
④	地図データの内容の要約	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『要約』を指定する。	要約
⑤	地図データが作成された目的	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『目的』を指定する。	目的
⑥	地図データの作成状況	クリアリングハウスに登録される『状態』を指定する。 平常時は「予定」で登録される。 災害時・訓練時は「完成」で登録される。 完成＝通常の地図情報の登録 予定＝地図情報が無く、メタデータのみ登録	
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報			
⑦	問い合わせ先の名称	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『組織名』を指定する。	〇〇市
⑧	郵便番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『郵便番号』を指定する。	999-0000
⑨	都道府県	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『都道府県名』を指定する。	〇〇県
⑩	都道府県コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『都道府県コード』を指定する。	99000
⑪	市区町村	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『市区町村』を指定する。	〇〇市

⑫	市区町村コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『市区町村コード』を指定する。	99300
⑬	町名、番地。ビル名等	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『住所詳細』を指定する。	〇〇23-4
⑭	電話番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『電話番号』を指定する。	00-55-9823
⑮	電子メールアドレス	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『電子メールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑯	問い合わせ先のHP等のURL	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『リンク』を指定する。	http://xxx
地図データの時間範囲に関する情報			
⑰	時間範囲に関する情報	システムが自動で定義する。	
地図情報データのアクセスに関する情報			
⑱	WMS URL	システムが自動で定義する。	
⑲	WFS URL	システムが自動で定義する。	

6.1.3.5 集計リスト情報

集計レイヤでは、外部リストとして読み込んだ連携自治体のレイヤに対しての集計や、登録情報レイヤの図形集計を行うことができる。

集計レイヤは設定が複雑であるため、設定の流れを下記に示す。

(1) 外部リスト集計の設定の流れ

例えば、避難所レイヤに対して下記のような集計リストを作成できる。

The screenshot shows the '高知県 SIP 災害情報利活用システム Ver 2.1.2' interface. A summary table is displayed with the following data:

名称	開設済み	開設指示済	開設不能	閉鎖	未開設	状況	避難者数	最終更新日時
合計	18	0	0	9	282	0	468	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-
津野町	2	-	-	-	15	-	0	-
橋本町	7	-	-	-	54	-	0	-
須崎市	1	-	-	-	17	-	0	-
中土佐町	3	-	-	-	26	-	456	-
四万十町	5	-	-	9	170	-	12	-

- 集計結果を格納する集計レイヤをe コミマップで作成する
 - ジオメトリ形状や属性項目は基本的に自由に定義可能
 - ただし、属性項目は下記の2つは必須とする

-
- ① 集計結果を格納する項目（例：attr2:未開設数）
※複数定義可能
 - ② 自治体コード項目（外部リスト集計の場合に必須。図形集計の場合は設定不要）
（CKAN を利用しない場合）市町村コード（県:2桁, 市:5桁）
（CKAN を利用する場合）組織コード
- (ウ) 各自治体の地物を登録しておくこと。
自治体ごとに集計結果を格納するため、自治体ごとに地物を作成しておくこと。
2. 集計レイヤをテーブルマスタ情報に登録
(ア) テーブルマスタ情報に登録後、自治体セッターの時系列化を行うこと。
 3. 集計方法を定義する設定
(ア) 集計レイヤ情報
詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
(イ) 集計レイヤ項目情報
詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
 4. メニュー情報で集計レイヤを表示するための設定
(ア) 外部リストのメニューを作成する
※自治体および連携自治体のレイヤは同じものを設定すること（避難所の集計を行う場合はすべて避難所レイヤを指定すること）
 - ① メニュータイプ：リスト（地図有）などのリストが使えるものを選択
 - ② メニューテーブル情報に自治体のレイヤを設定する
 - ③ メニュー情報の編集ボタンを開き、外部地図表示レイヤ設定から連携自治体のレイヤを設定する
(イ) 外部リストのメニューに集計レイヤの設定を追加する
 - ① メニューテーブル情報
通常、メニューテーブル情報は1つしか設定できないが、集計レイヤは2番目に設定することで利用可能となる。
 - ② テーブルリスト項目情報
通常のリスト画面と同じように表示したい属性項目を設定すること。
- (ウ) ページボタン表示情報
- ① ID=16の「集計」ボタンをメニューに配置すること
※「集計」ボタンをクリックすると集計が行われる
-

(2) 図形集計の設定の流れ

例えば、被災状況ポリゴンレイヤの地物を、地区ポリゴンデータを持つ被災集計レイヤで、その地区ポリゴンに含まれる被災状況地物の件数を集計することができる。

The screenshot shows the SIP4D-Xedge Ver 2.9.0b interface. The main window displays a table with the following columns: 合計 (Total), 名称 (Name), 被災件数 (Disaster Count), 火災発生件数 (Fire Occurrence Count), 浸水発生件数 (Flood Occurrence Count), 人数 (Number of People), and 最終更新日時 (Last Update Time). The table lists 18 rows of data, all with zero counts for the disaster, fire, and flood categories. The interface also includes a sidebar with a menu, a top navigation bar with various tabs, and a bottom toolbar with buttons like '地図追加', '一括変更', 'データの追加', '集計', '地図へ', and '最大化'.

合計	名称	被災件数	火災発生件数	浸水発生件数	人数	最終更新日時
-	-	0	0	0	0	-
0	轉住町第7地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第8地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第10地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第11地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第12地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第13地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第14地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第15地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第16地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第17地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18
0	轉住町第18地割	0	0	0	0	2024/05/29 21:31:18

- 集計結果を格納する集計レイヤをe コミマップで作成する
 - ジオメトリ形状はポリゴンもしくはマルチポリゴン
 - 属性項目は基本的に自由に定義可能
 - 集計結果を格納する項目は必須です。
 - ※複数定義可能
 - 例) attr1 : 被災件数 数値(整数)
 - 例) attr2 : 火災発生件数 数値(整数)
 - 例) attr5 : 人数 数値(整数)
 - 地区データ等のポリゴンの地物を登録しておくこと。
 - ※このポリゴンに含まれる地物を集計します。
- 集計レイヤをテーブルマスタ情報に登録
 - テーブルマスタ情報に登録後、自治体セッターの時系列化を行うこと。
- 集計方法を定義する設定
 - 集計レイヤ情報
 - 詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
 - 集計レイヤ項目情報
 - 詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
 - 例) attr1 : 被災件数 に、範囲に含まれる件数全てをカウントする場合は、絞込条件を空欄で設定します。
 - 演算 : 被災の種類 (カウント)
 - 絞り込み条件 : <空欄>

例) attr2 : 火災発生件数 に、範囲に含まれる「被災の種類」が「火災」である地物件数をカウントする場合は下記のように設定します。

演算 : 被災の種類 (カウント)

絞り込み条件 : 火災

例) attr5 : 人数 に、範囲に含まれる地物の人数を合計する場合は下記のように設定します。

演算 : 人数 (合計)

絞り込み条件 : <空欄>

4. メニュー情報で集計レイヤを表示するための設定

(ア) 地図 (リスト有) のメニューを作成する

① リストには集計レイヤを設定してください。

(イ) ページボタン表示情報

① ID=16 の「集計」ボタンをメニューに配置すること

※ 「集計」ボタンをクリックすると集計が行われる

(3) 集計リスト情報の設定方法

集計リスト情報を管理する。



1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・集計リスト情報ウィンドウが表示される。

表 6-45 追加・集計リスト情報ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	集計対象テーブル ID	集計されるテーブルをテーブルマスター情報に登録されているテーブル名のドロップダウンリストから選択する。	1:体制発令
③	テーブル ID	集計結果を保存するテーブルをテーブルマスター情報に登録されているテーブル名のドロップダウンリストから選択する。	2:体制集計表
④	自治体コード項目名	自治体コード(CKAN を利用する場合は組織コード)が登録されている項目名を指定する。 ※外部リスト集計の場合に設定	attr1
④	図形集計	図形集計方法を設定します。 ※図形集計の場合に設定	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.6 集計リスト項目情報

外部地図の情報を集計する、集計リストの演算項目を管理する。

ID	集計リスト情報ID	集計結果保存属性	演算	絞り込み条件	有効・無効
4	attr2		開設状況 (カウント)	未開設	有効

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・集計リスト項目情報が表示される。

表 6-46 追加・集計リスト項目情報ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	集計結果保存属性	集計結果を保存する属性 ID を指定する。	attr2: 未開設数
②	演算	集計する項目と演算方法を指定する。 カウント：絞り込み条件に合致した数をカウントする 合計：数値の合計を演算する パーセント：図形集計時に利用可能。地物の図形に含まれる地物をカウントし、絞り込み条件に合致した地物数÷地物全数で割合計算する。小数点以下四捨五入。	開設状況(カウント)
③	絞り込み条件	カウントする値を指定する。	未開設
④	有効・無効	集計リスト項目情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.7 認証情報

WMS、WFS、KML における外部情報の取り込みにおいて、ベーシック認証による認証情報を管理する。



1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・クリアリングハウス事前データ情報ダイアログが表示される。

表 6-47 追加・認証情報ウィンドウの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称	認証情報の名称を設定する。	〇〇認証
③	認証方法	Basic 認証のみ対応	Basic
④	ログイン名	Basic 認証のログイン名を設定する。	saigaitask
⑤	ログインパスワード	Basic 認証のパスワードを設定する。	admin
⑥	認証情報フリーワード	認証のフリーワードを指定する。	aaa

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.8 CKAN 事前データ情報

本システムの地図データのうち、CKAN に登録したレイヤに関する情報を管理する。（本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウス事前データ情報」をクリックする場合に表示される）

ID	自治体ID	テーブルID	CKAN名称	情報種別ID	組織キー	組織名称	タイトル	要約	検索タグ	レイヤID
1	1: 徳島県鳴門市 98: 避難所		c50_5ccde824-25ccde824-2140-799dc51e-7f74-防災科研 利活用避難所				これはテストです避難所			c50

1) 新規で登録する

ここからクリアリングハウスデータ情報の新規登録は行わない。

※使用しない

2) 編集する

※使用しない

3) 削除する

※使用しない

6.1.3.9 CKAN 検索情報

CKAN を検索するための情報を管理する。

本システムは、定期的に CKAN の情報を監視し、指定された条件に合致する地図を発見した場合、ユーザーにポップアップメッセージで案内する機能があり、その検索条件を指定する。（本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウス検索情報」をクリックする場合に表示される）

ID	自治体ID	定期的に検索する間隔(秒)	検索条件、クリアリングハウスのGetRe	BBOX値
1	1: 徳島県鳴門市	7200 KEYWORD=避難所	132.198023,39.921105,142.744898	

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-46 クリアリングハウス検索情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	定期的には検索する間隔	CKAN を定期的には検索する間隔を指定する。単位：秒	3
③	検索条件	CKAN の A P I の GetRecords リクエストの Get パラメータを指定する。 ※表 6-42 GetRecords のパラメータを参照	4
④	範囲の WKT	CKAN の情報検索の範囲を指定する。	5

表 6-47 GetRecords のパラメータ

パラメータ名	値	説明
KEYWORD	文字列	AND キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDOR	文字列	OR キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDNOT	文字列	NOT キーワード、スペース区切りで複数指定可能
BBOX	西側経度,南側緯度,東側経度,北側緯度	地理範囲条件、度単位
UPDATETERM	開始日時,終了日時 日時の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ss (日付と時刻を T で区切る)	メタデータの更新日時 (システムが管理するメタデータの登録・更新日時) に対する期間条件 開始日時と終了日時のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限

1) 編集する

編集するデータをリストから選択し (黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

2) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.10 CKAN メタデータデフォルト設定情報

CKAN にデータを登録する際の諸設定の初期値を管理する。

（本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「メタデータデフォルト情報」をクリックする場合に表示される）

1) 新規で登録する

新規ボタンを押し、登録・編集ダイアログを開く。

表 6-48 CKAN メタデータデフォルト設定情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	作成者	CKAN に登録される『作成者』の初期値を指定する。	△△
③	作成者のメールアドレス	CKAN に登録される『作成者メールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx
④	メンテナー	CKAN に登録される『メンテナー』の初期値を指定する。	○○
⑤	メンテナーのメールアドレス	CKAN に登録される『メンテナーのメールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.11 CKAN データ登録

本地図が持つ地図データを、CKAN に登録し、その情報を「CKAN 事前データ情報」に格納する。本システムはレイヤ単位で情報を制御するため、地図をレイヤ単位に分割して登録する。

V2.7 以降で新規登録する場合は、公開ビューの作成が必須となる。WMS/WFS/GeoJSON URL のレイヤ ID が _pub 付きのものを表示する。

CKAN に登録済みの場合は、CKAN 登録画面で表示される WMS 等の URL は _pub が付かない従来のレイヤ ID が表示される。

公開ビューの URL 変更したい場合は、クリアリングハウス事前データ情報で該当データの削除を行う。

(本画面は CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウスデータ登録」をクリックする場合に表示される)

クリアリングハウスへの登録画面

対象レイヤ*	<input type="text" value="選択してください"/>	①
メタデータに関する情報		
メタデータの公開/非公開	<input type="text" value="公開"/>	②
システムURL	<input type="text" value="http://192.168.100.207:8080/SaigaiTask/"/>	③
言語	<input type="text" value="ja"/>	④
地図情報 (spatial)	<input type="text" value=""/>	⑤
地図データに関する情報		
タイトル	<input type="text" value=""/>	⑥
内容の要約	<input type="text" value=""/>	⑦
検索タグ	<input type="text" value=""/>	⑧
ライセンス情報	<input type="text" value="ライセンスが指定されていません"/>	⑨
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報(*1)		
組織	<input type="text" value="ソフトベンチャー"/>	⑩
作成者	<input type="text" value=""/>	⑪
作成者のメールアドレス	<input type="text" value=""/>	⑫
作成日	<input type="text" value=""/>	⑬
メンテナー	<input type="text" value=""/>	⑭
メンテナーのメールアドレス	<input type="text" value=""/>	⑮
修正日	<input type="text" value=""/>	⑯
バージョン番号	<input type="text" value=""/>	⑰
地図データの時間範囲に関する情報		
時間範囲に関する情報	<input type="text" value=""/>	⑱
地図データのアクセスに関する情報		
WMS URL	<input type="text" value=""/>	⑲
WFS URL	<input type="text" value=""/>	⑳
GeoJSON URL	<input type="text" value=""/>	㉑
レイヤの公開/非公開	<input type="text" value="公開"/>	㉒
<input type="checkbox"/> メタデータデフォルト設定情報を更新する(*1)		

登録

表 6-49 CKAN への登録

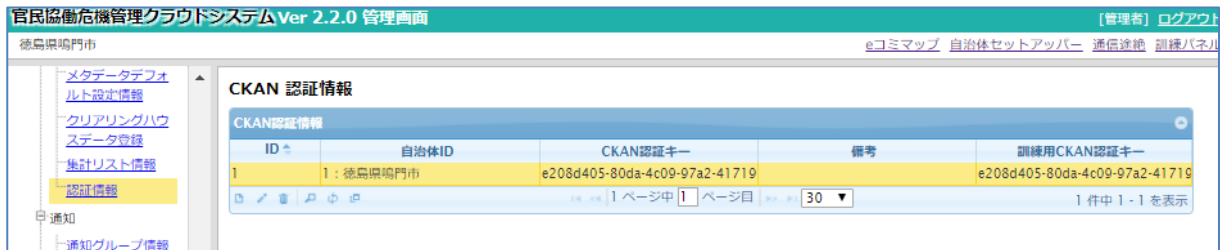
番号	名称	概要	設定例
①	対象レイヤ	CKAN に登録するレイヤを選択する。	避難所
メタデータに関する情報			
②	メタデータの公開/非公開	メタデータの公開設定を指定する。	公開
③	システム URL	システムが自動で定義する。	

④	言語	CKAN に登録される言語を選択する。	
⑤	地図情報 (spatial)	システムが自動で定義する。	
地図データに関する情報			
⑥	タイトル	CKAN に登録される地図名称としてのタイトルを指定する。	〇〇
⑦	内容の要約	CKAN に登録されるメタデータの『内容の要約』を指定する。	要約
⑧	検索タグ	CKAN に登録されるメタデータの『検索タグ』を指定する。カンマ区切りで複数指定可。	地震, 避難所
⑨	ライセンス情報	CKAN に登録されるメタデータの『ライセンス情報』を選択する。	GNU Free Documentation License
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報			
⑩	組織	CKAN に登録されるメタデータの『組織』を選択する。	〇〇市
⑪	作成者	CKAN に登録されるメタデータの『作成者』を指定する。	〇〇
⑫	作成者のメールアドレス	CKAN に登録されるメタデータの『作成者のメールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑬	作成日	CKAN に登録された日時が表示される。	
⑭	メンテナー	CKAN に登録されるメタデータの『メンテナー』を指定する。	〇〇
⑮	メンテナーのメールアドレス	CKAN に登録されるメタデータの『メンテナーのメールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑯	修正日	CKAN に登録済みのデータを最後に修正した日時が表示される。	
⑰	バージョン番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『バージョン番号』を指定する。	1.3
地図データの時間範囲に関する情報			
⑱	時間範囲に関する情報	システムが自動で定義する。	
地図情報データのアクセスに関する情報			
⑲	WMS URL	システムが自動で定義する。	
⑳	WFS URL	システムが自動で定義する。	
㉑	GeoJSON URL	システムが自動で定義する。	
㉒	レイヤの公開/ 非公開	レイヤの公開設定を指定する。	公開

6.1.3.12 CKAN 認証情報

CKAN に登録する場合の認証情報を管理する。

(本画面は CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「認証情報」をクリックする場合に表示される)



1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・CKAN 認証情報ダイアログが表示される。

表 6-50 追加・CKAN 認証情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	CKAN 認証キー	CKAN 認証キーを設定する。	XXX
③	備考	備考を設定する。	〇〇
④	訓練用 CKAN 認証キー	訓練用 CKAN 認証キーを設定する。	XXX

2) 編集する

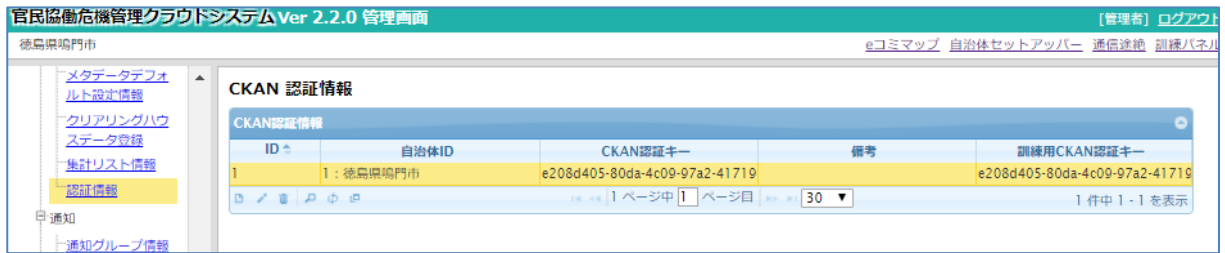
編集するデータをリストから選択し (黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し (黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.13 GeoTIFF レイヤ情報

地図追加で追加する GeoTIFF レイヤ情報を管理する。



1) 新規で登録する

※利用者画面の地図追加で GeoTIFF レイヤ新規登録を行うと設定が自動で登録されるため、基本的に新規登録は手動で行わない。

登録ボタンを押下することで、追加・GeoTIFF レイヤ情報ダイアログが表示される。

表 6-50 追加・CKAN 認証情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称(*)	レイヤ名を設定する。(変更可)	〇〇ドローン写真
③	ファイル名	ユーザがアップロードした GeoTIFF ファイル名が記録として設定される。	〇〇.tif
④	ファイルパス	サーバ上に保存した GeoTIFF ファイルのパスを設定する。このファイルから XYZ タイルを作成する。	xxx/xxx.tif

⑤	範囲	GeoTIFF ファイルから取得した範囲情報が記録として設定される。	
⑥	最小ズームレベル	GeoTIFF ファイルから作成する XYZ タイルの最小ズームレベルが記録として設定される。	
⑦	最大ズームレベル	GeoTIFF ファイルから作成する XYZ タイルの最大ズームレベルが記録として設定される。 最大ズームレベルは GeoTIFF 画像ファイルの解像度から適切なズームレベルが自動計算される。	
⑧	タイルステータス	XYZ タイルの作成状況を示す。 未作成の場合は利用者画面の GeoTIFF レイヤ詳細でタイル再作成を実行する。 作成エラーの場合はサーバログの確認が必要。	
⑨	タイル作成日時	XYZ タイルの作成完了時間が記録として設定される。	
⑩	記録データ ID	どの災害で登録されたかを示すために記録として設定される。平常時の場合は 0。	
⑪	登録日時	登録日時が記録として設定される。	
⑫	有効・無効	無効にすると、利用者画面の GeoTIFF レイヤ一覧から非表示となる。	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

※削除すると、アップロードした GeoTIFF ファイルや XYZ タイルも削除される。

6.1.4. JSON 連携

本項では、GeoJSON 形式のデータを取得し、マスターマップに予め用意してあるレイヤにデータを登録する設定を行う機能について説明する。

6.1.4.1 GeoJSON 取込設定

CKAN より取得、または URL を直接指定して GeoJSON または SIP4D-ZIP データ

を取り込み、対象のレイヤに登録するための設定をする。

GeoJSON ファイルの場合：

e コミマップで、必要なジオメトリ型のレイヤ（1個または複数）を作成し、テーブルマスター情報に登録した後、GeoJSON 取込設定に登録することで、対象のレイヤに地物が登録される。

SIP4D-ZIP の場合：

「地図追加」時に自動でレイヤが作成され登録される。

ID	自治体ID	URL	認証キー	間隔	フラグ	点のレイヤID	線のレイヤID	面のレイヤID	点 (複数) のレイヤID	線 (複数) のレイヤID	面 (複数) のレイヤID	リソースID	CKANボーリング	FTPユーザ	有効・無効	備考
1	1: 東京都中央	sftp://sip4d.si	1800	1800	動的取込							6a7008cf-a9e11800			有効	
2	1: 東京都中央	ftp://192.168	1800	1800	動的取込							33f01e97-83f11800		ftpuser	有効	
3	1: 東京都中央	ftp://192.168	1800	1800	動的取込							6984e809-f401800		ftpuser	有効	
4	1: 東京都中央	ftp://192.168	60	60	動的取込							11b3e919-45f60		ftpuser	有効	
5	1: 東京都中央	ftp://192.168	1800	1800	動的取込							683c805e-f491800		ftpuser	有効	
6	1: 東京都中央	ftp://192.168	1800	1800	動的取込							903cc10b-2ba1800		ftpuser	有効	
7	1: 東京都中央	ftp://192.168	1800	1800	動的取込							f682257a-8131800		ftpuser	有効	
8	1: 東京都中央	ftp://192.168	1	1	動的取込							1f246c2d-5c811		ftpuser	有効	

図 6-79 GeoJSON 取込設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・GeoJSON 取込設定が表示される。

表 6-48 追加・GeoJSON 取込設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	自治体をドロップダウンリストから選択す	14 : ○○県

		る。	〇〇市
②	URL	「URL 指定取込」の場合に、GeoJSON ファイル取得先を http(s), ftp, sftp の URL を指定する。	https://xxx x.uuu.com/
③	認証キー	※現在は使用されていない。	
	間隔	GeoJSON インポートが動く間隔。 情報日時をチェックした時刻から設定時間分経過していて、かつ情報日時が更新されていれば GeoJSON ダウンロードを実行する。	
⑤	フラグ	ドロップダウンリストから選択する。 動的取込： URL を CKAN より取得する。 CKAN 専用で リソース ID を指定すると取り込まれる。 URL 指定取込： URL を直接指定する。 URL にリソースの場所が設定されていれば取り込まれる。 リソース ID に値が設定されていても無視して URL で取り込む。	動的取込 / URL 指定取込
⑥	点のテーブル ID	点のテーブルマスター情報の ID。 POINT 型のデータを保存するレイヤをドロップダウンリストから選択する。 取り込まれた GeoJSON の点は本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成されるためこの設定は無視される。	
⑦	線のテーブル ID	線のテーブルマスター情報の ID。 LINESTRING 型のデータを保存するレイヤをドロップダウンリストから選択する。 取り込まれた GeoJSON の線は本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成されるためこの設定は無視される。	
⑧	面のテーブル ID	面のテーブルマスター情報の ID。 POLYGON 型のデータを保存するレイヤをドロップダウンリストから選択する。	

		取り込まれた GeoJSON の面は本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成されるためこの設定は無視される。	
⑨	点（複数）の テーブル ID	点（複数）のテーブルマスター情報の ID。 MULTIPOINT 型のデータを保存するレイヤを ドロップダウンリストから選択する。 取り込まれた GeoJSON の MULTIPOINT 型は 本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成さ れるためこの設定は無視される。	
⑩	線（複数）の テーブル ID	線（複数）のテーブルマスター情報の ID。 MULTILINESTRING 型のデータを保存するレ イヤをドロップダウンリストから選択す る。 取り込まれた GeoJSON の MULTILINESTRING 型は本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成さ れるためこの設定は無視される。	
⑪	面（複数）の テーブル ID	面（複数）のテーブルマスター情報の ID。 MULTIPOLYGON 型のデータを保存するレイヤ をドロップダウンリストから選択する。 取り込まれた GeoJSON の MULTIPOLYGON 型は 本設定のレイヤに登録される。 SIP4D-ZIP の場合、レイヤは自動で作成さ れるためこの設定は無視される。	
⑫	リソース ID	CKAN に登録されたリソース ID	6a7008cf- a9e9-4f63- a880- 09ed37262ff a
⑬	CKAN ポーリン グ間隔	CKAN ポーリングが動く間隔。 情報日時をチェックした時刻から設定時間 分経過していれば、情報日時を更新する	
⑭	FTP ユーザ	FTP 接続を指定した場合のユーザ名	
⑮	FTP パスワー ド	FTP 接続を指定した場合のパスワード	
⑯	有効・無効	GeoJSON 取込設定の有効・無効を設定する。	有効/無効

⑰	備考	備考欄。	(なし)
---	----	------	------

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.2 GeoJSON 出力設定

本システムから情報を出力する方法を設定する。

その後、テーブルマスタ情報に登録し、GeoJSON 出力設定を行う。



図 6-80 GeoJSON 出力設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・GeoJSON 出力設定が表示される。

表 6-49 追加・GeoJSON 出力設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市

②	テーブル ID	GeoJSON レイヤを指定する。	107:GeoJSON レイヤ
③	SFTP URL	SFTP の URL を設定する。	https://xxxx.uuu.com/
④	SFTP ポート番号	SFTP のポート番号を設定する。	22
⑤	SFTP ユーザ名	SFTP のユーザ名を設定する	1800
⑥	SFTP パスワード	SFTP のパスワードを設定する。	有効
⑦	間隔	ポーリングの間隔を設定する。	18000
⑧	保存形式	同じファイルの上書き保存 またはファイル名に更新日時を含めた形式 のどちらの形式で保存するかを設定する。	同じファイルの上書き保存
⑨	有効・無効	GeoJSON 出力設定の有効・無効を設定する。	有効
⑦	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.3 JSON 連携 API 設定

JSON 形式のデータを取得し、指定のレイヤを更新するための設定を行う。



図 6-81 JSON 連携 API 設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JSON 連携 API 設定が表示される。

表 6-50 追加・JSON 連携 API 設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	URL	連携先の URL を設定する。	https://xxxx. yyy.com/
③	認証キー	GET 認証キーを設定する。	abcdefg
④	間隔	ポーリング間隔を設定する	1800
⑤	有効・無効	GeoJSON 連携 API 設定の有効・無効を設定する。	有効
⑥	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.4 JSON 連携更新対象レイヤ

JSON 形式のデータを取得し、指定のレイヤを更新するための対象レイヤテーブル設定を行う。



図 6-82 JSON 連携更新対象レイヤテーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JSON 連携 API 設定が表示される。

表 6-51 追加・JSON 連携更新対象レイヤウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	区分	災害情報、人的被害、住家被害、交通情報の中から区分を選択する	災害情報
②	テーブル ID	連携対象レイヤのテーブル ID を指定する。	107:GeoJSON レイヤ
③	整理番号属性	整理番号のデータを登録する属性の ID を設定する。	attr1
④	Contents 属性	contents のデータを登録する属性の ID を設定する。	attr2
⑤	Category_text 属性	category_text のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr3
⑥	subject 属性	subject のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr4
⑦	Reception_date time 属性	reception_datetime のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr5
⑧	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.5 SIP4D アップロード設定

SIP4D アップロード用の対象レイヤテーブル設定を行う。

ID	自治体ID	SFTP送信先	SFTPユーザ	SFTPポート	SFTPディレ	定期必着デ	SFTPプライ	URL	ユーザ名	パスワード	提供元コー	実行間隔	有効・無効
1	2	XX県						https://sip4-test	test	test	013	60	無効

図 6-83 SIP4D アップロード情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SIP4D アップロード設定が表示される。

表 6-52 追加・SIP4D アップロード設定の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID(*)	使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	2. XX 県 XX 市
②	プロトコル名称	SIP4D-IMAGE アップロードの通信プロトコル名称	
③	SFTP 送信先	送信先の IP アドレスまたはドメイン名	
④	SFTP ユーザ	ユーザ名	
⑤	SFTP ポート番号	ポート番号	
⑥	SFTP ディレクトリ	SFTP でファイルをアップロードするディレクトリ。 絶対パス (先頭が/の場合)、または相対パス	

		<p>で設定する。</p> <p>URL に FTP または HTTP(S) を設定した場合、アップロードと同時にローカルディレクトリへの出力が可能。</p> <p>その場合、当該項目にローカルディレクトリの出力先パスを設定する。</p>	
⑦	定期応答ディレクトリ	<p>定期応答をアップロードするディレクトリ</p> <p>定期応答は、システムが正常稼働していることを通知するために、定期的に空ファイルを送信する。その空ファイルの保存ディレクトリを設定する。</p>	
⑧	SFTP プライベートキーファイル	<p>プライベートキーファイル</p> <p>sftp は公開鍵認証のみサポートしています (パスワードによる認証は不可)。</p> <p>「プライベートキーファイル」はサーバ側にあるプライベートキーファイルをフルパスで指定します (クライアントからのアップロードではない)。</p> <p>同じディレクトリに以下の名前でパブリックキーファイルが存在する想定。</p> <p>[プライベートキーファイル名].pub</p> <p>プライベートキー/パブリックキー は、以下のコマンドで生成します。</p> <pre>ssh-keygen -t rsa -m pkcs8</pre> <p>または</p> <pre>ssh-keygen -t rsa -m pem</pre> <p>SFTP (SSH) のサーバ側でも公開鍵認証の設定が必要。</p>	
⑨	URL	<p>HTTP(S) の URL または、FTP の URL。</p> <p>HTTP(S) の場合、multipart/form-data 形式で送信する。</p> <p>複数のファイルを送信する場合、1 回のリクエストでまとめて送信される。</p> <p>FTP の場合、絶対パス (先頭が / の場合)、または相対パスで設定する。</p> <p>併せて、SaigaiTask.properties で、パッシブモード (true) / アクティブモード (false) の指定をする。</p> <p>SIP4D_UPLOAD_FTP_PASSIVEMODE=true</p>	<p>https://sip4d.xx.co.jp/test/Test</p> <p>または、</p> <p>ftp://xxx//xxx</p> <p>x</p>
⑩	ユーザ名	<p>BASIC 認証のユーザ名</p> <p>または、FTP の ユーザ名</p>	testuser

⑪	パスワード	BASIC 認証のパスワード または、FTP の パスワード	testpass
⑫	ファイルディレクトリ	ローカルのファイル出力先ディレクトリを設定する。	
⑬	提供元コード(*)	メタデータの「提供元コード」	013
⑭	間隔	実行間隔(秒)	60
⑮	ベクター・ラスター	アップロードするファイルをベクター・ラスターで設定する。 SIP4D-ZIP…ベクター SIP4D-IMAGE…ラスター	ベクター
⑯	作成者名(*)	作成者名	防災科学技術研究所
⑰	作成者の e-mail アドレス	作成者の e-mail アドレス	xxx@xxx
⑱	メンテナー名	メンテナー名	防災科学技術研究所
⑲	メンテナーの email アドレス	メンテナーの email アドレス	xxxx@xxxx
⑳	公開フラグ(*)	「cc-zero」 「cc-by」 「cc-by-sa」 「cc-nc」 「other-nc」 「other-closed」から選択。	cc-by
㉑	ライセンス ID(*)	「ISUT-SITEのみ公開可能」 「災害対応機関のみ公開可能」 「一般公開可能」から選択。	災害対応機関のみ公開可能
㉒	検索タグ	検索用タグを設定する。カンマ(,)区切りで複数記述可能。	test, test1
㉓	データを利用する際の注意事項	データを利用する際の注意事項	
㉔	ライセンスに関する記載	データを利用する際の注意事項	
㉕	データ内容の記述	注意事項やライセンス情報以外の内容を記述する。	
㉖	有効・無効(*)	無効の場合、このレコードが存在しないものとして扱われる。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SIP4D アップロード設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SIP4D アップロード設定をコピーし、それをもとに新たに SIP4D アップロード設定を作成することが出来る。コピー元となる SIP4D アップロード設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SIP4D アップロード設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-63 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SIP4D アップロード設定が作成される。

6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定（ベクター版）

ベクター版 SIP4D アップロードの連携対象のレイヤテーブル設定を行う。

ID	SIP4D ID	テンプレート	メタデータ	エントリ	情報種別	防災情報	作成者名	作成者ID	メンテナ	メンテナ	公開ライセンス	ライセンス	検索タグ	データを	ライセンス	クレジット	データ内容	検索条件	有効	無効	
1	1	152	遊園	遊園所	hinansho	01-001-01	遊園	防災科学技	xxx@xxxx	防災科学技	xxxx@xxxx	一般公開可	cc-zero								有効
2	1	231	02	物資拠点	bussikyozu	01-002-01	物資	防災科学技	xxx@xxxx			一般公開可	cc-zero								有効
3	1	232	03	有休病院	yuusyoubin	01-003-01	医療	防災科学技	xxx@xxxx			一般公開可	cc-zero								有効
4	1	233	04	災害発生時	saigaihaiki	01-004-01	災害物	防災科学技	xxx@xxxx			一般公開可	cc-zero								有効

図 6-84 SIP4D 情報種別情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SIP4D 情報種別情報が表示される。

地方自治体情報 「SIP4D-ZIP version」 v1 を選択

追加 - SIP4D情報種別情報

SIP4Dアップロード情報(*) 3 ①

テーブルID(*) 1:職員参集状況 ②

メタデータのタイトル(*) ③

エントリタイトル(*) ④

情報種別コード(*) 01-001-01:避難所 ⑤

防災情報のカテゴリ(*) 気象 ⑥

作成者名(*) ⑦

作成者のe-mailアドレス ⑧

メンテナー名(*) ⑨

メンテナーのe-mailアドレス(*) ⑩

公開フラグ(*) 一般公開可能 ⑪

ライセンスID(*) cc-zero ⑫

検索タグ(*) ⑬

クレジットタイトル ⑭

データ内容の記述(*) ⑮

検索条件 ⑯

有効・無効(*) 有効 ⑰

地物属性更新時刻付加 ⑱

属性定義ファイル ⑲

⑳ ファイルを選択 選択されていません ㉑

㉒ ㉓ ㉔

㉕ ㉖

地方自治体情報 「SIP4D-ZIP version」 v1.1 を選択

追加 - SIP4D情報種別情報 v1.1

SIP4Dアップロード情報(*) 3 ①

テーブルID(*) 1:職員参集状況 ②

メタデータのタイトル(*) ③

エントリタイトル(*) ④

情報種別コード(*) 01-001-01:避難所 ⑤

防災情報のカテゴリ(*) 避難 ⑥

地理空間データ形式(*) VECTOR ㉔

作成者名(*) ⑦

作成者のe-mailアドレス ⑧

メンテナー名(*) ⑨

メンテナーのe-mailアドレス(*) ⑩

公開フラグ(*) 一般公開可能 ⑪

ライセンスID(*) cc-zero ⑫

検索タグ(*) ⑬

データを利用する際の注意事項 ⑭

ライセンスに関する記載 ⑮

クレジットタイトル ⑯

データ内容の記述(*) ⑰

検索条件 ⑱

有効・無効(*) 有効 ㉑

地物属性更新時刻付加 ㉒

属性定義ファイル ㉓

㉔ ファイルを選択 選択されていません ㉕

㉖ ㉗ ㉘

㉙ ㉚

表 6-53 追加・SIP4D 情報種別情報の入力項目の各名称と概要（ベクター版）

番号	名称	概要	設定例
①	SIP4D アップロード情報(*)		自動挿入
②	テーブル ID (*)	連携対象のデータ取得元のレイヤをリストから選択する。	152：避難所
③	メタデータのタイトル(*)	SIP4D メタデータのタイトルを設定する。	避難所
④	エンリタイトル(*)	SIP4D エンリタイトル	hinansho
⑤	情報種別コード(*)	SIP4D メタデータの情報種別コードをリストから選択する。	01-001-01：避難所
⑥	防災情報のカテゴリ(*)	SIP4D メタデータのカテゴリをリストから選択する。	避難
⑦	作成者名(*)	SIP4D メタデータの作成者名を設定する。	テスト
⑧	作成者の e-mail アドレス(*)	SIP4D メタデータの作成者の e-mail アドレスを設定する。	xxx@xxx. co. jp
⑨	メンテナー名(*)	メンテナー名	防災科学技術研究所
⑩	メンテナーの email アドレス(*)	メンテナーの email アドレス	xxxx@xxxx
⑪	公開フラグ(*)	SIP4D メタデータの公開フラグをリストから選択する。	一般公開可能
⑫	ライセンス ID(*)	SIP4D メタデータのライセンス ID をリストから選択する。	cc-zero
⑬	検索タグ	SIP4D メタデータの検索タグを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑭	データを利用する際の注意事項	データを利用する際の注意事項	
⑮	ライセンスに関する記載ライセンスに関する記載	データを利用する際の注意事項	
⑯	クレジットタイトル	SIP4D メタデータのクレジットタイトルを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑰	データ内容の記	注意事項やライセンス情報以外の内容を記述	

	述	する。	
⑱	検索条件	⑳で設定するテーブルから取得するデータの条件を設定する。	attr21='開設' or attr21='閉鎖'
㉑	有効・無効(*)	無効の場合、このレコードが存在しないものとして扱われる。	有効
㉒	属性定義ファイル	columns.json を自由記述する。	
㉓	ファイルを選択	columns.json をローカルからアップロードする。	
㉔	自動作成	columns.json を自動生成する。	
㉕	ダウンロード	columns.json をダウンロードする。	
㉖	地物空間データ形式(*)	地理空間データ形式を設定する。	VECTOR
㉗	地物属性更新時刻付加	選択した場合、このレコードの地物属性の更新時刻を付加する。	

※ライセンス ID において、other-nc, other-closed を選択した場合、ライセンスに関する記載が空であると「ライセンスに関する記載：この項目は必須です。」というアラート表示

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SIP4D 情報種別情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SIP4D 情報種別情報をコピーし、それをもとに新たに SIP4D 情報種別情報を作成することが出来る。コピー元となる SIP4D 情報種別情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SIP4D 情報種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-53 追加・SIP4D 情報種別情報の入力項目の各名称と概要を参照。

6.1.4.7 SIP4D 情報種別設定（ラスター版）

ラスター版 SIP4D アップロードの連携対象のレイヤテーブル設定を行う。

IE	自治体	プロト	SFTP#	SFTP:	SFTP#	SFTP:	定期	SFTP:	URL	ユーザ	パスワ	ファイ	提供元	実行間	ヘク	作成者	作成者	メンテ	メンテ	公開フ	ライセ	検索タ	データ	ライセ	データ	有効
1	2	東京	ベクター			21			ftp://115ftp-use4ftpapp/root/w/013			013	60		ベクター防災科					I S U	cc-zero					無効
4	2	東京				21			ftp://115ftp-use4V65Klla			013			ラスタ											無効
5	2	東京							https://sip4d21V65Klla			013			ラスタ											無効
6	2	東京	SFTP研			21			/home/ftp://115ftp-use4V65Klla			013			ラスタ防災科					I S U	cc-zero					無効
7	2	東京	FTP送研			21			ftp://115ftpuser_G9909i/root/w/052			052			ラスタ防上自研					I S U	cc-zero	博多, 取所	データ利用注	ライセンス	test, クレジット	有効

ID	SIP4Dアッ	GeoTIFFレ	メタデータ	エントリタ	作成者名	作成者Oe	メンテナー	メンテナー	公開フラ	ライセンス	検索タグ	データ利用	ライセンス	クレジット	データ内容	有効	無効
28	7	4	test_hrd	0311_test	0311_test	防災科学技術	xxx@xxxxxx		一般公開可能	cc-zero	博多, 取所, 取所	データ利用注	ライセンス	test, クレジット	ftpのみ	有効	
34	7	6	hakata-m	testdata_03	testdata_03	防災科学技術	xxx@xxxxxx		一般公開可能	cc-zero	博多, 取所, 取所	データ利用注	ライセンス	test, クレジット	2.7MBのデ	有効	
35	7	5	small_tes	testdata2_h	testdata2_h	防災科学技術	admin@test		一般公開可能	cc-zero	博多, 取所	データ利用注	ライセンス	test, クレジット	2.7MBのデ	有効	
36	7	6	hakata-m	testdata3_h	testdata3_h	防災科学技術	hakata@test		一般公開可能	cc-zero	博多, 取所, 取所	データ利用注	ライセンス	test, クレジット	アップロード	有効	

図 6-85 SIP4D 情報種別情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SIP4D 情報種別情報が表示される。

Add - SIP4D情報種別情報

SIP4Dアップロード情報(*) 12 ①

GeoTIFF レイヤ(*) 1 : 0125test ②

メタデータのタイトル(*) ③

エントリタイトル(*) ④

作成者名(*) 防災科学技術研究所 ⑤

作成者のe-mailアドレス xxx@xxx.xxx.jp ⑥

メンテナー名 ⑦

メンテナーのe-mailアドレス ⑧

公開フラグ(*) 一般公開可能 ⑨

ライセンスID(*) cc-zero ⑩

検索タグ ⑪

データを利用する際の注意事項 ⑫

ライセンスに関する記載 ⑬

クレジットタイトル ⑭

データ内容の記述 ⑮

有効・無効(*) 有効 ⑯

保存 キャンセル

表 6-54 追加・SIP4D 情報種別情報の入力項目の各名称と概要（ラスター版）

番号	名称	概要	設定例
①	SIP4D アップロード情報(*)		自動挿入
②	GeoTIFF レイヤ(*)	GeoTIFF レイヤをリストから選択する。	1 : test
③	メタデータのタイトル(*)	SIP4D メタデータのタイトルを設定する。	test
④	エントリタイトル(*)	SIP4D エントリタイトル	test
⑤	作成者名(*)	SIP4D メタデータの作成者名を設定する。	テスト
⑥	作成者の e-mail アドレス(*)	SIP4D メタデータの作成者の e-mail アドレスを設定する。	xxx@xxx.co.jp
⑦	メンテナー名	メンテナー名	防災科学技術研究所
⑧	メンテナーの email アドレス	メンテナーの email アドレス	xxxx@xxxx
⑨	公開フラグ(*)	SIP4D メタデータの公開フラグをリストから選択する。	一般公開可能
⑩	ライセンス ID(*)	SIP4D メタデータのライセンス ID をリストから選択する。	cc-zero
⑪	検索タグ	SIP4D メタデータの検索タグを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	検索タグ
⑫	データを利用する際の注意事項	データを利用する際の注意事項	データを利用する際の注意事項
⑬	ライセンスに関する記載ライセンスに関する記載	データを利用する際の注意事項	ライセンスに関する記載ライセンスに関する記載
⑭	クレジットタイトル	SIP4D メタデータのクレジットタイトルを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	クレジットタイトル
⑮	データ内容の記述	注意事項やライセンス情報以外の内容を記述する。	データ内容の記述
⑯	有効・無効(*)	無効の場合、このレコードが存在しないもの	有効

	として扱われる。	
--	----------	--

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SIP4D 情報種別情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SIP4D 情報種別情報をコピーし、それをもとに新たに SIP4D 情報種別情報を作成することが出来る。コピー元となる SIP4D 情報種別情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SIP4D 情報種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-54 追加・SIP4D 情報種別情報の入力項目の各名称と概要を参照。

6.1.4.8 X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報設定（ベクター版）

X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP（ベクター版）の連携対象のレイヤテーブル設定を行う。

ID	SIP4D ID	レイヤ名	メタデータ	エンティティ	情報種別	位置情報	地理空間データ	作成者名	作成者ID	メニュー名	メニューID	公開フラグ	ライセンス	データタグ	データID	ライセンス	クリエーション	データ内容	検索条件	地物属性	非公開
1	33	警察	test	test	0304-01	交通	VECTOR	test	test	testtest	testtest	一般公開可	cc-zero	test	test	test	test	test	test	test	有効
2	34	警察	test	test	0304-02	その他	VECTOR	test	test	testtest	testtest	一般公開可	cc-zero	test	test	test	test	test	test	test	有効
3	35	警察	test	test	9999-01	人跡推察	VECTOR	test	test	testtest	testtest	一般公開可	cc-zero	test	test	test	test	test	test	test	有効
13	143	状態	test	test	0304-03	その他	VECTOR	test	test	testtest	testtest	一般公開可	cc-zero	test	test	test	test	test	test	test	有効

図 6-86 X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報が表示される。

The screenshot shows a web form titled "追加 - X-ICS同期用μSIP4D-ZIP情報 v1.1". The form contains the following fields and controls, each with a red circled number indicating a specific point of interest:

- 1: SIP4Dアップロード情報(*) (1)
- 2: テーブルID(*) (1: 職員参業状況) (2)
- 3: メタデータのタイトル(*) (3)
- 4: エントリタイトル(*) (4)
- 5: 情報種別コード(*) (5)
- 6: 防災情報のカテゴリ(*) (気象) (6)
- 7: 地理空間データ形式(*) (VECTOR) (7)
- 8: 作成者名(*) (8)
- 9: 作成者のe-mailアドレス (9)
- 10: メンテナー名(*) (10)
- 11: メンテナーのe-mailアドレス(*) (11)
- 12: 公開フラグ(*) (一般公開可能) (12)
- 13: ライセンスID(*) (cc-zero) (13)
- 14: 検索タグ(*) (14)
- 15: データを利用する際の注意事項 (15)
- 16: ライセンスに関する記載 (16)
- 17: クレジットタイトル (17)
- 18: データ内容の記述(*) (18)
- 19: 検索条件 (19)
- 20: 地物属性更新時刻付加(X-ICS) (checkbox) (20)
- 21: 非公開情報を含む(X-ICS)(*) (有効) (21)
- 22: 属性定義ファイル (22)
- 23: ファイルを選択 (23)
- 24: 自動作成 (24)
- 25: ダウンロード (25)

At the bottom of the form, there are two buttons: "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel).

表 6-55 追加・X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報の入力項目の各名称と概要 (ベクター版)

番号	名称	概要	設定例
①	SIP4D アップロード情報(*)		自動挿入
②	テーブル ID (*)	連携対象のデータ取得元のレイヤをリストから選択する。	152 : 避難所
③	メタデータのタイトル(*)	SIP4D メタデータのタイトルを設定する。	避難所
④	エントリタイトル(*)	SIP4D エントリタイトル	hinansho
⑤	情報種別コード(*)	表 6-56 X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報_⑤情報種別コード(*)を参照し入力する。	2101-01
⑥	防災情報のカテゴリ(*)	SIP4D メタデータのカテゴリをリストから選択する。	避難
⑦	地物空間データ形式(*)	地理空間データ形式を設定する。	VECTOR
⑧	作成者名(*)	SIP4D メタデータの作成者名を設定する。	テスト
⑨	作成者の e-mail アドレス(*)	SIP4D メタデータの作成者の e-mail アドレスを設定する。	xxx@xxx. co. jp
⑩	メンテナー名(*)	メンテナー名	防災科学技術研究所
⑪	メンテナーの email アドレス(*)	メンテナーの email アドレス	xxxx@xxxx
⑫	公開フラグ(*)	SIP4D メタデータの公開フラグをリストから選択する。	一般公開可能
⑬	ライセンス ID(*)	SIP4D メタデータのライセンス ID をリストから選択する。	cc-zero
⑭	検索タグ	SIP4D メタデータの検索タグを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑮	データを利用する際の注意事項	データを利用する際の注意事項	
⑯	ライセンスに関する記載	データを利用する際の注意事項	
⑰	クレジットタイトル	SIP4D メタデータのクレジットタイトルを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑱	データ内容の記	注意事項やライセンス情報以外の内容を記述	

	述	する。	
⑱	検索条件	⑳で設定するテーブルから取得するデータの条件を設定する。	attr21='開設' or attr21='閉鎖'
㉑	地物属性更新時刻付加(X-ICS)	選択した場合、このレコードの地物属性の更新時刻を付加する。	
㉒	非公開情報を含む(X-ICS)	非公開の情報を含む場合、有効に設定する	有効
㉓	属性定義ファイル	columns.json を自由記述する。	
㉔	ファイルを選択	columns.json をローカルからアップロードする。	
㉕	自動作成	columns.json を自動生成する。	
㉖	ダウンロード	columns.json をダウンロードする。	

※ライセンス ID において、other-nc, other-closed を選択した場合、ライセンスに関する記載が空であると「ライセンスに関する記載：この項目は必須です。」というアラート表示

表 6-56 X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報_⑤情報種別コード(*)

情報種別コード	説明
0304-01	道路被害 道路に関する被害種別、通行可否および対応状況に関する情報
0304-02	被害 道路以外の被害種別および対応状況に関する情報
0304-03	(予約) 建物被害 PLATEAU を基にした FLOS からの建物被害情報
0906-01	活動拠点 活動拠点に関する情報
2101-01	避難所 避難所に関する情報
9999-01	捜索・救出 要救助者もしくは捜索範囲と対応状況に関する情報
9999-02	活動範囲分担 異なる組織間で、捜索・救出活動範囲の分担に関する情報
9999-03	活動範囲 組織内の各部隊の活動範囲に関する情報
9999-04	生活支援 生活支援に関する情報
9999-05	(予約) 推定津波遡上範囲 ※アラート範囲として使用予定

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報をコピーし、それをもとに新たに X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報を作成することが出来る。コピー元となる X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は

表 6-55 追加・X-ICS 同期用 μ SIP4D-ZIP 情報の入力項目の各名称と概要（ベクター版）を参照。

6.1.5. SOBO 接続

本項では、内閣府 新総合防災情報システム（以下、SOBO-WEB）接続用の認証情報、および、取得する Atom フィード情報、SOBO-WEB へアップロードするレイヤの情報・メタデータ情報の設定を行う機能について説明する。

6.1.5.1 SOBO 認証情報

SOBO-WEB と接続する際に必要な認証情報（SFTP、HTTPS クライアント証明書）を登録するための設定をする。



図 6-87 SOBO 認証情報

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加 - SOBO 認証情報が表示される。

表 6-57 追加 - SOBO 認証ウィンドウの入力項目

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	自治体をドロップダウンリストから選択する	XX:〇〇〇
②	名称	この認証情報の名称を任意に入力する。	nied.bosai-cloud.jp

③	SFTP プライベートキーファイル	サーバ上の SFTP プライベートキーファイルへの絶対パスを指定する。	/xxx/yyy/id_ed25519_sobo-web01
④	SFTP ユーザ ID	SFTP 認証に用いるユーザ ID を指定する。	sftpuser
⑤	HTTPS クライアント証明書	サーバ上の HTTPS クライアント証明書への絶対パスを指定する。	/xxx/yyy/sip4dx-edge-https.p12
⑥	HTTPS 証明書のパスワード	HTTPS クライアント証明書認証のパスワードを指定する。	Httpspass
⑦	備考	備考欄	任意

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SOBO 認証情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SOBO 認証情報をコピーし、それをもとに新たに SOBO 認証情報を作成することが出来る。コピー元となる SOBO 認証情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー – SOBO 認証情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-57 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SOBO 認証情報が作成される。

6.1.5.2 SOBO Atom フィード情報

「地図追加」ウィンドウ「SOBO」タブの一覧に表示する情報源となる Atom フィード情報を登録するための設定をする。

ID	自治体ID	タイトル	URL	SOBO認証情報ID	備考	表示順	有効・無効
1	1: 実働機関テンプレート	避難所等	https://web.sobo.go.jp/files/s4 2: SOBO-WEB			10	有効
2	1: 実働機関テンプレート	気象	https://web.sobo.go.jp/files/s4 2: SOBO-WEB			20	有効
3	1: 実働機関テンプレート	交通	https://web.sobo.go.jp/files/s4 2: SOBO-WEB			30	有効
4	1: 実働機関テンプレート	被害	https://web.sobo.go.jp/files/s4 2: SOBO-WEB			40	有効
5	1: 実働機関テンプレート	道路関連	https://web.sobo.go.jp/files/s4 2: SOBO-WEB			50	有効

図 6-88 SOBO Atom フィード情報

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加 - SOBO Atom フィード情報が表示される。

表 6-58 追加 - SOBO Atom フィード情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	自治体をドロップダウンリストから選択する	XX:○○○
②	タイトル	この Atom フィードの名称を任意に入力する。	避難所等
③	URL	Atom フィードの URL を指定する。	https://web.sobo.go.jp/files/sobo-feeds/atom/EEI/EvacuationCenters/atom_latest.xml
④	SOBO 認証情報	SOBO-WEB 認証情報をドロップダウンリ	XX:○○

	ID	ストから選択する。	
⑤	備考	備考欄	任意
⑥	表示順	Atom フィードから取得した地図情報の表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	10
⑦	有効・無効	SOBO Atom フィード情報の有効・無効を設定する。	有効/無効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SOBOAtom フィード情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SOBO Atom フィード情報をコピーし、それをもとに新たに SOBO Atom フィード情報を作成することが出来る。コピー元となる SOBO Atom フィード情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー - SOBO Atom フィード情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-58 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SOBO Atom フィード情報が作成される。

6.1.5.3 SOBO 出力設定

SOBO-WEB にアップロードする SOBO-ZIP に必要な SOBO メタ情報（自治体単位）を登録するための設定をする。



図 6-89 SOBO 出力設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SOBO 出力設定が表示される。

表 6-59 追加 - SOBO 出力設定の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	自治体をドロップダウンリストから選択する	XX:〇〇〇
②	都道府県コード	都道府県コードを指定する。	12
③	都道府県名	都道府県名を指定する。	〇〇県
④	発信システムアカウント	発信元のシステムアカウントを指定する。 (SOBO から払い出された値)	#sc700101
⑤	情報発信者	情報発信者を指定する。(SOBO から払い	#sc700101

		出された値)	
⑥	情報責任者	情報責任者を指定する。(“,”区切りで複数可) (SOBO から払い出された値)	#sc700101, #sc700102
⑦	出典	出典として表示する文字列を指定する。 (MD 形式可)	警察
⑧	URL	SOBO-ZIP アップロード先を、SFTP あるいは HTTPS の URL で指定する。	sftp://subs- sftp.sobo.go.jp/ upload/ あるいは https://rest- api.sobo.go.jp/a pi/rest_api
⑨	ローカルディレクトリ	ローカルサーバに SOBO-ZIP を保存する場合の絶対パスを指定する。	/xxx/yyy
⑩	SOBO 認証情報 ID	SOBO-WEB 認証情報をドロップダウンリストから選択する。	XX:〇〇
⑪	有効・無効	SOBO 出力設定の有効・無効を設定する。	有効/無効
⑫	備考	備考欄	任意

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SOBO 出力設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SOBO 出力設定をコピーし、それをもとに新たに SOBO 出力設定を作成することが出来る。コピー元となる SOBO 出力設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー-SOBO 出力設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-59 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SOBO 出力設定が

作成される。

6.1.5.4 SOBO 出力レイヤ設定

SOBO-WEB にアップロードする SOBO-ZIP に必要なレイヤ情報と SOBO メタ情報 (レイヤ単位) を登録するための設定をする。

ID	自治体ID	都道府県コード	都道府県名	発信システム名	情報発信者	情報責任者	出典	URL	ローカルドメイン	SOBO認証情報ID	有効・無効	備考
1	279: 実動機関R7			#sc700101	#sc700101	#sc700101	警察, 消防, 自衛隊	sftp://subs-sftp:/var/www/vhost/1:nied.bosai-clc		1	有効	

ID	SOBO出力設定ID	SIP4D情報種別情報	SOBO-WEBデータ: 災害対応基本共有	災害対応基本共有	1次利用可能範囲	2次利用可能範囲	3次利用可否	アーカイブ限定:	有効・無効	備考
1	1	285: 通行実績	xedgePassageHistic 道路開通	通行実績	#SOBOINTERNAL	#SOBOINTERNAL	true	false	無効	
2	1	286: 道路被害	xedgeRoadDamage 被害発生箇所	被害範囲 (領域)	#SOBOINTERNAL	#SOBOINTERNAL	true	false	有効	

図 6-90 SOBO 出力レイヤ設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加 - SOBO 出力レイヤ設定が表示される。

表 6-60 追加 - SOBO 出力レイヤ設定の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	SIP4D 情報種別 情報 ID	SIP4D 情報種別情報をドロップダウンリストから選択する	XX:○○○

②	SOBO-WEB データタイプ	受信情報や手動登録情報の情報種別を指定する。	prefecture_01-123-45
③	災害対応情報基本共有情報分類	災害対応基本共有情報(EEI)の分類を指定する。	道路関連
④	災害対応情報基本共有情報細分	災害対応基本共有情報(EEI)の細分を指定する。	通行情報
⑤	1 次利用可能範囲	SOBO-WEB 上で閲覧可能とするグループタグもしくはアカウントを指定する。 全公開(ゲストアカウント除く)時のハッシュタグは#SOBOINTERNALを、 全公開(ゲストアカウント含む)時のハッシュタグは#SOBOALLを、 一般アカウントへ公開をしない場合は#SOBOVOIDを指定。	#SOBOINTERNAL
⑥	2 次利用可能範囲	当該情報に対して以下を可能とするハッシュタグもしくはアカウントを指定する。 ①SOBO-WEB で地図画面ダウンロード可能 ②外部連携システムへ配信可能 ③カタログサイトへ掲載 ④カタログサイトよりデータ取得(HTTPS/SFTP)可能	#SOBOINTERNAL
⑦	3 次利用可否	ダウンロードやシステム連携後にデータ取得者が再頒布可能な情報であるかどうかを指定する。	true/false
⑧	アーカイブ限定フラグ	地図表示やカタログサイト掲載は行わず、ただ総防で保存したい場合に指定する。	true/false
⑨	有効・無効	SOBO 出力レイヤ設定の有効・無効を設定する。	有効/無効
⑩	備考	備考欄	任意

1) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

2) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

3) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SOBO 出力レイヤ設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

4) コピーする

登録済み SOBO 出力レイヤ設定をコピーし、それをもとに新たに SOBO 出力レイヤ設定を作成することが出来る。コピー元となる SOBO 出力レイヤ設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SOBO 出力レイヤ設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-60 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SOBO 出力レイヤ設定が作成される。

6.1.6. 通知

本項では、アラーム、ポップアップによる通知、Facebook、Twitter、公共情報コモンズによる他の配信媒体を介した通知、Eメールによる通知など情報伝達を支援するための設定を行う機能について説明する。

6.1.6.1 通知グループ情報

自治体>通知>通知グループ情報を選択すると下図のような画面が表示される。通知グループ情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知グループ情報は Open-Xedge から通知を行う対象をグループ化し、メーリングリストとして設定する情報である。本項目を設定することによって通知に関連した画面に送付先として表示され、また、職員参集メールの自動配信先として指定が可能となる。



図 6-91 通知グループ情報画面

(1) 通知グループ情報の編集

通知グループ情報では Open-Xedge から通知を行うメーリングリストを管理する。一括送信などに利用する情報である。

以下ではこの通知グループ情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループ情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループ情報ダイアログが表示される。



図 6-92 登録ボタン>追加・通知グループ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-61 追加・通知グループ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	グループ名	メーリングリストとして表示される名称を設定する。	全職員
③	備考	備考欄。	(なし)
④	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示される時、上位に表示される。	1
⑤	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデー	

		タは通知グループ情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	追加・通知グループ情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、通知グループ情報一覧にデータが新規追加される。

通知グループ情報の追加により通知に関連する利用者画面に対して送付先として反映される。

図 6-93 利用者画面への反映

2) 通知グループ情報を編集する

編集を行いたい通知グループ情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-61 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループ情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループ情報を削除することができる。削除・通知グループ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループ情報をコピーする

登録済み通知グループ情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループ情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループ情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-61 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループ情報が作成される。

(2) 通知グループ連絡先情報の編集

通知グループ連絡先情報では、外部の業者や学校などの通知グループの所属連絡先をグループ化し管理する。メーリングリストの一部を設定するものである。

以下に通知グループ連絡先情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループ連絡先情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。

The screenshot shows the '通知グループ情報' (Notification Group Information) management screen. The left sidebar contains a menu with '通知グループ情報' and '通知連絡先情報' highlighted. The main area displays a table of notification groups. A callout box labeled '登録ボタン' (Registration Button) points to the '追加' (Add) button in the table. Another callout box labeled '追加・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される' (Add notification group contact information dialog is displayed) points to the dialog box that appears over the table. The dialog box contains the following fields:

- 追加・通知グループ連絡先情報 (Add notification group contact information)
- メールグループ情報 (*) (Email group information) with a dropdown menu showing '4:全職員' (4: All staff) and a red circled '1' next to it.
- 連絡先ID (*) (Contact ID) with a dropdown menu showing '4:防災 次郎' (4: Disaster relief, Jiro) and a red circled '2' next to it.
- Buttons: 保存 (Save) with a red circled '3' and キャンセル (Cancel) with a red circled '4'.
- A box with the text 「*」は必須入力項 (Required input item) with a red asterisk icon.

The background table shows the following data:

ID	自治体ID	グループ名	備考	表示順	有効・無効
4	6:00県00市	全職員		1	有効

図 6-94 登録ボタン>追加・通知グループ連絡先情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-62 追加・通知グループ連絡先情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メールグループ情報	メーリングリストの対象となるグループをドロップダウンリストから選択する。	22:全職員
②	連絡先 ID	メーリングリストに登録するために「自治体>通知>通知連絡先情報」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	3:防災 太郎
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知グループ連絡先情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知グループ連絡先情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知グループ連絡先情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知グループ連絡先情報を編集する

編集を行いたい通知グループ連絡先情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループ連絡先情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-62 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループ連絡先情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループ連絡先情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループ連絡先情報を削除することができる。削除・通知グループ連絡先情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループ連絡先情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループ連絡先情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループ連絡先情報をコピーする

登録済み通知グループ連絡先情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループ連絡先情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループ連絡先情報を選

択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-62 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループ連絡先情報が作成される。

(3) 通知グループユーザ情報の編集

通知グループユーザ情報では、「自治体>ログイン>ユーザ>班情報>ユニット情報>ユーザ情報」に登録したユーザをメーリングリストと紐づける設定を行う。

以下に通知グループユーザ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループユーザ情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。



図 6-95 登録ボタン>追加・通知グループユーザ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-63 追加・通知グループユーザ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メールグループ情報	メールリングリストの対象となるグループをドロップダウンリストから選択する。	22:全職員
②	ユーザ ID	メールリングリストに登録するために「自治体>ログイン>ユーザ>班情報>ユニット情報>ユーザ情報」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	3:防災 太郎
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知グループ連絡先情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知グループ連絡先情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知グループユーザ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知グループユーザ情報を編集する

編集を行いたい通知グループユーザ情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループユーザ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-63 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループユーザ情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループユーザ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループユーザ情報を削除することができる。削除・通知グループユーザ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループユーザ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループユーザ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループユーザ情報をコピーする

登録済み通知グループユーザ情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループユーザ情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループユーザ情報を選

択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-63 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループユーザ情報が作成される。

6.1.6.2 通知連絡先情報

通知グループ情報に登録される連絡先の一つとして参照される。本システムのユーザとして登録される連絡先以外の連絡先を管理する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-64 通知連絡先情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	名前	連絡先の名前を登録する。	鈴木
③	電話番号	電話番号を登録する。	XXX-XXXX-XXX
④	携帯電話番号	携帯電話番号を登録する。	XXX-XXXX-XXXX
⑤	FAX 番号	F A X 番号を登録する。	XXX-XXXX-XXX
⑥	メールアドレス	メールアドレスを登録する。 通知メール、職員参集メールなど本システムから送信されるメールを受信するメールアドレスを指定する。	xxx@xxx
⑦	携帯のメールアドレス	携帯のメールアドレスを登録する。 通知メール、職員参集メールなど本システムから送信されるメールを受信するメールアドレスを指定する。	xxx@xxxxx
⑧	備考		(なし)
⑨	有効・無効	有効、無効の切り替えをする。 通知メール等の送信先として参照の、有効、	有効

		無効を切り替える。	
--	--	-----------	--

2) **編集する**

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) **削除する**

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.6.3 通知テンプレート

自治体>通知>通知テンプレートを選択すると下図のような画面が表示される。通知テンプレートが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知テンプレートは通知機能を使用する際に呼び出し可能な定型文の登録を行う。職員参集メールにおいては自動配信時の本文として設定することができる。

ID	自治体ID	通知種別	テンプレート種別	区分	タイトル	内容	備考	表示順
5	6:00県00市	1:メール	1:避難勧告・指示	メール	定型文1	避難勧告・指示-定型文		1
6	6:00県00市	1:メール	2:津波到達前の住民避難	メール	定型文2	津波到達前の住民避難-定型		2
7	6:00県00市	1:メール	3:人命救助	メール	定型文3	人命救助-定型文		3
8	6:00県00市	1:メール	4:本部設置	メール	定型文4	本部設置-定型文		4
9	6:00県00市	1:メール	5:避難所	メール	定型文5	避難所-定型文		5
10	6:00県00市	1:メール	6:避難規制・管轄	メール	定型文6	避難規制・管轄-定型文		6
11	6:00県00市	1:メール	7:その他の要請	メール	定型文7	その他の要請-定型文		7
12	6:00県00市	1:メール	8:避難所開設	メール	定型文8	避難所開設-定型文		8
13	6:00県00市	1:メール	9:避難所運営	メール	定型文9	避難所運営-定型文		9

図 6-96 通知テンプレート画面

(1) 通知テンプレートの編集

通知テンプレートでは、各種通知を行う際の定型文を設定する。

定型文を使用するメニューにおける「通知デフォルト情報」との連携をはかることで定型文を絞り込むことも可能である。

以下ではこの通知テンプレートの新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知テンプレートを新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知テンプレートダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・通知テンプレートダイアログが表示される

*は必須入力項

ID	自治体ID	通知種別	テンプレート種別	区分	タイトル	内容	備考	表示順
5	6:〇〇県〇〇市	1:メール	1:避難勧告・指示	メール	定型文1	避難勧告・指示-定型文		1
6	6:〇〇県〇〇市	1:メール	2:津波到達前の住民避難	メール	定型文2	津波到達前の住民避難		2
7	6:〇〇県〇〇市	1:メール	3:人命救助	メール	定型文3	人命救助-定型文		3
8	6:〇〇県〇〇市	1:メール	4:本部設置	メール	定型文4	本部設置-定型文		4
9	6:〇〇県〇〇市	1:メール	5:避難所	メール	定型文5	避難所-定型文		5
10	6:〇〇県〇〇市	1:メール	6:道路規制・啓蒙	メール	定型文6	道路規制・啓蒙-定型文		6
7	6:〇〇県〇〇市	1:メール	7:その他の要請	メール	定型文7	その他の要請-定型文		7
8	6:〇〇県〇〇市	1:メール	8:避難所開設	メール	定型文8	避難所開設-定型文		8
9	6:〇〇県〇〇市	1:メール	9:避難所運営	メール	定型文9	避難所運営-定型文		9

図 6-97 登録ボタン>追加・通知テンプレートダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-65 追加・通知テンプレートダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	通知テンプレートを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : 〇〇県〇〇市
②	通知種別	定型文の使用を想定している通信手段として「自治体>通知>通知種別マスタ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	1 : メール
③	テンプレート種別	定型文の使用を想定しているプロセス（災害対応業務の基本項目）をドロップダウンリス	3 : 人命救助

		トから選択する。	
④	区分	定型文の区分を設定する。	緊急速報メール
⑤	タイトル	定型文のタイトルを設定する。	人命救助
⑥	内容	定型文の本文を設定する。	(定型文)
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示される時、上位に表示される。	61
⑨	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知テンプレート一覧に表示される。	
⑩	キャンセル	追加・通知テンプレートダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知テンプレート一覧にデータが新規追加される。

通知テンプレートの追加により利用者画面には以下の様に反映される。

定型文選択				close or Esc Key
避難勧告・指示	メール	<input type="radio"/>	定型文1	避難勧告・指示-定型文
津波到達前の住民避難	メール	<input type="radio"/>	定型文2	津波到達前の住民避難-定型文
人命救助	メール	<input type="radio"/>	定型文3	人命救助-定型文
本部設置	メール	<input type="radio"/>	定型文4	本部設置-定型文
避難所	メール	<input type="radio"/>	定型文5	避難所-定型文
道路規制・啓閉	メール	<input type="radio"/>	定型文6	道路規制・啓閉-定型文
その他の要請	メール	<input type="radio"/>	定型文7	その他の要請-定型文
避難所開設	メール	<input type="radio"/>	定型文8	避難所開設-定型文
避難所運営	メール	<input type="radio"/>	定型文9	避難所運営-定型文

登録/指示

図 6-98 利用者画面への反映

2) 通知テンプレートを編集する

編集を行いたい通知テンプレートを選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知テンプレートダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知テンプレートのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-65 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知テンプレートを削除する

データの削除を行いたい通知テンプレートを選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知テンプレートダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知テンプレートを削除することができる。削除・通知テンプレートダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知テンプレートを検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知テンプレートの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知テンプレートをコピーする

登録済み通知テンプレートをコピーし、それをもとに新たに通知テンプレートを作成することが出来る。コピー元となる通知テンプレートを選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知テンプレートダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-65 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知テンプレートが作成される。

6.1.6.4 安否応答状況情報

自治体>通知>安否応答状況情報を選択すると下図のような画面が表示される。安否応答状況情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。



1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・安否応答状況情報ダイアログが表示される。

表 6-66 追加・安否応答状況情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	名称	安否応答状況情報の名称を設定する。	テスト
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
④	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

6.1.6.5 アラーム

(1) アラームメッセージ設定

自治体>通知>アラーム>アラームメッセージ設定を選択すると下図のような画面が表示される。アラームメッセージ設定が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

アラームメッセージ設定では、現在の体制の状態を都道府県、他機関などに通知を行うための設定を行うものである。

ID	自治体ID	グループID	アラームタイプID	アラームタイプ名	表示メッセージ	メッセージ表示フラグ	メッセージタイプ	表示時間、0で手動項	表示順	有効・無効
6	6: 〇〇県〇〇市	11: 本部	1: 体制	体制変更	警戒配備になりました。	false	green	0	1	有効
7	6: 〇〇県〇〇市	11: 本部	1: 体制	体制変更	体制が解除になりました	true	yellow	0	2	有効

図 6-99 アラームメッセージ設定画面

(2) アラームメッセージ設定の編集

アラームメッセージ設定は、アラームを通知する際のメッセージの文面や表示方法の設定を行う。体制の発令、移行、解除を行うときに用いられる。

以下にアラームメッセージ設定の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) アラームメッセージ設定を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。

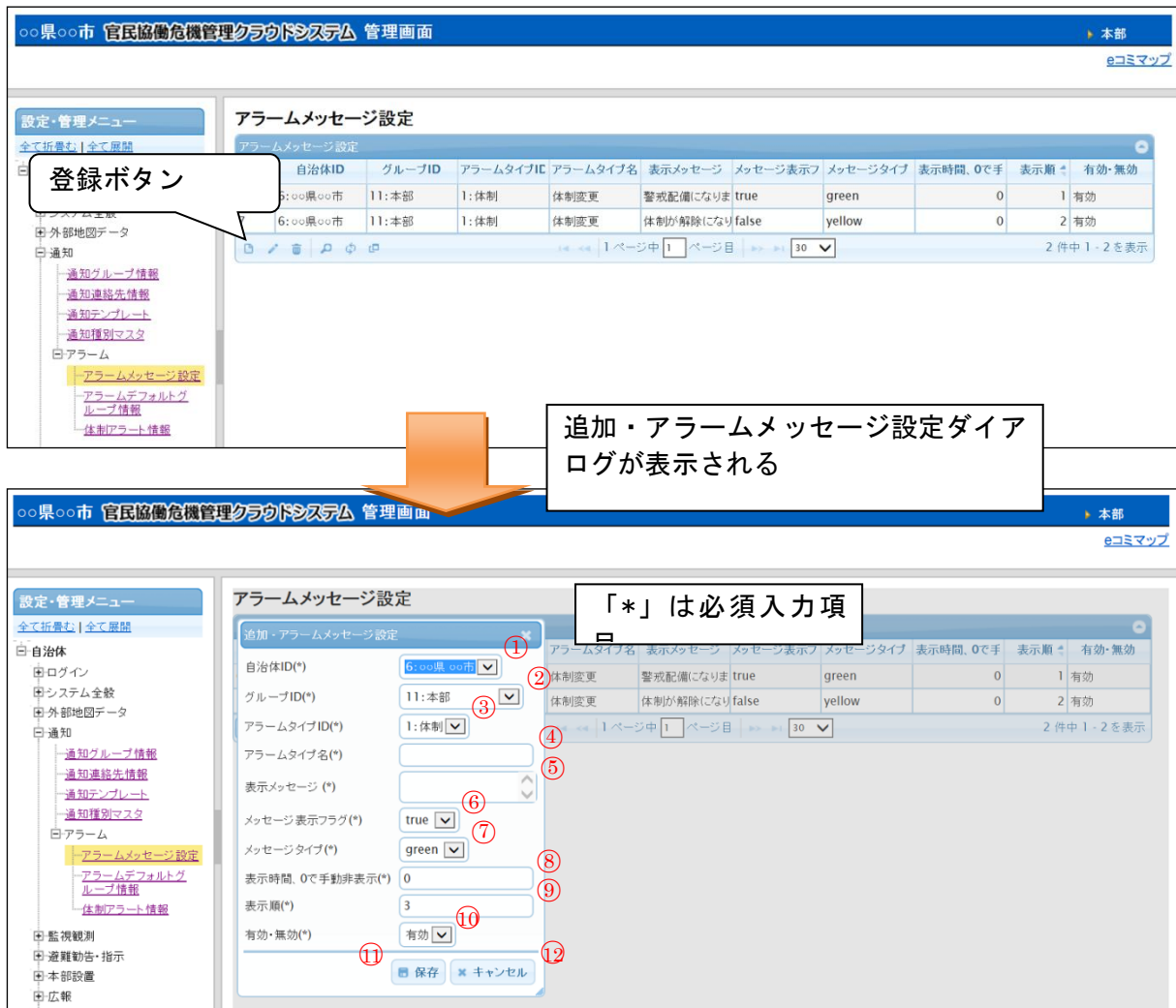


図 6-100 登録ボタン>追加・アラームメッセージ設定ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-67 追加・アラームメッセージ設定ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	アラームの発報を行う自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	グループ ID	アラームの発報を行うグループを指定するために「自治体>ログイン>ユーザ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	12 : 本部室 (危機管理課)
③	アラームタイプ	アラームメッセージの種類をドロップダウン	1 : 体制

	ID	リストから選択する。	
④	アラームタイプ名	アラームメッセージの種類に関する名称を設定する。	警戒配備
⑤	表示メッセージ	アラームとして表示されるメッセージを設定する。	警戒配備になりました。
⑥	メッセージ表示フラグ	メッセージの表示について設定する。falseの場合は、アラーム一覧のみ表示される。	true
⑦	メッセージタイプ	メッセージの種類をドロップダウンリストから選択する。アラームメッセージの背景色になる。	yellow
⑧	表示時間、0 で手動非表示	アラームメッセージの表示時間を設定する。0を設定した場合は手動非表示となる。	0
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示される時、上位に表示される。	70
⑩	有効・無効	アラームメッセージ設定の有効・無効をドロップダウンリストから選択する。	有効
⑪	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはアラームメッセージ設定一覧に表示される。	
⑫	キャンセル	追加・アラームメッセージ設定ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、アラームメッセージ設定一覧にデータが新規追加される。

2) アラームメッセージ設定を編集する

編集を行いたいアラームメッセージ設定を選択後、編集ボタンを押下することで編集・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択されたアラームメッセージ設定のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-67 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) アラームメッセージ設定を削除する

データの削除を行いたいアラームメッセージ設定を選択後、削除ボタンを押下すると削除・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のアラームメッセージ設定を削除することができる。削除・アラームメッセージ設定ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) アラームメッセージ設定を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにアラームメッセージ設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) アラームメッセージ設定をコピーする

登録済みアラームメッセージ設定をコピーし、それをもとに新たにアラームメッセージ設定を作成することが出来る。コピー元となるアラームメッセージ設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-67 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにアラームメッセージ設定が作成される。

6.1.7. 監視観測

6.1.7.1 気象情報

気象庁が配信する、気象情報 XML に応じて、本システムが実行する処理の内容を設定する。

気象情報 XML の情報で、受信対象とする情報の種類を登録し、その情報に対して、本システムが実行する処理のトリガー条件を設定する。

(1) 気象情報取得情報の登録

気象情報 XML の情報で、受信対象とする情報の種類を登録する。

ID	自治体ID	気象情報種別	エリアID	エリアID子備	アラームフラグ	表示フラグ	地図表示フラグ	備考	有効・無効
24	14:岩手県釜石市	2:震度速報	211		true	true	false	岩手県沿岸南部	有効

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-68 気象情報等取得情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	気象情報種別	以下、気象情報の種別	1: 気象警報・

		1:気象警報・注意報 2:震度速報 3:津波警報・注意報 4:震源・震度に関する情報 5:指定河川洪水予報 6:土砂災害警戒情報 7:記録的短時間大雨情報 8:竜巻注意情報 9:噴火警報・予報	注意報
③	エリア ID	気象庁の定めるエリア ID を設定する。 エリア ID は気象情報種別ごとに別 ID となる。 下記の URL 参照 http://xml.kishou.go.jp/	0110000: 札幌市
④	エリア ID 予備	未使用	
⑤	アラームフラグ	アラームとして表示する場合は True を設定する。	true
⑥	表示フラグ	スクロールテロップとして表示する場合は True を設定する。	true
⑧	備考	備考欄	
⑨	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

(2) 気象情報 XSLT 情報

気象情報 XML を、通知メッセージに変換するための XSLT を登録する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-69 気象情報 XSLT 情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	気象情報種別	1: 気象警報・注意報 2: 震度速報 3: 津波警報・注意報 4: 震源・震度に関する情報 5: 指定河川洪水予報 6: 土砂災害警戒情報 7: 記録的短時間大雨情報 8: 竜巻注意情報 9: 噴火警報・予報	2: 震度速報
③	通信種別	1: メール 2: アラート 3: テロップ 4: 公共情報commons (緊急速報メール) 5: 公共情報commons (メディア) 6: Facebook 7: Twitter	1: メール
④	XSLT ファイルパス	URL を指定する。	xxxxxxx

⑤	アップロード	XSLT ファイルをアップロードする。 アップロードすると XSLT ファイルパスに自動 で値が入る。	
---	--------	---	--

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.7.2 河川情報

一般社団法人 河川情報センターが配信する河川情報数値データを取得し、雨量や水位の観測状況を表やグラフにして確認、アラートを表示することができる。

入力項目には河川情報センターから提供される仕様書が必要である。

本マニュアルには「9.資料」に「テレメータ伝送仕様書」の一部を掲載した。

(1) テレメータ

自治体>監視観測>河川情報>テレメータを選択する。

テレメータサーバ情報の設定で、河川情報数値データの URL、ユーザ名、パスワードを入力する。

表 6-70 テレメータサーバ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	URL	テレメータデータの取得先 URL を記述	xxxxxx
③	ユーザ名	BASIC 認証のユーザ名	user
④	パスワード	BASIC 認証のパスワード	pass
⑤	インターバル (秒)	テレメータデータの取得間隔 (秒)	60
⑥	遅延	テレメータデータの取得間隔の遅延秒	0
⑦	備考	備考欄	
⑧	有効・無効	サーバ機能の有効、無効を指定する。	有効

登録したテレメータサーバ情報のリストを開き、取り込む管理事務所、観測所を設定する。

管理事務所番号を「テレメータ管理事務所情報」に入力し、取り込むデータを「テレメータ観測所情報」に設定する。

- テレメータ管理事務所情報

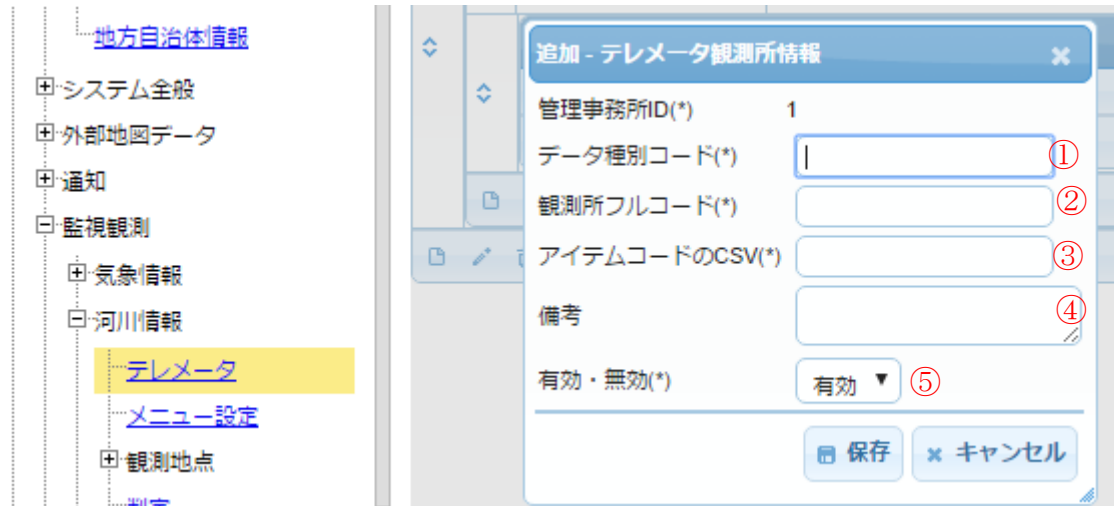
管理事務所番号、管理事務所名は、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」を入手し、参照して入力する。

表 6-71 管理事務所情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	管理事務所番号	管理事務所を指定する番号。数値 5 桁で構成される。(参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	21531

②	管理事務所名	①で指定された管理事務所の名称 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	〇〇川下流
③	備考	備考欄	
④	有効・無効	管理事務所情報の有効、無効を指定する。	有効

- テレメータ観測所情報



データ種別コード、アイテムコードは、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」、「観測局一覧表」を入手し、参照して入力する。

表 6-72 テレメータ観測所情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	データ種別コード	データ種別（雨量、水位、ダム諸量）を表す。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	21531
②	観測所フルコード	観測局を特定するためのコードであり、管理事務所番号（5桁）＋種別番号（3桁）＋観測所番号（5桁）で構成される。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表、観測局一覧表)	2153100100001
③	アイテムコードのCSV	取得するデータ項目コードを記入する。カンマ区切り（CSV形式）で複数指定可能。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	10, 30, 70, 80
④	備考	備考欄	
⑤	有効・無効	観測所情報の有効、無効を指定する。	有効

(2) メニュー設定

自治体>監視観測>河川情報>メニュー設定を選択する。

10分データ用と1時間データ用の二つを作ることを水準する。

監視観測メニュー情報に、表示したいメニューIDを指定する。

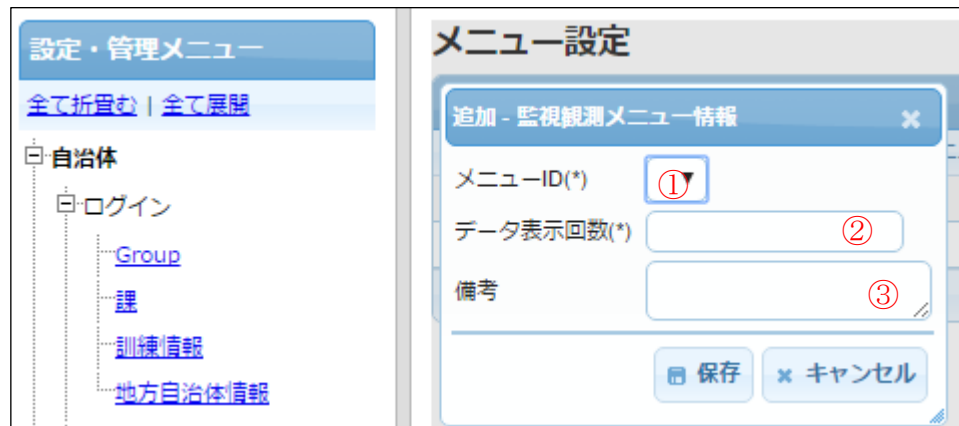
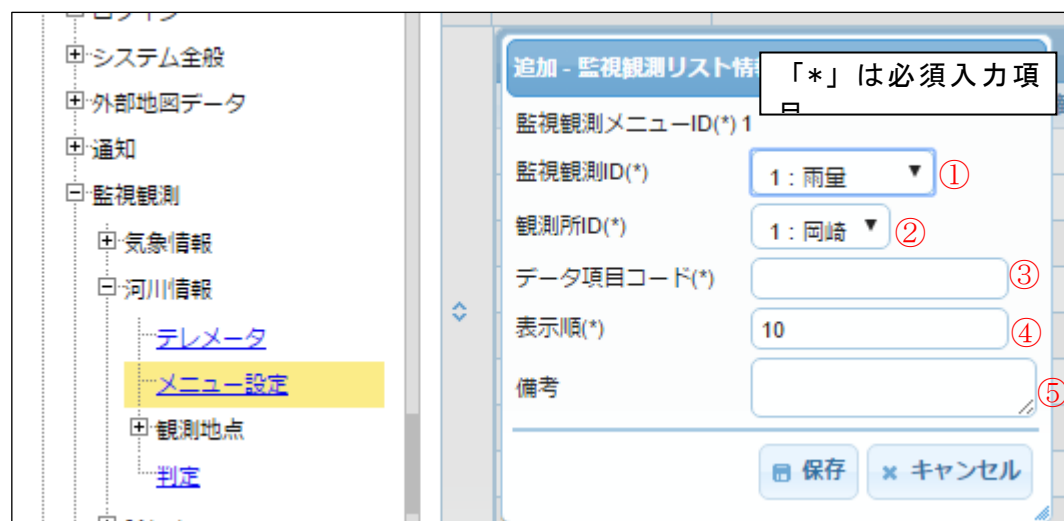


表 6-73 監視観測メニュー情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	観測リストを表示するタスクメニューの ID をドロップダウンリストから選択する。	3796:センサーリスト
②	データ表示回数	表示する行数	24
③	備考	備考欄	

次に監視観測リスト情報に、表示するテレメータのデータ種別と観測所を指定する。監視観測メニューに登録した情報のリストを開き、監視観測リスト情報を登録する。



監視観測する種類と、上記の各観測地点の登録で指定した ID、データ項目コードを指定する。データ項目コードに関しては、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」を入手し、参照して入力する。

表 6-74 監視観測リスト情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	監視観測 ID	観測の種類をドロップダウンリストから選択する。	1:雨量
②	観測所 ID	各観測地点で登録された情報の ID をドロップダウンリストから選択する。	3
③	データ項目コード	データ項目コードを設定する。 (参照:テレメータ伝送仕様書コード)	70
④	表示順	観測所の表示順を指定する。	3
⑤	備考	備考欄	

(3) 観測地点

1) 雨量レイヤ

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>雨量レイヤを選択する。

e コミマップで作成した、「雨量レイヤ」を登録する。

「*」は必須入力項

追加 - 雨量観測地点レイヤ情報

自治体ID(*) 0 : null null ①

テーブルID(*) 1 : 体制発令 ②

値の属性ID(*) ③

時刻の属性ID ④

レベルの属性ID(*) ⑤

備考 ⑥

保存 キャンセル

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID は雨量観測所に関する項目を選択する。

表 6-75 追加・雨量レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1: ○○県○○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された雨量レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:雨量観測所
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を選択する。	attr3
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

2) 雨量観測地点

次に「雨量観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>雨量観測地点を選択する。

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点
 - 判定
- JAlert
- 避難勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 意思決定支援
- 公共情報 commons
- その他

- システム

雨量観測地点

追加 - 雨量観測地点情報

「*」は必須入力項

① 自治体ID(*) 0 : null null ▼

② エリア番号

③ 管理事務所番号

④ 管理事務所名

⑤ 所管機関コード

⑥ 所管機関名

⑦ 水系名

⑧ 河川名

⑨ 観測所番号

⑩ 観測所名(*)

⑪ ふりがな

⑫ 緯度

⑬ 経度

⑭ 標高

⑮ 都道府県

⑯ 所在地

⑰ テーブルID 1 : 体制発令 ▼

⑱ フィーチャID

⑲ URL

⑳ true:iframe, false:popup(*) popup ▼

㉑ 幅

㉒ 高さ

㉓ 備考

保存 × キャンセル

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

表 6-76 雨量観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1: ○○県○○市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○川下流河川事務所
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21531
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○川下流河川事務所
⑤	水系名	テレメータデータの水系名 ※	水系
⑥	河川名	テレメータデータの河川名 ※	○×川
⑦	観測所番号	テレメータデータの観測所名 ※	5
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	
⑧	緯度	観測地点の緯度 ※	37.485554
	経度	観測地点の経度 ※	139.16417
⑨	標高	観測地点の標高 ※	230
⑩	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑪	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑫	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された雨量レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:雨量観測所
⑬	フィーチャ ID	雨量観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	7
⑭	URL	未使用	
⑮	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式をドロップダウンリストから選択する。	iframe
⑯	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑰	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。
クリックしたときに表示される

観測地点情報に入力されたデータが雨量観測のグラフの各項目となる。

3) 河川水位レイヤ

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>河川水位レイヤを選択する。

e コミマップで作成した、「河川水位レイヤ」を登録する。

The screenshot shows the '追加 - 河川水位観測地点レイヤ情報' (Add - River Water Level Observation Point Layer Information) form. On the left is a navigation menu with '監視観測' (Monitoring/Observation) expanded to '河川情報' (River Information) and '河川水位レイヤ' (River Water Level Layer). The form fields are:

- ① 自治体ID(*) (Prefecture ID): 0 : null null
- ② テーブルID(*) (Table ID): 1 : 体制発令
- ③ 値の属性ID(*) (Value Attribute ID): (empty dropdown)
- ④ 時刻の属性ID (Time Attribute ID): (empty dropdown)
- ⑤ レベルの属性ID(*) (Level Attribute ID): (empty dropdown)
- ⑥ 備考 (Remarks): (empty text area)

Buttons at the bottom right are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). A callout box says '「*」は必須入力項' (Items with * are required).

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID は河川水位観測所に関係する項目を選択する。

表 6-77 河川水位レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された水位レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:水位観測所
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を選択する。	attr3
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

4) 河川水位観測地点

次に「河川水位観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。自治体>監視観測>河川情報>観測地点>河川水位観測地点を選択する。

設定・管理メニュー

[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点
 - 判定
- JAlert
- 避難勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 意思決定支援
- 公共情報commons
- その他

- システム

河川水位観測地点

追加 - 河川水位観測地点情報

「*」は必須入力項

自治体ID(*) ①

エリア番号 ②

管理事務所番号 ③

管理事務所名 ③

所管機関コード ④

所管機関名 ④

水系名 ⑤

河川名 ⑥

観測所番号 ⑦

観測所名(*) ⑦

ふりがな ⑦

緯度 ⑧

経度 ⑧

標高 ⑨

都道府県 ⑩

所在地 ⑪

水防団待機水位 ⑫

氾濫注意水位 ⑫

避難判断水位 ⑫

氾濫危険水位 ⑫

計画高水位 ⑫

表示最大水位 ⑬

表示最小水位 ⑬

基準標高 ⑭

テーブルID ⑮

フィーチャID ⑯

URL ⑰

true:iframe, false:popup(*) ⑱

幅 ⑱

高さ ⑱

備考 ⑳

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

グラフの最大水位、最小水位は、表示最大水位、表示最小水位で指定する。

表 6-78 河川水位観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○川下流河川事務所
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21531
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○川下流河川事務所
⑤	水系名	テレメータデータの水系名 ※	水系
⑥	河川名	テレメータデータの河川名 ※	○×川
⑦	観測所番号	テレメータデータの観測所名 ※	5
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	
⑧	緯度	観測地点の緯度 ※	37.485554
	経度	観測地点の経度 ※	139.16417
⑨	標高	観測地点の標高 ※	230
⑩	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑪	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑫	水防団待機水位	テレメータデータの水防団待機水位 ※	8.2
	氾濫注意水位	テレメータデータの氾濫注意水位 ※	8.7
	避難判断水位	テレメータデータの避難判断水位	9.5
	氾濫危険水位	テレメータデータの氾濫危険水位 ※	11.08
	計画高水位	テレメータデータの計画高水位 ※	9
⑬	表示最大水位	テレメータデータの表示最大水位 ※	20
	表示最小水位	テレメータデータの表示最小水位 ※	0
⑭	標準標高	テレメータデータの基準標高 ※	
⑮	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された水位レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	12:水位観測所

⑯	フィーチャ ID	河川水位観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	7
⑰	URL	未使用	
⑱	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式	iframe
⑲	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑳	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。

5) ダムレイヤ

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>ダムレイヤを選択する。e コミマップで作成した、「ダムレイヤ」に登録する。

The screenshot shows the 'ダムレイヤ' registration form with the following fields and annotations:

- ① 自治体ID(*) (Mandatory): Dropdown menu showing '0 : null null'.
- ② テーブルID(*) (Mandatory): Dropdown menu showing '1 : 体制発令'.
- ③ 値の属性ID(*) (Mandatory): Dropdown menu.
- ④ 時刻の属性ID: Dropdown menu.
- ⑤ レベルの属性ID(*) (Mandatory): Dropdown menu.
- ⑥ 備考: Text input field.

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID はダム観測所に関する項目を選択する。

表 6-79 ダムレイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県△△市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されたダムレイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	14:ダム
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を	attr1

		選択する。	
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

6) ダム観測地点

次に「ダム観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>ダム観測地点を選択する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点
 - 判定
- JAlert
- 避難勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 意思決定支援
- 公共情報commons
- その他

ダム観測地点

追加 - ダム観測所情報

「*」は必須入力項目

自治体ID(*)	<input type="text" value="0 : null null"/>	①
エリア番号	<input type="text"/>	②
管理事務所番号	<input type="text"/>	③
管理事務所名	<input type="text"/>	
所管機関コード	<input type="text"/>	④
所管機関名	<input type="text"/>	
観測所番号	<input type="text"/>	⑤
観測所名(*)	<input type="text"/>	
ふりがな	<input type="text"/>	⑥
緯度	<input type="text"/>	
経度	<input type="text"/>	
都道府県	<input type="text"/>	⑦
所在地	<input type="text"/>	⑧
テーブルID	<input type="text" value="1 : 体制発令"/>	⑨
フィーチャID	<input type="text"/>	⑩
URL	<input type="text"/>	⑪
true:iframe, false:popup(*)	<input type="text" value="popup"/>	⑫
幅	<input type="text"/>	⑬
高さ	<input type="text"/>	
備考	<input type="text"/>	⑭

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

表 6-80 ダム観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1: ○○県△△市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○河川国道
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21528
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○河川国道事務所
⑤	観測所番号	テレメータデータの観測所番号 ※	1
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	△△ダム
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	さんかくさんかくだむ
⑥	緯度	観測地点の緯度 ※	38.030277
	経度	観測地点の経度 ※	139.56721
⑦	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑧	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑨	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されたダムレイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	14:ダム
⑩	フィーチャ ID	ダム観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	4
⑪	URL	未使用	
⑫	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式	iframe
⑬	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑭	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。

(4) 判定

自治体>監視観測>河川情報>判定を順次選択する。

災害時に起こる水位の増加などを観測し、状態を判定する機能。

テレメータデータで設定された項目を参考に判定は行われる。

1) データ判定管理情報を追加する

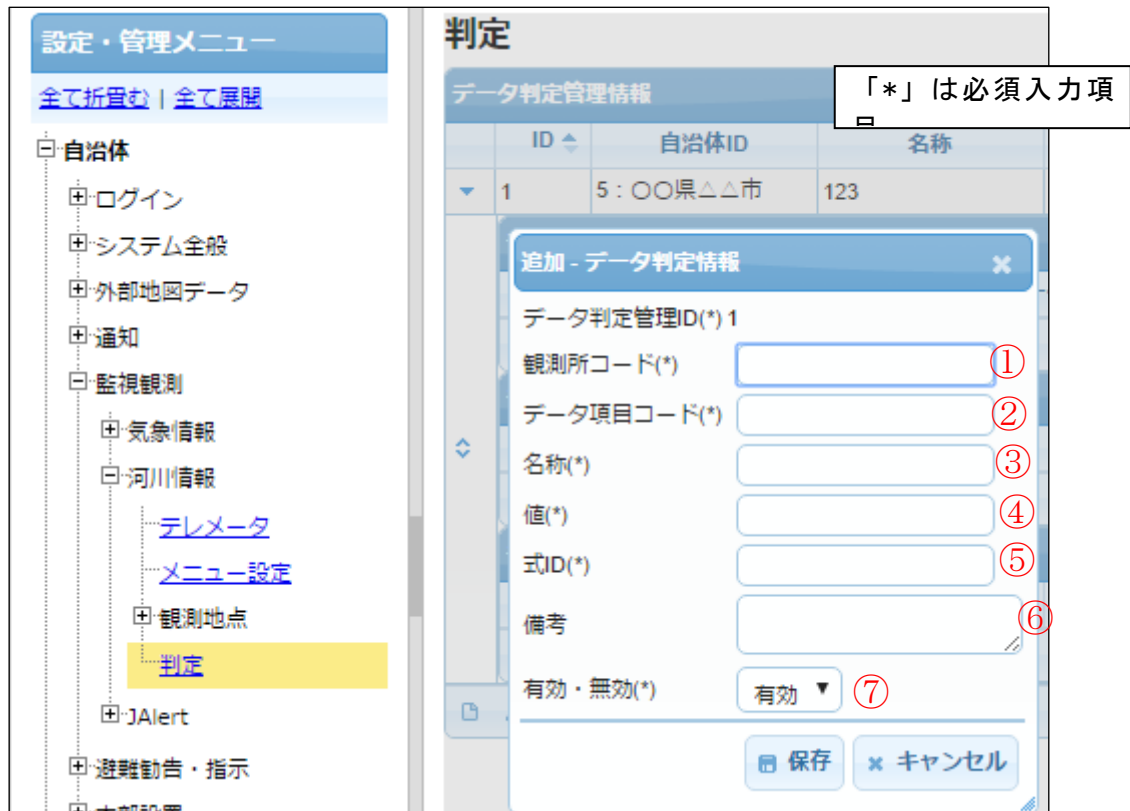
表 6-81 データ判定管理情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	名称	実行される判定項目の名称	○×雨量
③	判定インターバル (分)	判定を定期的に行う時間	60
④	遅延 (分)	判定後にメッセージを送るまでのタイムラグ	0
⑤	判定順	優先的に判定を行う項目を定める順番	2
⑥	備考	備考欄	
⑦	有効・無効	判定の有効、無効を指定する。	無効

データの判定に対し、表示の変更やポップアップ表示などの設定を行っていく。
判定順は値の小さいものから判定し、閾値の高いものが後から判定するように設定する。

2) 判定値の設定

データ判定管理情報のリストを開く。



観測所コード、データ項目コードに関しては、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ 伝送仕様書コード表」、「観測局一覧表」を入手し、参照して入力する。

表 6-82 データ判定情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	観測所コード	観測局を特定するためのコードであり、管理事務所番号（5桁）＋種別番号（3桁）＋観測所番号（5桁）で構成される。 （参照：テレメータ伝送仕様書コード表、観測局一覧表）	2153100100005
②	データ項目コード	判定に使用する演算・観測項目のデータ項目コードを設定する。 （参照：テレメータ伝送仕様書コード表）	10
③	名称	判定項目の名称	○×雨量
④	値	テレメータの閾値を設定する。	true
⑤	式ID	データ判定式マスタのIDを判定条件に合わせて設定する。	1
⑥	備考	備考欄	

⑦	有効・無効	判定の有効、無効を指定する。	有効
---	-------	----------------	----

データ判定情報は、指定の観測所のデータ項目コードの値に対し、式と値を設定する。式の ID はデータ判定式マスタの ID を設定する。

表 6-83 データ判定式のマスタ ID (式 ID) の各名称と概要

ID	名称	内容
1	以上	値が閾値以上
2	以下	値が閾値以下
3	より上	値が閾値を上回った
4	より下	値が閾値を下回った
5	等しい	値が閾値と等しい

また、データ判定式マスタへ式を登録することで、その他の四則演算のような判定を行うこともできる。

3) 判定結果をポップアップ表示する

判定結果で画面上にポップアップを表示する場合に、データ判定アラーム情報を追加する。ポップアップに出すメッセージに関しては、アラームメッセージ設定に追加し、その ID をデータ判定アラーム情報に追加する。

- データ判定アラーム情報の追加
データ判定管理情報のリストを開く。

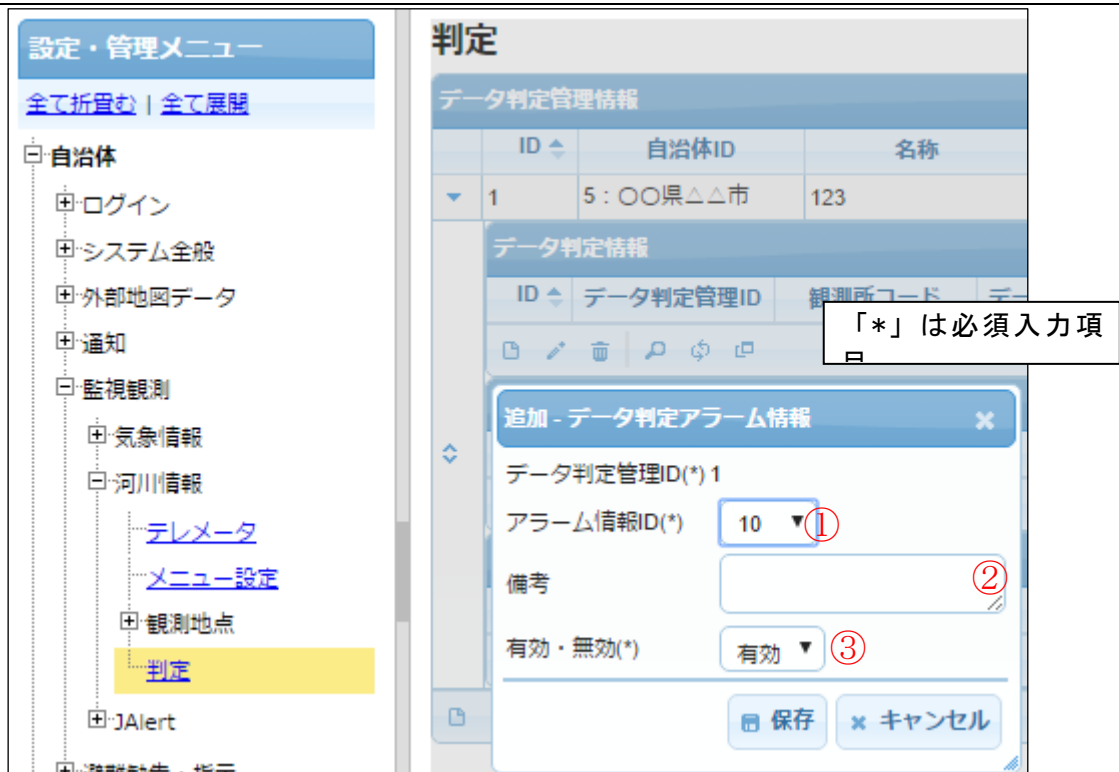


表 6-84 データ判定アラーム情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	アラーム情報ID	アラームメッセージ設定に追加した情報の ID を、ドロップダウンリストから選択する。	1
②	備考	備考欄	
③	有効・無効	アラームの有効、無効	有効

- アラームメッセージ設定

自治体>通知>アラーム>アラームメッセージ設定を選択する。表示メッセージに判定による結果のメッセージを記入する。

表 6-85 アラームメッセージ設定の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	アラームの発報を行う自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	グループ ID	アラーム発報を行うグループを指定するために「自治体>ログイン>ユーザ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	0：デフォルト
③	アラームタイプ ID	アラームメッセージの種類をドロップダウンリストから選択する。	1：体制
④	アラームタイプ名	アラームメッセージの種類に関する名称を設定する。	第一次配備体制
⑤	表示メッセージ	アラームとして表示されるメッセージを設定する。	第一次配備体制になりました1
⑥	メッセージ表示フラグ	メッセージの表示について設定する。Falseの場合は、アラーム一覧のみ表示される。	True
⑦	メッセージタイプ	メッセージの種類をドロップダウンリストから選択する。	green
⑧	表示時間	アラームメッセージの表示時間を設定する。	0

		る。0を設定した場合は手動非表示となる。	
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑩	有効・無効	アラームメッセージ設定の有効・無効をドロップダウンリストから選択する。	有効

4) 判定結果をメール通知する

判定結果をメール送信する場合には、データ判定通知情報を追加する。メールを出すグループは、通知グループ情報へ追加し、その ID をデータ判定通知情報に追加しておく。

自治体>通知>通知グループ情報を選択する。

表 6-86 通知グループ情報の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
⑪	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○ ○市
⑫	グループ ID	メーリングリストとして表示される名称を設定する。	災害対策本部 幹部
⑬	備考	備考欄	
⑭	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑮	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効

5) 判定結果で表示を設定する

判定結果でテレメータの表示を変更する場合には、データ判定結果スタイル情報を追加する。スタイル文字列には、Cascading Style Sheets の文字列をそのまま入力する。

データ判定管理情報のリストを開く。

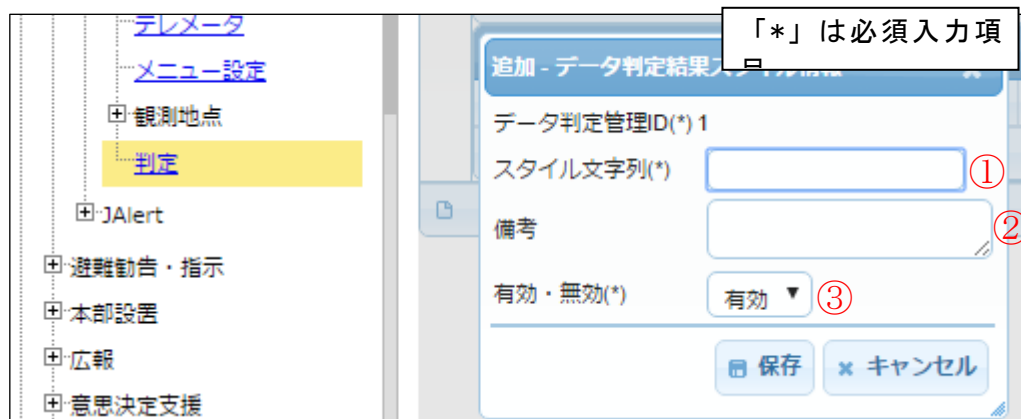


表 6-87 データ判定結果スタイル情報の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	スタイル文字列	スタイルを指定する文字列	Background- color:red;
②	備考	備考欄	
③	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効

6.1.7.3 JAlert

(1) JAlert サーバ情報



1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・JAlert サーバ情報ダイアログが表示される。

表 6-88 追加・JAlert サーバ情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○ ○市
②	サーバ URL	JAlert サーバの URL を設定する。	http://xxx
③	ユーザ名	JAlert サーバのユーザ名を設定する。	saigaitask
④	パスワード	JAlert サーバのパスワードを設定する。	admin
⑤	備考	備考欄	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

(2) JAlert 情報取得情報

ID	自治体ID	JAlert情報種別	エリアID (気象条件)	エリアID予備	アラームフラグ	表示フラグ	備考	有効・無効
1	1: 愛知	1: 気象情報	123		true	true		有効

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-89 追加・JAlert 情報取得情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○ 県 ○○ 市
②	JAlert 情報種別	JAlert の情報種別を設定する。	1: 気象情報
③	エリア ID(気象条件により異なる)	気象庁が定めるエリア ID を設定する。 エリア ID は気象情報種別ごとに別 ID となる。 下記の URL 参照。 http://xml.kishou.go.jp/	test
④	エリア ID 予備	エリア ID の予備を設定する。	
⑤	アラームフラグ	アラームとして表示する場合は True を設定する。	true
⑥	表示フラグ	スクロールテロップとして表示する場合は True を設定する。	true
⑦	備考	備考欄。	

⑧	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効
---	-------	----------------	----

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.8. 避難勧告・指示

6.1.8.1 避難勧告レイヤ

ID	自治体ID	テーブルID	属性ID
1	1: 愛知	87: 避難勧告・避難指示の発令単位	attr0
2	3: test	176: 避難勧告・避難指示の発令単位	attr0

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・避難勧告レイヤダイアログが表示される。

表 6-90 追加・避難勧告レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○ ○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	1: 体制発令
③	属性 ID	ドロップダウンリストから避難勧告・指示についての ID を選択する。	attr7

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.9. 本部設置

本項では、職員参集情報の追加、編集、削除を行う「職員参集情報」画面と、体制区分の追加、編集、削除を行う「体制区分」画面について説明する。

6.1.9.1 職員参集情報

自治体>本部設置>職員参集情報を選択すると下図のような画面が表示される。職員参集情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、Open-Xedge で体制が発令された際に自動的に発信する職員参集情報（体制区分やメールテンプレート、通知グループなど）の追加、編集、削除等の設定を行うことができる。



図 6-101 職員参集情報画面

(1) 職員参集情報の編集

Open-Xedge では、体制発令時に自動的に職員参集支持を行え、そのための情報を「職員参集情報」として管理している。以下ではこの職員参集情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 職員参集情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・職員参集情報ダイアログが表示される。



図 6-102 登録ボタン>追加・職員参集情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-91 追加・職員参集情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	職員参集を行う自治体のドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	体制 ID	職員参集を行う体制をドロップダウンリストから選択する。	13:警戒配備
③	テンプレート	職員参集で発信するメールのテンプレートを設定する。	143:警戒配備
④	通知グループ ID	職員参集メールを発信するグループをドロップダウンリストから選択する。	44:全職員

⑤	参集名	職員参集情報の名前を記載する。	警戒配備 参集職員
⑥	備考	備考を記載する。	(なし)
⑦	有効・無効	職員参集情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑧	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑨	キャンセル	追加・職員参集情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、職員参集情報一覧にデータが新規追加される。

2) 職員参集情報を編集する

編集を行いたい職員参集情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・職員参集情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された職員参集情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-91 を参照。



図 6-103 編集ボタン>編集・職員参集情報ダイアログ

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 職員参集情報を削除する

データの削除を行いたい職員参集情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・職員参集情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、

対象の職員参集情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) **職員参集情報を検索する**

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに職員参集情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) **職員参集情報をコピーする**

登録済み職員参集情報をコピーし、それをもとに新たに職員参集情報を作成することができる。

コピー元となる職員参集情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・職員参集情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-91 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに職員参集情報が作成される。

6.1.9.2 体制区分

自治体>本部設置>体制区分を選択すると下図のような画面が表示される。体制区分が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、Open-Xedge で発令する体制の情報（災害種別や体制の名称等）の追加、編集、削除等の設定を行うことができる。

ID	自治体ID	災害種別マスタID	体制ID	名称	出席職員	備考	表示順	有効-無効
13	14: 岩手県宮古市	2: 地震-津波	1: 警戒本部	警戒配備	1			11 無効
14	14: 岩手県宮古市	2: 地震-津波	1: 警戒本部	1号非常配備	2			12 無効
15	14: 岩手県宮古市	2: 地震-津波	1: 警戒本部	2号非常配備	3			13 無効
16	14: 岩手県宮古市	2: 地震-津波	1: 警戒本部	警戒	4			14 無効

図 6-104 体制区分画面

(1) 体制区分の編集

Open-Xedge では、自治体ごとに災害時の警戒レベルに応じた体制（「警戒配備」や「非常配備」等）を登録し、体制発令時に自動的に職員参集指示を行うことができ、そのための情報を「体制区分」として管理している。以下ではこの体制区分の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 体制区分を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・体制区分ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
監視観測
本部設置
職員参集情報
体制区分

体制区分

ID	自治体ID	災害種別マスタID	体制ID	名称
13	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	警戒配備
	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	1号非常配備
	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	2号非常配備
16	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	解除

登録ボタン

追加・体制区分ダイアログが表示される

追加・体制区分

「*」は必須入力項

自治体ID(*) 14:岩手県釜石市 ①

災害種別マスタID(*) 1:水士砂 ②

体制ID(*) 0:解除 ③

名称(*) ④

出動職員(*) ⑤

備考 ⑥

表示順(*) 34 ⑦

有効・無効(*) 有効 ⑧

保存 ⑨ キャンセル ⑩

図 6-105 登録ボタン>追加・体制区分ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-92 追加・体制区分ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	災害種別マスタ ID	体制区分の災害種別をドロップダウンリストから選択する。	2：地震・津波
③	体制 ID	体制区分が示す体制をドロップダウンリストから選択する。	1：警戒本部
④	名称	体制区分の名称を設定する。	1号非常配備
⑤	出勤職員	体制区分で出勤する職員を設定する。	1
⑥	備考	備考を記載する。	(なし)
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で体制区分一覧が表示されるとき、上位に表示される。	11
⑧	有効・無効	体制区分の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑨	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑩	キャンセル	追加・体制区分ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、体制区分一覧にデータが新規追加される。

2) 体制区分を編集する

編集を行いた体制区分を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・体制区分ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された体制区分のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-92 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 体制区分を削除する

データの削除を行いたい体制区分を選択後、削除ボタンを押下すると削除・体制区分ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の体制区分を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 体制区分を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに体制区分の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 体制区分をコピーする

登録済み体制区分をコピーし、それをもとに新たに体制区分を作成することができる。コピー元となる体制区分を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・体制区分ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-92を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに体制区分が作成される。

6.1.9.3 体制レイヤ

自治体>本部設置>体制レイヤを選択する。

体制レイヤ情報

ID	テーブルID	体制区分の属性ID	発令日時の属性ID	登録時間の属性ID(未使用)	終了時間の属性ID(未使用)
1: 体制発令		attr0	attr9	attr0	attr0
1: 体制発令		attr0	attr0	attr11	attr0
103: 体制		attr7	attr9	attr0	attr0
192: 体制		attr7	attr9	attr0	attr0

追加 - 体制レイヤ情報

テーブルID(*) 1: 体制発令 ①

体制区分の属性ID(*) ②

発令日時の属性ID(*) ③

登録時間の属性ID(未使用) ④

終了時間の属性ID(未使用) ⑤

保存 キャンセル

表 6-93 体制レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブルID	体制レイヤに関する項目のIDをドロップダウンリストから選択する。	2274:体制
②	体制区分の属性ID	ドロップダウンリストから体制の区分についてのIDを選択する。	attr7
③	発令日時の属性ID	ドロップダウンリストから体制の発令日時に関する項目のIDを選択する。	attr9
④	登録時間の属性ID	未使用	
⑤	終了時間の属性ID	未使用	

● 旧バージョンを利用しているユーザ

旧バージョンから利用しているユーザは、メニュータイプを「リスト(地図有)」へ変更する。

メニューテーブル情報を変更する。テーブルIDが体制発令のIDの行を削除し、体制レイヤをIDに指定して追加する。

編集については6.1.2.2(3)メニューテーブル情報の編集を参照する。

地図レイヤ情報には体制がないはずなので、追加する。

登録は 6.1.2.2 (7) 地図レイヤの編集を参照する。

設定・管理メニュー

[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 遊離勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 意思決定支援
- 公共情報 commons
- その他

システム

タスク種別情報

タスク種別情報

ID	自治体ID	
▶ 11	1: 愛知	1-A 監視・観測情報 (地震・津波)
▶ 33	3: test	1-A 監視・観測情報 (地震・津波)
▶ 1	0: 0	本部会議
▼ 8	1: 愛知	2-A 体制発令 (地震・津波:4-A/地)

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称
▼ 77	8: 2-A 体制発令 (地震・津波)	1: リスト (地図有)	〇体制の発令、移行、解除

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	
▼ 178	77: ①体制の発令、移行、解除	103: 体制	false

テーブルリスト項目情報

ID	メニューテーブルID	テーブル項目名	名称	編集可	強調表示	グループ
▶ 1213	178	attr1	自治体名	false	false	false
▶ 1217	178	attr7	体制	true	true	false
▶ 1214	178	attr9	発令日時	true	true	false
▶ 1626	178	attr11	最終更新日時	false	false	false
▶ 1625	178	attr10	備考	true	true	false

6.1.10. 広報

6.1.10.1 Twitter 設定

Twitter に記事を投稿するためのアクセストークンを設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-94 Twitter 設定

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	Access token	Twitter の Access token を設定する。 下記URL 参照 https://dev.twitter.com/	
③	Access token secret	Twitter の Access token secret を設定する。 下記URL 参照 https://dev.twitter.com/	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.10.2 Facebook 設定

Facebook に記事を投稿するためのアクセストークンを設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。



表 6-95 Facebook 設定

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	Access token	Facebook の Access token を設定する。 アクセストークンは無期限トークンにする必要がある。 下記URL参照 https://developers.facebook.com/	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.10.3 Facebook 投稿先情報

Facebook に記事を投稿するための投稿先の情報を設定する。



1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・Facebook 投稿先情報ダイアログが表示される。

表 6-96 追加・Facebook 投稿先情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	セット名	Facebook 投稿先情報のセット名を設定する。	
③	ページ ID	ページタイプに対応した ID を設定する。	
④	ページタイプ	投稿するページタイプを設定する。	ホームのタイムライン(ページ ID に Facebook アカウントの ID を指定してください)
⑤	備考	備考欄	
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用	1

		者画面に表示される時、上位に表示される。	
⑦	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.10.4 e コミ GW 投稿先情報

e コミグループウェアに記事を投稿するための投稿先情報を設定する。e コミグループウェアについては <http://ecom-plat.jp/group.php?gid=10046> を参照する。



1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・e コミグループウェア投稿先情報ダイアログが表示される。



表 6-97 追加・e コミグループウェア投稿先情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	セット名	e コミグループウェア投稿先情報のセット名を設定する。	test
③	投稿先グループID	e コミグループウェア投稿先情報の投稿先グループIDを設定する。API の groupid に該当する。 ※groupid とは e コミのページを識別するコードのこと。	50001
④	パーツ共通ID	e コミグループウェア投稿先情報のパーツ共通IDを設定する。API の partsid に該当する。 ※partsid とは e コミのページを構成する部	urgent

		品につけられるコードのこと	
⑤	パーツ個別 ID	e コミグループウェア投稿先情報のパーツ個別 ID を設定する。API の blockID に該当する。 ※e コミのページを構成する部品を個別に識別するコードのこと。	203
⑥	投稿先 URL	投稿先の URL を設定する。	XXXXXXXXXX
⑦	備考	備考欄	
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑨	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.11. 意思決定支援

6.1.11.1 避難者推定

自治体>意思決定支援>避難者推定を選択すると下図のような画面が表示される。意思決定支援レイヤ情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

意思決定支援レイヤ情報								
意思決定支援レイヤ情報								
ID	自治体ID	意思決定支援レイヤ	テーブルID	属性ID 1	属性ID 2	備考	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	1: 建物被害推定	1: 体制発令				1	有効

図 6-106 意思決定支援レイヤ情報画面

(1) 意思決定支援レイヤ情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。

図 6-107 登録ボタン>追加・意思決定支援レイヤ情報

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-98 追加・意思決定支援レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市

②	意思決定支援レイヤ種別 ID	意思決定支援のレイヤ種別 ID を指定する。	1:建物被害推定レイヤ
③	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	4:体制発令
④	属性 ID 1	属性 ID を指定する。	attr0
⑤	属性 ID 2	属性 ID を指定する。	attr1
⑥	備考	備考欄	
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑧	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、意思決定支援レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 編集する

編集したい意思決定支援レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された意思決定支援レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-98 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい意思決定支援レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の意思決定支援レイヤ情報を削除することができる。削除・意思決定支援レイヤ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに意思決定支援レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み意思決定支援レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに意思決定支援レイヤ情報を作成することが出来る。コピーボタンを押下すると、レコードコピー

一・被災項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-98 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに意思決定支援レイヤ情報が作成される。

6.1.12. 公共情報コモンズ

6.1.12.1 公共情報コモンズ避難勧告情報

公共情報コモンズに送信する、避難勧告情報を格納するレイヤ名および、属性名を登録する。ここで登録された情報を基に、公共情報コモンズに送信されるXMLデータが生成される。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-99 公共情報コモンズ避難勧告情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	テーブルID	避難勧告・指示状況のレイヤを選択する。	
③	地区	地区名を格納する属性の attr 番号を設定する。 ※attr 番号 = e コミマップでレイヤの属性に発行されるID	attr1
④	発令状況	発令状況を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr2
⑤	地区世帯数	地区世帯数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr3
⑥	人数	地区人数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr4
⑦	発令日時	発令日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr5

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.12.2 公共情報 commons 避難所情報

公共情報 commons に送信する、避難所情報を格納するレイヤ名および、属性名を登録する。ここで登録された情報を基に、公共情報 commons に送信される XML データが生成される。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-100 公共情報 commons 避難所情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	テーブル ID	避難勧告・指示状況のレイヤを選択する。	
③	避難所名	避難所名を格納する属性の attr 番号を設定する。 ※attr 番号 = e コミマップでレイヤの属性に発行される ID	attr1
④	地区	地区を格納する属性の attr 番号を設定す	attr2

		る。	
⑤	住所	住所（避難所の所在地）を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr3
⑥	電話番号	電話番号を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr4
⑦	F A X	F A X 番号を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr5
⑧	代表者名	代表者を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr6
⑨	開設状況	開設状況を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr7
⑩	収容定員数	収容定員数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr8
⑪	開設日時	開設日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr9
⑫	閉鎖日時	閉鎖日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr10

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.12.3 公共情報コモンズ発信先データ

公共情報コモンズのデータを送信する先のサーバおよび、アカウント情報を設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-101 公共情報コモンズ発信先データ

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	エンドポイントURL	利用手続き後に、マルチメディア振興センターが提供する「マスタ管理システム」で、情報発信するための設定をする際に、生成されるURLを登録する。	http://xxxx
③	ユーザ名	利用手続き後に、マルチメディア振興センターが提供する「マスタ管理システム」から発行されるアカウントのユーザ名を登録する。	user
④	パスワード	上記ユーザのパスワードを登録する。	pass
⑤	エンドポイントURLバックアップノード	②のエンドポイントURLが使えない場合のバックアップノードを指定する。	http://yyy
⑥	ユーザ名バックアップノード	バックアップノードのユーザ名指定する。	xxxx

⑦	パスワードバックアップノード	バックアップノードのパスワードを指定する。	XXXXXX
⑧	表示順	未使用	
⑨	運用種別	運用種別を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本番 ・訓練 ・テスト 公共情報コモンズに送信されるXMLの「運用種別」に反映する。	テスト

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.13. その他

6.1.13.1 被災項目情報

自治体>その他>被災項目情報を選択すると下図のような画面が表示される。被災項目情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

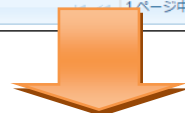
ID	自治体ID	行番号	項目名称
1	1: 愛知	1	

図 6-108 被災項目情報画面

(1) 被災項目情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・被災項目情報ダイアログが表示される。



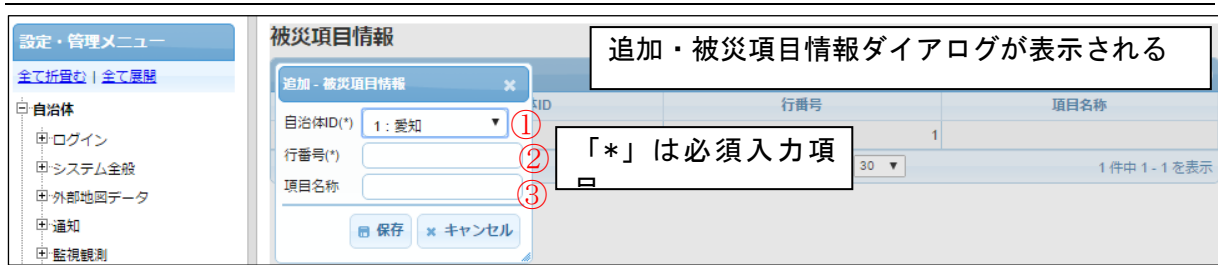


図 6-109 登録ボタン>被災項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-102 追加・被災項目情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	行番号	被災項目情報の行番号を指定する。	1
③	項目名称	項目名称を指定する。	人的被害

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュー設定情報一覧にデータが新規追加される。

2) 編集する

編集を行いたい被災項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・被災項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された被災項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-102 を参照

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい被災項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・被災項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の被災項目情報を削除することができる。削除・被災項目情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに被災項目情報の絞り込みを行うことが出来る。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みの被災項目情報をコピーし、それをもとに新たに被災項目情報を作成することが出来る。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・被災項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-102 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに被災項目情報が作成される。

6.1.13.2 ランドマーク

自治体>その他>ランドマークを選択すると下図のような画面が表示される。目標物情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。



図 6-110 目標物情報画面

(1) 目標物情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・目標物情報ダイアログが表示される。

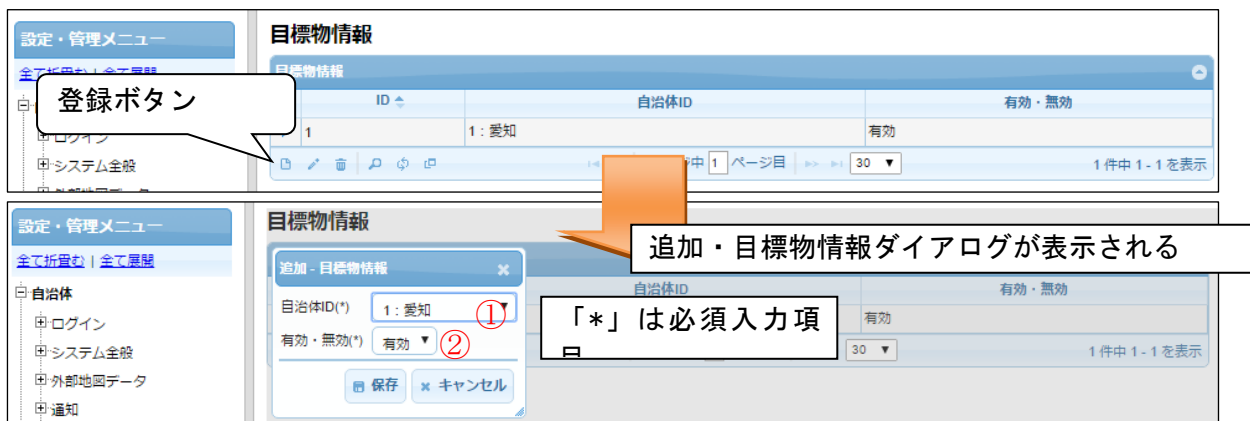


図 6-111 登録ボタン>追加・目標物情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-103 追加・目標物情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集を行いたい目標物情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・目標物情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された目標物情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-103 を参照。

設定後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) **削除する**

データの削除を行いたい目標物情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・目標物情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の目標物情報を削除することができる。削除・目標物情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) **検索する**

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに目標物の絞り込みを行うことが出来る。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) **コピーする**

登録済みの目標物情報をコピーし、それをもとに新たに目標物を作成することができる。

コピー元となる目標物情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・目標物情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-103 を参照

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに目標物が作成される。

6.1.13.3 一括削除

自治体>その他>一括削除を選択する下図のような画面が表示される。メニューテーブル情報のサブテーブルである「テーブルリスト項目情報」および地図レイヤ情報の「地図レイヤ属性情報」をチェックボックスによって項目を選択し、一括で削除する。

一括削除						
災害種別 種	メニュープロセス	メニュータスク	メニュー	テーブルリスト項目情報 全て選択 <input checked="" type="checkbox"/>	地図レイヤ属性情報 全て選択 <input checked="" type="checkbox"/>	
38:1.監視・観測	377:A.監視・観測情報		80:①監視・観測情報（一元表示）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			5:②監視カメラ情報	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			81:③テレメータ水位情報	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			82:④テレメータ水位情報	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			83:⑤テレメータ雨量情報	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			84:⑥ダム放流情報	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	116:2.本部設置	325:A.体制発令		77:①体制の発令、移行、解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				78:②対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				79:③対応履歴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				100:④建物の被災	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				101:⑤ライフラインの被災と復旧見込	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				102:⑥代替拠点への移行	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
249:3.避難所開設	532:B.庁舎の被災状況確認		103:⑦対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			104:⑧対応履歴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			6:①参集メールの送信	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			7:②安否確認・参集状況の管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			8:③対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			17:④開設要請避難所の選択	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
262:4.避難動き・指示	62:C.職員参集		18:⑤開設要請	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			34:⑥開設状況の管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			35:⑦避難所の追加登録	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			36:⑧アラート（ｽﾌﾟﾛｯｸ）発信	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			40:⑨対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			41:⑩対応履歴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	181:A.避難所（一般）の開設		106:①開設要請福祉避難所の選択	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			113:②開設要請	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			114:③開設状況の管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			115:④避難所の追加登録	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			116:⑤対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			117:⑥対応履歴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	584:B.福祉避難所の開設		121:①避難動き等の発令・更新	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			123:②アラート（ｽﾌﾟﾛｯｸ）発信	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			134:③対応状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			135:④対応履歴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
			649:A.避難動き・指示の発令状況と追加情報			

一括削除実行

6.1.13.4 投稿写真レイヤ

自治体>その他>投稿写真レイヤを選択すると下図のような画面が表示される。投稿写真レイヤが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

投稿写真レイヤ												
ID	西暦ID	テーブルID	コメント属性ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID	西暦ID
1	0	0	1	123	123	123	123	123	123	123	123	123

図 6-112 投稿写真レイヤ画面

(1) 投稿写真レイヤの編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。

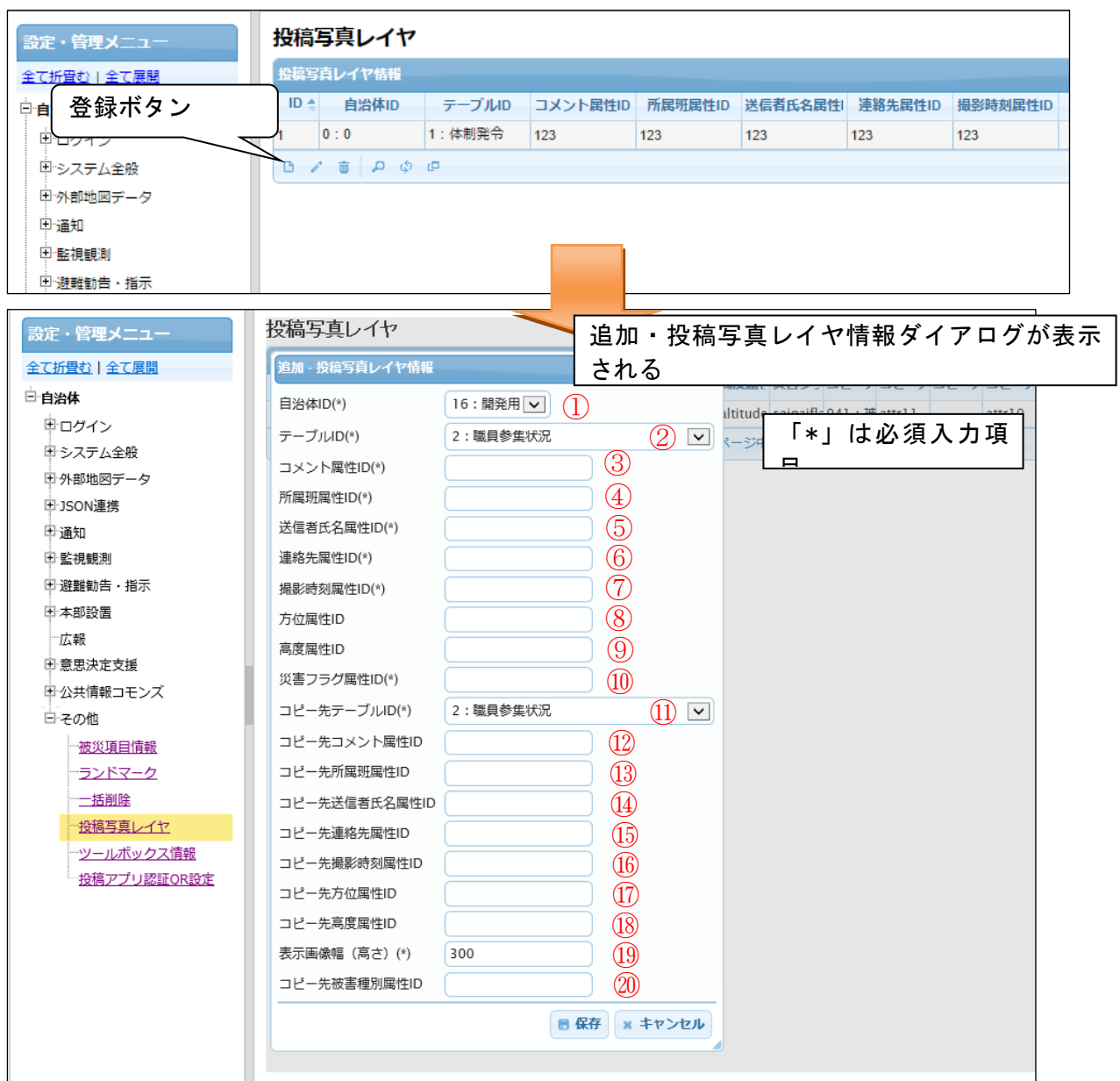


図 6-113 登録ボタン>追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-104 追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	94: 写真投稿 レイヤ
③	コメント属性 ID	入力したコメントが登録する属性 ID を指定	comment

		する。	
④	所属班属性 ID	スマホ操作者の所属班が登録される属性 ID を指定する。	groupname
⑤	送信者氏名属性 ID	スマホ操作者の氏名が登録される属性 ID を指定する。	senduser
⑥	連絡先属性 ID	スマホ操作者の連絡先が登録される属性 ID を指定する。	sendusertel
⑦	撮影時刻属性 ID	撮影時間が登録される属性 ID を指定する。	registtime
⑧	方位属性 ID	撮影時の方位情報が登録される属性 ID を指定する。	compass
⑨	高度属性 ID	撮影時の高度情報が登録される属性 ID を指定する。	altitude
⑩	災害フラグ属性 ID	撮影時の災害モード(true)、平時モード(false)が登録される属性 ID を指定する。	saigaiflag
⑪	コピー先テーブル ID	投稿写真のコピー先となるテーブル ID を指定する。	41:被災箇所
⑫	コピー先コメント属性 ID	投稿写真のコピー先となるコメント属性 ID を指定する。	attr0
⑬	コピー先所属班属性 ID	投稿写真のコピー先となる所属班属性 ID を指定する。	attr1
⑭	コピー先送信者氏名属性 ID	投稿写真のコピー先となる送信者指名属性 ID を指定する。	attr2
⑮	コピー先連絡先属性 ID	投稿写真のコピー先となる連絡先属性 ID を指定する。	attr3
⑯	コピー先撮影時刻属性 ID	投稿写真のコピー先となる撮影時刻属性 ID を指定する。	attr4
⑰	コピー先方位属性 ID	投稿写真のコピー先となる方位属性 ID を指定する。	attr5
⑱	コピー先高度属性 ID	投稿写真のコピー先となる高度属性 ID を指定する。	attr6
⑲	表示画像幅(高さ)	表示画像の幅をピクセル単位で指定する。	300
⑳	コピー先被害種別属性 ID	被災レイヤ側の被災の種類属性	attr7

※94：写真投稿レイヤの属性 ID (comment～saigaiflag、adoptionstate) はレイヤ作成時、固定値設定が必要となる。

2) 編集する

編集を行いたい投稿写真レイヤを選択後、編集ボタンを押下することで、編集・

投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された投稿写真レイヤのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい投稿写真レイヤを選択後、削除ボタンを押下すると削除・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の投稿写真レイヤを削除することが出来る。削除・投稿写真レイヤ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに投稿写真レイヤの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み投稿写真レイヤの情報をコピーし、それをもとに新たに投稿写真レイヤを作成することができる。コピー元となる投稿写真レイヤ情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに投稿写真レイヤが作成される。

(2) 投稿写真画面の設定

投稿写真画面を出す場合、メニューテーブル情報の設定は必須となる。また、地図画面を使用しているため、背景地図や被災箇所レイヤの表示設定も必須となる。

The screenshot shows the 'Management Interface' (管理画面) for the 'Official Disaster Management Cloud System Ver. 2.3a'. The main content area displays several tables for configuring menu items and map layers.

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	表示・非表示	備考	有効・無効
186	30: 新写真	27: 投稿写真振り分け地図	新写真地図+リスト		true		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ	合計フラグ	表示順	アコーディオン閉結	名称	アコーディオン初開
153	186: 新写真地図+	94: 写真投稿レイヤ	false	false	true	10			true

テーブルリスト項目情報

ID	メニューID	テーブル項目	名称	編集可	強調表示	グループ化	ソート可	デフォルト	ファイル	ログ出力可	初期チェック	グループ初	一括追記	表示順
表示するレコードがありません														

テーブルリストカラム情報

ID	メニューテーブルID	テーブル項目名	名称	編集可	強調表示	グループ折り込み	表示順	Tips
表示するレコードがありません								

フィルター情報

ID	メニューID	名称	フィルターID	備考	有効・無効	表示順
表示するレコードがありません						

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
表示するレコードがありません						

地図レイヤ情報

ID	メニューID	テーブルマスタ	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	検索フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤ	有効・無効	表示順
655	186: 新写真地図 30: 主要施設	0	true	true	false	false	false	false		有効	1
656	186: 新写真地図 65: 行政界(都)	0	true	true	false	false	false	false		有効	2
657	186: 新写真地図 43: 重要施設	0	true	true	false	false	false	false		有効	3
658	186: 新写真地図 41: 被災箇所	0	true	true	false	false	true	false		有効	4

地図レイヤ属性情報

ID	地図レイヤID	属性項目名	名称	編集フラグ	ハイライト	グループ化	初期チェック	グループ初期チェック	一括追記	表示順
648	658	attr6	被災の種類	false	false	false	false	false	false	10

レイヤ項目情報

ID	メニューID	レイヤ項目名	名称	編集フラグ	ハイライト	グループ化	初期チェック	グループ初期チェック	一括追記	表示順
659	186: 新写真地図 94: 写真投稿レイヤ	0	true	true	false	false	true	false		有効

図 6-114 投稿写真画面のメニューテーブル情報の設定例

※テーブルリスト項目情報は未使用。

※地図レイヤ情報に被災レイヤを設定する場合、地図レイヤ属性情報の編集フラグの指定は特になし。(編集フラグ false でも true でも投稿写真画面に制約は出ない)

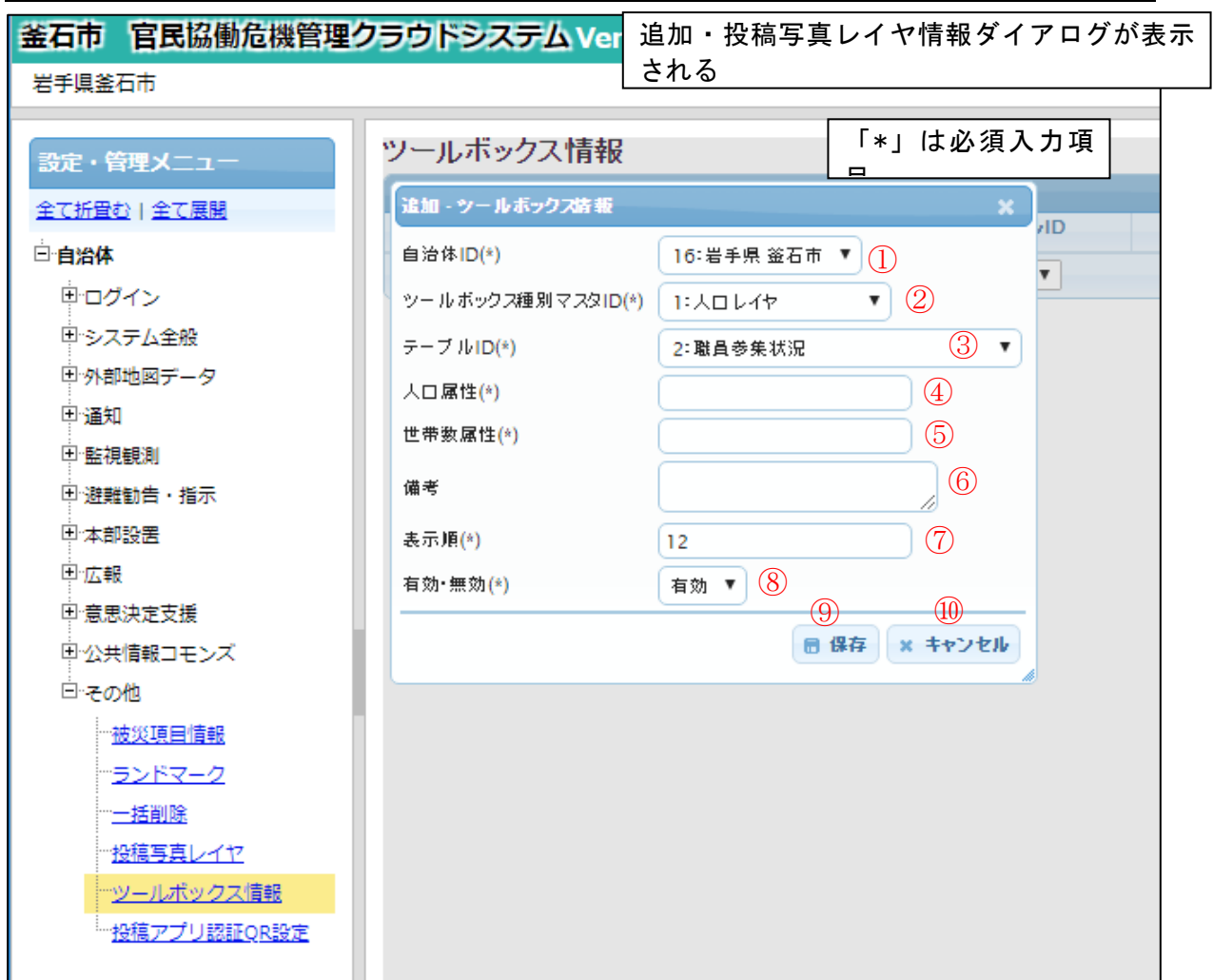


図 6-116 登録ボタン>追加・ツールボックス情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-105 追加・ツールボックス情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	ツールボックス種別マスタID	地図画面のツールボックスで人口計測する場合は「1:人口レイヤ」を選択する。	1:人口レイヤ
③	テーブルID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。 ※自治体セットアップの人口インポートツールで作成した「人口メッシュ」レイヤ	100:人口メッシュ

		を選択すること。	
④	人口属性 ID	人口データのある属性 ID を指定する。	attr6
⑤	世帯数属性 ID	世帯数データのある属性 ID を指定する。	attr9
⑥	備考	備考欄。	
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが 利用者画面に表示される。	1
⑧	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

※複数設定することも可能です。（例：市町村単位で登録するなど）

※人口メッシュレイヤを複数設定して重なっている地点がある場合は、推定値は合計した値になります。

2) 編集する

編集を行いたいツールボックス情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ツールボックス情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたツールボックス情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたいツールボックス情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ツールボックス情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象のツールボックス情報を削除することが出来る。削除・ツールボックス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにツールボックス情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みツールボックス情報の情報をコピーし、それをもとに新たにツールボックス情報を作成することができる。コピー元となるツールボックス情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・ツールボックス情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにツールボックス情報が作成される。

6.1.13.6 投稿アプリ認証 QR 設定

自治体>その他>投稿アプリ認証 QR 設定を選択すると下図のような画面が表示される。投稿アプリ認証 QR 設定が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ID	自治体ID	投稿アプリ	QRコード名称	認証種ID	認証課ID	投稿先テーク	認証終了日	備考	表示順	有効-無効
5	3:テスト県	1:本部A	本部A専用	27:本部A		245:写真投稿	2018-07-30		4	有効

図 6-117 投稿アプリ認証 QR 設定画面

(1) 投稿アプリ認証 QR 設定の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。

ID	自治体ID	投稿アプリ	QRコード名称	認証種ID	認証課ID	投稿先テーク	認証終了日	備考	表示順	有効-無効
5	3:テスト県	1:本部A	本部A専用	27:本部A		245:写真投稿	2018-07-30		4	有効



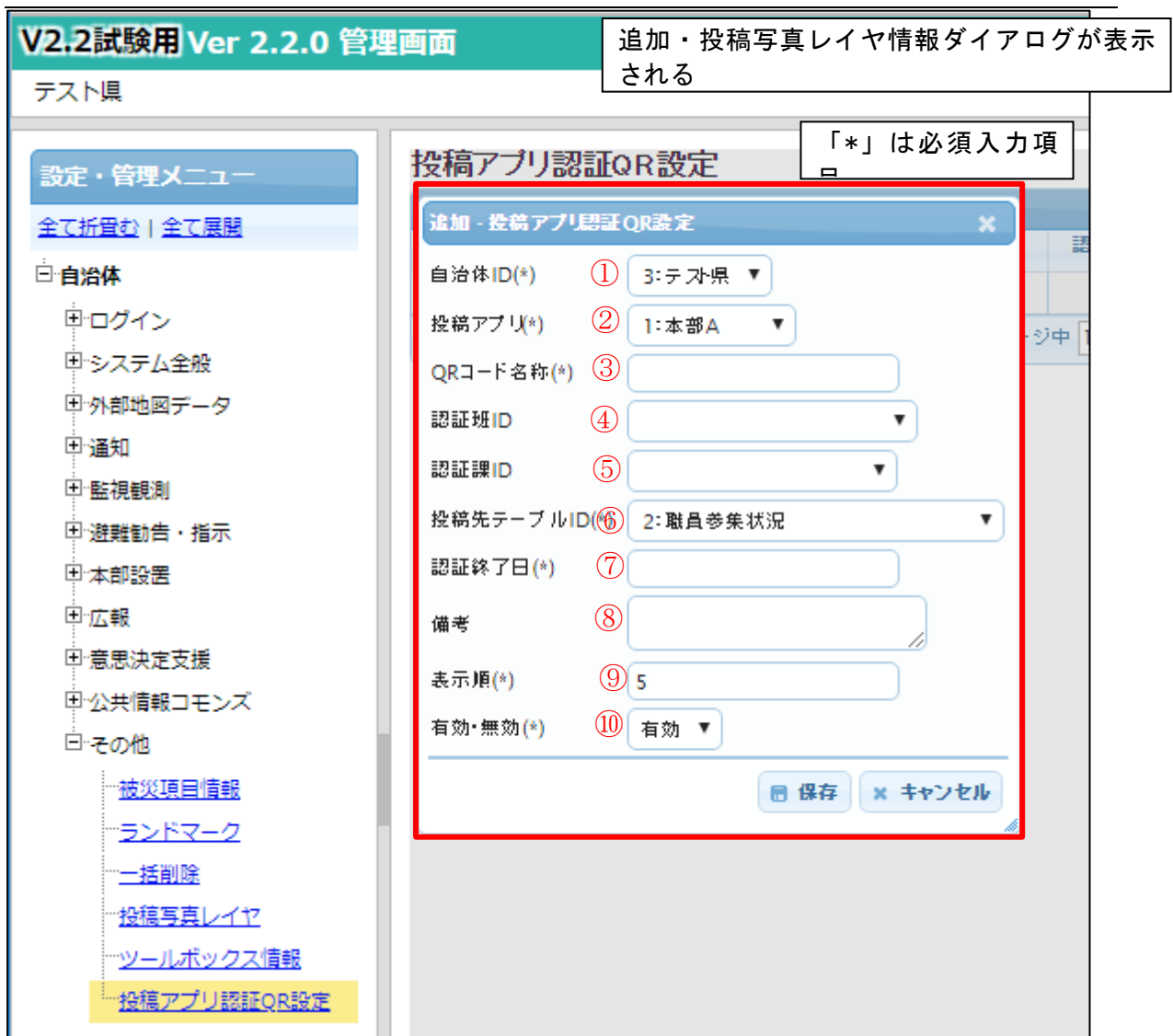


図 6-118 登録ボタン>追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-106 追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	Open-Xedge に登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	投稿アプリ	e コミマップの OAuth アプリケーションの選択リストが表示される。投稿アプリを選択すること。	1:投稿アプリ
③	QR コード名称	利用者画面の「アプリ認証 QR」ダイアログで QR コードと一緒に表示される名称である。	本部 A 専用

④	認証班 ID	QR コード認証時の班 ID を指定する。 特定の班を設定した場合、投稿アプリの認証班が自動設定され、利用者側で変更が出来ないように固定値となる。 全班共通を設定した場合、投稿アプリの認証班は空欄となり、利用者側の操作で班一覧から任意の班を選択する。 ※認証班 ID を指定した場合は、認証課 ID は指定しないこと。	1:本部 A
⑤	認証課 ID	QR コード認証時の課 ID を指定する。 特定の課を設定した場合、投稿アプリの認証課が自動設定され、利用者側で変更が出来ないように固定値となる。 全班共通を設定した場合、投稿アプリの認証課は空欄となり、利用者側の操作で課一覧から任意の課を選択する。 ※認証課 ID を指定した場合は、認証班 ID は指定しないこと。	
⑥	投稿先テーブル ID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。 ※投稿写真レイヤで設定したレイヤを選択すること。	245:写真投稿
⑦	認証終了日	認証可能な期間を設定する。 認証終了日を過ぎた場合はその QR コードでは認証ができなくなる。	2018-07-30
⑧	備考	備考欄。	
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが利用者画面に表示される。	1
⑩	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集を行いたい投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された投稿アプリ認証 QR 設定のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、削除ボタンを押下すると削除・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の投稿アプリ認証 QR 設定を削除することが出来る。削除・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに投稿アプリ認証 QR 設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み投稿アプリ認証 QR 設定の情報をコピーし、それをもとに新たに投稿アプリ認証 QR 設定を作成することができる。コピー元となる投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに投稿アプリ認証 QR 設定が作成される。

6.2. 設定・管理メニュー(システム)

本システムの基幹機能の設定を行う。

システム管理者権限を持つユーザのみ閲覧、編集ができる。

6.2.1. ログイン

6.2.1.1 地方自治体種別

自治体の種別を登録する。

初期値：県、市区町村、その他

6.2.1.2 地方自治体情報

自治体を登録する。本システムは、自治体ごとにサイトが生成され、独自のドメインが割り当てられる。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-107 地方自治体情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体毎のドメイン	サイトにアクセスするURLのトップドメインを設定する。 ※DNSの登録が別途必要になる。	xxx.xxx.xxx
②	システム名	本システムのシステム名を設定する。 初期値：Open-Xedge	危機管理
③	地方自治体種別	6.2.1.1 地方自治体種別で登録した種別を選択する。	県
④	県名	県名を設定する。	愛知県
⑤	県コード	県コードを設定する。	23
⑥	市区町村	市区町村名を設定する。	
⑦	市区町村コード	地区町村コードを設定する。	
⑧	予備	未使用	
⑨	自動発報フラグ	True のときシステムの自動発報処理が許可される。	true
⑩	アラームの取得間隔	アラームメッセージの取得するためのポーリング間隔を設定する (単位：秒)。 ここで設定される間隔ごとに、ブラウザからサーバへ定期的に通信が発生する。	120
⑪	SMTP サーバ	SMTPサーバアドレスを設定する。	xxx.xxxxxx.x

		ここで設定されるサーバでメール送信処理を行う。	xx
⑫	送信用メールアドレス	システムから送信されるメールの From アドレスの設定をする。	xxx@xxxx
⑬	備考	備考欄	
⑭	有効・無効	自治体の有効・無効を切り替える。 ※無効にするとログイン不可になる。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.2. システム全般

6.2.2.1 メニュータイプマスタ

メニュータイプを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.2.2 テーブル項目マスタ

システムテーブル項目の、NULL可チェックを行うために定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.2.3 ページボタンマスタ

ボタンを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3. 通知

6.2.3.1 通知種別マスタ

システム>通知>通知種別マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

通知種別マスタが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知種別マスタは、通知方法を種類毎に分類するためのマスタ情報を定義するものである。



ID	名称	表示順
1	メール	1
2	アラーム	2
3	テロップ	3
4	公共情報コモンズ (緊急通報メール) 発信	4
5	公共情報コモンズ (メディア) 発信	5
6	facebook	6
7	twitter	7
8	eコミグループウェア	8

図 6-119 通知種別マスタ画面

(1) 通知種別マスタの編集

通知種別マスタでは、メール、アラーム、テロップなどの通知種別を設定し、各通知関連設定において利用可能とする。

以下ではこの通知種別マスタの新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知種別マスタを新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知種別マスタダイアログが表示される。



図 6-120 登録＞追加・通知種別マスタダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-108 追加・通知種別マスタダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	通知種別の名称を設定する。	メール
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、管理者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知種別マスター一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知種別マスタダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知種別マスター一覧にデータが新規登録される。

2) 通知種別マスタを編集する

編集を行いたい通知種別マスタを選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知種別マスタダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知種別マスタのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-108 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知種別マスタを削除する

データの削除を行いたい通知種別マスタを選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知種別マスタダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の通知種別マスタを削除することができる。削除・通知種別マスタダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知種別マスタを検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知種別マスタの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知種別マスタをコピーする

登録済み通知種別マスタをコピーし、それをもとに新たに通知種別マスタを作成することができる。コピー元となる通知種別マスタを選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知種別マスタダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-108 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知種別マスタが作成される。

6.2.3.2 通知テンプレート種別マスタ

通知テンプレートの種別を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3.3 アラーム

(1) アラームタイプマスタ

アラームタイプを定義する。

システムセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3.4 テロップ種別マスタ

テロップ種別を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.4. 監視観測

6.2.4.1 気象情報

(1) 気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタ

気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(2) 気象情報等取得種別マスタ

気象情報の種類を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(3) 地震速報エリア情報

地震速報のエリアコードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(4) 火山名マスタ

火山コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(5) 河川マスタ

河川コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(6) 河川区域マスタ

河川地区コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(7) 雨量エリアマスタ

雨量エリアコードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.4.2 河川情報

(1) 監視観測マスタ

システム>監視観測>河川情報>監視観測マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

ID	監視観測名	表示順
1	雨量	1
2	水位	2
3	ダム流量	3

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・監視観測マスタダイアログが表示される。

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-109 追加・監視観測マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	監視観測名	監視観測の名称を設定する。	雨量
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

(2) データ判定式マスタ

システム>監視観測>河川情報>データ判定式マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

ID	式	名称	表示順
1	$r1 \leq v1$	以上	1
2	$r1 \geq v1$	以下	2
3	$r1 < v1$	より上	3
4	$r1 > v1$	より下	4
5	$r1 = v1$	等しい	5

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・データ判定式マスタダイアログが表示される。

追加 - データ判定式マスタ

式 ①

名称 ②

表示順 ③

保存 キャンセル

表 6-110 追加・データ判定式マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	式	データの判定式を設定する。 閾値が v1、値が r1 で式を表す。	$r1 \leq v1$
②	名称	データ判定式の名称を設定する。	以上
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.4.3 JAlert

(1) JAlert 種別マスタ

システム>監視観測>JAlert>JAlert 種別マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

JAlert種別マスタ		
ID	名称	表示順
10	緊急地震速報	1
3	津波情報	2
9	火山情報	3
2	地震情報	4
1	気象情報	5
11	国民保護情報	6
12	緊急連絡	7

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JAlert 種別マスタダイアログが表示される。

表 6-111 追加・JAlert 種別マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	JAlert 種別の名称を設定する。	緊急地震速報
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示される時、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.5. 本部設置

6.2.5.1 安否確認状況マスタ

安否確認の選択肢を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。

6.2.5.2 体制マスタ

体制の種類を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしてはいけない。

6.2.6. 広報

6.2.6.1 Twitter マスタ

Twitter へ投稿するためのアプリケーション登録を設定する。

下記URLを参照

<https://dev.twitter.com/>

6.2.6.2 Facebook マスタ

Facebook へ投稿するためのアプリケーション登録を設定する。

下記URLを参照

<https://developers.facebook.com/>

6.2.7. 意思決定支援

6.2.7.1 意思決定支援レイヤタイプマスタ

システム>意思決定支援>意思決定支援レイヤタイプマスタを選択すると下図のような画面が表示される。

意思決定支援レイヤ種別マスタ		
ID	名称	表示順
1	建物除雪推定レイヤ	1
2	人口レイヤ	2
3	停電エリアレイヤ	3
4	断水エリアレイヤ	4
5	250mメッシュレイヤ	5
6	建物除雪による避難者数推定レイヤ	6
7	停電、断水による避難者数推定レイヤ	7
8	帰宅困難者推定レイヤ	8
9	総避難者数推定レイヤ	9
10	避難所レイヤ	10

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・意思決定支援レイヤ種別マスタダイアログが表示される。

追加 - 意思決定支援レイヤ種別マスタ

名称(*) ①

表示順(*) ②

表 6-112 追加・意思決定支援レイヤ種別マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	意思決定支援レイヤ種別マスタの名称を設定する。	建物被害推定レイヤ
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.8. 多言語対応

6.2.8.1 言語管理

システム>多言語対応>言語管理を選択すると、下図のような画面が表示される。言語情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。



ID	言語コード	言語名称	表示順	最終更新日時
1	en	English	1	27年09月28日 11時11分
2	ja	日本語	2	27年09月28日 11時11分

図 6-121 言語管理画面

(1) 言語情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・言語情報ダイアログが表示される。



ID	言語コード	言語名称	表示順	最終更新日時
1	en	English	1	27年09月28日 11時11分
2	ja	日本語	2	27年09月28日 11時11分

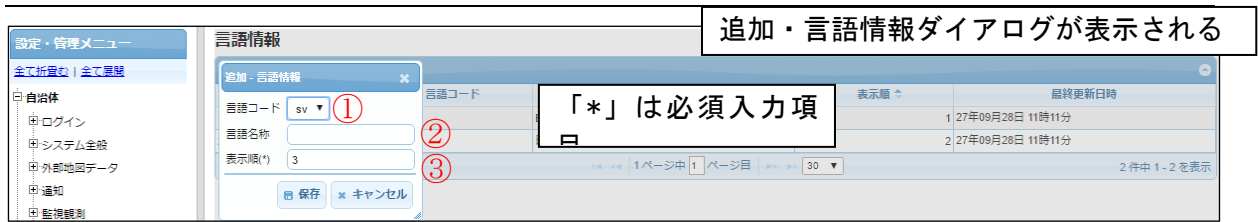


図 6-122 登録ボタン>追加・言語情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-113 追加・言語情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	言語コード	言語コードを設定する。	ja
②	言語名称	言語名称を設定する。	日本語
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集を行いたい言語情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・言語情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された言語情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-113 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい言語情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・言語情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の言語情報を削除することができる。削除・言語情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに言語の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みの言語情報をコピーし、それをもとに新たに言語を作成することができる。

コピー元となる言語情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・言語情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-113 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに言語が作成される。

6.2.8.2 言語インポート

図 6-123 言語インポート画面

6.2.8.3 言語エクスポート

図 6-124 言語エクスポート画面

7. その他の設定

7.1. エクセル帳票

7.1.1. エクセル帳票機能とは

マイクロソフト社製のエクセルを使用して書式（エクセルシート）を作成し、そのファイルのアップロードによって、本システムの画面レイアウトおよび、出力する書類の書式を定義することができる。

アップロードするエクセルファイルはテンプレート化する必要があり、データ埋め込み用のタグを設定しておくことで、地図データの任意のレイヤ、任意の地物および任意の属性を帳票のレイアウトに合わせて表示することができる。

なお、書式（エクセルシート）に定義してある行数を超える場合、自動的に同じ書式の繰り返しとして、複数ページのシートを作成する。

7.1.2. エクセル帳票の管理画面の設定方法

ここではエクセル帳票メニューを利用するための管理画面で必要な設定について説明する。

- 1) エクセル帳票の入力用、出力用のレイヤを e コミマップで作成する (8.4 項目 (レイヤ) の作成 を参照すること)
 - 4 号様式の出力用レイヤの作成例
 - ◇ レイヤ名「消防 4 号様式一覧」
 - ◇ 形状「点」
 - ※エクセル帳票では位置情報を登録しないため、形状はなんでもよい。
 - ◇ エクセル帳票の出力に必要な属性を追加する
 - 「登録日時」をデータ型「日付と時間」で追加
 - 「ダウンロードリンク」をデータ型「URL」で追加
 - ◇ そのほか「備考」など、ユーザに必要な属性があれば追加する
- 2) コミマップで作成したレイヤをテーブルマスタ情報に登録する (6.1.2.3 (2) 1) テーブルマスタ情報を新規で作成する を参照すること)
※自治体セットアップの時系列化も行うこと。
- 3) メニュー情報でエクセル帳票メニューを設定する。 (6.1.2.2 (2) 1) メニュー情報を新規に登録する を参照すること)
 - メニュータイプ「26:エクセル帳票」
 - エクセル帳票テンプレートファイルをアップロード
 - エクセル帳票の出力先として下記を設定する
 - 「エクセル帳票出力テーブル ID」
 - 「エクセル帳票出力テーブル 登録日時の属性 ID」
 - 「エクセル帳票出力テーブル ダウンロードリンクの属性 ID」

※メニュー作成時にテンプレートファイルが必要となる。テンプレートファイルが未作成の場合は「エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法」を参照し、テンプレートファイルを作成すること。
- 4) タスクメニュー情報に作成したメニューを追加する(6.1.2.1 (4) 1) タスクメニュー情報を新規に登録する を参照すること)

7.1.3. エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法

エクセル帳票メニューにはテンプレート化したエクセルファイルを上アップロードする。テンプレート化する上で利用可能なタグについて説明する。

- 本機能タグの書式について
<% ~ %>の書式で記述する。

- 本システム固有値参照関数

本システムがもつ情報を参照する関数として下記をサポートしている。

下記のタグを埋め込むことで、都道府県名や災害名が自動で入力される。

<%pref_name()%> 都道府県名称の参照

<%city_name()%> 市町村名称の参照

<%disaster_name()%> 災害名の参照

<%disaster_start(“yyyy年MM月dd日hh時mm分”)%> 災害開始日時

- セル編集可能タグ

<%is_editable="true"%>

セルにこのタグを埋め込むと、エクセル帳票メニューで入力が可能になる。

様式出力する際に入力したいセルはこのタグを利用すること。

例) 消防4号様式 その1

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2				第4号様式(その1)												
3				[災害概況即報]							報告日時		<%disaster_start("yyyy年MM月dd日:hh時mm分")%>			
4				消防庁受信者氏名							都道府県		<%pref_name()%>			
5											市町村 (消防本部名)		<%city_name()%>			
6				災害名 <%disaster_name()%> (第 報)							報告者名		<%is_editable:"true"%>			
7																
8				発生場所 <%is_editable:"true"%>				発生日時		<%disaster_start("MMdd:hhmm")%>						
9				<%is_editable:"true"%>												
10																
11				災害の概況												
12																
13																
14																
15																
16																

- レイヤの属性値の参照タグ
ここではレイヤの属性値を参照するタグについて説明する。
※layerid は入力用のレイヤのレイヤ ID を指定すること。
※attr には入力する項目の項目名を指定すること。

- 一覧表でレイヤの属性値を参照する場合
指定レイヤの N 番目の地物の属性値 attr を参照する
<%val("layerid", attr).id(N)%>

例えば、管理番号と名称の 2 つの列をもつ一覧表を表示する場合、
id 関数を 1 から順に指定することでレイヤの地物を順番に出力することができる。

管理番号	名称
<%val("c12", attr0).id(1)%>	<%val("c12", attr1).id(1)%>
<%val("c12", attr0).id(2)%>	<%val("c12", attr1).id(2)%>
<%val("c12", attr0).id(3)%>	<%val("c12", attr1).id(3)%>

※この例では 1 ページ当たり 3 件となり、実際のデータが 3 件以上ある場合は、
自動で 1 ページ目をコピーして必要な分だけページが作成されます。

- フィルターされた一覧表を出力する場合
filter 関数にフィルタ ID を指定することで、フィルタを適用することができる。

例えば、管理番号と名称の 2 つの列をもつ一覧表で、
フィルタ ID=5 のフィルタを適用した一覧表を表示する場合、
id 関数の前に filter(5) と指定しておくことで出力することができる。

管理番号	名称
<%val("c12", attr0).filter(5).id(1)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(1)%>
<%val("c12", attr0).filter(5).id(2)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(2)%>
<%val("c12", attr0).filter(5).id(3)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(3)%>

- 集計表でレイヤの属性値を参照する場合
集計タグとして下記のタグをサポートしている。

<%val("layerid", attr).sum(0)%>

<%val("layerid", attr).sumif("条件式")%>

条件式を適用した val("layerid", attr) の合計値を当該セルに出力する。

- ・条件式例 収容人数 attr5 が 100 人以上 300 以下

attr5 >= 100 and attr5 <= 300

- ・条件式例 名称 attr3 に「市立」が含まれる

```

attr3 = "*市立*"
<%val("layerid", attr).max0%>
<%val("layerid", attr).min0%>
<%val("layerid", attr).count0%>
<%val("layerid", attr).countif("条件式")%>
<%val("layerid", attr).average0%>

```

◇ 条件式については、下記の演算子が利用できる。

- 文字列の比較演算子

演算子	使用例	意味
=	attr3 = "南中学校"	attr3 が 南中学校 である
!=	attr3 != "南中学校"	attr3 が 南中学校 でない
<>	attr3 <> "南中学校"	attr3 が 南中学校 でない
includes	attr3 includes "学校"	attr3 に 学校 が含まれる
not includes	attr3 not includes "学校"	attr3 に 学校 が含まれない

- 数値の比較演算子

演算子	使用例	意味
=	attr5 = 100	attr5 が 100 である
!=	attr5 != 100	attr5 が 100 でない
<>	attr5 <> 100	attr5 が 100 でない
<	attr5 < 100	attr5 が 100 より小さい
<=	attr5 <= 100	attr5 が 100 以下である
>	attr5 > 100	attr5 が 100 より大きい
>=	attr5 >= 100	attr5 が 100 以上である

- 論理演算子 and or not

- 括弧 ()

◇ 数値書式の指定について

count と countif 以外の集計関数では、関数の引数に数値書式を指定できる。
 なにも指定しない場合は集計結果がそのまま出力される。

sum と sumif 関数の数値書式の指定例

```

<%val("layerid", attr).sum("数値書式")%>
<%val("layerid", attr).sumif("条件式","数値書式")%>

```

- カンマ区切り表記にしたい場合

- 結果 1000 を 1,000 で表示する
`<%val("layerid",attr).average("#,###.#")%>`
- 桁数を指定したい場合
 - 結果 0.5 を少数第 2 位まで表示 0.50 にする
`<%val("layerid",attr).average("0.00")%>`

※詳しくは Java の数値フォーマットのクラスである [DecimalFormat](#) の JavaDoc のフォーマットを確認すること。

<https://docs.oracle.com/javase/jp/8/docs/api/java/text/DecimalFormat.html>

8. e コミマップのセットアップ

e コミマップをインストール後に本システムにおいて使用する際に各種情報を準備する必要がある。下記に基本的な設定内容を示す。

8.1. 用語の説明

e コミマップを活用するために確認しておくべき用語について説明する。

(1) 地物

マップ上の1つ1つの図形や点のこと。点、線、面の3種類がある。

(2) 項目 (レイヤ)

複数の地物で構成されたまとまりで、分類や種類によってまとめられている。1つの項目には、点・線・面を混在させることはできない。

(3) 属性

地物に付加される情報のこと。項目ごとに属性を設定することができる。

(4) 背景地図

登録情報の下敷きとなる項目のこと。主題図と基本地図がある。

(5) 主題図

特定の利用目的を表現した地図のこと。(例：ハザードマップ)

(6) 基本地図

ベースとなる地図のこと。(例：航空写真、地形図、都市地図)

8.2. 画面構成

8.2.1. 地図一覧画面（e コミマップの地図一覧画面）

- 「http://サーバ名/map/」にアクセスすることでログイン画面が表示される。ユーザ ID 及びパスワードを入力し、ログインボタンを押下する

図 8-1 e コミマップログイン画面

表 8-1 e コミマップログイン画面の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	ユーザ ID 入力 エリア	e コミマップに登録されている ID を入力する	user
②	パスワード入 力エリア	班名に紐づくパスワードを入力する。	password
③	ログイン	ログイン ID とパスワードが一致している場合、地図一覧画面に遷移する。	

- 地図一覧画面が表示される。



図 8-2 地図一覧画面

8.2.2. 管理画面 (e コミマップの管理画面)

- 地図一覧画面のメニューから「e コミマップ管理画面へ」を選択する。

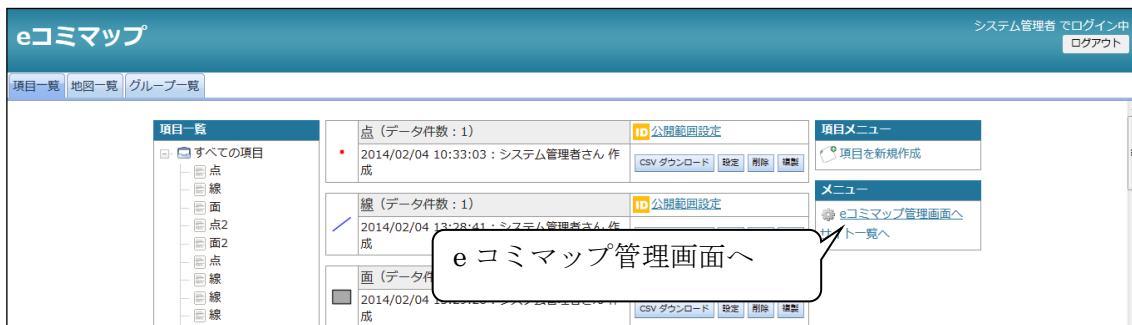


図 8-3 地図一覧画面：「e コミマップ管理画面へ」

- 新しいウィンドウで管理画面が表示される。



図 8-4 管理画面

8.2.3. 地図画面 (e コミマップの地図画面)

- 地図一覧画面のタブ「地図一覧」から、表示したい地図の名称を選択する、もしくは管理画面のタブ「地図」から、表示したい地図の名称のリンクを選択する。

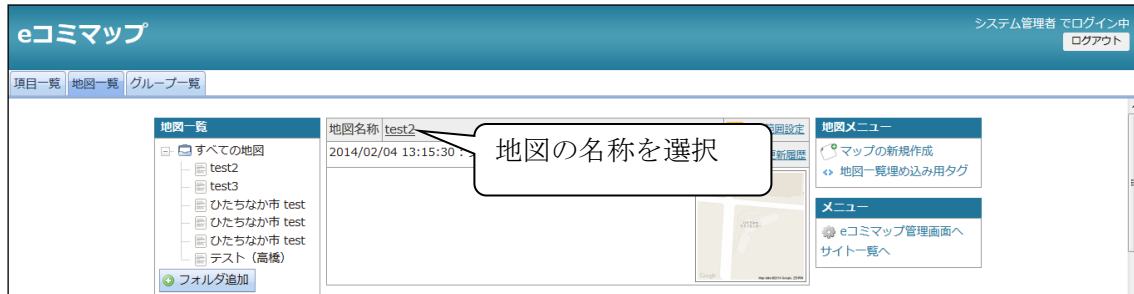


図 8-5 地図一覧画面：地図画面へ



図 8-6 管理画面：地図画面へ

- 新しいウィンドウで地図画面が表示される。

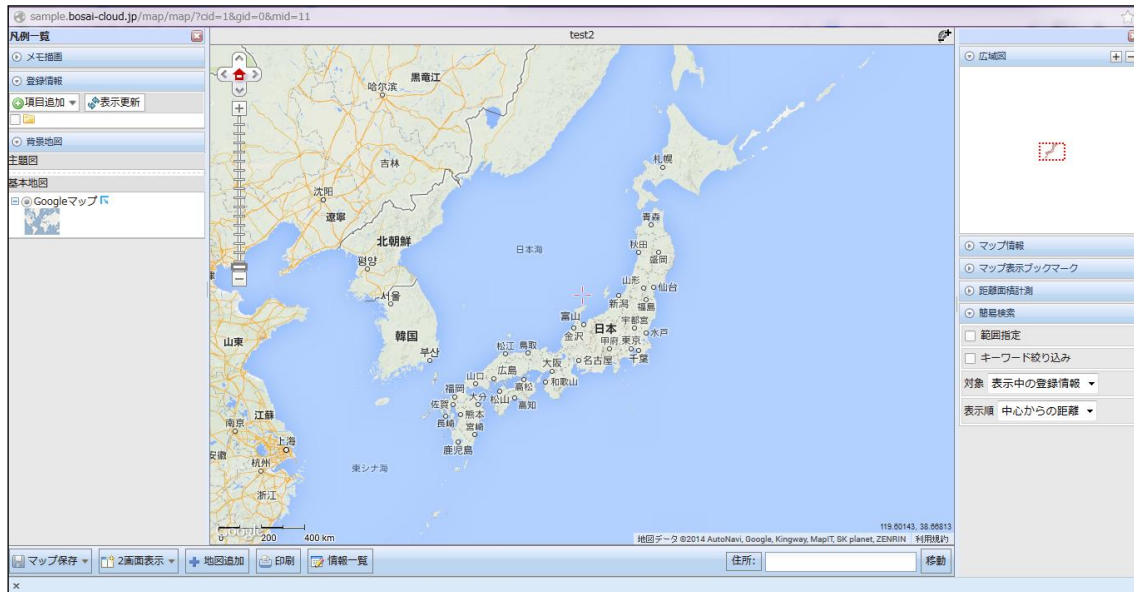


図 8-7 地図画面

8.3. マスタマップの作成

最初に本システム上で基本となるマスタマップと呼ばれる地図を作成する。

8.3.1. マップの作成

8.3.1.1 地図一覧画面から地図を作成

- タブ「地図一覧」の地図メニューからマップの新規作成を選択する。「マップの新規作成」ダイアログが表示される。

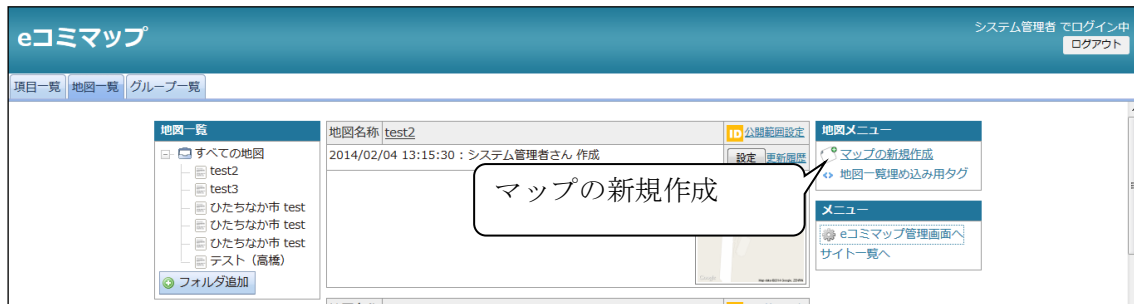


図 8-8 地図一覧画面：「マップの新規作成」

- マップタイトルと基本地図を入力し、「マップの新規作成」ボタンを押下する。

マップの新規作成

マップのタイトル

マップの説明

追加する基本地図を選んでください

追加	凡例	項目名	作成日時
<input type="checkbox"/>		標準地図 (地理院タイル) (地理院タイル利用規約に従ってご利用ください。)	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		電子国土基本図 (地理院タイル 航空写真) (地理院タイル利用規約に従ってご利用ください。)	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		OpenStreetMap	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		Googleマップ	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		Google航空写真	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		Google航空写真+ラベル	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		Google地形	2014/01/30 11:50:09
<input type="checkbox"/>		基盤地図情報25000	2014/01/30 11:50:09

マップの新規作成

キャンセル

図 8-9 地図一覧画面：「マップの新規作成」ダイアログ

表 8-2 地図一覧画面：「マップの新規作成」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	マップタイトル	マップのタイトルを入力する。	〇〇市マスタマップ
②	マップ説明	マップの説明を入力する。	(なし)
③	基本地図選択	追加したい基本地図のチェックボックスにチェックを入れる。	
④	マップの新規作成	設定された内容でマップを新規作成する。	
⑤	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- (1) マップが新規作成される。

8.3.1.2 管理画面から地図を作成

- タブ「地図」内の「地図を新規作成」を表示させる。



図 8-10 管理画面：「地図を新規作成」の表示

- 「マップタイトル」「マップの説明」などを入力し「地図を新規作成」を押下する。

The screenshot shows the '地図を新規作成' (Create New Map) form. The form is titled '地図を新規作成' and includes the instruction 'マップを新規に作成してサイトに追加します。' (Create a new map and add it to the site). The form fields are:

- マップタイトル (日本語表示名)**: A text input field with a red circle 1 next to it. Below the field is the text 'マップのタイトルです。IDは自動的に割り振られます。' (This is the map title. The ID is automatically assigned).
- マップの説明**: A text area with a red circle 2 next to it. Below the field is the text 'マップの説明を入力してください。' (Please enter the map description).
- 表示範囲**: A form with four input fields for latitude and longitude: '北: 46.78', '西: 120.20', '東: 151.35', and '南: 22.93'. A red circle 3 is next to the '東' field. Below the fields is the text 'マップの表示範囲を設定。(経度-180~180 緯度 -90~90 の度単位)' (Set the map display range. (Longitude -180~180 Latitude -90~90 degrees)) and a link '[マップで範囲設定]' (Set range with map).
- マップ解像度**: A text input field with a red circle 4 next to it. Below the field is the text '表示範囲よりも解像度での表示を優先する場合は指定してください。' (If you want to prioritize display by resolution over the display range, please specify).
- 2画面表示**: A list of checkboxes with a red circle 5 next to it. The options are: GoogleMap, test2, test3, ひたちなか市 test, and ひたちなか市 test. Below the list is the text '2画面表示で選択可能にするマップを選択してください。' (Select the map you want to be selectable in 2-screen display).
- 初期2画面表示**: A dropdown menu with 'なし' (None) selected and a red circle 6 next to it. Below the dropdown is the text 'マップを最初から2画面で表示する場合に選択してください。' (Select this when you want to display the map from the beginning in 2-screen display).

At the bottom of the form is a button labeled '地図を新規作成' with a red circle 7 next to it.

図 8-11 管理画面：「地図を新規作成」

表 8-3 管理画面：「地図を新規作成」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	マップタイトル	マップのタイトルを入力する。	〇〇市マスターマップ
②	マップ説明	マップの説明を入力する。	(なし)
③	表示範囲	マップの初期表示範囲の座標を入力する。	北：47.60792 西：123.62192 南：23.438 東：149.46176
④	マップの解像度	表示範囲よりも解像度での表示設定を優先したい場合に設定する。	150
⑤	2画面表示	2画面表示で選択可能にするマップを選択する。	航空写真
⑥	初期2画面表示	最初からマップを②画面で表示する場合にドロップダウンリストから設定する。	なし
⑦	地図を新規作成	設定された内容でマップを新規作成する。	

- マップが新規作成される。

8.3.2. マップに主題図と基本地図を追加

8.3.2.1 管理画面から主題図と基本地図を追加

- 主題図を追加する
 - タブ「地図」内の地図一覧から、表示したい項目の「項目一覧」を選択する。



図 8-12 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「主題図項目」を選択する。



図 8-13 管理画面：「主題図項目」の選択

- 「主題図項目を追加」の主題図の情報を入力する。

主題図項目を追加

項目名称 (日本語表示名)	<input type="text"/>	①
凡例や検索時に表示される項目名称です。		
初期表示状態	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	②
マップ起動時の項目表示状態。		
透明度	<input type="text" value="1.0"/>	③
項目の表示不透明度(透明=0.0~不透明=1.0)		
標準縮尺	<input type="text" value="0"/>	④
この項目を表示するのに標準的な縮尺(拡大にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)		
表示可能縮尺	<input type="text" value="0"/>	⑤
項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)		
LAYERS	<input type="text"/>	⑥
相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)		
WMS URL	<input type="text"/>	⑦
GetMapリクエストURLを直接指定します。 (例: http://sample.bosai-cloud.jp/wms?SERVICE=WMS&)		
WMS画像フォーマット	<input type="text" value="image/png24"/> WMSで取得する画像のフォーマットを選択	⑧
データ帰属先	<input type="text"/>	⑨
マップ上に表示される項目の著作者情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述		
<input type="button" value="主題図項目を追加"/>		
⑩		

図 8-14 管理画面：「主題図項目を追加」

- 主題図が追加される。

表 8-4 管理画面：「主題図項目を追加」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	初期表示状態	マップ起動時の表示・非表示を設定する。	表示する
③	透明度	項目の透明度を設定する。	1.0
④	表示縮尺	項目を表示するときの標準縮尺を設定する。拡大時にこの縮尺で表示される。	0
⑤	表示可能縮尺	項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺では項目を表示しない。	0
⑥	LAYERS	相互運用リクエスト LAYER パラメータに設定する。	(LAYER パラメータ)
⑦	WMS URL	GetMap リクエスト URL を直接指定する。	(URL)
⑧	WMS 画像フォーマット	WMS で取得する画像のフォーマットをドロップダウンリストから選択する。	image/png24
⑨	データ帰属先	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
⑩	主題図項目を追加	設定された内容で主題図項目を追加する。	

- 基本地図を追加する
 - タブ「地図」内の地図一覧から、表示したい項目の「項目一覧」を選択する。



図 8-15 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「基本地図項目」を選択する。



図 8-16 管理画面：「基本地図項目」の選択

- 「共通項目を追加」のドロップダウンリストから基本地図を追加する。



図 8-17 管理画面：「共通項目を追加」

- 基本地図が追加される。

8.3.2.2 地図画面から地図を追加

- 画面下部の「地図追加」を押下する。地図追加のダイアログが表示される。

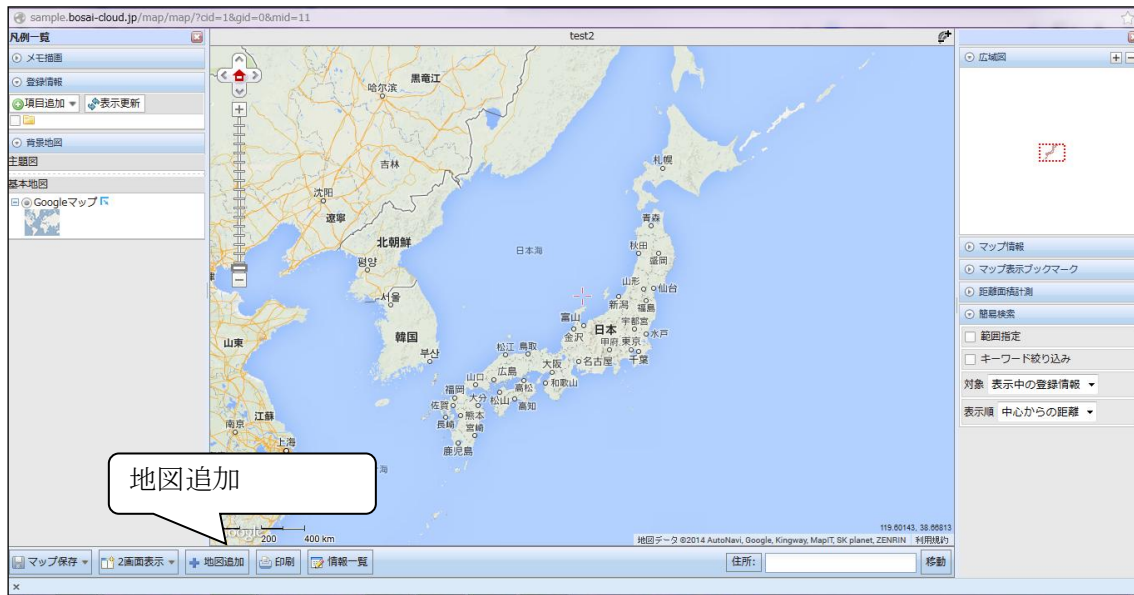


図 8-18 地図画面：「地図追加」の押下

- タブ「地図を検索」から WMSCapabilities の URL を検索する。もしくはタブ「基本地図追加」から追加したい地図を選択する。



図 8-19 地図画面：「地図追加」ダイアログ

8.4. 項目（レイヤ）の作成

マスタマップ上に項目の作成を行う。

8.4.1. 地図一覧画面から項目を作成

- 「項目メニュー」の「項目を新規作成」を選択する。「項目を新規追加」ダイアログが表示される。



図 8-20 地図一覧画面：「項目を新規作成」の選択

- 「項目名称」などを入力し、「項目を追加」を押下する。

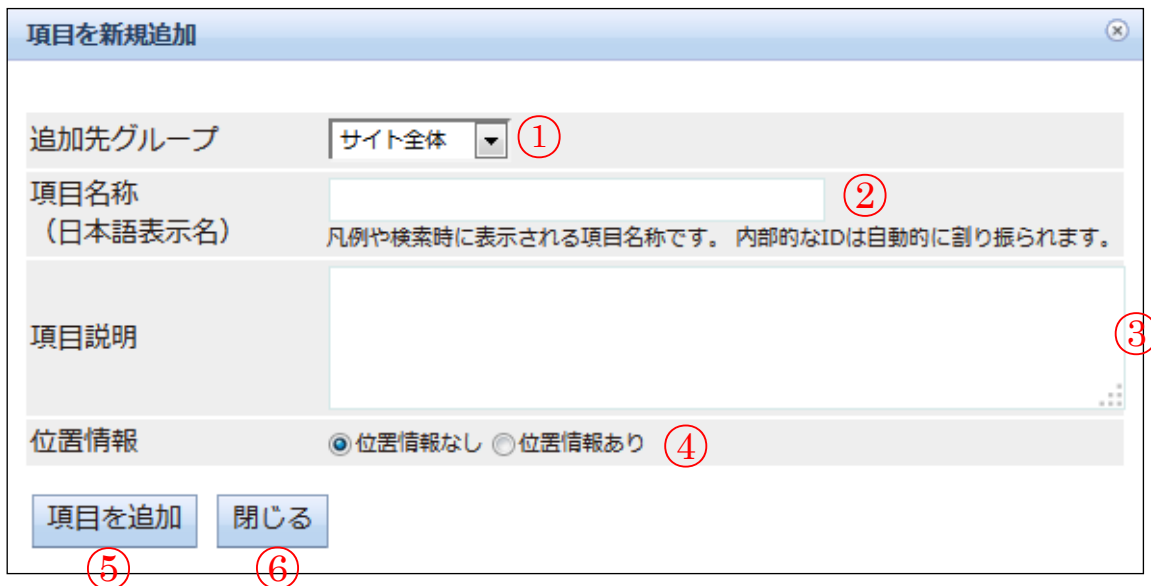


図 8-21 地図一覧画面：「項目を新規追加」ダイアログ

表 8-5 地図一覧画面：「項目を新規追加」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	追加先グループ	追加先のグループをドロップダウンリストから選択する。	サイト全体
②	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
③	項目説明	項目の説明を入力する。	(なし)
④	位置情報	項目に位置情報がある場合に変更する。	位置情報なし
⑤	項目を追加	設定された内容で項目を追加する。	
⑥	閉じる	ダイアログを閉じる。	

- 項目が追加される。

8.4.1.1 管理画面から項目を作成

- タブ「地図」内の地図一覧から「項目一覧」を選択する。

図 1 1



図 8-22 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「登録情報項目を追加」の名称、説明文などを入力する。点、線、面から形状を選択し、「項目を新規作成」を押下する。

The screenshot shows the '登録情報項目を追加' (Add Registration Information Item) form with the following fields and callouts:

- ① 項目名称 (日本語表示名): Input field for the item name.
- ② グループ: Dropdown menu with 'なし' selected.
- ③ 初期表示状態: Check box for '表示する' (checked).
- ④ 標準縮尺: Input field with '0'.
- ⑤ 表示可能縮尺: Input field with '0'.
- ⑥ 形状: Dropdown menu with '点' selected.
- ⑦ 登録情報項目を追加: Submit button.

図 8-23 管理画面：「登録情報項目を追加」

表 8-6 管理画面：「登録情報項目を追加」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	グループ	登録先グループをドロップダウンリストから選択する。	なし
③	初期表示状態	マップ起動時の項目表示状態を設定する。	表示する
④	標準縮尺	この項目を表示するのに標準的な縮尺を設定する。拡大時にこの縮尺で表示される。	0
⑤	表示可能縮尺	項目の表示可能な縮尺を設定する。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しない。	0
⑥	形状	項目の形状をドロップダウンリストから選択する。	点
⑦	登録情報項目を追加	設定された内容で項目を追加する。	

- 項目一覧に登録した項目が追加される。

8.4.1.2 管理画面から項目を編集

- 「メニュー」の「サイト一覧へ」を選択。

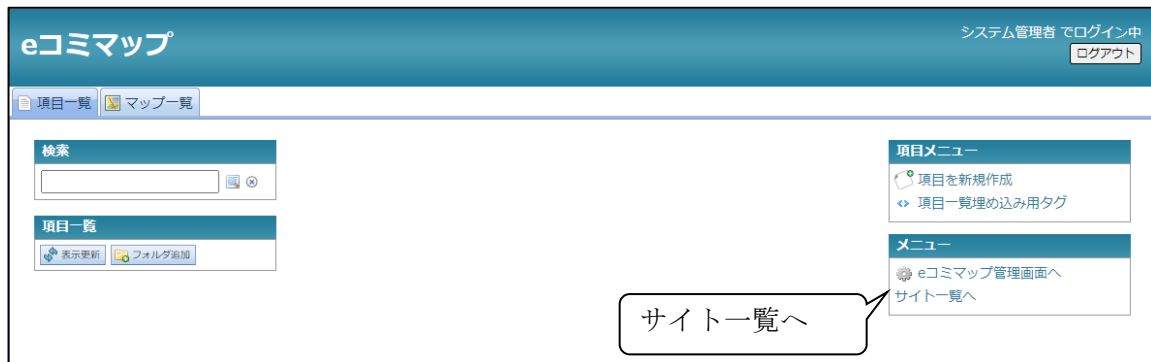


図 8-24 地図一覧画面：「サイト一覧へ」の選択

- 「サイト一覧」画面が開き編集したい項目があるサイト名称の右側にある「管理画面表示」を選択。

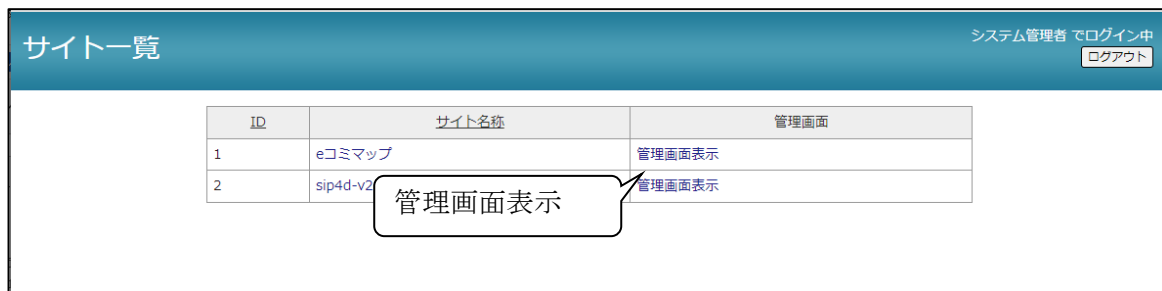


図 8-25 サイト一覧画面：「管理画面表示」の選択

- 選択したサイトの管理画面が開き「登録情報」を選択。



図 8-26 管理画面：「登録情報」の選択

- サイト全体 登録情報項目一覧が開き、編集したい項目の「項目設定」を選択。「項目設定」ダイアログが表示される。

The screenshot shows the 'eコママップ 管理画面' (e-Command Map Management Screen) with the 'サイト全体 登録情報項目一覧' (All Site Registration Information Item List) page. The page includes a navigation bar with 'サイト表示' (Site Display) and 'ログアウト' (Logout) buttons. Below the navigation bar, there are tabs for '共通項目' (Common Items), '登録情報' (Registration Information), 'マップ' (Map), 'グループ' (Group), 'ユーザ' (User), 'バックアップ' (Backup), '設定' (Settings), 'ウィジェット' (Widget), '公開用一覧パーツ' (Public List Parts), and '利用状況' (Usage Status). The main content area shows a table of registration information items. A callout box points to the '項目設定' (Item Settings) button in the table.

グループ名	凡例	ID	項目名 公開範囲 利用中のマップ	作成者 公開設定	作成日時 形状 標準緯尺, 最大緯尺	項目設定 属性設定 ログ確認 再登録	描画設定
サイト全体	<input type="checkbox"/>	c1	JSON連携更新対象レイヤ V2.9開発用組織マスタマップ	システム管理者 ①メタデータ ①CKAN ④公開ビュー作成	2023/12/05 20:33:33 POINT 0, 0	項目設定 属性設定 ログ確認 再登録	共通描画設定
サイト全体	<input type="checkbox"/>	c3	GeoJSON取込点レイヤ V2.9開発用組織マスタマップ	システム管 ①メタデー ④公開ビュ		自設定 性設定 グ確認 再登録	共通描画設定
サイト全体	<input type="checkbox"/>	c4	GeoJSON取込線レイヤ V2.9開発用組織マスタマップ	システム管理者 ①メタデータ ①CKAN	2023/12/05 20:33:33 LINESTRING	項目設定 属性設定 ログ確認	共通描画設定

図 8-27 サイト全体 登録情報項目一覧画面：「項目設定」の選択

- 「項目名称」などを編集し、「項目を更新」を押下する。

項目設定
✕

JSON連携更新対象レイヤを編集

項目名称 (日本語表示名)	<input type="text" value="JSON連携更新対象レイヤ"/> ①
項目説明	<input style="width: 100%;" type="text"/> ②
凡例に表示する注釈	<input style="width: 100%;" type="text"/> ③
最小表示縮尺	<input type="text" value="0"/> ④ <small>この項目を表示するのに標準的な縮尺 (拡大にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)</small>
最大表示縮尺	<input type="text" value="0"/> ⑤ <small>項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)</small>
項目の著作者情報	<input style="width: 100%;" type="text"/> ⑥ <small>マップ上に表示される項目の著作者情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述</small>
項目の所属グループ	サイト全体 ▼ ⑦ <small>項目を管理するグループを変更します。項目の登録可能なグループにのみ変更可能です。</small>
項目作成者	システム管理者 ▼ ⑧ <small>項目の所有者を変更します。所有者は項目の設定を変更することができます。</small>
項目の状態	<input type="checkbox"/> 地図上での検索不可 ⑨ <small>地図のクリックと簡易検索で検索されません。</small>
時系列設定	<input type="radio"/> 時系列属性は使用しない。 ※変更すると過去の履歴データは削除されます。 <input checked="" type="radio"/> 時系列履歴管理を有効にする ⑩
UUIDの利用	<input type="checkbox"/> ⑪ UUIDの利用を有効化します 全ての地物にUUIDを設定します。 データベースにUUIDが追加され全ての地物に自動で設定されます。
属性更新日時	<input type="checkbox"/> ⑫ 属性更新日時を記録する (UUIDの設定が必要です) すべての属性と位置情報毎に変更された時間を記録します。 レイヤのマーシ時に属性毎に最新の状態にするために利用します。
地物の編集制限	<input type="checkbox"/> ⑬ 属性の編集のみに制限する (形状変更、新規追加、削除不可) 属性情報の変更、ファイルの追加削除の操作のみ可能になります。
登録者以外の編集者による更新	<input type="checkbox"/> 許可する ⑭ 属性の編集のみ制限時はこの設定は無効になります。
登録者以外の編集者による削除	<input type="checkbox"/> 許可する ⑮ 属性の編集のみ制限時はこの設定は無効になります。
表画面での地図初期表示範囲	<input checked="" type="radio"/> ⑯ サイトの設定を利用する <input type="radio"/> 範囲を指定 <div style="margin-left: 20px;"> 北: <input style="width: 100px;" type="text"/> 西: <input style="width: 100px;" type="text"/> 東: <input style="width: 100px;" type="text"/> 南: <input style="width: 100px;" type="text"/> </div> <div style="margin-left: 20px;">[マップで範囲設定] [削除]</div> <input type="radio"/> 地物全体がおさまる範囲

項目を更新 ⑰
閉じる ⑱

図 8-28 サイト全体 登録情報項目一覧画面：「項目設定」ダイアログ

表 8-7 地図一覧画面：「項目を新規追加」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	項目説明	項目の説明を入力する。	(なし)
③	凡例に表示する注釈	凡例に表示する注釈を入力する。	(なし)
④	最小表示縮尺	この項目を表示する最小縮尺を設定する。	0
⑤	最大表示縮尺	この項目を表示する最大縮尺を設定する。	0
⑥	項目の著作者情報	項目の著作者情報を入力する。	
⑦	項目の所属グループ	項目の所属先のグループをドロップダウンリストから選択する。	サイト全体
⑧	項目作成者	項目の所有者を設定します。	システム管理者
⑨	項目の状態	選択する場合、地図のクリックと簡易検索で検索されません。	
⑩	時系列設定	項目の時系列設定を選択する。 ・時系列属性は使用しない。(変更すると過去の履歴データは削除されます。) ・時系列履歴管理を有効にする	
⑪	UUID の利用	選択する場合、UUID の利用を有効化します。	
⑫	属性更新日時	選択する場合、属性更新日時を記録します。(UUID の設定が必要です)	
⑬	地物の編集制限	選択する場合、属性の編集のみに制限します。(属性情報の変更、ファイルの追加削除の操作のみ可能になります。)	
⑭	登録者以外の編集者による更新	選択する場合、登録者以外の編集者による更新を許可します。	
⑮	登録者以外の編集者による削除	選択する場合、登録者以外の編集者による削除を許可します。	
⑯	表画面での地図初期表示範囲	表画面での地図初期表示範囲を設定します。 ・サイトの設定を利用する ・範囲を指定 ・地物全体がおさまる範囲	

⑰	項目を更新	設定された編集内容で項目をする。	
⑱	閉じる	ダイアログを閉じる。	

親子地物機能を利用したい場合は、「UUIDの利用」を有効化してください。

- 項目が編集される。

8.4.2. 地図画面から項目を作成

8.4.2.1 「項目の新規作成」から作成する方法

- 登録情報の「項目追加」から、「項目を新規作成」を選択する。

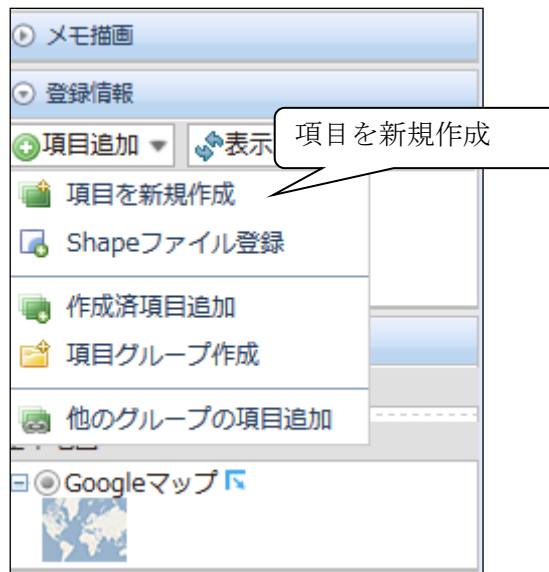


図 8-29 地図画面：「項目を新規作成」の選択

- 「名称」「データの説明」などを入力し、「項目を新規作成」を押下する。

図 8-30 地図画面：「項目を新規作成」ダイアログ

表 8-8 地図画面：「項目を新規作成」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	項目データの説明	項目の説明を入力する。	(なし)
③	形状	項目の形状をドロップダウンリストから選択する。	点
④	著作者情報	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
⑤	項目を新規追加	設定した内容で項目を作成する。	
⑥	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- 凡例一覧に項目が追加される。

8.4.2.2 Shape データから項目を作成する方法

- 登録情報の「項目追加」から、「Shape ファイル登録」を選択する。

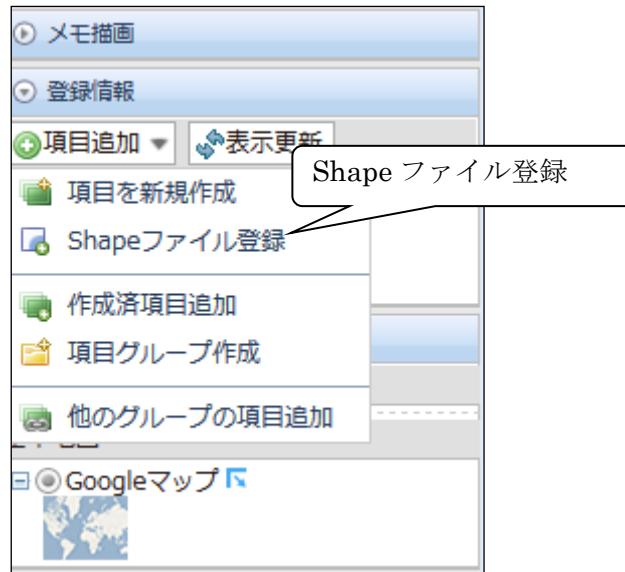


図 8-31 地図画面：「Shape ファイル登録」の選択

- 「参照」を押下、追加する Shape ファイルを選択し、「アップロード」を押下する。Shape ファイル設定画面が表示される。

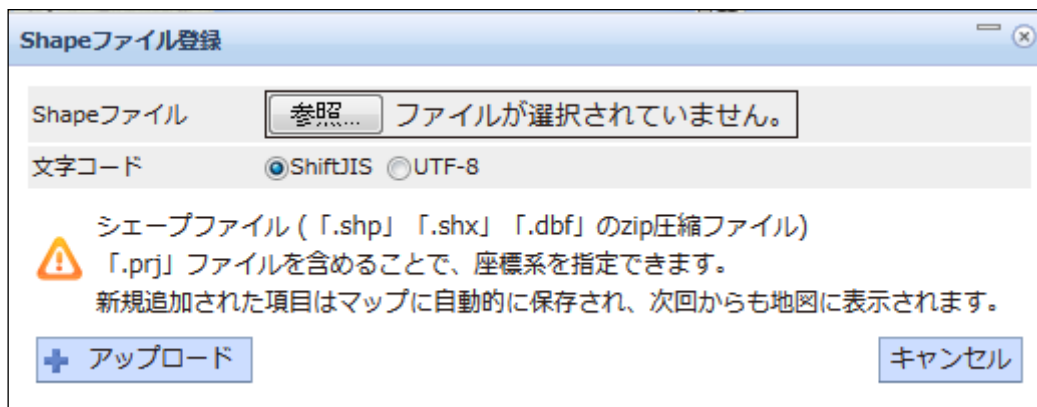


図 8-32 地図画面：「Shape ファイル登録」ダイアログ

- 「データ登録」を押下する。描画設定ウィンドウが表示される。

Shapeファイル設定

名称

データの説明

著作者情報

座標系設定

Shapeファイル 座標系を指定:

属性設定

登録	属性名	データ型	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	JCODE	文字列	5
<input checked="" type="checkbox"/>	KEN	文字列	10
<input checked="" type="checkbox"/>	SICHO	文字列	20
<input checked="" type="checkbox"/>	GUN	文字列	20
<input checked="" type="checkbox"/>	SEIREI	文字列	20
<input checked="" type="checkbox"/>	SIKUCHOSON	文字列	20
<input checked="" type="checkbox"/>	CITY_ENG	文字列	50
<input checked="" type="checkbox"/>	P_NUM	数値(整数)	9
<input checked="" type="checkbox"/>	H_NUM	数値(整数)	9

高度な設定 [↓表示]

図 8-33 地図画面：「Shape ファイル設定」ダイアログ

表 8-9 地図画面：「Shape ファイル設定」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	データの説明	項目の説明を入力する。	(なし)
③	著作者情報	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
④	Shape ファイル座標系を指定	アップロードした Shape ファイルの座標系をドロップダウンリストから選択する。	緯度経度 (日本測地系)
⑤	属性設定	アップロードした Shape ファイルから、登録する属性の選択と属性名の入力を行う。	JCODE CITY_ENG
⑥	データ登録	設定した内容で Shape ファイルを登録する。	
⑦	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- 色などを設定し「共通描画設定更新」を押下する。

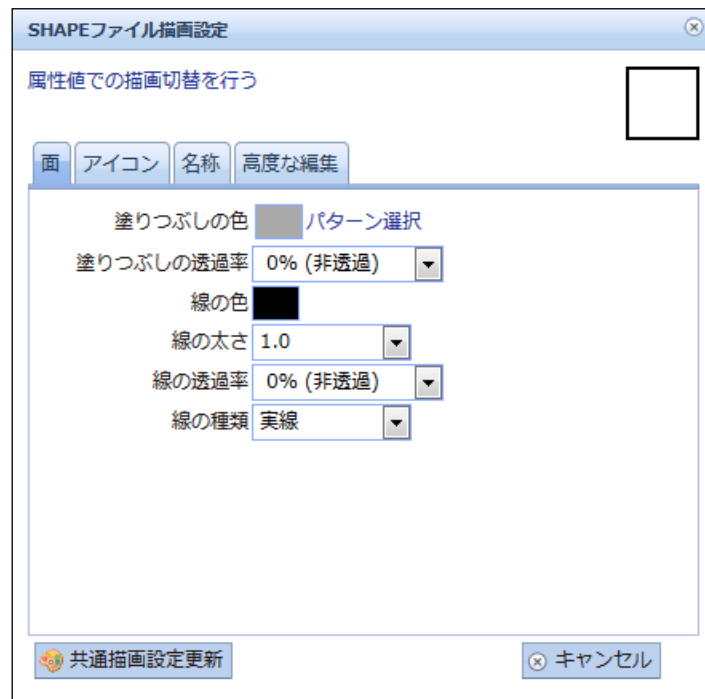


図 8-34 地図画面：「Shape ファイル描画設定」ダイアログ

- 項目が追加される。

8.4.2.3

8.5. 属性の設定

8.6. 地物の登録

e コミマップのマップ画面から、項目、属性を入力した地物をマスタマップ上に配置する。凡例一覧から1つずつ登録する方法、一括して登録する方法がある

8.6.1. 一つずつ地物を登録

- 凡例一覧から、地物を登録したい項目の右側の水色のマークを押下し「情報を登録」を選択する。



図 8-35 地図画面：「情報を登録」の選択

- 項目の形状により点、線、面の三種類毎に分かれるので各々設定を行う。
点：画面中央に赤矢印が配置されるので、赤矢印をドラッグしたまま登録する位置までドラッグして移動する。

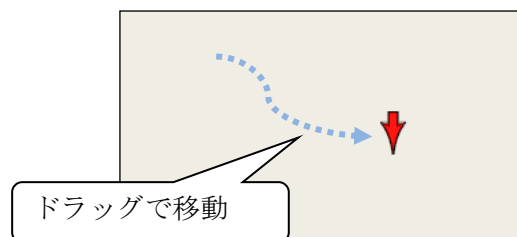


図 8-36 地図画面：点の登録

線：線の角をクリックして描く。最後の頂点でダブルクリックして描画を止める。赤い矢印を押

下したまま移動することによって線は微調整できる。

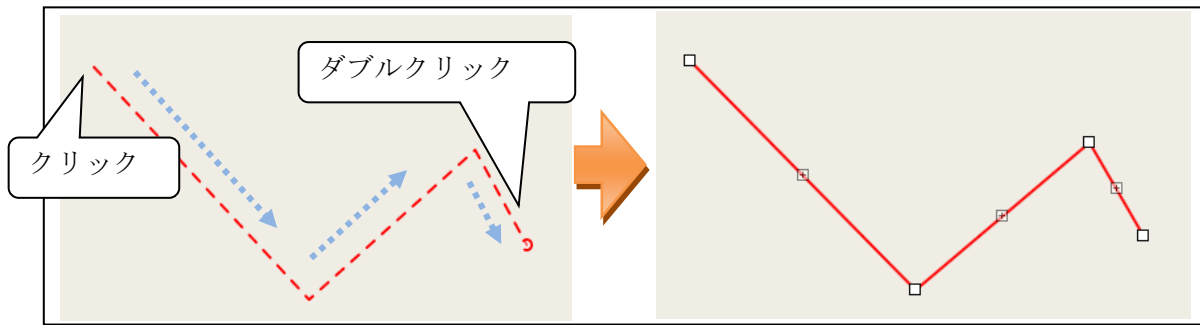


図 8-37 地図画面：線の登録

面：頂点をクリックして面を描く。最後の頂点でダブルクリックして確定します。面を囲む線は微調整できる。

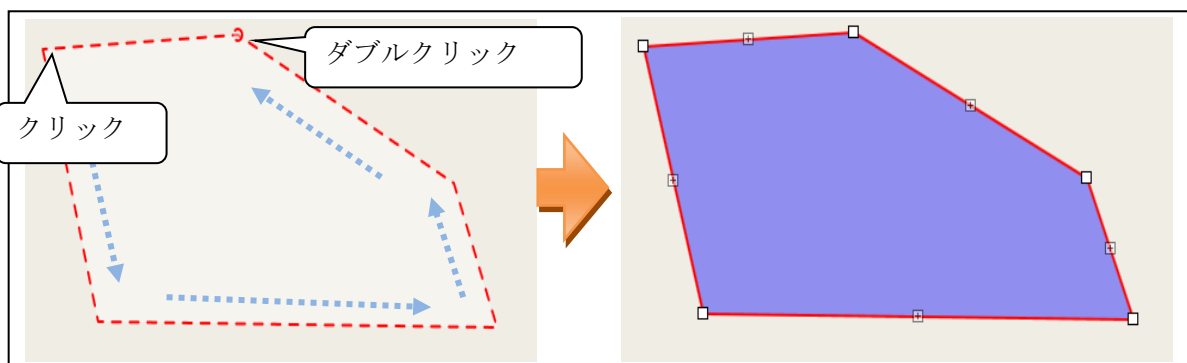


図 8-38 地図画面：面の登録

- 表示される属性を入力し「情報登録」を押下する。

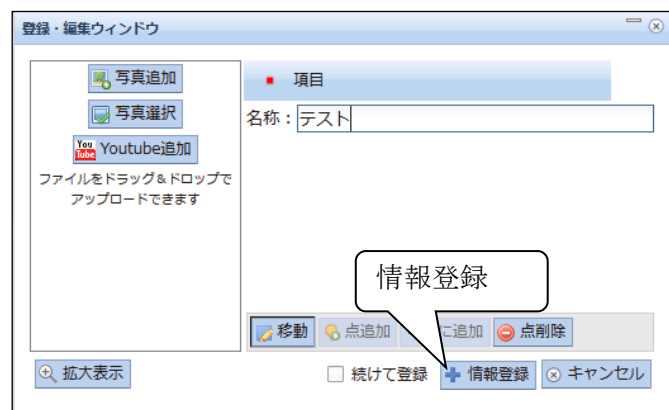


図 8-39 地図画面：「登録・編集ウィンドウ」

- 地物が登録される。

8.6.2. 一括して地物を登録

予め表形式の情報を用意する。

8.6.2.1 データの一括登録

- 画面下部の「情報一覧」を選択する。「項目」のドロップダウンリストから、地物を登録したい項目を選択する。



図 8-40 地図画面：「情報一覧」

- 「高度な処理」から「一括登録」を選択する。「データ一括登録」のダイアログボックスが開く。

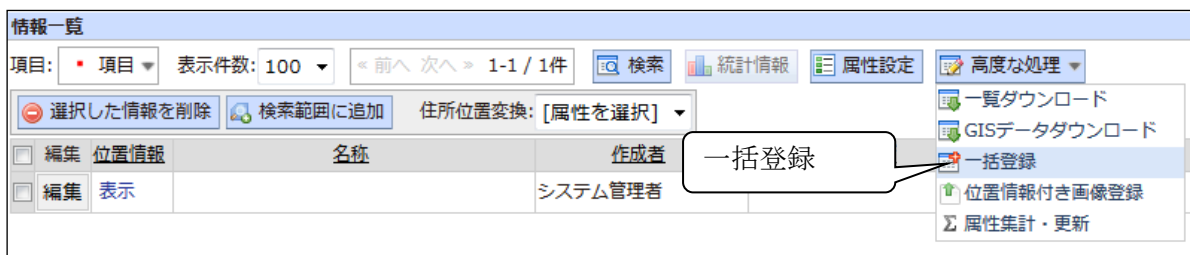


図 8-41 地図画面：「一括登録」の選択

- タブ「テキスト登録」で「登録する項目」のドロップダウンリストから項目を選択する。表形式の情報をコピーして、枠に貼りつける。

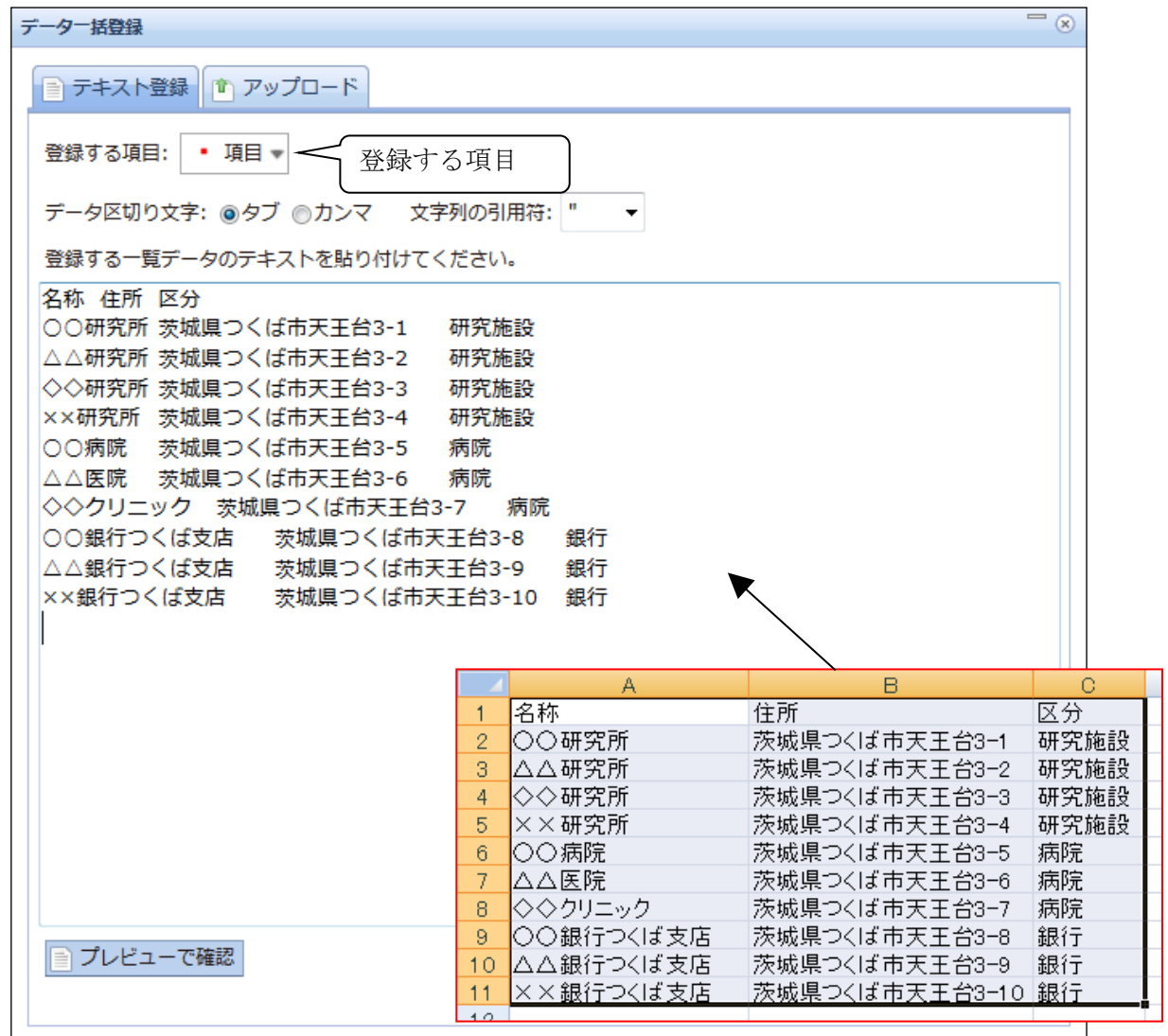


図 8-42 地図画面：「データ一括登録」ダイアログ

- プレビューで確認し、「データ登録」「OK」を押下する。

8.6.2.2 位置情報の取得

- 「情報一覧」の「項目」のドロップダウンリストから位置情報を取得したい項目を選択する。

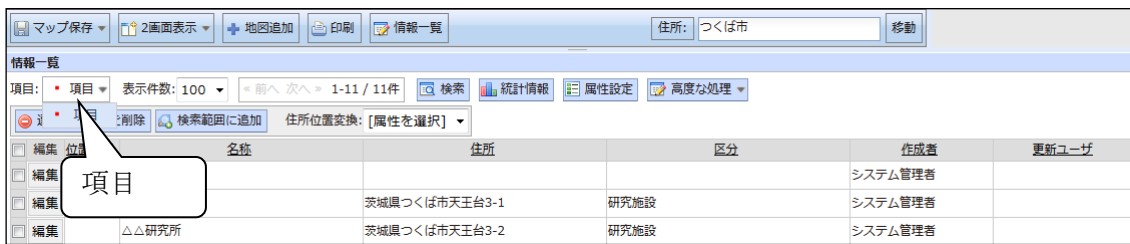


図 8-43 地図画面：「情報一覧」>「項目」の選択

- 「編集」の左のチェックボックスにチェックを入れ、「住所位置変換」のドロップダウンリストから住所の記載されている属性を選択する。



図 8-44 地図画面：「住所位置変換」の属性設定

- 「位置確認」を押下する。位置情報が取得される。



図 8-45 地図画面：「位置確認」の押下

- 「一括登録」を押下する。「位置情報」の欄に「表示」という文字が表示されれば、正常に処理が完了している。

登録された項目

一括登録

位置情報が登録されると、「位置情報」に「表示」の文字が表示される

編集	位置情報	名称	住所	区分	作成者	更新ユーザ
編集	表示	○○研究所	茨城県つくば市天王台3-1	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△研究所	茨城県つくば市天王台3-2	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	○○研究所	茨城県つくば市天王台3-3	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	××研究所	茨城県つくば市天王台3-4	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	○○病院	茨城県つくば市天王台3-5	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△医院	茨城県つくば市天王台3-6	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	○○クリニック	茨城県つくば市天王台3-7	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	○○			システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△			システム管理者	システム管理者
編集	表示	××			システム管理者	システム管理者

図 8-46 地図画面：「一括登録」の押下

8.7. 公開ビューの作成

e コミマップの登録情報レイヤには公開ビューを作成する機能があり、公開ビューを作成すると、本システムのリスト画面・地図画面にて各地物に公開フラグを設定できるようになる。

公開ビューの作成方法については、e コミマップの操作説明書(地図管理画面)の「3.1 サイト管理画面」「(3)公開ビューの作成」を参照すること。

※表示名はデフォルトで「公開」(Public)であるが、設定ファイルで変更できる。(詳細は、インストールマニュアルを参照)

8.8. 縮小地図の設定

地図画面の右上に表示される縮小地図は、e コミマップのサイトオプション設定の「広域地図 WMS サーバ URL」で設定する。OpenStreetMap や WMS・XYZ を指定できる。URL を空欄にした場合は、縮小地図は表示されない。



e コミマップ の設定

サイト言語	日本語 ▼
サイト名 (日本語表示名)	e コミマップ IDは自動的に割り振られます。



サイトオプション設定

広域地図WMSサーバURL	<input type="text" value="https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/std/{z}/{x}/{y}.png"/> <small>広域地図に利用するWMSサーバのURLを設定します。 (BBOX, WIDTH, HEIGHT以外はURLの/でメタデータに記述する必要有り)</small> <input type="radio"/> 基礎地図25000 <input type="radio"/> OpenStreetMapを利用する(メルカトル投影のみ) <input checked="" type="radio"/> その他WMS / XYZ
---------------	--

9. 問い合わせ先

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

総合防災情報センター

E メールアドレス : support_cloud@bosai.go.jp

住所 : 〒305-006 茨城県つくば市天王台 3-1

<http://ecom-plat.jp/k-cloud/>